

札幌市立大学年報

2024年度



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

目 次

I 概要

1	大学の概要	1
2	デザイン学部の概要	4
3	看護学部の概要	5
4	デザイン研究科の概要	6
5	看護学研究科の概要	7
6	助产学専攻科の概要	8
7	2024年度の特筆すべき事項	9
8	行事	10

II 教育活動

1	教育活動概要	11
2	学際教育・連携教育	12
3	デザイン学部	14
4	看護学部	28
5	デザイン研究科	44
6	看護学研究科	51
7	助产学専攻科	63
8	デザインと看護の連携教育	66

III 研究活動

1	個人研究費による研究一覧	68
2	学内公募研究課題一覧	71
3	学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	72
4	寄附金の受入状況	74
5	その他研究助成	74
6	海外出張記録	75

IV 社会活動

1	地域貢献諸活動	76
2	公開講座開催実績	85
3	国・自治体審議会等への就任状況	88
4	専門職支援・セミナー講師等	92
5	国際交流実績	104
6	サテライトキャンパスの利用状況	104

V キャリア支援活動

1	デザイン学部	105
2	看護学部(助产学専攻科含む)	110
3	デザイン研究科	113

VI 令和7年度入学者選抜結果

1	デザイン学部・看護学部	116
2	デザイン研究科・看護学研究科	121
3	助产学専攻科	127

VII 附属図書館

1	概要	129
2	利用状況	130

VIII 法人・学内運営の概要

1	2024年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図	131
2	役員会及び審議会の審議状況	131
3	役員会及び審議会委員名簿(2024年4月1日現在)	132
4	経営会議	133
5	部局長会議	134
6	企画室	134
7	広報室	135
8	教授会	135
9	研究支援地域連携センター	135
10	AITセンター	137
11	附属図書館	137
12	アドミッションセンター	137
13	教育支援プロジェクトセンター	137
14	情報基盤センター	137
15	リベラルアーツセンター	138
16	学内委員会	138
17	構成員名簿(2024年4月1日時点)	140
18	FD・SD活動	146

IX 資料

1	2024年度 決算報告書	148
2	教職員数(2025年3月31日現在)	149
3	管理職一覧表(2025年3月31日現在)	149
4	学生定員及び学生数(2024年5月1日現在)	150
5	授業料等	151
6	奨学金貸与・授業料減免実施状況(2025年3月31日現在)	151
7	学生の入選・受賞(デザイン学部)	153
8	学生の課外活動(2025年3月31日現在)	154
9	後援会	155
10	教育・研究刊行物一覧	155
11	施設	156
12	大学へのアクセス	159
13	札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	160

X 教員一覧

1	教員一覧	161
2	教員業績一覧	162



I 概要

1 大学の概要

1) 設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず、看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

1991年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、1965年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性と方向性について幅広い論議を行うべく、2001年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、2002年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、2003年9月に「(仮称)札幌市立大学基本構想」を策定し、2006年春の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、2003年11月に大学教育の専門家を中心とする「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、2004年7月に「(仮称)札幌市立大学基本計画」を策定し、2005年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、2006年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、2009年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、2010年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、2011年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書(修士課程を博士課程に変更)を文部科学省に提出、同年10月に認可され、2012年4月に大学院デザイン研究



科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

2) 理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

① 「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

② 「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

3) 特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性としている。

① 「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

② 「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

4) 目的

① 学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

② まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。



沿革

1965年4月	札幌市立高等看護学院 開校
1991年4月	札幌市立高等専門学校 開校
1996年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
2001年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
2002年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
2003年9月	「（仮称）札幌市立大学基本構想」策定
2003年11月	「（仮称）札幌市立大学設置準備委員会」設置
2004年7月	「（仮称）札幌市立大学基本計画」策定
2005年12月	大学設置認可
2006年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
2006年4月	札幌市立大学 開学
2006年10月	サテライトキャンパス 開設
2007年4月	地域連携研究センター 設置 アドミッションセンター 設置
2008年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
2008年4月	キャリア支援センター 設置
2008年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程 開講
2009年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
2009年10月	大学院（修士課程）設置認可
2009年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
2010年4月	大学院デザイン研究科・看護学研究科（修士課程）、助産学専攻科 開設
2011年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
2011年10月	大学院（博士課程）変更認可
2012年4月	大学院デザイン研究科・看護学研究科（博士後期課程） 開設 大学院デザイン研究科・看護学研究科（博士前期課程）に改称
2015年5月	COCキャンパス「まちの学校」 開設
2018年4月	まこまないキャンパスに改称（旧称：COCキャンパス「まちの学校」）
2019年4月	AIラボ 開設
2022年4月	AITセンター 開設（AIラボを改廃）
2024年3月	まこまないキャンパス廃止
2024年4月	研究支援地域連携センターに改称（旧称：地域連携研究センター）
2024年11月	リベラルアーツセンター 設置



2 デザイン学部の概要

1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある七つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、こうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。



3 看護学部の概要

1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるよう常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

① 対人関係形成能力

豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。

② 権利擁護・安全なケア提供能力

さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。

③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力

緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。

④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力

看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。

⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力

主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

4 デザイン研究科の概要

1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、2005年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決できる「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出すことができる「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的な事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめることができる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化して実践できる「実践能力」

【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連隣分野の基礎的素養も修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」



2) 教育目的

【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

① 人間空間デザイン分野

高質な建築・都市空間や自然と共に存する地域環境のデザイン、およびこれから社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインの能力を有する人材

② 人間情報デザイン分野

個々の人間に着目し、デザインを科学的に探究するとともに、ものづくりとコミュニケーションのデザイン能力を有する人材

【博士後期課程】

① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材（高度専門職業人）

② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材（研究者・教育者）

5 看護学研究科の概要

1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、2005年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力

② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力

③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力

④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

【博士後期課程】

① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力

② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力



- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

2) 教育目的

【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発や、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすこととする目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者
- ③ 地域や在宅において健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職
- ④ 看護の未来を創造・開拓する看護研究者・看護教育者
- ⑤ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材
- ⑥ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材

【博士後期課程】

- ① 他職種との協働・連携を円滑に行える人間性とともに交渉力や調整能力、さらにはイノベーション力等を推進できる高度専門職業人
- ② 健康問題や社会の動向をグローバルに捉え、高度な専門知識と豊かな臨床経験の両面から、エビデンスに基づく基礎研究や応用研究を自立的に推進して的確な分析・評価等を行い、地域や保健医療機関等が抱える課題解決に真摯に向き合う研究者
- ③ 大学等の高等教育機関において、次世代を担う看護職に高度な教育・研究の成果とその方法論、指導論等をより高い倫理観や職業観をもって教授できる教育能力を有する教育者

6 助産学専攻科の概要

1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間において培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。



3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

7 2024年度の特筆すべき事項

1) 第四期中期目標期間開始

第三期中期目標期間（2018年度～2023年度）終了に伴い、第四期中期目標期間（2024年度～2029年度）が始動した。

札幌市が策定した「リベラルアーツやデジタル分野の素養を備えた人材育成を強化していくとともに、産学官連携の中心として地域に貢献していくことで、市民が価値を実感し、誇れる大学を目指す」ことを基本とする第四期中期目標を受け、札幌市立大学は第四期中期計画を策定し、「教育」「研究」「地域貢献」「大学運営」の4つの大項目に区分し全50項目の成果指標を設定した。

2) リベラルアーツセンター設置

本学のデザイン学部と看護学部は、それぞれの学問体系の成り立ちに大きな学際性を有しており、個別具体的な実践の場も持つことから、これまでリベラルアーツ的要素を含む教育を実践してきたが、昨今、生成系AIの浸透に代表されるような新しい社会情勢に対応できる教育が求められている。

こうした背景を踏まえ、第四期中期計画前文にある「デザイン及び看護の専門性だけではなく、知識の学び方や、急速に進化しているAI・ITをはじめとするテクノロジーを道具として使いこなす方法を学ぶなど、基礎的技能としてのリベラルアーツを身に着けた人材の育成に注力」するにあたり、本学が有する潜在的なリベラルアーツ教育要素を体系的に調査・研究し、より大きな効果をもたらす教育の実践に繋げるべく、全学的なリベラルアーツ教育の推進を担う新たな附属研究所組織としてリベラルアーツセンターを設置した。



8 行事

行 事 名	月 日
入学式	4月3日
前期ガイダンス	4月4日
前期授業開始	4月5日
前期履修登録期間	4月5日～12日
健康診断	4月8日・10日
第1回オープンキャンパス	6月15日
デザイン学部3年次編入学試験	7月20日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月20日
前期定期試験期間	7月30日～8月9日
学内研究交流会	8月20日
夏季休業	8月10日～28日
看護学部社会人特別選抜入学試験	9月7日
助産学専攻科入学試験	9月7日
第2回オープンキャンパス	9月21日
大学祭	9月21日～23日
後期ガイダンス	9月20日・27日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月28日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月28日
後期授業開始	9月24日・9月30日
後期履修登録期間	9月30日～10月7日
デザイン学部総合型選抜入学試験	10月12日
デザイン学部学校推薦型選抜・特別選抜（社会人）入学試験	11月23日
看護学部学校推薦型選抜入学試験	11月23日
SCU産学官金研究交流会	11月27日
冬季休業	12月25日～1月3日
後期定期試験期間	1月6日～7日 1月28日～2月14日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月8日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月8日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月15日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	2月15日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
卒業式・修了式	3月19日



II 教育活動

1 教育活動概要

1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「学際教育科目」は、両学部に共通する「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生と一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「学際教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「科学系科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「技術・スキル系科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で特別講義を1件計画し、対面形式で実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、2012年度（編入学生は2014年度）～2022年度までの入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。なお、保健師コースの募集停止に伴い、2026年4月に保健師養成課程として、看護学専攻科 公衆衛生看護学専攻を開設する。

2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識および能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指している。



看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特講論（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

2 学際教育・連携教育

1) 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎松井 美穂 丸山 洋平 古俣 寛隆 並木翔太郎 福田 大年 御手洗洋蔵 横溝 賢 坪内 健 矢久保空遙 吉田 彩乃 奈良間美保 松野千代美 牧野 夏子 工藤 京子 中平紗貴子 尾立斗志世 近藤 圭子 渋谷 友紀 西川めぐみ 澤口 宙人
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
表象文化論	講義・30時間	1年次前期	◎★若林 尚樹 ★苦名 真
生活と文化	講義・30時間	1年次前期	★野々原由佳子
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮加容子
自然科学A（科学史）	講義・30時間	1年次前期	★小野田波里
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	丸山 洋平
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	松井 美穂 並木翔太郎
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	★赤間 莊太 ★泉 瞳 ★白土 淳子 ★町田佳世子
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★齊田 春菜 ★錦戸 葵 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシーI（デザイン学部）	演習・30時間	1年次前期	大渕 一博
情報リテラシーI（看護学部）	演習・30時間	1年次前期	★新井田光希
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術文化論	講義・30時間	1年次後期	★望月由美子
文学の世界	講義・30時間	1年次後期	松井 美穂
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸 靖亮



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
自然科学C（動物の生態）	講義・30時間	1年次後期	★本田 直也
現代社会論A（人口・家族）	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
現代社会論C（経済）	講義・30時間	1年次後期	★山田 政樹
現代社会論D（社会言語学）	講義・30時間	1年次後期	並木翔太郎
現代社会論E（情報科学）	講義・30時間	1年次後期	高橋 尚人
統計の世界（看護学部）	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	並木翔太郎 ★赤間 莊太 ★白土 淳子 ★泉 瞳
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 並木翔太郎 ★白土 淳子 ★町田佳世子
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎並木翔太郎 矢久保空遙
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
情報リテラシーⅡ（デザイン学部）	演習・30時間	1年次後期	横溝 賢
情報リテラシーⅡ（看護学部）	演習・30時間	1年次後期	★新井田光希
自然科学B（環境）	講義・30時間	2年次前期	◎御手洗洋蔵 椎野亜紀夫 齋藤 雅也
現代社会論B（国際関係）	講義・30時間	2年次前期	★先川信一郎
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田 信弘
実践英語A（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	★白土 淳子
実践英語B（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	★アイツ バマイ モクター
実践英語A（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★二ノ宮靖史
実践英語B（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★山田 パトリシア
グループ・ダイナミックス	演習・30時間	2年次前期	★渡邊 舞
ボランティア基礎演習	演習・30時間	2年次前期	★篠原 辰二
ジェンダー論	講義・30時間	2年次後期	松井 美穂
健康とスポーツ（看護学部）	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀
中国語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	◎★山田 千尋 ★照井はるみ
ロシア語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★ジーノフ ウラジーミル
健康とスポーツ（デザイン学部）	講義・30時間	3年次前期	★出町 道代
中国語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	◎★山田 千尋 ★照井はるみ
ロシア語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★ジーノフ ウラジーミル
統計の世界（デザイン学部）	講義・30時間	3年次後期	丸山 洋平

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



3 デザイン学部

1) 2024年度時間割

① 1年前期

		月	火		水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	時間表現理論／ 演習 I	材料加工理 論／実習 I		デザイン史	体のしくみ	人間情報デザイン論
						自然科学A（科学史）	
2	10:40 ～ 12:10	時間表現理論／ 演習 I	情報リテ ラシー I (D)			英語 IA 英語 IB 英語 IC 日本語表現法	生活と文化
							表象文化論
3	13:10 ～ 14:40	人間空間デザイン論	デザインと数学		英語 IB 英語 IC 日本語表現法	英語 IA 英語 IB 英語 IC 日本語表現法	札幌を学ぶ
							哲学と倫理
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎 (描画)	情報リテ ラシー I (D)		英語 IB 英語 IC 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 IA 英語 IB 英語 IC 基礎カウンセリング
5	16:30 ～ 18:00						英語 IA 英語 IB 英語 IC 基礎カウンセリング
6	18:10 ～ 19:40					地域プロジェクト I／ 地域プロジェクト II／ 地域プロジェクト III ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。	

② 1年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	視覚・色彩心理学	情報リテラシーII (D)	プレゼンテーション	プレゼンテーション	手話 Webデザイン
2	10:40 ～ 12:10	デザイン工学		宗教と思想	文学の世界	手話
3	13:10 ～ 14:40	アイデア生成 プロセス	材料加工 理論/ 実習II (D)	英語IIA 英語IIB 英語IIC	英語IIA 英語IIB 英語IIC	現代社会論A (人口・家族) 現代社会論D (社会言語学)
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎（製図）		英語IIA 英語IIB 英語IIC	英語IIA 英語IIB 英語IIC	英語IIA 英語IIB 英語IIC
5	16:30 ～ 18:00	表現基礎（構成）		芸術文化論	現代社会論E (情報科学)	英語IIA 英語IIB 英語IIC
6	18:10 ～ 19:40			自然科学C (動物の生態)		
					地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。	



③ 2年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	デザイン総合実習I	日本国憲法を学ぶ	ビジュアライゼーションI	近現代建築史	コミュニティデザイン論
			ボランティア基礎演習			
			現代社会論B(国際関係)			
2	10:40 ～ 12:10	時間表現理論／ 演習II	フィールドスタディ	建築設計製図	実践英語A(D)	
				プログラミングI	実践英語B(D)	
3	13:10 ～ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	環境計画論	協同デザインI	環境芸術論	実践英語A(D)
		デザイン研究法 (人間空間)	時間表現理論／ 演習II			実践英語B(D)
4	14:50 ～ 16:20	3DCG 実習 (表現系)	建築系 CAD 実習	グループ・ダイナ ミックス	プロダクトデザインI	情報製品製図
				自然科学B(環境)		
5	16:30 ～ 18:00			学部連携基礎論		建築計画論
6	18:10 ～ 19:40				地域プロジェクトI／ 地域プロジェクトII／ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指 導教員による調整。	

④ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	プロダクトデザインII	ジェンダー論	環境心理学	空間プロダクト	韓国語 (D)
2	10:40 ～ 12:10		空間デザイン史	Webプログラミング	メディア芸術論	韓国語 (D)
3	13:10 ～ 14:40	建築デザイン論 ～ プログラミングII	家具・インテリア デザイン	コンピュータ グラフィックス		ユニバーサル デザイン論
4	14:50 ～ 16:20			3DCG実習 (建築系)	デザイン総合実習II	
5	16:30 ～ 18:00	製品系 CAD 実習	一般 構造			
6	18:10 ～ 19:40		エコロジカル デザイン		地域プロジェクトI／ 地域プロジェクトII／ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指 導教員による調整。	



(5) 3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30	ビジュアライゼーションII	建築設備計画		生涯学習概論	ランドスケープ アーキテクチュア
			プログラミングIII			
2	10:40 ~ 12:10	博物館資料論 博物館概論	中国語 (D)	健康とスポーツ (D)	空間演出デザイン論	構造力学I
			ロシア語 (D)			
3	13:10 ~ 14:40	博物館情報・ メディア論	中国語 (D)	ヒューマン インターラクションI	ユーザーエクスペリ エンスデザインI	デザイン総合実習III
			ロシア語 (D)			
4	14:50 ~ 16:20	メディア社会論	インターナシップ	博物館概論	都市計画論	
				博物館資料論		
5	16:30 ~ 18:00		キャリアガイダンス	博物館教育論	感性情報学	
6	18:10 ~ 19:40				地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。	

(6) 3年後期

		月	火	水	木	金				
1	9:00 ~ 10:30	寒冷地デザイン論	構造力学II	観光デザイン論	景観デザイン文化論	デザイン 展開プロセス				
			ユーザーエクスペリ エンスデザインII							
2	10:40 ~ 12:10	博物館展示論	統計の世界 (D)	建築法規	建築生産	博物館経営論				
3	13:10 ~ 14:40	建築構法 ヒューマン インターラクションII	学部連携演習	キャリアデザイン	構造・材料実験	空間映像表現				
4	14:50 ~ 16:20	博物館資料保存論				デザイン総合実習IV				
5	16:30 ~ 18:00	地域ブランド構築								
6	18:10 ~ 19:40				地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。					



(7) 4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30	博物館実習	知的財産権論			ビジュアライゼーションIII
2	10:40 ~ 12:10		デザイン英語		景観デザイン文化論	起業・経営論
3	13:10 ~ 14:40	博物館実習	観光デザイン論		住宅論	
4	14:50 ~ 16:20				ユーザーエクスペリエンスデザインIII	
5	16:30 ~ 18:00		キャリアガイダンス			
6	18:10 ~ 19:40			卒業研究I ※実際の実施日時は、各指導教員が調整することになる。	地域プロジェクトI／ 地域プロジェクトII／ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。	
7						

(8) 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30					
2	10:40 ~ 12:10					
3	13:10 ~ 14:40			キャリアガイダンス		
4	14:50 ~ 16:20					
5	16:30 ~ 18:00					
6	18:10 ~ 19:40			卒業研究II ※実際の実施日時は、各指導教員が調整することになる。	地域プロジェクトI／ 地域プロジェクトII／ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。	
7						



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2022年度（編入学生は2024年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	導入科目	スタートアップ演習	演習	2		○								2単位	
学際教育科目	科学系科目	哲学と倫理	講義	2		○								12単位以上	
		宗教と思想	講義	2		○									
		芸術文化論	講義	2		○									
		表象文化論	講義	2		○									
		ジェンダー論	講義	2						○					
		文学の世界	講義	2		○									
	人間と自然に対する理解	生活と文化	講義	2		○									
		心のしくみ	講義	2		○									
		体のしくみ	講義	2		○									
		健康とスポーツ	講義	2						○					
専門教育科目	基礎系科目	自然科学A（科学史）	講義	2		○								20単位以上	
		自然科学B（環境）	講義	2					○						
		自然科学C（動物の生態）	講義	2		○									
		現代社会論A（人口・家族）	講義	2		○									
		現代社会論B（国際関係）	講義	2				○							
		現代社会論C（経済）	講義	2		○									
		現代社会論D（社会言語学）	講義	2		○									
		現代社会論E（情報科学）	講義	2		○									
		日本国憲法を学ぶ	講義	2				○							
		札幌を学ぶ	講義	2		○									
専門教育科目	実践系科目	統計の世界	講義	2						○					
		英語ⅠA	演習	1		○								6単位	
		英語ⅠB	演習	1		○									
		英語ⅠC	演習	1		○									
		英語ⅡA	演習	1			○								
		英語ⅡB	演習	1		○									
		英語ⅡC	演習	1		○									
		実践英語A	演習	1			○							2単位以上	
		実践英語B	演習	1			○								
		韓国語	演習	1					○						
専門教育科目	言語	中国語	演習	1						○					
		ロシア語	演習	1						○					
		その他言語Ⅰ（他大学履修）	演習	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		その他言語Ⅱ（他大学履修）	演習	1		○	○	○	○	○	○	○	○		
		情報リテラシーⅠ	演習	1		○								2単位	
		情報リテラシーⅡ	演習	1			○								
		日本語表現法	演習	1		○								2単位以上	
		手話	演習	1			○								
		グループ・ダイナミックス	演習	1					○						
		基礎カウンセリング	演習	1		○									
専門教育科目	コミュニケーション	プレゼンテーション	演習	1			○							2単位以上	
		ボランティア基礎演習	演習	1				○							
		人間空間デザイン論	講義	2		○									
		人間情報デザイン論	講義	2		○									
		デザイン史	講義	2			○							4単位	
		近現代建築史	講義	2					○						
		情報社会論	講義	2						○					
		エコロジカルデザイン	講義	2						○					
		メディア社会論	講義+演習	2						○					
		知的財産権論	講義	2									○		
専門教育科目	基礎系科目	デザインと数学	講義+演習	2		○								20単位以上	
		デザイン工学	講義+演習	2			○								
		コンピュータグラフィックス	講義+演習	2					○						
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2				○							
		デザイン展開プロセス	講義+演習	2								○		20単位以上	
		視覚・色彩心理学	講義	2				○							
		環境心理学	講義	2						○					
		ユニバーサルデザイン論	講義	2						○					
		感性情報学	講義	2							○				
		デザイン研究法	講義+演習	2							○				
専門教育科目	実践系科目	デザイン英語	講義+演習	2									○	20単位以上	
		表現基礎（描画）	実習	2		○									
		表現基礎（製図）	講義+演習	2			○								
		表現基礎（構成）	講義+演習	2				○							
		材料加工理論／実習Ⅰ	実習	2					○						
		材料加工理論／実習Ⅱ	実習	2						○					
		建築設計製図	演習	2						○					
		情報製品製図	演習	2							○				
		3DCG実習	実習	2							○	○			
		建築系CAD実習	実習	2							○				
専門教育科目	基礎系科目	製品系CAD実習	実習	2								○			



区分		授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
				必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論／演習 I	講義+演習	2		○										
		時間表現理論／演習 II	講義+演習	2				○								
		Webデザイン	演習	2				○								
		Webプログラミング	講義+演習	2					○							
		建築デザイン論	講義	2					○							
		空間デザイン史	講義	2					○							
		建築計画論	講義	2					○							
		都市計画論	講義	2							○					
		景観デザイン文化論	講義	2								○				
		住宅論	講義	2										○		
専門教育科目	人間空間デザインコース	環境計画論	講義+演習	2				○								
		建築設備計画	講義+演習	2						○						
		構造力学 I	講義+演習	2						○						
		構造力学 II	講義+演習	2								○				
		一般構造	講義+演習	2						○						
		建築構法	講義+演習	2								○				
		構造・材料実験	実習	2								○				
		建築生産	講義+演習	2								○				
		建築法規	講義	2								○				
		家具・インテリアデザイン	実習	2							○					
専門教育科目	人間情報デザインコース	ランドスケープアーキテクチュア	講義	2						○						
		コミュニティデザイン論	講義	2				○								
		メディア芸術論	講義	2					○							
		空間演出デザイン論	講義+演習	2						○						
		地域ブランド構築	講義+演習	2								○				
		観光デザイン論	講義+演習	2								○				
		環境芸術論	講義+演習	2				○								
		空間プロダクト	講義+演習	2					○							
		空間映像表現	演習	2									○			
		寒冷地デザイン論	講義+演習	2								○				
専門教育科目	人間情報デザインコース	起業・経営論	講義	2										○		
		プロダクトデザイン I	講義+演習	2						○						
		プロダクトデザイン II	講義+演習	2						○						
		ユーザー－エクスペリエンスデザイン I	講義+演習	2						○						
		ユーザー－エクスペリエンスデザイン II	講義+演習	2								○				
		ユーザー－エクスペリエンスデザイン III	講義+演習	2									○			
		プログラミング I	演習	2				○								
		プログラミング II	講義+演習	2					○							
		プログラミング III	演習	2							○					
		ヒューマンインターラクション I	演習	2							○					
発展科目	連携	ヒューマンインターラクション II	演習	2										○		
		協同デザイン I	講義+演習	2					○							
		協同デザイン II	講義+演習	2						○						
		ビジュアライゼーション I	講義+演習	2					○							
		ビジュアライゼーション II	講義+演習	2						○						
		ビジュアライゼーション III	講義+演習	2							○					
		学部連携基礎論	講義	2							○					
		学部連携演習	演習	2										○		
		地域プロジェクト I (基礎編)	演習		2		○	○	○	○	○					
		地域プロジェクト II (応用編)	演習		2			○	○	○	○	○	○	○		
発展科目	総合実習	地域プロジェクト III (発展編)	演習		2					○	○	○	○	○		
		デザイン総合実習 I	実習	2						○						
		デザイン総合実習 II	実習	2						○						
		デザイン総合実習 III	実習	2							○					
		デザイン総合実習 IV	実習	2								○				
		卒業研究 I	演習	3										○		
		卒業研究 II	演習	3										○		
		フィールドスタディ	実習	2				○								
		インターンシップ	実習	2						○						
		キャリアデザイン	講義	2								○				
自由科目	学芸員課程	生涯学習概論	講義		2							○				
		博物館概論	講義		2							○				
		博物館経営論	講義		2							○				
		博物館資料論	講義		2							○				
		博物館資料保存論	講義		2							○				
		博物館展示論	講義		2							○				
		博物館情報・メディア論	講義		2							○				
		博物館教育論	講義		2							○				
		博物館実習	実習		3									○		

所属するコースから22単位以上／他コースから10単位以上

4単位以上

8単位

6単位

4単位以上

19単位

注1) ○は集中

注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 「その他言語 I・II」は他の大学又は短期大学における既修得単位または在学中の修得単位を認定するものです。



2016年度（編入学生は2018年度）～2021年度（編入学生は2023年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目	導入科目	スタートアップ演習	演習	2		○								2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2		○								4単位以上	
		宗教と思想	講義	2		○									
		芸術と文化	講義	2		○									
		教育を考える	講義	2			○								
		生活と文化	講義	2			○								
	人間と自然に対する理解	ジェンダーと文化	講義	2			○							4単位以上	
		心のしくみ	講義	2		○									
		体のしくみ	講義	2		○									
		人間関係を考える	講義	2		○									
		健康とスポーツ	講義	2				○							
		環境を考える	講義	2				○							
共通教育科目	社会に対する理解	自然科学を学ぶ	講義	2		○								4単位以上	
		動物のくらし	講義	2		○									
		現代社会と家族	講義	2		○									
		現代社会と国際関係	講義	2			○								
		現代社会と経済	講義	2			○								
		札幌を学ぶ	講義	2		○									
		ボランティア活動を考える	講義	2			○								
		統計の世界	講義	2						○					
		日本国憲法を学ぶ	講義	2			○								
		英語ⅠA	演習	1		○								8単位以上	
コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠB	演習	1		○									
		英語ⅠC	演習	1		○									
		英語ⅡA	演習	1			○								
		英語ⅡB	演習	1			○								
		英語ⅡC	演習	1			○								
		実践英語A	演習	1				○							
		実践英語B	演習	1				○							
		韓国語	演習	1					○						
		中国語	演習	1						○					
		ロシア語	演習	1						○					
専門教育科目	基礎科目	日本語表現法	演習	1		○								4単位以上	
		プレゼンテーション	演習	1			○								
		基礎カウンセリング	演習	1		○									
		対人コミュニケーション	演習	1			○								
		グループ・ダイナミックス	演習	1				○							
		手話	演習	1			○								
		情報リテラシーⅠ	演習	1		○									
		情報リテラシーⅡ	演習	1			○								
		デザイン概論	講義	2		○								4単位以上	
		人間空間デザイン論	講義	2		○									
専門教育科目	基礎科目	人間情報デザイン論	講義	2		○									
		デザイン史	講義	2			○								
		近現代建築史	講義	2				○							
		情報社会論	講義	2					○						
		エコロジカルデザイン	講義	2						○					
		メディア社会論	講義+演習	2						○					
		知的財産権論	講義	2							○				
		デザインと数学	講義+演習	2		○									
		デザイン工学	講義+演習	2			○								
		コンピュータグラフィックス	講義+演習	2					○						
専門教育科目	基礎科目	アイデア生成プロセス	講義+演習	2			○							20単位以上	
		デザイン展開プロセス	講義+演習	2						○					
		視覚・色彩心理学	講義	2			○								
		環境心理学	講義	2					○						
		ユニバーサルデザイン論	講義	2						○					
		感性情報学	講義	2							○				
		デザイン研究法	講義+演習	2						○					
		デザイン英語	講義+演習	2								○			
		表現基礎（描画）	実習	2			○								
		表現基礎（製図）	講義+演習	2				○							
専門教育科目	基礎科目	表現基礎（構成）	講義+演習	2					○					20単位以上	
		材料加工理論／実習Ⅰ	実習	2			○								
		材料加工理論／実習Ⅱ	実習	2				○							
		建築設計製図	演習	2					○						
		情報製品製図	演習	2						○					
		3DCG実習	実習	2						○	○				
		建築系CAD実習	実習	2						○					
		製品系CAD実習	実習	2							○				
		実習	実習	2								○			
		実習	実習	2									○		



区分		授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
				必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論／演習 I	講義+演習	2		○										所属するコースから22単位以上／他コースから10単位以上
		時間表現理論／演習 II	講義+演習	2				○								
		Webデザイン	演習	2				○								
		Webプログラミング	講義+演習	2					○							
		建築デザイン論	講義	2					○							
		空間デザイン史	講義	2					○							
		建築計画論	講義	2					○							
		都市計画論	講義	2							○					
		景観デザイン文化論	講義	2									○			
		住宅論	講義	2									○			
		環境計画論	講義+演習	2					○							
		建築設備計画	講義+演習	2						○						
		構造力学 I	講義+演習	2						○						
		構造力学 II	講義+演習	2							○					
		一般構造	講義+演習	2						○						
		建築構法	講義+演習	2							○					
		構造・材料実験	実習	2							○					
		建築生産	講義+演習	2							○					
		建築法規	講義	2							○					
		家具・インテリアデザイン	実習	2							○					
		ランドスケープアーキテクチャ	講義	2						○						
専門教育科目	人間空間デザインコース	コミュニティデザイン論	講義	2					○							
		メディア芸術論	講義	2						○						
		空間演出デザイン論	講義+演習	2						○						
		地域ブランド構築	講義+演習	2							○					
		観光デザイン論	講義+演習	2								○				
		環境芸術論	講義+演習	2					○							
		空間プロダクト	講義+演習	2						○						
		空間映像表現	演習	2								○				
		寒冷地デザイン論	講義+演習	2							○					
		起業・経営論	講義	2									○			
		プロダクトデザイン I	講義+演習	2						○						
		プロダクトデザイン II	講義+演習	2							○					
		ユーザー エクスペリエンスデザイン I	講義+演習	2							○					
		ユーザー エクスペリエンスデザイン II	講義+演習	2								○				
		ユーザー エクスペリエンスデザイン III	講義+演習	2									○			
発展科目	人間情報デザインコース	プログラミング I	演習	2					○							4単位以上
		プログラミング II	講義+演習	2						○						
		プログラミング III	演習	2							○					
		ヒューマンインターラクション I	演習	2							○					
		ヒューマンインターラクション II	演習	2								○				
		協同デザイン I	講義+演習	2						○						
		協同デザイン II	講義+演習	2							○					
		ビジュアライゼーション I	講義+演習	2						○						
		ビジュアライゼーション II	講義+演習	2							○					
		ビジュアライゼーション III	講義+演習	2								○				
自由科目	学芸員課程関連科目	学部連携基礎論	講義	2						○						8単位
		学部連携演習	演習	2									○			
		地域プロジェクト I (基礎編)	演習		2	○	○	○	○							
		地域プロジェクト II (応用編)	演習		2		○	○	○	○	○	○	○	○		
		地域プロジェクト III (発展編)	演習		2				○	○	○	○	○	○		
		デザイン総合実習 I	実習	2						○						
		デザイン総合実習 II	実習	2							○					
発展科目	総合実習	デザイン総合実習 III	実習	2							○					6単位
		デザイン総合実習 IV	実習	2								○				
		卒業研究 I	演習	3									○			
		卒業研究 II	演習	3										○		
キャリア教育	キャリアデザイン	フィールドスタディ	実習	2					○							4単位以上
		インターンシップ	実習	2						○						
		キャリアデザイン	講義	2							○					
自由科目	学芸員課程関連科目	生涯学習概論	講義		2						○					19単位
		博物館概論	講義		2						○					
		博物館経営論	講義		2						○					
		博物館資料論	講義		2						○					
		博物館資料保存論	講義		2						○					
		博物館展示論	講義		2						○					
		博物館情報・メディア論	講義		2						○					
		博物館教育論	講義		2						○					
		博物館実習	実習		3								○			

注1) ○は集中　注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。



② 卒業要件

2022年度（編入学生は2024年度）以降入学生

（単位）

区分	必修	選択	合計
学際教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
（基本科目）	(24)	(20)	(44)
（展開科目）	—	(32)	(32)
（発展科目）	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124

2016年度（編入学生は2018年度）～2021年度（編入学生は2023年度）入学生

（単位）

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
（基本科目）	(24)	(20)	(44)
（展開科目）	—	(32)	(32)
（発展科目）	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124



3) 教育活動 (デザイン学部)

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員				
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎御手洗洋蔵 西川 忠 片山めぐみ 古俣 寛隆 山田 信博 藤沢 礼央	椎野亜紀夫 山田 良 金子 晋也 小宮加容子 石田 勝也 坪内 健	齊藤 雅也 大島 卓 小林 重人 森 朋子 須之内元洋		
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎三谷 篤史 伊藤 健世 細谷 多聞 横溝 賢 矢久保空遙	石井 雅博 柿山浩一郎 金 秀敬 松永 康佑 吉田 彩乃	大渕 一博 藤木 淳 福田 大年 舛田 聰志		
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎細谷 多聞	金子 晋也			
デザインと数学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎石井 雅博	大渕 一博	松永 康佑		
表現基礎（描画）	実習・60時間	1年次前期	◎片山めぐみ	舛田 聰志			
材料加工理論／実習 I	実習・60時間	1年次前期	◎山田 良 ★川上 理恵	藤沢 礼央	舛田 聰志		
時間表現理論／演習 I	講義+演習・30時間	1年次前期	◎須之内元洋	石田 勝也			
デザイン工学	講義+演習・30時間	1年次後期	◎齊藤 雅也	西川 忠	細谷 多聞		
アイデア生成プロセス	講義+演習・30時間	1年次後期	福田 大年				
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博				
表現基礎（製図）	講義+演習・30時間	1年次後期	◎森 朋子	大島 卓			
表現基礎（構成）	講義+演習・30時間	1年次後期	◎横溝 賢	藤沢 礼央			
材料加工理論／実習 II	実習・60時間	1年次後期	◎細谷 多聞 ★山田 祥子	★石崎 友紀 ★張 浦華			
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大渕 一博				
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1年次・2年次 通年	◎藤木 淳	原井 美佳			
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎金子 晋也	★藤田 純也	★内藤 誠人		
デザイン研究法 (人間空間デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎小林 重人	椎野亜紀夫	森 朋子		
デザイン研究法 (人間情報デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	石井 雅博				
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	◎山田 良	山田 信博	森 朋子		
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	舛田 聰志				
3DCG実習（表現系）	実習・60時間	2年次前期	松永 康佑				
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	★五十嵐雄祐				
時間表現理論／演習 II	講義+演習・30時間	2年次前期	◎石田 勝也	須之内元洋			
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	山田 信博				



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
環境計画論	講義+演習・30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫
コミュニケーションデザイン論	講義・30時間	2年次前期	◎片山めぐみ 坪内 健
環境芸術論	講義+演習・30時間	2年次前期	◎大島 卓 須之内元洋
プロダクトデザイン I	講義+演習・30時間	2年次前期	舛田 聰志
プログラミング I	演習・30時間	2年次前期	吉田 彩乃
協同デザイン I	講義+演習・30時間	2年次前期	福田 大年
ビジュアライゼーション I	講義+演習・30時間	2年次前期	横溝 賢
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎三谷 篤史 丸山 洋平 伊藤 健世 小林 重人 小宮加容子 ◎菊地ひろみ 三戸部純子 矢野祐美子 市戸 優人
デザイン総合実習 I (建築・環境)	実習・60時間	2年次前期	◎西川 忠 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 大島 卓 古俣 寛隆 御手洗洋蔵 石田 勝也 藤沢 礼央
デザイン総合実習 I (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次前期	◎片山めぐみ 坪内 健
デザイン総合実習 I (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次前期	◎三谷 篤史 大渕 一博 横溝 賢 舛田 聰志
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎細谷 多聞 森 朋子 藤沢 礼央 坪内 健
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	古俣 寛隆
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	椎野亜紀夫
コンピュータグラフィックス	講義+演習・30時間	2年次後期	松永 康佑
環境心理学	講義・30時間	2年次後期	片山めぐみ
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮加容子
3DCG実習 (建築系)	実習・60時間	2年次後期	山田 信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	三谷 篤史
Webプログラミング	講義+演習・30時間	2年次後期	大渕 一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	山田 良
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	金子 晋也
一般構造	講義+演習・30時間	2年次後期	西川 忠
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎藤沢 礼央 ★岸本 幸雄 ★祐川 諭 ★藤原 誠
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内元洋
空間プロダクト	講義+演習・30時間	2年次後期	小宮加容子
プロダクトデザイン II	講義+演習・30時間	2年次後期	三谷 篤史
プログラミング II	講義+演習・30時間	2年次後期	松永 康佑



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
協同デザインII	講義+演習・30時間	2年次後期	伊藤 健世
デザイン総合実習II (建築・環境)	実習・60時間	2年次後期	◎山田 信博 片山めぐみ 坪内 健 椎野亜紀夫 御手洗洋蔵 大島 卓 森 朋子
デザイン総合実習II (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次後期	◎石田 勝也 須之内元洋
デザイン総合実習II (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎石井 雅博 伊藤 健世 矢久保空遥
地域プロジェクトII (応用編)	演習・60時間	2年次・3年次 ・4年次通年	◎藤木 淳 原井 美佳
メディア社会論	講義+演習・30時間	3年次前期	小林 重人
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	金 秀敬
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	森 朋子
建築設備計画	講義+演習・30時間	3年次前期	齊藤 雅也
構造力学I	講義+演習・30時間	3年次前期	西川 忠
ランドスケープアーキテクチュア	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 大島 卓 御手洗洋蔵
空間演出デザイン論	講義+演習・30時間	3年次前期	坪内 健
ユーザーエクスペリエンスデザインI	講義+演習・30時間	3年次前期	伊藤 健世
ヒューマンインターラクションI	演習・30時間	3年次前期	石井 雅博
プログラミングIII	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
ビジュアライゼーションII	講義+演習・30時間	3年次前期	藤木 淳
デザイン総合実習III (建築・環境) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎森 朋子 柿山浩一郎 大島 卓 山田 信博 椎野亜紀夫 細谷 多聞 片山めぐみ 金子 晋也 齊藤 雅也 山田 良 藤澤 礼也
デザイン総合実習III (地域・総合) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎小林 重人 小宮加容子 吉田 彩乃 細谷 多聞 山田 信博 古俣 寛隆 藤澤 礼央
デザイン総合実習III (もの・総合) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎金 秀敬 福田 大年 森 朋子 柿山浩一郎 金子 晋也
デザイン総合実習III (情報・総合) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎松永 康佑 小宮加容子 藤木 淳 藤澤 礼央 細谷 多聞 吉田 彩乃
インターンシップ	実習・60時間	3年次集中	◎藤木 淳 片山めぐみ 須之内元洋 金 秀敬
デザイン展開プロセス	講義+演習・30時間	3年次後期	舛田 聰志
景観デザイン文化論 (3年次開講)	講義・30時間	3年次後期	御手洗洋蔵
構造力学II	講義+演習・30時間	3年次後期	西川 忠
建築構法	講義+演習・30時間	3年次後期	金子 晋也



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	◎西川 忠 ★劉 宏涛
建築生産	講義+演習・30時間	3年次後期	★佐野 天彦
建築法規	講義・30時間	3年次後期	★大場 里樹
地域ブランド構築	講義+演習・30時間	3年次後期	小林 重人
観光デザイン論（3年次開講）	講義+演習・30時間	3年次後期	大島 卓
空間映像表現	演習・30時間	3年次後期	石田 勝也
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎坪内 健 齊藤 雅也 大島 卓
ユーザーエクスペリエンスデザインII	講義+演習・30時間	3年次後期	金 秀敬
ヒューマンインターラクションII	演習・30時間	3年次後期	矢久保空遙
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎柿山浩一郎 石井 雅博 大渕 一博 伊藤 健世 山田 良 大島 卓 金子 晋也 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋 松永 康佑 ◎川村三希子 加藤 依子 高橋 奈美 村松 真澄 守村 洋 鬼塚 美玲 武富貴久子 栗原 知己 田仲 里江 平山 憲吾 吉田 実和
デザイン総合実習IV (人間空間デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎片山めぐみ 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 山田 良 大島 卓 金子 晋也 小林 重人 古俣 寛隆 小宮加容子 御手洗洋蔵 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋 藤沢 礼央 坪内 健
デザイン総合実習IV (人間情報デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎細谷 多聞 石井 雅博 大渕 一博 伊藤 健世 柿山浩一郎 藤木 淳 三谷 篤史 金 秀敬 福田 大年 横溝 賢 松永 康佑 桧田 聰志 矢久保空遙 吉田 彩乃
キャリアデザイン	講義・30時間	3年次後期	◎西川 忠 矢久保空遙
地域プロジェクトIII（発展編）	演習・60時間	3年次・4年次通年	◎藤木 淳 原井 美佳
デザイン英語	講義+演習・30時間	4年次前期	松井 美穂
知的財産権論	講義・30時間	4年次前期	◎須之内元洋 伊藤 健世 ★伊藤 博之 ★岩崎 孝治 ★川上 大雅 ★田中 勝也 ★吉田 聰子 ★渡辺 直行
景観デザイン文化論（4年次開講）	講義・30時間	4年次前期	御手洗洋蔵
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田 良
観光デザイン論（4年次開講）	講義+演習・30時間	4年次前期	大島 卓
起業・経営論	講義・30時間	4年次前期	◎石田 勝也 桧田 聰志 ★大塚 達也 ★北川 陽穂 ★船戸 大輔
ユーザーエクスペリエンスデザインIII	講義+演習・30時間	4年次前期	細谷 多聞



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
ビジュアライゼーションIII	講義+演習・30時間	4年次前期	◎吉田 彩乃			
卒業研究I (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎坪内 健 西川 忠 片山めぐみ 古俣 寛隆 森 朋子 須之内元洋	椎野亜紀夫 山田 良 金子 晋也 小宮加容子 山田 信博 藤沢 礼央	齊藤 雅也 大島 卓 小林 重人 御手洗洋蔵 石田 勝也	
卒業研究I (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎三谷 篤史 柿山浩一郎 金 秀敬 松永 康佑 吉田 彩乃	石井 雅博 藤木 淳 福田 大年 舛田 聰志	大渕 一博 細谷 多聞 横溝 賢 矢久保空遙	
卒業研究II ※前期履修 (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎三谷 篤史 柿山浩一郎 金 秀敬 松永 康佑 吉田 彩乃	石井 雅博 藤木 淳 福田 大年 舛田 聰志	大渕 一博 細谷 多聞 横溝 賢 矢久保空遙	
卒業研究I ※後期履修 (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎三谷 篤史 柿山浩一郎 金 秀敬 松永 康佑 吉田 彩乃	石井 雅博 藤木 淳 福田 大年 舛田 聰志	大渕 一博 細谷 多聞 横溝 賢 矢久保空遙	
卒業研究II (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎小宮加容子 西川 忠 片山めぐみ 古俣 寛隆 山田 信博 藤沢 礼央	椎野亜紀夫 山田 良 金子 晋也 御手洗洋蔵 石田 勝也 坪内 健	齊藤 雅也 大島 卓 小林 重人 森 朋子 須之内元洋	
卒業研究II (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎三谷 篤史 柿山浩一郎 金 秀敬 松永 康佑 吉田 彩乃	石井 雅博 藤木 淳 福田 大年 舛田 聰志	大渕 一博 細谷 多聞 横溝 賢 矢久保空遙	
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★中島 宏一			
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫	★岩崎 直人	★越前谷宏紀	
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★佐藤 弥生	★工藤 義衛		
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	★武田 亘明			
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕			
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★苦名 真			
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★守屋 開			
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★岩崎 直人			
博物館実習	実習・90時間 (学外での実習は集中)	4年次前期	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★矢部 和夫	★越前谷宏紀		

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4 看護学部

1) 2024年度時間割

① 1年前期

		月		火	水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)				
1	9:00 ~ 10:30				情報リテラシー I	体のしくみ	
2	10:40 ~ 12:10					自然科学A (科学史)	
3	13:10 ~ 14:40	形態機能学 I	形態機能学 II		英語 I B 英語 I C	英語 I A 英語 I B 英語 I C	生活と文化
4	14:50 ~ 16:20					日本語表現法	表象文化論
5	16:30 ~ 18:00	看護学原論			英語 I B 英語 I C	英語 I A 英語 I B 英語 I C	札幌を学ぶ
6	18:10 ~ 19:40					日本語表現法	哲學と倫理
						英語 I A 英語 I B 英語 I C	英語 I A 英語 I B 英語 I C
						スタートアップ演習	基礎カウンセリング
							基礎カウンセリング
						地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。	

※ 集中講義：看護初期実習 6/3 (月) ~6/7 (金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

② 1年後期

		月	火		水	木	金
			前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学		看護過程論	プレゼンテーション	プレゼンテーション	手話
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論	感染予防論		英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C	宗教と思想
4	14:50 ~ 16:20						文学の世界
5	16:30 ~ 18:00	基礎看護技術論	薬理学		情報リテラシー II	心のしくみ	手話
6	18:10 ~ 19:40						統計の世界
							現代社会論 A (人口・家族)
							現代社会論 D (社会言語学)
							英語 II A 英語 II B 英語 II C
							英語 II A 英語 II B 英語 II C
							英語 II A 英語 II B 英語 II C
							英語 II A 英語 II B 英語 II C
							地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習 I 10/21 (月) ~25 (金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある



(3) 2年前期

		月	火	水		木		金
				前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	
1	9:00 ~ 10:30	精神保健 看護学概論	人間工学	日本国憲法を学ぶ	老年看護学 概論			家族社会学
				ボランティア基礎演習				
				現代社会論B(国際関係)				
2	10:40 ~ 12:10	生命科学	環境保健	実践英語A	医療情報			臨床栄養学
				実践英語B				
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生学	成人看護 援助論	実践英語A	生命倫理			症状マネジメント論
				実践英語B				
4	14:50 ~ 16:20		成人看護 援助論	グループ・ダイナ ミックス				症状マネジメント論
				自然科学B(環境)				
5	16:30 ~ 18:00	疾病治療学B		学部連携基礎論			疾病治療学A	
6	18:10 ~ 19:40						地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。	

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習II 5/20(月)～5/31(金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間と週によって変更する場合がある

(4) 2年後期

		月	火	水		木		金	
				前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		
1	9:00 ~ 10:30	援助の人間 関係論	精神保健 看護援助 論	ジェンダー論	臨床薬理学			社会福祉学	
2	10:40 ~ 12:10	援助の人間 関係論	精神保健 看護援助 論				看護倫理学	地域看護 援助論	
3	13:10 ~ 14:40	感染管理論		中国語 ロシア語	健康とスポーツ		がん看護学 概論	母性看護学 概論	
4	14:50 ~ 16:20	在宅看護学 概論		中国語 ロシア語	韓国語		がん看護学 概論	在宅看護 援助論	
5	16:30 ~ 18:00	臨床心理 学					チーム 医療論	疾病治療学C	
6	18:10 ~ 19:40						地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。		

※ 集中講義：老年看護学臨地実習I 10/28(月)～11/1(金) 成人看護学臨地実習I 11/5(火)～11/15(金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間と週によって変更する場合がある



(5) 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療福祉 行政論Ⅰ		保健統計	
2	10:40 ~ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療福祉 行政論Ⅰ		保健統計	
3	13:10 ~ 14:40	小児看護 援助論		在宅看護 技術論		疫学Ⅰ		リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ~ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00										
6	18:10 ~ 19:40							地域プロジェクトⅠ／ 地域プロジェクトⅡ／ 地域プロジェクトⅢ ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。			

※ 集中講義：老年看護学臨地実習Ⅰ 5/13（月）～5/17（金）

成人看護学臨地実習Ⅱ・精神看護学臨地実習・在宅看護学臨地実習 6/17（月）～7/26（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある。

(6) 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生 看護援助 論(前半Ⅰ / 後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
2	10:40 ~ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生 看護援助 論(前半Ⅰ / 後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護援助 論(前半Ⅰ / 後半Ⅱ)						小児看護 技術論		重症集中 ケア	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護援助 論(前半Ⅰ / 後半Ⅱ)		学部連携演習				小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	救急看護学		学部連携演習				放射線医療 管理論		母性看護 技術論	
6	18:10 ~ 19:40							地域プロジェクトⅠ／ 地域プロジェクトⅡ／ 地域プロジェクトⅢ ※実際の実施日時は、各指導教員による調整。			

※ 集中講義：母性看護学臨地実習・小児看護学臨地実習・老年看護学臨地実習Ⅱ 11/18（月）～12/13（金）、
1/20（月）～1/31（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある



(7) 4年前期

		月		火		水		木	金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	国際保健学	パリアティブ ケア			看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
2	10:40 ~ 12:10	現代専門 職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護技術論		医療安全管 理論		看護情報学			医療経営学	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護技術論		寒冷地医療					ペリネイタル ケア	
5	16:30 ~ 18:00								国際看護学	
6	18:10 ~ 19:40							地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指 導教員による調整。		

※ 集中講義：公衆衛生看護学臨地実習 I・II 6/10（月）～7/26（金）

ヘルスケアマネジメント実習 9/24（火）～10/11（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

(8) 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論 II
2	10:40 ~ 12:10			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論 II
3	13:10 ~ 14:40					疫学 II
4	14:50 ~ 16:20					
5	16:30 ~ 18:00					
6	18:10 ~ 19:40				地域プロジェクトI/ 地域プロジェクトII/ 地域プロジェクトIII ※実際の実施日時は、各指 導教員による調整。	

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2023年度以降入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数			配当年次(◎は集中で開講)								卒業 要件 単位	
				必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
導入科目	I1D600	スタートアップ演習	演習	2			○									2単位
	I1D601	哲学と倫理	講義	2			○									12単位 以上
	I1D602	宗教と思想	講義	2				○								
	I1D603	芸術文化論	講義	2				○								
	I1D604	表象文化論	講義	2				○								
	I2D605	ジェンダー論	講義	2									○			
	I1D606	文学の世界	講義	2				○								
科学系科目	I1D607	生活と文化	講義	2			○									12単位 以上
	I1D608	心のしくみ	講義	2				○								
	I1D609	体のしくみ	講義	2			○									
	I3D610	健康とスポーツ	講義	2									○			
	I1D611	自然科学A(科学史)	講義	2			○									
	I2D612	自然科学B(環境)	講義	2								○				
	I1D613	自然科学C(動物の生態)	講義	2				○								
学際教育科目	I1D614	現代社会論A(人口・家族)	講義	2				○								6単位
	I2D615	現代社会論B(国際関係)	講義	2								○				
	I1D616	現代社会論C(経済)	講義	2				○								
	I1D617	現代社会論D(社会言語学)	講義	2				○								
	I1D618	現代社会論E(情報科学)	講義	2				○								
	I2D619	日本国憲法を学ぶ	講義	2							○					
	I1D620	札幌を学ぶ	講義	2			○									
技術・スキル系科目	I3D621	統計の世界	講義	2				○								6単位
	I1D701	英語ⅠA	演習	1				○								
	I1D702	英語ⅠB	演習	1				○								
	I1D703	英語ⅠC	演習	1			○									
	I1D704	英語ⅡA	演習	1				○								
	I1D705	英語ⅡB	演習	1				○								
	I1D706	英語ⅡC	演習	1				○								
情報技術	I2D707	実践英語A	演習	1						○						2単位 以上
	I2D708	実践英語B	演習	1						○						
	I2D709	韓国語	演習	1							○					
	I3D710	中国語	演習	1							○					
	I3D711	ロシア語	演習	1							○					
	I5D712	その他言語I(他大学履修)注3	演習	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	I5D713	その他言語II(他大学履修)注3	演習	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コミュニケーション	I1D714	情報リテラシーI	演習	1				○								2単位
	I1D715	情報リテラシーII	演習	1					○							
	I1D716	日本語表現法	演習	1				○								
	I1D717	手話	演習	1					○							
	I1D718	グループ・ダイナミックス	演習	1						○						
	I1D719	基礎カウンセリング	演習	1				○								
	I1D720	プレゼンテーション	演習	1					○							
専門教育科目	I1D721	ボランティア基礎演習	演習	1						○						5単位 以上
	N1E201	形態機能学I	演習	2				○								
	N1E202	形態機能学II	演習	2				○								
	N2E203	生命科学	講義	1						○						
	N2E204	生命倫理	講義	1						○						
	N2E205	環境保健	講義	1						○						
	N2E206	人間工学	講義	1						○						
専門基礎科目	N1E207	薬理学	講義	2					○							12単位
	N2E208	臨床薬理学	演習	1							○					
	N2E209	臨床栄養学	演習	1						○						
	N1E210	病理病態学	演習	2					○							
	N2E211	疾病治療学概論	演習	1						○						
	N2E212	疾病治療学A	演習	1						○						
	N2E213	疾病治療学B	演習	1						○						
保健と医療と福祉	N2E214	疾病治療学C	演習	1							○					9単位 以上
	N1E215	感染予防論	講義	2						○						
	N2E216	公衆衛生学	講義	1							○					
	N2E217	社会福祉学	講義	1								○				
	N2E218	家族社会学	講義	1								○				
	N2E219	チーム医療論	講義	1								○				
	N2E220	感染管理論	講義	1									○			
	N2E221	臨床心理学	講義	1									○			
	N3E222	保健医療福祉行政論	講義	1										○		
	N3E223	保健統計	講義	2										○		
	N3E224	疫学	講義	1											○	
	N2E225	医療情報	講義	1												



専門教育科目	区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業 要件 単位	
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基盤となるもの	ヒューマンケアの基本	N1E301	看護学原論	講義	1			○									6単位
		N1E302	看護理論	講義	1				○								
		N2E303	援助の人間関係論	演習	1						○						
		N1E304	人間発達援助論	演習	1			○									
		N1E305	看護初期実習	実習	1			◎									
		N2E306	看護倫理学	講義	1					○							
	看護の基本的展開	N1E307	看護過程論	演習	1				○								10単位
		N1E308	看護観察技術論	演習	1			○									
		N2E309	症状マネジメント論	演習	2					○							
		N1E310	基礎看護技術論	演習	2				○								
専門科目	小児	N1E311	基礎看護学臨地実習I	実習	1			◎									5単位
		N2E312	基礎看護学臨地実習II	実習	2				◎								
		N3E313	研究方法論	演習	1						○						
	母性	N2E314	小児看護学概論	講義	1						○						5単位
		N3E315	小児看護援助論	演習	1						○						
		N3E316	小児看護技術論	演習	1							○					
	成人	N3E317	小児看護学臨地実習	実習	2							◎					7単位
		N2E318	母性看護学概論	講義	1						○						
		N3E319	母性看護援助論	演習	1						○						
看護レベルに応じて生活を援助するもの	老年	N3E320	母性看護技術論	演習	1							○					5単位
		N3E321	母性看護学臨地実習	実習	2							◎					
		N2E322	成人看護学概論	講義	1						○						
	精神	N2E323	成人看護援助論	演習	1						○						5単位
		N3E324	成人看護技術論	演習	1							○					
		N2E325	成人看護学臨地実習I	実習	2						◎						
	在宅	N3E326	成人看護学臨地実習II	実習	2						◎						5単位
		N2E327	老年看護学概論	講義	1						○						6単位
		N2E328	老年看護援助論	演習	1						○						
専門科目	健診問題への対応	N3E329	老年看護技術論	演習	1							○					5単位以上
		N2E330	老年看護学臨地実習I	実習	1						◎						
		N3E331	老年看護学臨地実習II	実習	2						◎						
	精神	N2E332	精神保健看護学概論	講義	1						○						5単位
		N2E333	精神保健看護援助論	演習	1						○						
		N3E334	精神保健看護技術論	演習	1							○					
	在宅	N3E335	精神保健看護学臨地実習	実習	2							◎					5単位
		N2E336	在宅看護学概論	講義	1						○						
		N2E337	在宅看護援助論	演習	1						○						
専門科目	地域看護	N3E338	在宅看護技術論	演習	1							○					4単位
		N3E339	在宅看護学臨地実習	実習	2							◎					
		N3E340	リハビリテーション看護学	演習	1							○					
	地域看護	N2E341	がん看護学	演習	1							○					4単位
		N3E342	認知症ケア	演習	1							○					
		N3E343	透析ケア	講義	1							○					
専門科目	地域看護	N3E344	重症集中ケア	講義	1							○					4単位
		N3E345	救急看護学	講義	1							○					
		N3E346	放射線医療管理論	講義	1							○					
	地域看護	N4E347	ペリネイタルケア	講義	1							○					4単位
		N4E348	エンド・オブ・ライフケア	講義	1							○					
		N4E349	寒冷地医療	講義	1							○					
専門科目	地域看護	N1E401	地域看護学概論	講義	1						○						4単位
		N2E402	地域看護援助論	演習	1							○					
		N3E403	地域看護技術論	演習	1							○					
	地域看護	N4E404	地域看護学臨地実習	実習	1							◎					4単位
		N4E405	看護管理学	演習	1										○		
		N3E406	看護教育学	講義	1										○		
専門科目	地域看護	N4E407	卒業研究	演習	4										○	○	12単位以上
		N4E408	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎	
		N4E409	看護情報学	講義	1										○		
	地域看護	N4E410	インターナーシップ	演習	1										○	○	4単位
		N4E411	災害看護学	講義	1											○	
		N4E412	国際看護学	講義	1											○	
専門科目	地域看護	N4E413	国際保健学	講義	1											○	4単位
		N4E414	医療経営学	講義	1											○	
		N4E415	医療安全管理論	講義	1											○	
	地域看護	N4E416	現代専門職論	講義	1											○	4単位
		N5E417	地域プロジェクトI (基礎編)	注2					2	○	○	○	○				
		N5E418	地域プロジェクトII (応用編)	注2					2		○	○	○		○	○	
学部連携	学部連携	N5E419	地域プロジェクトIII (発展編)	注2					2					○	○	○	4単位
		N2E420	学部連携基礎論	講義	2							○					
		N3E421	学部連携演習	演習	2										○		

注1) ○は集中

注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。



2022年度入学生用

区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次(◎は集中で開講)						卒業要件単位		
				必修	選択	保健師コース	自由	1年次	2年次	3年次	4年次	前期	後期	前期	後期	
	導入科目	I1D600	スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
科学系科目	文化に対する理解	I1D601	哲学と倫理	講義		2		○								12単位以上
		I1D602	宗教と思想	講義		2			○							
		I1D603	芸術文化論	講義		2			○							
		I1D604	表象文化論	講義		2		○								
		I2D605	ジェンダー論	講義		2				○						
		I1D606	文学の世界	講義		2			○							
		I1D607	生活と文化	講義		2		○								
学際教育科目	人間と自然に対する理解	I1D608	心のしくみ	講義		2			○							12単位以上
		I1D609	体のしくみ	講義		2			○							
		I3D610	健康とスポーツ	講義		2					○					
		I1D611	自然科学A(科学史)	講義		2		○								
		I2D612	自然科学B(環境)	講義		2				○						
		I1D613	自然科学C(動物の生態)	講義		2			○							
		I1D614	現代社会論A(人口・家族)	講義		2			○							
技術・スキル系科目	社会に対する理解	I2D615	現代社会論B(国際関係)	講義		2				○						6単位
		I1D616	現代社会論C(経済)	講義		2			○							
		I1D617	現代社会論D(社会言語学)	講義		2			○							
		I1D618	現代社会論E(情報科学)	講義		2			○							
		I2D619	日本国憲法を学ぶ	講義		2			○							
		I1D620	札幌を学ぶ	講義		2		○								
		I3D621	統計の世界	講義		2			○							
専門教育科目	言語	I1D701	英語ⅠA	演習	1			○								6単位
		I1D702	英語ⅠB	演習	1			○								
		I1D703	英語ⅠC	演習	1			○								
		I1D704	英語ⅡA	演習	1			○								
		I1D705	英語ⅡB	演習	1			○								
		I1D706	英語ⅡC	演習	1			○								
		I2D707	実践英語A	演習	1				○							
専門教育科目	コミュニケーション	I2D708	実践英語B	演習	1				○							2単位以上
		I2D709	韓国語	演習	1					○						
		I3D710	中国語	演習	1				○							
		I3D711	ロシア語	演習	1				○							
		I5D712	その他言語I(他大学履修)注4	演習	1			○	○	○	○	○	○	○	○	
		I5D713	その他言語II(他大学履修)注4	演習	1			○	○	○	○	○	○	○	○	
		I1D714	情報リテラシーI	演習	1			○								
専門教育科目	人間と命	I1D715	情報リテラシーII	演習	1			○								2単位
		I1D716	日本語表現法	演習	1			○								
		I1D717	手話	演習	1			○								
		I1D718	グループ・ダイナミックス	演習	1				○							
		I1D719	基礎カウンセリング	演習	1			○								
		I1D720	プレゼンテーション	演習	1			○								
		I1D721	ボランティア基礎演習	演習	1			○								
専門教育科目	健康と健康障害と予防	N1D201	形態機能学I	演習	2			○								5単位以上
		N1D202	形態機能学II	演習	2			○								
		N2D203	生命科学	講義		1				○						
		N2D204	生命倫理	講義		1				○						
		N2D205	環境保健	講義		1				○						
		N2D206	人間工学	講義		1				○						
		N1D207	薬理学	講義	2				○							
専門教育科目	保健と医療と福祉	N2D208	臨床薬理学	演習	1					○						12単位
		N2D209	臨床栄養学	演習	1					○						
		N1D210	病理病態学	演習	2				○							
		N2D211	疾病治療学概論	演習	1					○						
		N2D212	疾病治療学A	演習	1					○						
		N2D213	疾病治療学B	演習	1					○						
		N2D214	疾病治療学C	演習	1					○						
専門教育科目	保健と医療と福祉	N1D215	感染予防論	講義	2				○							9単位以上(保健師コース11単位以上)
		N2D216	公衆衛生学	演習	1					○						
		N2D217	社会福祉学	講義	1					○						
		N2D218	家族社会学	講義	1					○						
		N2D219	チーム医療論	講義	1					○						
		N2D220	感染管理論	講義	1					○						
		N2D221	臨床心理学	講義	1					○						
専門教育科目	保健と医療と福祉	N1D222	地域保健学概論	講義	1				○							9単位以上(保健師コース11単位以上)
		N3D223	保健医療福祉行政論I	演習	1						○					
		N4D224	保健医療福祉行政論II	演習	1							○				
		N3D225	保健統計	講義	2							○				
		N3D226	疫学I	講義	1							○				
		N4D227	疫学II	講義	1								○			
		N2D228	医療情報	演習	1								○			



区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数		配当年次 (◎は集中で開講)								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース	自由		1年次		2年次		3年次		4年次	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基盤となるもの	ヒューマンケアの基本	N1D301	看護学原論	講義	1				○							7単位
		N1D302	看護理論	講義	1				○							
		N2D303	援助的人間関係論	演習	1						○					
		N1D304	人間発達援助論	演習	1				○							
		N1D305	看護初期実習	実習	1				◎							
		N2D306	看護倫理学	講義	1					○						
		N3D307	健康教育指導法	演習	1						○					
	看護的基本的展開	N1D308	看護過程論	演習	1				○							10単位
		N1D309	看護観察技術論	演習	1				○							
		N2D310	症状マネジメント論	演習	2					○						
		N1D311	基礎看護技術論	演習	2				○							
		N1D312	基礎看護学臨地実習I	実習	1				◎							
		N2D313	基礎看護学臨地実習II	実習	2					○						
		N3D314	研究方法論	演習	1						○					
	小児	N2D315	小児看護学概論	講義	1					○						5単位
		N3D316	小児看護援助論	演習	1						○					
		N3D317	小児看護技術論	演習	1						○					
		N3D318	小児看護学臨地実習	実習	2						◎					
	母性	N2D319	母性看護学概論	講義	1					○						5単位
		N3D320	母性看護援助論	演習	1						○					
		N3D321	母性看護技術論	演習	1							○				
		N3D322	母性看護学臨地実習	実習	2							◎				
	成人	N2D323	成人看護学概論	講義	1					○						8単位
		N2D324	成人看護援助論	演習	1					○						
		N3D325	成人看護技術論	演習	1						○					
		N2D326	成人看護学臨地実習I	実習	3					◎						
		N3D327	成人看護学臨地実習II	実習	2					◎						
	老年	N2D328	老年看護学概論	講義	1					○						6単位
		N2D329	老年看護援助論	演習	1					○						
		N3D330	老年看護技術論	演習	1						○					
		N3D331	老年看護学臨地実習I	実習	1						◎					
	精神	N3D332	老年看護学臨地実習II	実習	2						◎					5単位
		N2D333	精神看護学概論	講義	1					○						
		N2D334	精神看護援助論	演習	1					○						
		N3D335	精神看護技術論	演習	1						○					
	在宅	N3D336	精神看護学臨地実習	実習	2						◎					5単位
		N2D337	在宅看護学概論	講義	1						○					
		N2D338	在宅看護援助論	演習	1						○					
		N3D339	在宅看護技術論	演習	1						○					
	健康問題への対応	N3D340	在宅看護学臨地実習	実習	2						○					5単位以上
		N3D341	リハビリテーション看護学	演習	1						○					
		N2D342	がん看護学	演習	1						○					
		N3D343	認知症ケア	演習	1						○					
	コミュニケーションに関するもの	N3D344	透析ケア	講義	1						○					2単位以上 (保健師コース 11単位)
		N3D345	重症集中ケア	講義	1						○					
		N3D346	救急看護学	講義	1						○					
		N3D347	放射線医療管理論	講義	1						○					
	発展・統合に関するもの	N4D348	ペリネイタルケア	講義	1						○					12単位以上 (保健師コース 13単位)
		N4D349	パリアディブケア	講義	1						○					
		N4D350	寒冷地医療	講義	1						○					
		N2D401	公衆衛生看護学概論	講義	1						○					
	学部連携	N3D402	公衆衛生看護援助論I	演習	1						○					4単位
		N3D403	公衆衛生看護援助論II	演習		1					○					
		N4D404	公衆衛生看護技術論	演習		2					○					
		N4D405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1						○					
	学部連携	N4D406	公衆衛生看護学臨地実習I	実習		2					○					4単位
		N4D407	公衆衛生看護学臨地実習II	実習		3					○					
		N4D408	看護管理学	演習	1							○				
		N3D409	看護教育学	講義	1							○				
	学部連携	N4D410	卒業研究	演習	4							○				4単位
		N4D411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3								○			
		N4D412	公衆衛生看護管理論	講義		2							○			
		N4D413	看護情報学	講義	1								○			
	学部連携	N4D414	災害看護学	講義	1								○			4単位
		N4D415	国際看護学	講義	1								○			
		N4D416	国際保健学	講義	1								○			
		N4D417	医療経営学	講義	1								○			
	学部連携	N4D418	医療安全管理論	講義	1								○			4単位
		N4D419	現代専門職論	講義	1								○			
		N5D423	地域プロジェクトI (基礎編) 注2	演習		2	○	○	○	○						4単位
		N5D424	地域プロジェクトII (応用編) 注2	演習		2			○	○	○	○				
	学部連携	N5D425	地域プロジェクトIII (発展編) 注2	演習		2					○	○	○	○		4単位
		N2D422	学部連携基礎論	講義	2						○					
		N3D420	学部連携演習	演習	2							○				

注1) ◎は集中開講科目

注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

※開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



2017年度（編入学生は2019年度）～2021年度（編入学生は2020年度）入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数			配当年次						卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由		1年次		2年次		3年次		4年次
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
導入科目	C1C000	スタートアップ演習	演習	2				○							2単位
教養科目	C1C001	哲学と倫理	講義	2				○							4単位 以上
	C1C002	宗教と思想	講義	2				○							
	C1C003	芸術と文化	講義	2				○							
	C2C004	教育を考える	講義	2						○					
	C2C005	生活と文化	講義	2					○						
	C2C006	ジェンダーと文化	講義	2						○					
	C1C007	心のしくみ	講義	2				○							4単位 以上
	C1C008	体のしくみ	講義	2				○							
	C1C009	人間関係を考える	講義	2				○							
	C2C010	健康とスポーツ	講義	2						○					
共通教育科目	C2C011	環境を考える	講義	2					○						4単位 以上
	C1C012	自然科学を学ぶ	講義	2				○							
	C1C013	動物のくらし	講義	2				○							
	C1C014	現代社会と家族	講義	2				○							
	C2C015	現代社会と国際関係	講義	2					○						
	C1C016	現代社会と経済	講義	2				○							4単位 以上
	C1C017	札幌を学ぶ	講義	2				○							
	C2C018	ボランティア活動を考える	講義	2					○						
	C1C019	統計の世界	講義	2				○							
	C2C020	日本国憲法を学ぶ	講義	2					○						
コミュニケーション科目	C1C101	英語IA	演習	1				○							8単位 以上
	C1C102	英語IB	演習	1				○							
	C1C103	英語IC	演習	1				○							
	C1C104	英語IIA	演習	1				○							
	C1C105	英語IIB	演習	1				○							
	C1C106	英語IIC	演習	1				○							4単位 以上
	C2C107	実践英語A	演習	1					○						
	C2C108	実践英語B	演習	1					○						
	C2C109	韓国語	演習	1						○					
	C2C110	中国語	演習	1						○					
専門基礎科目	C2C111	ロシア語	演習	1						○					4単位 以上
	C1C112	日本語表現法	演習	1				○							
	C1C113	プレゼンテーション	演習	1				○							
	C1C114	基礎カウンセリング	演習	1				○							
	C1C115	対人コミュニケーション	演習	1				○							
	C2C116	グループ・ダイナミックス	演習	1					○						5単位 以上
	C1C117	手話	演習	1				○							
	C1C118	情報リテラシーI	演習	1				○							
	C1C119	情報リテラシーII	演習	1				○							
	N1C201	形態機能学I	演習	2				○							12単位
専門教育科目	N1C202	形態機能学II	演習	2				○							
	N2C203	生命科学	講義	1						○					
	N2C204	生命倫理	講義	1						○					
	N2C205	環境保健	講義	1						○					
	N2C206	人間工学	講義	1						○					
	N1C207	薬理学	講義	2					○						9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)
	N2C208	臨床薬理学	演習	1						○					
	N2C209	臨床栄養学	演習	1						○					
	N1C210	病理病態学	演習	2					○						
	N2C211	疾病治療学概論	演習	1						○					
保健と医療と福祉	N2C212	疾病治療学A	演習	1						○					9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)
	N2C213	疾病治療学B	演習	1						○					
	N2C214	疾病治療学C	演習	1						○					
	N1C215	感染予防論	講義	2						○					
	N2C216	公衆衛生学	演習	1						○					
	N2C217	社会福祉学	講義	1						○					
	N2C218	家族社会学	講義	1						○					
	N2C219	チーム医療論	講義	1						○					
	N2C220	感染管理論	講義	1						○					
	N2C221	臨床心理学	講義	1						○					
	N1C222	地域保健学概論	講義	1					○						
	N3C223	保健医療福祉行政論I	演習	1							○				
	N4C224	保健医療福祉行政論II	演習	1								○			
	N3C225	保健統計	講義	2							○				
	N3C226	疫学I	講義	1							○				
	N4C227	疫学II	講義	1								○			
	N2C228	医療情報	演習	1							○				



区分	科目 ナンパリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次								卒業 要件 単位	
				必修	選択	保健師 コース必 修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1C301	看護学原論	講義	1			○									7単位
		N1C302	看護理論	講義	1				○								
		N2C303	援助の人間関係論	演習	1					○							
		N1C304	人間発達援助論	演習	1			○									
		N1C305	看護初期実習	実習	1			○									
		N2C306	看護倫理学	講義	1				○								
		N3C307	健康教育指導法	演習	1				○								
	看護の基本的展開	N1C308	看護過程論	演習	1				○								10単位
		N1C309	看護観察技術論	演習	1			○									
		N2C310	症状マネジメント論	演習	2				○								
専門教育科目	小児	N1C311	基礎看護技術論	演習	2			○									5単位
		N1C312	基礎看護学臨地実習I	実習	1			○									
		N2C313	基礎看護学臨地実習II	実習	2			○									
		N3C314	研究方法論	演習	1				○								
	母性	N2C315	小児看護学概論	講義	1				○								5単位
		N3C316	小児看護援助論	演習	1				○								
		N3C317	小児看護技術論	演習	1					○							
	成人	N3C318	小児看護学臨地実習	実習	2					○							8単位
		N2C323	母性看護学概論	講義	1					○							
		N3C320	母性看護援助論	演習	1					○							
	老年	N3C321	母性看護技術論	演習	1						○						5単位
		N3C322	母性看護学臨地実習	実習	2						○						
		N2C328	老年看護学概論	講義	1					○							
	精神	N2C329	老年看護援助論	演習	1					○							5単位
		N3C330	老年看護技術論	演習	1						○						
		N3C331	老年看護学臨地実習I	実習	1						○						
	在宅	N3C332	老年看護学臨地実習II	実習	2						○						5単位
		N2C333	老年看護学概論	講義	1						○						
		N2C334	老年看護援助論	演習	1						○						
	健康問題への対応	N3C335	老年看護技術論	演習	1							○					5単位以上
		N3C336	老年看護学臨地実習	実習	2							○					
		N2C337	在宅看護学概論	講義	1							○					
	コムニティケアに関するもの	N2C338	在宅看護援助論	演習	1							○					2単位以上 (保健師コース10単位)
		N3C339	在宅看護技術論	演習	1							○					
		N3C340	在宅看護学臨地実習	実習	2							○					
発展・統合に関するもの	健康問題への対応	N3C341	リハビリテーション看護学	演習	1							○					12単位以上
		N2C342	がん看護学	演習	1							○					
		N3C343	認知症ケア	演習	1							○					
		N3C344	透析ケア	講義	1							○					
		N3C345	重症集中ケア	講義	1							○					
	学部連携	N3C346	救急看護学	講義	1							○					4単位
		N3C347	放射線医療管理論	講義	1							○					
		N4C348	ペリネイタルケア	講義	1							○					
		N4C349	パリアティブケア	講義	1							○					
		N4C350	寒冷地医療	講義	1							○					
	学部連携	N2C401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○					4単位
		N3C402	公衆衛生看護援助論I	演習	1							○					
		N3C403	公衆衛生看護援助論II	演習		1						○					
		N4C404	公衆衛生看護技術論	演習		1						○					
		N4C405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1							○					
		N4C406	公衆衛生看護学臨地実習I	実習		2						○					
		N4C407	公衆衛生看護学臨地実習II	実習		3						○					
		N4C408	看護管理学	演習	1							○					
		N3C409	看護教育学	講義	1							○					
		N4C410	卒業研究	演習	4							○					
		N4C411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3							○					
		N4C412	公衆衛生看護管理論	講義		1						○					
		N4C413	看護情報学	講義	1							○					
		N4C414	災害看護学	講義	1							○					
		N4C415	国際看護学	講義	1							○					
		N4C416	国際保健学	講義	1							○					
		N4C417	医療経営学	講義	1							○					
		N4C418	医療安全管理論	講義	1							○					
		N4C419	現代専門職論	講義	1							○					
		N5C423	地域プロジェクトI(基礎編)注2	演習		2	○	○	○	○							4単位
		N5C424	地域プロジェクトII(応用編)注2	演習		2			○	○	○	○	○	○	○	○	
		N5C425	地域プロジェクトIII(発展編)注2	演習		2					○	○	○	○	○	○	

注1) ○は集中

注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。

(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

※開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



② 卒業要件

2023年度以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
学際教育科目	10	16	26
専門教育科目	92	8	100
(専門基礎科目)	(23)	(3)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	102	24	126

2022年度以前入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
学際(共通)教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	103	23	126

3) 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
形態機能学 I	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学 II	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎檜山 明子 松野千代美
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎貝谷 敏子 荒木 奈緒 卯野木 健 奈良間美保 守村 洋
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎矢野祐美子 檜山 明子 加藤 依子 菅原 美樹 高橋 奈美 原井 美佳 本田 光 牧野 夏子 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 武富貴久子 鬼塚 美玲 牧田 靖子 三戸部純子 中平紗貴子
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎吉田 実和 檜山 明子 武富貴久子 鬼塚 美玲 三戸部純子 中平紗貴子
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本 真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越 俊彦 ★廣橋 良彦 ★塙原 智英 ★金関 貴幸 ★久保 輝文 ★村田 憲司
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂 敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎檜山 明子 中平紗貴子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎武富貴久子 檜山 明子 三戸部純子 中平紗貴子 吉田 実和
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎三戸部純子 樋之津淳子 檜山 明子 武富貴久子 矢野祐美子 中平紗貴子 吉田 実和



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
基礎看護学臨地実習 I	実習・45時間	1年次後期	◎武富貴久子 三戸部純子 近藤 圭子 渋谷 友紀 尾立斗志世	樋之津淳子 中平紗貴子 栗原 知己 田仲 里江 澤口 宙人	檜山 明子 吉田 実和 平山 憲吾 西川めぐみ	
地域看護学概論	講義・15時間	1年次後期	★上田 泉			
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1・2年次 通年	◎藤木 淳	原井 美佳		
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★鈴木 健史			
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上 友一			
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健			
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山 明子	三戸部純子	★佐藤 秀一	
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子			
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★丹野 雅也	他		
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★和田 典男	他		
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	◎★永坂 敦	他		
公衆衛生学	講義・15時間	2年次前期	◎★高橋 恵子			
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎丸山 洋平	原井 美香	★黒田 紀子	
医療情報	講義・15時間	2年次前期	◎松野千代美 ★谷 祐児	★佐藤ひとみ ★遠藤 晃	★小笠原克彦	
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎平山 憲吾 牧野 夏子 栗原 知己	川村三希子 村松 真澄 澤口 宙人	菅原 美樹 工藤 京子	
基礎看護学臨地実習 II	実習・90時間	2年次前期	◎三戸部純子 武富貴久子 栗原 知己 渋谷 友紀 田仲 里江	樋之津淳子 中平紗貴子 平山 憲吾 市戸 優人 西川めぐみ	檜山 明子 吉田 実和 尾立斗志世 近藤 圭子 澤口 宙人	
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎川村三希子	卯野木 健		
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎工藤 京子 牧野 夏子 澤口 宙人	川村三希子 栗原 知己	菅原 美樹 平山 憲吾	
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	貝谷 敏子			
精神保健看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村 洋			
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎菊地ひろみ 市戸 優人 丸山 洋平	三戸部純子 ◎三谷 篤史 小林 重人	矢野祐美子 小宮加容子 伊藤 健世	
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★後藤 仁和	★山本明日香	★加納 宏樹	
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	◎★大川 由美	他		
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★新田 雅子			
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野祐美子	松野千代美		
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎貝谷 敏子 ★土佐理恵子	卯野木 健 ★岩佐 梢	牧田 靖子	



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村 洋 ★菊池 浩光			
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎渋谷 友紀 守村 洋 三戸部純子 中平紗貴子 栗原 知己			
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	◎荒木 奈緒 檜山 明子			
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	奈良間美保			
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	荒木 奈緒			
成人看護学臨地実習 I	実習・90時間	2年次後期	◎菅原 美樹 卵野木 健 川村三希子 牧野 夏子 工藤 京子 吉田 実和 近藤 圭子 栗原 知己 平山 憲吾 尾立斗志世 渋谷 友紀 田仲 里江 澤口 宙人			
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳 西川めぐみ ★平野 嘉信 ★高石 恵一			
老年看護学臨地実習 I (2年次:新カリ)	実習・45時間	2年次後期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄 西川めぐみ			
精神保健看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 渋谷 友紀 ★松原 良次 ★細川 嘉之			
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地 ひろみ			
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 尾立斗志世 ★早坂 みどり ★松田 諭			
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村三希子 奈良間美保 平山 憲吾 澤口 宙人			
地域プロジェクトII (応用編)	演習・60時間	2・3・4年次通年	◎藤木 淳 原井 美佳			
保健医療福祉行政論 I	演習・30時間	3年次前期	◎市戸 優人 田仲 里江 本田 光 守村 洋 矢野祐美子 近藤 圭子			
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★槇 洋一			
疫学 I	講義・15時間	3年次前期	★池野多美子			
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎加藤 依子 奈良間美保 牧田 靖子 ★畠山 欣也 ★越田 慎一 ★佐野 仁美			
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎石引かずみ 久保田祥子 ★箱山 聖子			
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎栗原 知己 菅原 美樹 牧野 夏子 工藤 京子 平山 憲吾 澤口 宙人			
成人看護学臨地実習 II	実習・90時間	3年次前期	◎牧野 夏子 卵野木 健 川村三希子 菅原 美樹 工藤 京子 栗原 知己 平山 憲吾 澤口 宙人			
老年看護学臨地実習 I (3年次:旧カリ)	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄 西川めぐみ			
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎渋谷 友紀 守村 洋 伊東健太郎			
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀			
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 尾立斗志世 ★鈴木 英樹			
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 尾立斗志世			



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎卯野木 健 栗原 知己 ★喜納 俊介 ★根木 亨 ★戸田 創 ★佐々木健史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳 西川めぐみ
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 近藤 圭子 市戸 優人
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎卯野木 健 村松 真澄 武富貴久子 ★平 紀子
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎牧田 靖子 奈良間美保 加藤 依子 ★能登奈々枝 ★高野 良子
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎牧田 靖子 奈良間美保 加藤 依子
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎久保田祥子 石引かずみ
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎石引かずみ 荒木 奈緒 久保田祥子
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄 西川めぐみ
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎西川めぐみ 貝谷 敏子 原井 美佳 村松 真澄
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎牧野 夏子 西川めぐみ ★小山 貴也 ★宮腰 麻矢
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹 栗原 知己 ★高橋 正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 牧野 夏子 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★中田 健生 ★神島 保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎市戸 優人 本田 光 田仲 里江 近藤 圭子 ★國澤しおり ★栗原南海子
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 本田 光 近藤 圭子 市戸 優人
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎檜山 明子 中平紗貴子
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎川村三希子 村松 真澄 守村 洋 鬼塚 美玲 加藤 依子 武富貴久子 高橋 奈美 吉田 実和 栗原 知己 平山 憲吾 田仲 里江 ◎柿山浩一郎 大渕 一博 須之内元洋 山田 良 石田 勝也 石井 雅博 金子 晋也 松永 康佑 山田 信博 大島 卓 伊藤 健世
地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習・60時間	3・4年次 通年	◎藤木 淳 原井 美佳
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎牧田 靖子 ★黒田 紀子
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村三希子
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井 美佳 近藤 圭子 ★山田 康介 ★高石 恵一
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤 圭子 市戸 優人 田仲 里江



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員				
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田 光 田仲 里江	市戸 優人	近藤 圭子		
公衆衛生看護学臨地実習 I	実習・90時間	4年次前期	◎田仲 里江 近藤 圭子	本田 光	市戸 優人		
公衆衛生看護学臨地実習 II	実習・135時間	4年次前期	◎本田 光 田仲 里江	市戸 優人	近藤 圭子		
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎松野千代美	矢野祐美子	鬼塚 美玲		
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	★佐藤ひとみ				
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎鬼塚 美玲	田仲 里江	★岩本 満美		
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	★スードイ神崎 和代				
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★千葉 逸朗				
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎鬼塚 美玲 ★千葉美恵子	松野千代美	矢野祐美子		
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎矢野祐美子 鬼塚 美玲	松野千代美	檜山 明子		
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津淳子 ★釣部 公映 ★越智 文奈	松野千代美 ★木村 詩 ★田中 聖美	★高橋久美子		
保健医療福祉行政論 II	演習・30時間	4年次後期	◎市戸 優人 田仲 里江	本田 光 福田 大年	近藤 圭子 ★藪谷 祐介		
疫学 II	講義・15時間	4年次後期	★喜多 歳子				
ヘルスケアマネジメント実習	実習・135時間	4年次後期	◎鬼塚 美玲 三戸部純子 矢野祐美子 菅原 美樹 加藤 依子 守村 洋	檜山 明子 中平紗貴子 村松 真澄 牧野 夏子 牧田 靖子 伊東健太郎	武富貴久子 松野千代美 原井 美佳 工藤 京子 高橋 奈美 伊東健太郎		
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎市戸 優人	本田 光	近藤 圭子		
卒業研究	演習・120時間	4年次通年	◎檜山 明子 貝谷 敏子 奈良間美保 菅原 美樹 牧野 夏子 伊東健太郎 武富貴久子 矢野祐美子 尾立斗志世 渋谷 友紀 平山 憲吾	荒木 奈緒 川村三希子 松野千代美 高橋 奈美 村松 真澄 鬼塚 美玲 牧田 靖子 中平紗貴子 栗原 知己 田仲 里江 吉田 実和	卯野木 健 菊地ひろみ 加藤 依子 原井 美佳 守村 洋 工藤 京子 三戸部純子 市戸 優人 近藤 圭子 西川めぐみ 澤口 宙人		

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	2024年6月4日～6日	医療機関	126名
		老人福祉センター	86名
		健診センター、その他	46名
基礎看護学臨地実習Ⅰ	2024年10月21日～24日	医療機関	344名
基礎看護学臨地実習Ⅱ	2024年5月20日～31日	医療機関	870名
成人看護学臨地実習Ⅰ	2024年11月5日 ～2024年11月15日	医療機関	775名
老年看護学臨地実習Ⅰ (3年次)：旧カリキュラム	2024年5月14日～16日	老人福祉センター	83名
		老人クラブ	83名
		介護老人保健施設、その他	83名
老年看護学臨地実習Ⅰ (2年次)：新カリキュラム	2024年10月29日～31日	老人福祉センター	22名
		老人クラブ	66名
		介護老人保健施設、その他	176名
成人看護学臨地実習Ⅱ	2024年6月17日～7月26日	医療機関	811名
精神看護学臨地実習	2024年6月17日～8月23日	医療機関	427名
		社会福祉施設、その他	212名
在宅看護学臨地実習	2024年6月17日～7月26日	訪問看護ステーション、その他	553名
母性看護学臨地実習	2024年11月18日 ～2025年1月31日	医療機関	765名
小児看護学臨地実習	2024年11月18日 ～2025年1月31日	医療機関	528名
		保育所	252名
老年看護学臨地実習Ⅱ	2024年11月19日 ～2025年1月30日	医療機関	413名
		介護老人保健施設	168名
公衆衛生看護学臨地実習 Ⅰ・Ⅱ	2024年6月18日～7月25日	保健所・保健センター	570名
		事業所	90名
		教育機関	60名
		児童会館	60名
ヘルスケアマネジメント 実習	2024年9月24日～10月10日	医療機関	1,014名
		介護老人保健施設	52名



5 デザイン研究科

1) 2024年度時間割

① 前期

		月	火	水	木	金	土
		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生
1	9:00 ~ 10:30			認知・感性 科学特論		建築構造デ ザイン特論	
2	10:40 ~ 12:10			景観デザイ ン特論		メディアプロ デュース特論	
3	13:10 ~ 14:40	環境マネジ メント特論		メカトニク ス特論		形状情報処 理特論	製品造形特論 少子高齢社 会特論
4	14:50 ~ 16:20	環境共生デ ザイン特論				インタラク ションデザ イン特論	地域創成デ ザイン特別 セミナーA 連携プロジェ クト演習
5	16:30 ~ 18:00	建築計画特論		インターンシップ I (事前講義)			地域創成デ ザイン特別 セミナーB
6	18:10 ~ 19:40	デザイン 研究法	人間空間デ ザイン研究法	人間情報デ ザイン研究法	デザイン特論		地域プロジェ クト演習
7	19:50 ~ 21:20						

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習および博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期
は担当教員により異なる。

※製品デザイン特論は2024年度開講なし

② 後期

		月	火	水	木	金	土
		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ~ 10:30			地域環境評 価特論		インタフェースデザイン特 論	建築環境学 特論 健康福祉政 策特論
2	10:40 ~ 12:10	ビジュアルデ ザイン特論		製品評価特論		コンピュテショナル・アー ト特論	デザインマネ ジメント特論 地域経済政 策特論
3	13:10 ~ 14:40	地域ブランド 構築特論					地域イノベ ーション特論 ヒューマニ ティ特論
4	14:50 ~ 16:20	日本建築史 特論				映像デザイン特論	連携プロジェ クト演習
5	16:30 ~ 18:00	現代芸術特 論				感性価値特論	
6	18:10 ~ 19:40		人間空間デ ザイン特講				
7	19:50 ~ 21:20		人間情報デ ザイン特講				



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

<博士前期課程>

2024年度以降入学生用

科目区分	授業科目の名称	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
			必修	選択	自由	履修モデル名	履修モデル名	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
	建築・環境デザイン					建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
	研究テーマ例					研究テーマ例	研究テーマ例	研究テーマ例	研究テーマ例
	高質な建築・都市空間や 自然と共に存する地域環境の デザインに関する研究					これからの社会を提案する まちづくりや地域コミュニケーション デザインに関する研究	製品インターフェース デザインのユーザビリティに関する研究	認知科学に基づくウェブ サイトのインターフェーション デザインの研究	
研究科連携科目	国際関係特論	1・2 前	2					△	(△)
	少子高齢社会特論	1・2 前	2			(△)	(△)		
	健康福祉政策特論	1・2 後	2						
	地域経済政策特論	1・2 後	2			△	(△)		
	ヒューマニティ特論	1・2 後	2					(△)	(△)
	コミュニケーション特論	1・2 前	2			(△)	△	(△)	△
	連携プロジェクト演習	1 通	2			△	△	△	△
	小計 (7科目)	-	-	14	-			4単位以上	
基本科目	デザイン特論	1 前	2			◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	1 前	2			△	(△)	△	(△)
	デザインマネジメント特論	1 後	2			(△)	△	(△)	△
	小計 (3科目)	-	2	4	-			4単位以上	
専門教育科目	建築計画特論	1・2 前	2			△ ■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	1・2 後	2			△ ■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	1・2 前	2			△ ■			
	日本建築史特論	1・2 後	2			(△)			
	景観デザイン特論	1・2 前	2			△	(△)		
	地域環境評価特論	1・2 後	2			(△)	△		
	環境共生デザイン特論	1・2 前	2			△ ■	(△)		
	環境マネジメント特論	1・2 前	2			(△)	△		(△)
	現代芸術特論	1・2 後	2			(△)	△		
	メディアプロデュース特論	1・2 前	2				△		(△)
	地域ブランド構築特論	1・2 後	2				△		
	地域イノベーション特論	1・2 後	2			(△)	△		(△)
	製品造形特論	1・2 前	2					(△)	
	製品評価特論	1・2 後	2					△	(△)
	メカトロニクス特論	1・2 前	2					△	(△)
	インターフェースデザイン特論	1・2 後	2				(△)	△	(△)
	製品デザイン特論 注	1・2 前	2					△	(△)
	感性価値特論	1・2 後	2				(△)	(△)	△
	認知・感性科学特論	1・2 前	2			(△)		(△)	△
	インターラクションデザイン特論	1・2 前	2					△	△
	形状情報処理特論	1・2 前	2					(△)	
	映像デザイン特論	1・2 後	2					(△)	△
	ビジュアルデザイン特論	1・2 後	2						(△)
	コンピュテーションナル・アート特論	1・2 後	2			(△)		(△)	△
	デザイン特別演習	1 前・後	2			◎ ■	◎	◎	◎
	小計 (25科目)	-	2	48	-			12単位以上	
実践科目	地域プロジェクト演習	2 前	2			◎ ■	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前	2			△	△	△	△
	地域創成デザイン特別セミナーB	2 前	2				△	△	△
	インターンシップ I	1・2 集中	2			△ ■		△	
	インターンシップ II	1・2 集中		4		△ ■			
修了研究	小計 (5科目)	-	2	6	4			4単位以上	
	特別研究	1~2 通	6	-	-	◎	◎	◎	◎
	小計 (1科目)	-	6	-	-			6単位	
	合計 (41科目)	-	12	72	4			30単位以上	

◎: 必修科目 △: 推奨される選択科目 (△) : 選択科目の組み合わせ候補 (研究課題によって選択)

■は一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目 (8科目・18単位からインターンシップ II を含む16単位以上の履修が必要となります)
※「建築・環境デザイン」履修モデルは34単位以上が必要です。

注) 製品デザイン特論は2024年度開講しません。



2023年度入学生用

科目区分	授業科目の名称	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
			必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
						建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
研究科連携科目	国際関係特論	1・2 前		2		研究テーマ例			研究テーマ例
	少子高齢社会特論	1・2 前		2		高質な建築・都市空間や 自然と共に存する地域環境の デザインに関する研究			製品インターフェース デザインのユーザ ビリティに関する研究
	健康福祉政策特論	1・2 後		2		これから社会を推進する まちづくりや地域コミュニ ティデザインに関する研究			認知科学に基づくウェブ サイトのインターラクション デザインの研究
	地域経済政策特論	1・2 後		2		△	(△)		
	ヒューマニティ特論	1・2 後		2				(△)	(△)
	コミュニケーション特論	1・2 前		2		(△)	△	(△)	△
	連携プロジェクト演習	1 通		2		△	△	△	△
基本科目	小計 (7科目)	-	-	14	-	4単位以上			
	デザイン特論	1 前	2			◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	1 前		2		△	(△)	△	(△)
	デザインマネジメント特論	1 後		2		(△)	△	(△)	△
専門教育科目	小計 (3科目)	-	2	4	-	4単位以上			
	建築計画特論	1・2 前		2		△ ■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	1・2 後		2		△ ■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	1・2 前		2		△ ■			
	日本建築史特論	1・2 後		2		(△)			
	景観デザイン特論	1・2 前		2		△	(△)		
	地域環境評価特論	1・2 後		2		(△)	△		
	環境共生デザイン特論	1・2 前		2		△ ■	(△)		
	環境マネジメント特論	1・2 前		2		(△)	△		(△)
	現代芸術特論	1・2 後		2		(△)	△		
	メディアプロデュース特論	1・2 前		2			△		(△)
	地域ブランド構築特論	1・2 後		2			△		
	製品造形特論	1・2 前		2				(△)	
	製品評価特論	1・2 後		2				△	(△)
	メカトロニクス特論	1・2 前		2				△	(△)
	インターフェースデザイン特論	1・2 後		2			(△)	△	(△)
	製品デザイン特論	注 1・2 前		2				△	(△)
	感性価値特論	1・2 後		2			(△)	(△)	△
	認知・感性科学特論	1・2 前		2		(△)		(△)	△
	インターラクションデザイン特論	1・2 前		2				△	△
	形状情報処理特論	1・2 前		2				(△)	
	映像デザイン特論	1・2 後		2				(△)	△
	ビジュアルデザイン特論	1・2 後		2					(△)
	コンピュテーションナル・アート特論	1・2 後		2		(△)		(△)	△
	デザイン特別演習	1 前・後	2			◎ ■	◎	◎	◎
	小計 (24科目)	-	2	46	-	12単位以上			
実践科目	地域プロジェクト演習	2 前	2			◎ ■	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前		2		△	△	△	△
	地域創成デザイン特別セミナーB	2 前		2			△	△	△
	インターンシップ I	1・2 集中		2		△ ■			
	インターンシップ II	1・2 集中			4	△ ■			
修了研究	小計 (5科目)	-	2	6	4	4単位以上			
	特別研究	1~2 通	6	-	-	◎	◎	◎	◎
	小計 (1科目)	-	6	-	-	6単位			
合計 (40科目)			-	12	70	4	30単位以上		

◎：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補 (研究課題によって選択)

■は一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目 (8科目・18単位からインターンシップ II を含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築・環境デザイン」履修モデルは34単位以上が必要です。

注) 製品デザイン特論は2024年度開講しません。



2019～2022年度入学生用

科目区分	授業科目の名称	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
			必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
						建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
研究テーマ例			研究テーマ例			研究テーマ例			
研究科連携科目	国際関係特論	1・2 前	2			高質な建築・都市空間や 自然と共存する地域環境の デザインに関する研究	これからの社会を提案する まちづくりや地域コミュニ ティデザインに関する研究	製品インターフェース デザインのユーザー ビリティに関する研究	認知科学に基づくウェブ サイトのインターラクション デザインの研究
	少子高齢社会特論	1・2 前	2			(△)	(△)	△	(△)
	健康福祉政策特論	1・2 後	2						
	地域経済政策特論	1・2 後	2			△	(△)		
	ヒューマニティ特論	1・2 後	2					(△)	(△)
	コミュニケーション特論	1・2 前	2			(△)	△	(△)	△
	連携プロジェクト演習	1 通	2			△	△	△	△
	小計 (7科目)	-	-	14	-	4単位以上			
基本科目	デザイン特論	1 前	2			◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	1 前	2			△	(△)	△	(△)
	デザインマネジメント特論	1 後	2			(△)	△	(△)	△
	小計 (3科目)	-	2	4	-	4単位以上			
	建築計画特論	1・2 前	2			△■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	1・2 後	2			△■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	1・2 前	2			△■			
	日本建築史特論	1・2 後	2			(△)			
専門教育科目	景観デザイン特論	1・2 前	2			△	(△)		
	地域環境評価特論	1・2 後	2			(△)	△		
	環境共生デザイン特論	1・2 前	2			△■	(△)		
	環境マネジメント特論	1・2 前	2			(△)	△		(△)
	現代芸術特論	1・2 後	2			(△)	△		
	メディアプロデュース特論	1・2 前	2				△		(△)
	地域ブランド構築特論	1・2 後	2				△		
	製品造形特論	1・2 前	2					(△)	
	製品評価特論	1・2 後	2					△	(△)
	メカトロニクス特論	1・2 前	2					△	(△)
	インターフェースデザイン特論	1・2 後	2				(△)	△	(△)
	製品デザイン特論	1・2 前	2					△	(△)
	感性価値特論	1・2 後	2				(△)	(△)	△
	認知・感性科学特論	1・2 前	2			(△)		(△)	△
	インターラクションデザイン特論	1・2 前	2					△	△
	形状情報処理特論	1・2 前	2					(△)	
	映像デザイン特論	1・2 後	2					(△)	△
	ビジュアルデザイン特論	1・2 後	2						(△)
	コンピュテーションナル・アート特論	1・2 後	2			(△)		(△)	△
	デザイン特別演習	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎
	小計 (24科目)	-	2	46	-	12単位以上			
実践科目	地域プロジェクト演習	2 前	2			◎■	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前	2				△		
	地域創成デザイン特別セミナーB	1・2 前	2						△
	インターンシップI	1・2 集中	2			△■		△	
	インターンシップII	1・2 集中		4		△■			
修了研究	小計 (5科目)	-	2	6	4	4単位以上			
	特別研究	1~2 通	6	-	-	◎	◎	◎	◎
	小計 (1科目)	-	6	-	-	6単位			
合計 (40科目)			-	12	70	4	30単位以上		

◎ : 必修科目 △ : 推奨される選択科目 (△) : 選択科目の組み合わせ候補 (研究課題によって選択)

■ : 一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目 (8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※ 「建築・環境デザイン」履修モデルは34単位以上が必要です。

<博士後期課程>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2				○	
	人間空間デザイン研究法	1前期		2		○		
	人間情報デザイン研究法	1前期		2		○		
	小計 (3科目)	-	2	4	0		-	
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期		2		○		
	人間情報デザイン特講	1後期		2		○		
	博士デザイン特別演習	2前期	2			○		
	小計 (3科目)	-	2	4	0		-	
研究指導科目	博士特別研究I	1通年	2				○	
	博士特別研究II	2通年	2				○	
	博士特別研究III	3通年	4				○	
	小計 (3科目)	-	8	0	0		-	
合計 (9科目)			-	12	8	0		



② 修了要件

<博士前期課程>

科目区分		修了要件
研究科連携科目		4単位以上
専門教育科目	基本科目	4単位以上
	展開科目	人間空間デザイン分野 人間情報デザイン分野
	実践科目	12単位以上
	修了研究	4単位以上
合計		6単位
		30単位以上

「研究科連携科目」から4単位以上、「基本科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「展開科目」から12単位以上（必修2単位を含む）、「実践科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「特別研究」を6単位、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査に合格したものに学位を授与する。

<博士後期課程>

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「展開科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「研究指導科目」から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査に合格したものに学位を授与する。

3) 教育活動

<博士前期課程>

研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スードイ神崎和代 石井 雅博 森 朋子 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ ★町田佳世子
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子 ★今野 好江
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人 丸山 洋平
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	西川 忠 御手洗洋蔵 吉田 彩乃 ◎菊地ひろみ 松野千代美 檜山 明子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



専門教育科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫 細谷 多聞 丸山 洋平 福田 大年	石井 雅博 西川 忠 三谷 篤史 御手洗洋蔵	柿山浩一郎 藤木 淳 山田 良 森 朋子	
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫	柿山浩一郎		
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博			
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 信博			
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	齊藤 雅也			
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	西川 忠			
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	金子 晋也			
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎椎野亜紀夫 御手洗洋蔵			
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	森 朋子			
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	大島 卓			
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	片山めぐみ			
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎 友紀			
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	柿山浩一郎			
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次前期	三谷 篤史			
インターフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	伊藤 健世			
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金 秀敬			
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次前期	石井 雅博			
インターラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎細谷 多聞 小宮加容子			
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	★城間 祥之			
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑			
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	横溝 賢			
コンピュテーションナル・アート特論	講義・30時間	1・2年次後期	藤木 淳			
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	須之内元洋			
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	小林 重人			
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎齊藤 雅也 柿山浩一郎 藤木 淳 山田 良 金子 晋也 古俣 寛隆 御手洗洋蔵 横溝 賢	石井 雅博 椎野亜紀夫 細谷 多聞 大島 卓 金 秀敬 小宮加容子 森 朋子	伊藤 健世 西川 忠 三谷 篤史 片山めぐみ 小林 重人 福田 大年 山田 信博	
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎横溝 賢 齊藤 雅也 藤木 淳 金 秀敬	石井 雅博 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小宮加容子	柿山浩一郎 西川 忠 片山めぐみ 松永 康佑	



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次 前期	◎山田 良 福田 大年	柿山浩一郎	小林 重人	
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎 福田 大年	山田 良	小林 重人	
インターンシップI	実習・90時間	1・2年次 集中	◎森 朋子 西川 忠 片山めぐみ 山田 信博	柿山浩一郎 山田 良 金子 晋也 矢久保空遙	齊藤 雅也 大島 卓 小林 重人	
インターンシップII	実習・180時間	1・2年次 集中	◎森 朋子			
特別研究	演習・90時間	1~2年次 通年	◎齊藤 雅也 柿山浩一郎 藤木 淳 山田 良 金子 晋也 古俣 寛隆 御手洗洋蔵 横溝 賢	石井 雅博 椎野亜紀夫 細谷 多聞 大島 卓 金 秀敬 小宮加容子 森 朋子	伊藤 健世 西川 忠 三谷 篤史 片山めぐみ 小林 重人 福田 大年 山田 信博	

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

＜博士後期課程＞

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫	齊藤 雅也		
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎三谷 篤史	石井 雅博	細谷 多聞	
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎藤木 淳 片山めぐみ	三谷 篤史 金子 晋也	大島 卓 矢久保空遙	
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎山田 信博	小林 重人		
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎藤木 淳	柿山浩一郎		
博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	齊藤 雅也 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子	柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	
博士特別研究I	演習・30時間	1年次通年	齊藤 雅也 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子	柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	
博士特別研究II	演習・30時間	2年次通年	齊藤 雅也 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子	柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	
博士特別研究III	演習・60時間	3年次通年	齊藤 雅也 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子	柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	



6 看護学研究科

1) 2024年度時間割

＜博士前期課程＞

①1年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20	看護理論特論 D401	看護コンサル テーション特論 D402	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支援 看護学特論 D402 がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育 特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
5	16:30 ~ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学 特論	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 小児看護学特論C がん薬物療法看護 特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D402
6	18:10 ~ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学 特論	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支援 看護学特論 D402 小児看護学特論C がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
7	19:50 ~ 21:20	看護理論特論 D401	看護コンサルテー ション特論 D402	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 がん薬物療法看 護特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D401 臨床哲学特論 D402

※「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション 特論 D402	健康福祉政策特論 D402
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護 マネジメント学演習		アドバンスト・フィジカルアセスメント論 D401	連携プロジェクト演習 D401	がん病態治療特論	
				小児看護学演習B	
老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学 特論 (後期)		病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402		
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護 マネジメント学演習		アドバンスト・フィジカルアセスメント論 D401	連携プロジェクト演習 D401	がん病態治療特論	
				小児看護学演習B	
老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学 特論 (後期)		病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402		
		アドバンスト・フィジカルアセスメント論 D401	連携プロジェクト演習 D401	がん病態治療特論	
				小児看護学演習B	



②2年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20					小児看護学特論D	
5	16:30 ～ 18:00	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	在宅看護学特論D 慢性期精神看護学 特論	慢性期精神看護学 演習		在宅看護学特論E	
6	18:10 ～ 19:40	クリティカルケア看護学演習I		がん看護・ 緩和ケア演習 がん薬物療法 看護演習	クリティカルケア看護学演習II		
		クリティカルケア看護学演習I		がん看護・ 緩和ケア演習 がん薬物療法 看護演習	クリティカルケア看護学演習II		
7	19:50 ～ 21:20					在宅看護学特論E	

※「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論 D402	健康福祉政策特論 D402
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント 学演習					
急性期病態管理学 特論 (後期)				小児看護学演習B がん看護学演習II	
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習B 精神看護学演習B 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント 学演習					
急性期病態管理学 特論 (後期)					



<博士後期課程>

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20			後期特別研究ⅠⅡⅢ			
5	16:30 ～ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ～ 19:40			後期特別研究ⅠⅡⅢ			
7	19:50 ～ 21:20			(横断型連携特別演習)			

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※「後期特別研究ⅠⅡⅢ」は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を確定する。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。

木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講				横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					
看護学特講					
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

<博士前期課程>

科目区分	科目ナンバリング	授業科目的名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件	
				必修	選択	自由	講義	演習	実習		
研究科連携科目	C5B701	国際関係特論	1・2 前	2			○			4単位以上	(専門看護師認定希望者8単位以上)
	C5B702	少子高齢社会特論	1・2 前	2			○				
	C5B703	健康福祉政策特論	1・2 後	2			○				
	C5B704	地域経済政策特論	1・2 後	2			○				
	C5B705	ヒューマニティ特論	1・2 後	2			○				
	C5B706	コミュニケーション特論	1・2 前	2			○				
	C1B701	連携プロジェクト演習	1 通	2			○				
専門基礎科目	N1B801	看護理論特論	1 前	2			○			8単位以上 (専門看護師認定希望者14単位以上)	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
	N1B802	看護研究法特論	1 前	2			○				
	N1B803	看護倫理学特論	1 前	2			○				
	N1B804	看護管理学特論	1 前	2			○				
	N1B805	臨床哲学特論	1 後	2			○				
	N1B806	看護コンサルテーション特論	1 後	2			○				
	N1B807	看護専門職教育特論	1 前	2			○				
	N1B808	継続教育特論	1 後	2			○				
	N1B809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後	2			○				
	N1B810	家族看護学特論	1 後	2			○				
	N1B811	フィジカルアセスメント論	1 通	2			○				
	N1B812	病態生理学特論	1 前	2			○				
	N1B813	臨床薬理学特論	1 後	2			○				
専門実習領域	N1B821	地域生活看護学特論	1 前	2			○			1つの領域から8単位以上 (専門看護師認定希望者22単位以上)	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
	N5B821	老年看護学特論	1・2 後	2			○				
	N1B822	在宅看護学特論A	1 後	1			○				
	N1B823	在宅看護学特論B	1 通	1			○				
	N1B824	在宅看護学特論C	1 後	2			○				
	N2B821	在宅看護学特論D	2 前	2			○				
	N2B822	在宅看護学特論E	2 前	2			○				
	N5B822	地域看護学特論	1・2 後	2			○				
	N1B825	地域生活看護学演習	1 通	2			○				
	N5B823	老年看護学演習	1・2 通	2			○				
	N1B826	在宅看護学演習	1 通	2			○				
	N5B824	地域看護学演習	1・2 通	2			○				
	N1B827	高度在宅看護学実習 I	1 通	2			○				
専門看護領域	N2B823	高度在宅看護学実習 II	2 通	3			○			1つの領域から8単位以上 (専門看護師認定希望者22単位以上)	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
	N2B824	高度在宅看護学実習 III	2 通	3			○				
	N2B825	高度在宅看護学実習 IV	2 通	2			○				
	N1B831	母子看護学特論	1 前	2			○				
	N5B831	母性看護学特論	1・2 後	2			○				
	N1B832	小児看護学特論A	1 前	2			○				
	N1B833	小児看護学特論B	1 後	2			○				
	N1B834	小児看護学特論C	1 後	1			○				
	N2B831	小児看護学特論D	2 前	1			○				
	N1B835	小児看護学特論E	1 後	2			○				
	N1B836	母子看護学演習	1 通	2			○				
	N5B832	母性看護学演習	1・2 通	2			○				
	N1B837	小児看護学演習A	1 通	2			○				
	N5B833	小児看護学演習B	1・2 通	2			○				
	N1B838	高度小児看護学実習 I	1 後	2			○				
専門看護領域	N2B832	高度小児看護学実習 II	2 通	4			○			1つの領域から8単位以上 (専門看護師認定希望者22単位以上)	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
	N2B833	高度小児看護学実習 III	2 通	4			○				
	N1B841	成人看護学特論	1 前	2			○				
	N1B842	急性期看護学特論	1 通	2			○				
	N5B841	慢性期看護学特論	1・2 後	2			○				
	N1B843	がん看護学特論	1 後	2			○				
	N5B842	急性期看護学管理学特論	1・2 後	2			○				
	N1B844	クリティカルケア看護学特論	1 後	2			○				
	N1B845	アドバンスト・フィジカルアセスメント論	1 後	2			○				
	N1B846	がん看護学援助特論	1 後	2			○				
	N1B847	がん薬物療法看護特論	1 後	2			○				
	N1B848	がん看護・緩和ケア特論	1 後	2			○				
	N1B849	がん病態治療学特論	1 後	2			○				
専門看護領域	N1B850	成人看護学演習	1 通	2			○			1つの領域から8単位以上 (専門看護師認定希望者22単位以上)	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
	N5B843	急性期看護学演習	1・2 通	2			○				
	N2B841	クリティカルケア看護学演習 I	2 通	2			○				
	N2B842	クリティカルケア看護学演習 II	2 通	2			○				
	N5B844	がん看護療法看護演習	1・2 通	2			○				
	N2B843	がん看護・緩和ケア演習	2 通	2			○				
	N2B844	がん看護・緩和ケア演習	2 通	2			○				
	N1B851	高度急性期看護学実習 I	1 後	3			○				
	N2B845	高度急性期看護学実習 II	2 通	3			○				
	N2B846	高度急性期看護学実習 III	2 通	2			○				
	N2B847	高度急性期看護学実習 IV	2 通	2			○				
	N1B852	高度がん看護学実習 I	1 後	2			○				
	N2B848	高度がん看護学実習 II	2 通	4			○				
	N2B849	高度がん看護学実習 III	2 通	4			○				
専門看護領域	N1B861	精神看護学特論A	1 前	2			○			1つの領域から8単位以上 (専門看護師認定希望者22単位以上)	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
	N1B862	精神看護学特論B	1 後	2			○				
	N1B863	精神看護学特論C	1 後	2			○				
	N1B864	精神看護学特論D	1 後	2			○				
	N2B861	慢性期精神看護学特論	2 前	1			○				
	N1B865	精神看護学演習A	1 通	2			○				
	N2B862	精神看護学演習B	2 通	2			○				
	N2B863	慢性期精神看護学演習	2 後	1			○				
	N1B866	高度精神看護学実習 I	1 後	2			○				
	N1B867	高度精神看護学実習 II	1 後	2			○				
	N2B864	高度精神看護学実習 III	2 通	4			○				
	N2B865	高度精神看護学実習 IV	2 通	2			○				
	N1B871	看護技術学特論 I	1 前	2			○			8単位 (専門看護師認定希望者4単位)	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
	N5B871	看護技術学特論 II	1・2 後	2			○				
	N1B872	看護技術学演習 I	1 通	2			○				
	N5B872	看護技術学演習 II	1・2 通	2			○				
看護マネジメント学分野	N1B881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前	2			○				
	N5B881	看護教育学特論	1・2 後	2			○				
	N5B882	看護マネジメント学特論	1・2 後	2			○				
	N1B882	看護教育・看護マネジメント学演習	1 通	2			○				
	N5B883	看護教育学演習	1・2 通	2			○				
	N5B884	看護マネジメント学演習	1・2 通	2			○				
	N5B8891	特別研究	1~2 通	8			○				
	N5B892	課題研究	1~2 通	4			○				



<博士後期課程>

科目区分	科目 ナンバリング	授業科目的名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
連携博士後期科目	N1A901	横断型連携特別演習	1 通	2			○			2 単位
博士後期専門科目	N1A911	看護学特講	1 前	2			○			4 単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	1 通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	1 通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	1 通		2			○		
博士後期研究指導科目	N1A921	後期特別研究 I	1 通	2				○		8 単位
	N2A921	後期特別研究 II	2 通	2				○		
	N3A921	後期特別研究 III	3 通	4				○		

② 修了要件

<博士前期課程>

※修士論文コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計	
研究科連携科目	—	4	—	4	2
専門教育科目	4	20	—	24	
専門基礎科目	4	4	—	8	
専門科目	—	16	—	16	
選択する領域・分野から	—	8	—	8	
研究	—	8	—	8	
合計	4	26	—	30	

※専門看護師コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計	
研究科連携科目	—	4	—	4	2
専門教育科目	4	36	—	40	
専門基礎科目	4	10	—	14	
専門科目	—	26	—	26	
選択する領域・分野から	—	22	—	22	
研究	—	4	—	4	
合計	4	42	—	46	



<博士後期課程>

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合計	12	2	—	14

3) 教育活動

<博士前期課程>

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ神崎 和代 石井 雅博 ★千葉 逸朗	森 朋子		
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平			
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 ★塚本 容子	本田 光 ★今野 好江	★大久保一郎	
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人	丸山 洋平		
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂			
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎石井 雅博 山田 信博	柿山浩一郎 片山めぐみ	三谷 篤史 ★町田佳世子	
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 西川 忠	松野千代美 御手洗洋蔵	檜山 明子 吉田 彩乃	
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎★松浦 和代 菅原 美樹	川村三希子 守村 洋	奈良間美保 ★山内 まゆみ	
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎貝谷 敏子 ★平 紀子	卯野木 健	本田 光	
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎川村三希子	荒木 奈緒	檜山 明子	
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松野千代美	丸山 洋平	★千葉 美恵子	
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次後期	★尾形 敬次			
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎松野千代美 ★葛西 陽子	牧田 靖子	★藤野 智子	
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	無し			
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎松野千代美 ★佐藤 紀子	★舟島なをみ ★古都 昌子	★中山登志子	
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松 真澄 ★山田 康介	★池田 貴夫 ★平野 嘉信	★鈴木 英樹 ★高石 恵一	
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎菊地ひろみ 守村 洋	荒木 奈緒 ★柳原 清子	原井 美香 ★川村 真澄	
フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 ★石川 幸司	牧野 夏子	★羽賀 將衛	
病態生理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎卯野木 健 ★和田 典男 ★今井 崇	高橋 奈美 ★岡村 英明	牧野 夏子 ★赤松 淳希	



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
臨床薬理学特論	講義・30時間	1年次後期	◎★齊藤 浩司 川村三希子 菊地ひろみ 加藤 依子 守村 洋
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地ひろみ 貝谷 敏子 高橋 奈美 原井 美香 本田 光 村松 真澄 ★喜多 歳子
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳 ★大久保抄織
在宅看護学特論A	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護学特論B	講義・15時間	1年次通年	◎菊地ひろみ ★山内 豊明
在宅看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★鈴木眞一郎 ★西川 就 ★吉崎 秀夫 ★矢崎 一雄 ★土畠 智幸 ★橋本 集
在宅看護学特論D	講義・30時間	2年次前期	◎菊地ひろみ 村松 真澄 ★鈴木 英樹
在宅看護学特論E	講義・30時間	2年次前期	菊地ひろみ
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	★喜多 歳子
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎貝谷 敏子 菊地ひろみ 本田 光 村松 真澄 高橋 奈美 原井 美佳 ★喜多 歳子 ★平原 優美
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳
在宅看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎高橋 奈美 菊地ひろみ ★門脇 陸子 ★今野 好江
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎本田 光 ★喜多 歳子
高度在宅看護学実習I	実習・90時間	1年次通年	◎高橋 奈美 菊地ひろみ
高度在宅看護学実習II	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習III	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習IV	実習・90時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎奈良間美保 荒木 奈緒
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	荒木 奈緒
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	奈良間美保
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	奈良間美保
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	★松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	奈良間美保
小児看護学特論E	講義・30時間	1年次後期	◎★佐野 仁美 奈良間美保 牧田 靖子 ★越田 慎一 ★畠山 欣也 ★伊藤 智城 ★山崎 健史 ★工藤繪理子
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎荒木 奈緒 奈良間美保 加藤 依子 石引かずみ 岡 園代 ★山内 豊明
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 岡 園代
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎奈良間美保 加藤 依子 牧田 靖子
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	◎奈良間美保 加藤 依子 牧田 靖子



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
高度小児看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎奈良間美保	加藤 依子	牧田 靖子	
高度小児看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎奈良間美保	加藤 依子	牧田 靖子	
高度小児看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎奈良間美保	加藤 依子	牧田 靖子	
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎卯野木 健	川村三希子		
急性期看護学特論	講義・30時間	1年次通年	◎卯野木 健	菅原 美樹		
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	無し			
がん看護特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子			
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎卯野木 健 ★升田 好樹	★七戸 康夫 ★春名 純平	★井上 貴昭	
クリティカルケア看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎卯野木 健	菅原 美樹		
アドバンスト・フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 ★木村 祐	卯野木 健 ★小川 謙		
がん看護学援助特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子	★荒尾 晴恵		
がん薬物療法看護特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子	★石岡 明子		
がん看護・緩和ケア特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子			
がん病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 ★小池 和彦	川村三希子 ★中田 健生		
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎牧野 夏子 ★山内 豊明	川村三希子 菅原 美樹		
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 ★藤野 智子	卯野木 健 ★平尾 明美		
クリティカルケア看護学演習Ⅰ	演習・60時間	2年次通年	◎牧野 夏子 ★春名 純平	卯野木 健 菅原 美樹		
クリティカルケア看護学演習Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎菅原 美樹	卯野木 健 ★平尾 明美		
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	無し			
がん薬物療法看護演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 ★石岡 明子	平山 憲吾 ★松田 夕香		
がん看護・緩和ケア演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 ★小田島綾子	★佐藤 明美 ★西田 真理		
高度急性期看護学実習Ⅰ	実習・135時間	1年次後期	◎菅原 美樹 ★藤野 智子	卯野木 健 ★渕本 雅昭	牧野 夏子	
高度急性期看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎卯野木 健 ★春名 純平	菅原 美樹	★村中 沙織	
高度急性期看護学実習Ⅲ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 ★春名 純平	菅原 美樹	★村中 沙織	
高度急性期看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 ★春名 純平	菅原 美樹	★村中 沙織	
高度がん看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	川村三希子	平山 憲吾		
高度がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子			
高度がん看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子			
精神看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	◎守村 洋 ★山本 勝則			



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員		
精神看護学特論 B	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋	★吉野 淳一	
精神看護学特論 C	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋	★齊藤 浩司	★吉野 淳一
精神看護学特論 D	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋	★山本 勝則	
慢性期精神看護学特論	講義・15時間	2年次前期	◎守村 洋	★山本 勝則	
精神看護学演習 A	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋	伊東健太郎	
精神看護学演習 B	演習・60時間	2年次通年	◎守村 洋	伊東健太郎	
慢性期精神看護学演習	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋	伊東健太郎	
高度精神看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋	伊東健太郎	
高度精神看護学実習 II	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋	伊東健太郎	
高度精神看護学実習 III	実習・180時間	2年次通年	◎守村 洋	伊東健太郎	★中村 創
高度精神看護学実習 IV	実習・90時間	2年次通年	◎伊東健太郎	守村 洋	
看護技術学特論 I	講義・30時間	1年次前期	樋之津淳子		
看護技術学特論 II	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津淳子	檜山 明子	
看護技術学演習 I	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子	檜山 明子	★山内 豊明
看護技術学演習 II	演習・60時間	1・2年次通年	◎檜山 明子	樋之津淳子	
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松野千代美		
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	無し		
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎松野千代美	★千葉美恵子	
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎松野千代美 矢野祐美子	鬼塚 美玲 ★西本 尚樹	武富貴久子
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	無し		
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎松野千代美 矢野祐美子	鬼塚 美玲 ★西本 尚樹	武富貴久子
特別研究	演習・240時間	1~2年次通年	◎貝谷 敏子 川村三希子 樋之津淳子 菅原 美樹 守村 洋	荒木 奈緒 菊地ひろみ 松野千代美 檜山 明子 本田 光	卯野木 健 奈良間美保 高橋 奈美 村松 真澄 原井 美佳
課題研究	演習・120時間	1~2年次通年	◎菊地ひろみ 奈良間美保 菅原 美樹	卯野木 健 加藤 依子 牧野 夏子	川村三希子 高橋 奈美 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



<博士後期課程>

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員			
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎樋之津淳子 貝谷 敏子 奈良間美保	荒木 奈緒 川村三希子 本田 光	卯野木 健 菊地ひろみ	
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎貝谷 敏子 本田 光 ★中山 和弘	卯野木 健 ★スードイ神崎 和代 ★田宮菜奈子	樋之津淳子	
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子	村松 真澄		
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎貝谷 敏子 川村三希子 菅原 美樹	荒木 奈緒 菊地ひろみ 村松 真澄	卯野木 健 奈良間美保 守村 洋	
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎★喜多 歳子	本田 光		
後期特別研究Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎貝谷 敏子 川村三希子 奈良間美保 村松 真澄	荒木 奈緒 菊地ひろみ 菅原 美樹 守村 洋	卯野木 健 樋之津淳子 本田 光	
後期特別研究Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎貝谷 敏子 川村三希子 奈良間美保 村松 真澄	荒木 奈緒 菊地ひろみ 菅原 美樹 守村 洋	卯野木 健 樋之津淳子 本田 光	
後期特別研究Ⅲ	演習・120時間	3年次通年	◎貝谷 敏子 川村三希子 奈良間美保 村松 真澄	荒木 奈緒 菊地ひろみ 菅原 美樹 守村 洋	卯野木 健 樋之津淳子 本田 光	

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
高度在宅看護学実習Ⅳ	2024年9月30日～10月11日	訪問看護ステーション	10名
高度急性期看護学実習Ⅱ	2024年7月1日～7月19日	医療機関	14名
高度急性期看護学実習Ⅲ・Ⅳ	2024年5月27日～6月21日	医療機関	20名
高度小児看護学実習Ⅲ	2024年10月15日～11月8日	医療機関	18名
高度在宅看護学実習Ⅰ	2025年2月25日～3月7日	医療機関	9名



7 助産学専攻科

1) 2024年度時間割

① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)								
1	9:00 ~ 10:30	妊娠期助 産診断・ 技術学		分娩期助 産診断・ 技術学		周産期ハ イリスク 援助論		分娩期助 産診断・ 技術学		産褥期助 産診断・ 技術学	
2	10:40 ~ 12:10	妊娠期助 産診断・ 技術学		分娩期助 産診断・ 技術学		周産期ハ イリスク 援助論		分娩期助 産診断・ 技術学		産褥期助 産診断・ 技術学	
3	13:10 ~ 14:40	助産学総 論		助産学 フィール ド演習		周産期医 学論		乳幼児支 援論		助産管理 論	
4	14:50 ~ 16:20	助産学総 論		助産学 フィール ド演習		周産期医 学論		乳幼児支 援論			
5	16:30 ~ 18:00			地域母子 保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)								
1	9:00 ~ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ~ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ~ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ~ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ~ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目:必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	3
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	講義	2
	地域母子保健論	講義	2
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	1
	助産学課題研究	演習	2
合計			32

② 修了要件

32単位 (全科目必修)

3) 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎荒木 奈緒 ★吉 裕子 ★佐藤みはる
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎石引かずみ 岡 園代 ★高野 良子 ★後藤 仁和 ★西 基 ★塩津 英之 ★渡利 道子 ★津村 宣彦 ★荒木 英司 ★鈴木 伸和 ★木島 弘道
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 久保田祥子 ★柳内 聖香 ★渡邊 大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 岡 園代 久保田祥子
分娩期助産診断・技術学	演習・90時間	前期	◎岡 園代 荒木 奈緒 石引かずみ 久保田祥子 ★塩津 英之 ★渡利 道子 ★良川 大晃
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 久保田祥子



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎久保田祥子 荒木 奈緒
周産期ハイリスク援助論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 石引かずみ ★箱山 聖子 ★柏木 智則 ★塩野 展子 ★石田 桐代 ★城戸真紗美
地域母子保健論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 荒木 奈緒 ★石川 珠美 ★藤田 泰恵 ★古瀬 優太 ★石田 桐代
助産管理論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 ★釣部 公映 ★西井 優美 ★佐々木理恵 ★川名 愛深
助産学実習 I	実習・135時間	通年	◎石引かずみ 岡 園代 久保田祥子
助産学実習 II	実習・135時間	通年	◎岡 園代 石引かずみ 久保田祥子
助産学実習 III	実習・135時間	通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 岡 園代 久保田祥子
助産学実習 IV	実習・90時間	後期	◎岡 園代 石引かずみ 久保田祥子
助産学実習 V	実習・45時間	後期	◎荒木 奈緒 石引かずみ 岡 園代 久保田祥子
助産学演習	演習・30時間	通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 岡 園代 久保田祥子 金子 晋也
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 岡 園代

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

(単位：名)

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	2024年6月24日～2024年12月13日	医療機関、母子健康センター	699



8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気の授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（学際教育科目）では、大学生としての基本的な心構えを学ぶことを目標に、デザイン学部生・看護学部生を混成した少人数編成によるグループ活動を行う。

前半は、「大学生活をおくる上で必要なことを知る、学ぶ」ことを目的として、スチューデントスキルズの学び、レポートの執筆に取り組む。

後半は、『「問い合わせ」を設定する』プロジェクト活動として、大学生としての主体的な学びの姿勢の修得に取り組む。

令和6年度（2024年度）「スタートアップ演習」

後半課題（各チームで設定）

チーム	小グループ名	テーマ
チーム1 (松井・松野)	ハニーチュロ	若者のTV離れ、活字離れは事実なのか？
	焼きポンデリング	高齢者の運転事情
	Ms.ぎょうざ	若者の自炊離れは本当か？
チーム2 (並木・奈良間)	チーム仮面ライダーW	「日本人は”若く”見える！？」
	チームトレンド	「流行ってないものがダサく見えるのはなぜ？」
	チームASaR1	「目立たないものを目立たせるにはどうしたらよいか？」
	チームファブル	「どのような噂が広まりやすいのか？」
チーム3 (丸山・中平)	ほぼ日ハムファン	「結婚は人生において幸せなのか！？」
	女子会	「成功は運か、努力か、才能か」
	視力低下気味	「好きな人の運命の人になるには？」
チーム4 (古俣・牧野)	チーム食	食品を美味しく魅せるには？
	SNSグループ	SNS宣伝
	自分磨きグループ	今を生き抜くZ世代、ズバリ効果的な自分磨きとは？
チーム5 (福田・近藤)	クローバーチーム	「パブリックスペースを快適にするために必要なものは？」
	5ディバ	「色が食欲に与える影響とは？」
	あんこグループ	「意見が違う人々がどのように歩み寄るのか：こし餡つぶ餡ディベートを事例に」
チーム6 (横溝・澤口)	バナナミルクコーヒー	「グループワークから得られるものは何か」
	NAME-TAKE	「なぜ人ととの違いが生じ、私たちは比較しようとするのか」
	チームアマビエ	「他者を知るってなあに？」
	あるふあ	「相手を楽しませるかつ自分も楽しむためには」
チーム7 (御手洗・尾立)	食品ロス班	食品ロスってなーんだ
	調味料班	使い切れない調味料を使い切るには？
	野菜班	過剰除去を減らすには
	事業系食品ロス班	事業系食品ロスを減らすためにできることは
チーム8 (坪内・渋谷)	チームSとF	MBTI
	ミックスベリー	気象と体調の関係
	金賞コロッケ	仲良くなるには
	ポッピングシャワー	なぜ世界には色んな見た目の人があるのか？
	チーム蛙化	蛙化のない世界にするには



チーム	小グループ名	テーマ
チーム9 (矢久保・工藤)	土地・文化チーム	「悪役認識論」
	食べ物チーム	「環境は五味を変化させるのか」
	生き物チーム	「血液型と性格は関連しているの？」
	犬猫チーム	「猫キャラの方が多いのはなぜ？」
チーム10 (吉田・西川)	チームLOVER s	君も恋愛マスターになろう
	ポイ捨て対策チーム	日本は遅れてる！？ポイ捨て対策
	打倒恋敵チーム	恋敵を討て 恋愛必勝法

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、両学部の学生が協働して課題探索から提案までを行うために必要な「チームビルディング」、「テーマ設定」、「調査・分析」、「プロジェクトマネジメント」に関する基本的な知識、手法、態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につけるとともに、学生自身の専門性を広げ、異分野の人材と連携する能力を養うことを目的とし、両学部合同による演習を行う。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、地域調査・課題発見・解決に取り組む。

令和6年度（2024年度）「学部連携演習」

地区	テーマ
真駒内	駅から始まるまこみゅにてい
芸術の森	芸術の森地区まちづくりセンター改装案 —多世代がつながる「わ」—
澄川	SNSを活用した澄川地区の一人暮らしの学生を助ける情報発信
藻岩下	ちぎり絵でつながる 世代を超えるアート交流
藻岩	藻岩地区の行事・魅力を伝える 総合マップ 「もいわいわい」の提案
南沢	みんなでおどろう！ with ラベリン みなみさわ体操
石山	石山地区での交流の場作りと悩みの発信 夕影のつどい
藤野	頭スッキリ！ふじの～とれ 認知機能低下予防のきっかけとなる冊子の提案
簾舞	簾舞地区の長期的な活性化に向けた提案 コミュニティサポーターを盛り上げよう
定山渓	健康の街、定山渓



III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
中島 秀之	1. AIによる自動配車・運行システムのデザイン 2. 計算論的複雑性
椎野 亜紀夫	学校規模適正化が行われた小学校区における児童の屋外行動変化とその要因に関する研究
齊藤 雅也	ヒトの想像温度による夏季の暑熱不快感の地域特性
石井 雅博	視標数が視線移動の反応時間に及ぼす影響
大渕 一博	健康測定データ可視化システムの開発
伊藤 健世	音声ユーザーインターフェースデザインの研究
柿山 浩一郎	札幌市路面電車におけるラッピング広告商品開発
西川 忠	1. 竹の建築構造材としての可能性に関する研究 2. 旧住友赤平炭鉱遺産の保存活用に関する研究 3. 道内公共建築物の維持保全に関する研究
藤木 淳	顔表情の自動認識と振動フィードバックを用いた看護学生のための笑顔トレーニングシステムの開発
細谷 多聞	空気膜構造を使った子どものためのあそび場の研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究、グローバル・モダニズム研究
三谷 篤史	乗馬療育用バックサポート付きクッションの開発
山田 良	公共空間のデザインに関する研究
大島 卓	農畜産業施設の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成とその保全方策
片山 めぐみ	芸術の森マルシェ「八百カフェ」におけるケアコミュニティデザイン
金子 晋也	北海道の近現代建築における地域性
金 秀敬	イマーシブ技術と生成AIを活用した感情認知型マルチモーダル教育モデル提案の試み
小林 重人	ミクロ・メゾ・マクロループの枠組みに基づいたソーシャルシステムデザイン
古俣 寛隆	デザインと林業・林産業を結ぶ教育に関する展開
小宮 加容子	誰もが一緒に楽しむことができるあそびのデザインに関する研究
並木 翔太郎	大学生を対象としたライフデザインワークショップの開発
福田 大年	まちなか動物園 - 身の回りの見立て観察から立ち上がる創造性
丸山 洋平	人口移動経験が家族形成規範に与える影響
御手洗 洋蔵	北海道における農村景観の保全に関する研究
森 朋子	1972年冬季オリンピック札幌大会による都市整備の考察
山田 信博	寒冷地住宅の窓面積と居住者意識に関する研究
横溝 賢	自立共生社会を形づくる活動のデザイン
石田 勝也	環境情報を直感的感覚につなげるデザイン方策の研究
須之内 元洋	持続的地域デジタルアーカイブ構築のためのメディアアーキテクチャ設計
藤沢 礼央	地域社会におけるアートの作用
松永 康佑	平面および空間充填図形に関する研究



教員名	研究課題
坪内 健	1. 動物との共同生活が障害当事者の自立に与える影響－保護犬・保護猫が居住するグループホーム「わおん北海道」を対象として－ 2. 参与観察を通してみるシェア居住の居方に関する研究－既存集合住宅改修による「BUIE麻生」に注目して－
舛田 智志	法政大学合同W S 「震災時にデザインでできること」の提言
矢久保 空遥	ライフデザイン思考を活用した大学生の将来設計支援に関する研究
吉田 彩乃	生体内を想定した空気を介した低周波振動の被曝によるつまりの解消

看護学部

教員名	研究課題
樋之津 淳子	大学と医療施設の協働による看護師の遠隔会議システムを用いた継続教育の効果
貝谷 敏子	高齢者褥瘡のシームレスケアモデルの構築:事例検討
荒木 奈緒	長期母子分離期間における母親の経済的負担の実際
川村 三希子	看護師の倫理的感受性を育むための組織的アプローチに関する研究
卯野木 健	ICU生存者における長期メンタルヘルスの経過: SMAP-HoPe研究による4年間の比較追跡調査
菊地 ひろみ	新人訪問ナース育成の取り組み
奈良間 美保	日本版Parenting Stress Index 改訂版の検討
松野 千代美	急性心筋梗塞発症後6ヶ月患者のセルフケア行動評価表の開発
加藤 依子	・Food Allergyのある小・中学生が安全な日常生活を送るための食物日誌を活用した親の行動 ・Mobile Health Applicationを活用したアレルギーのあるこどもと保護者への教育的支援に関する国内外の文献検討
菅原 美樹	二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー
高橋 奈美	筋萎縮性側索硬化症患者の家族への支援
原井 美佳	地域の高齢者を対象とした思い出語りプロジェクト
檜山 明子	介護施設における事故とタグモニタリングシステムによるスタッフの移動記録およびナースコール記録との関係
本田 光	「子どもの居場所」とそこに通う我が子の様子を捉えた保護者の認識
牧野 夏子	熱傷看護に関する文献研究および連携、家族に関する研究
村松 真澄	サービス付き高齢者向け住宅入居者のコミュニティ再構築への支援
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
石引 かずみ	分娩期におけるWomen-centered care（女性中心のケア）と女性の出産体験
岡 園代	超低出生体重児の出生直後の初期ケアプロセスの探求（課題）
鬼塚 美玲	北海道の自治体における厳冬期地震災害に対する防災対策の現状と課題
工藤 京子	ファインバブル温浴が皮膚の保湿に与える影響
武富 貴久子	1. 看護コンソーシアム活動の実践報告及び発展的展開への検証 2. プレマネージャー（副師長・主任クラス）看護師対象のリフレクションを活用した継続教育プログラムの実践 3. 看護実践環境と看護師の心理的エンパワーメントの関連に関する研究 4. 臨床研究を行う看護師（リサーチナース）のサポートシステムの構築
牧田 靖子	札幌市の乳幼児の「窒息・誤飲」による事故の実態と事故予防対策



教員名	研究課題
三戸部 純子	薬剤情報の識別エラーについての実験的検討
矢野 祐美子	中小規模病院の看護師長を対象とした継続学習支援
中平 紗貴子	COVID-19流行による入院患者周辺の「ケア環境」の変化と看護マネジメント： テキストマイニング法による分析
市戸 優人	特別支援教育で活用可能なユニバーサルデザインを用いた性教育教材の開発と有用性の評価 —アクティブラーニングを取り入れた新しい性教育の提案—
久保田 祥子	日本におけるSexual Complianceの実態把握
栗原 知己	成人の敗血症患者に対する初期蘇生に有用な指標に関する調査
近藤 圭子	過疎地域における高齢者の健康と生活の質に関する調査研究
渋谷 友紀	精神看護学シミュレーション教育における学生の学習体験の検討 —精神疾患を有する患者の暴力リスクへの対処を中心に—
田仲 里江	日本におけるグループホームでの精神障害者への支援の課題
西川 めぐみ	腎移植レシピエント、ドナーが必要とする心理的支援の内容と評価 —対象者へのグループインタビューを通して—（仮） 服薬遵守行動の関係
平山 憲吾	AYA世代がん患者の妊娠性温存に関する研究
吉田 実和	看護学生の血圧測定技術に対する教員評価と減圧速度のばらつきの関連
澤口 宙人	頭頸部がん治療における日常的な患者報告型アウトカムの評価による効果 —スコーピングレビュー—

AITセンター

教員名	研究課題
高橋 尚人	デジタル技術の実用と応用に関する研究
津田 一郎	カオス力学を基軸にした複雑系脳科学—新しいAIの可能性



2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
西川 忠	焼成した札幌軟石の外装材への適用に関する研究
大島 卓	環境・経済・地域文化の連環に資する農畜産業施設の複合価値解明とその保全方策
金子 晋也	「創発デザイン」からみた教育プログラムとしてのDIY改修の実践
守村 洋	日本の大学生の飲酒行動とアディクション関連問題の実態調査
金 秀敬	【2024学内研究交流会による連携研究萌芽】 課題遂行者の特性に着眼した「課題展開力」形成要因と効果の解明
渋谷 友紀	【2024学内研究交流会による連携研究萌芽】 自己表現を支援するGraphic Medicineの活用とその影響
樋之津 淳子	【2024学内研究交流会による連携研究萌芽】 SECIモデルを基盤とした「大学主導の地域の健康促進サイクル」の実践と検証

共同研究

教員名	研究課題
◎松永 康佑、三谷 篤史、 村松 真澄	ICTを活用した高齢者向けレクリエーションコンテンツの開発とその有効性評価
◎三谷 篤史、高橋 尚人、 村松 真澄	オーラルディアドコキネシスにおける「パタカラ体操」の音声分析に基づく評価システムの検討およびその基礎実験
◎貝谷 敏子、原井 美佳、 工藤 京子、西川 めぐみ	大学と地域チームオレンジの共同活動が生む効果 アクションリサーチによるエンパワメント効果の調査
◎牧田 靖子、石引 かずみ、 市戸 優人、鬼塚 美玲	北海道内の自治体における乳幼児の子どもをもつ世帯を対象とした防災教育の実態
◎三戸部 純子、檜山 明子、 石田 勝也、吉田 実和	マルチメディア学習理論に基づく基礎看護技術動画教材の映像提示手法の検討
◎石引 かずみ、三谷 篤史、 牧田 靖子、久保田 祥子	母子看護学領域におけるDX教材の開発
◎並木 翔太郎、矢久保 空遙	共感覚的比喩を含む嗅覚表現における解釈過程の解明
◎三谷 篤史	【研究支援地域連携センター企画課題】 舌清掃シミュレーションモデルの改良とAIによる自動評価のための手技データマイニングシステムの構築

◎印：代表者

田村 I C T 基金

教員名	研究課題
◎澤口 宙人、川村 三希子	頭頸部がん患者の症状評価 e-PRO を使用した feasibility study (実行可能性研究)

◎印：代表者

採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村 I C T 基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
4	4	8	7	2	1	14	12

※ 上記件数に加えて、学術奨励研究費から学内研究交流会による連携研究萌芽への研究費配分を3件、共同研究費から研究支援地域連携センター企画課題への研究費配分を1件実施した。



3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
中島 秀之	AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデルの実証的研究	基盤研究 (A)	9,213,000
原井 美佳	積雪寒冷な中山間地域に暮らしてきた高齢女性の地域活動の経験についての研究	基盤研究 (C)	650,000
市戸 優人	思春期の子どもの親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証	基盤研究 (C)	780,000
高橋 奈美	ALS患者家族への支援体制構築に向けた支援プログラムの構築	基盤研究 (C)	390,000
菊地 ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンス促進看護モデルの創出	基盤研究 (C)	1,040,000
檜山 明子	転倒リスクに影響を与える高齢者の行動パターンの解明	基盤研究 (C)	1,560,000
森 朋子	北海道における国立公園から展開する広域景観形成へ向けた景観計画手法に関する研究	基盤研究 (C)	520,000
近藤 圭子	住民が地域医療を守る住民協働型教育プログラム（北海道モデル）の開発	基盤研究 (C)	650,000
卯野木 健	遠隔期における集中治療後症候群の実態と患者体験からみたリスク因子の解明	基盤研究 (C)	910,000
菅原 美樹	二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー評価指標の開発	基盤研究 (C)	1,040,000
牧田 靖子	「乳児虐待リスク予測システム（仮称）」プロトタイプの開発	基盤研究 (C)	1,170,000
川村 三希子	認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおけるシミュレーション教育プログラムの開発	基盤研究 (C)	1,040,000
小林 重人	廃止措置中の原子炉施設における技術者のジェネラティビティと知識創造の関係の解明	基盤研究 (C)	1,040,000
武富 貴久子	看護基礎教育と継続教育の協働によるアセスメント力向上のためのシミュレーション研修	基盤研究 (C)	1,170,000
荒木 奈緒	妊娠の不安・葛藤に寄り添った出生前検査相談のための看護教育プログラムの開発	基盤研究 (C)	910,000
石引 かずみ	分娩期における女性中心のケアを基盤とした助産ケアモデルの構築	基盤研究 (C)	2,210,000
金子 晋也	札幌市街地における土着的な近現代建築の地域性に関する研究	基盤研究 (C)	1,170,000
吉田 彩乃	生体内の情報処理に着目した知能ロボット構築のための基礎的研究	若手研究	390,000
山田 良	国際協奏プロジェクトによるデリバリー型ホスピタルアートモデルの開発	挑戦的研究 (萌芽)	2,470,000
丸山 洋平	家族形成規範意識の多様性許容度が人口移動と全国の少子化に与える影響	基盤研究 (C)	910,000
栗原 知己	大規模データベースとAIの活用による看護師が活用可能な有害事象の予測モデルの開発	基盤研究 (C)	1,560,000
奈良間 美保	「子どもの感覚がわかる」体験でつながる医療的ケア児の家族と看護師の相互主体性	基盤研究 (C)	1,040,000



研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
貝谷 敏子	高齢者褥瘡のシームレスケアモデルの構築：マルコフモデルを用いた分析	基盤研究 (C)	2,470,000
鬼塚 美玲	厳冬期地震災害における寒冷・雪環境下の災害看護実践マニュアルの開発	基盤研究 (C)	1,040,000
藤木 淳	対人作業における感情をゲーム要素として加えた看護技術教材の開発	基盤研究 (C)	1,170,000
古俣 寛隆	地域分散型木質バイオマス熱利用の拡大に向けた農林連携モデルの提示	基盤研究 (C)	1,560,000
小宮 加容子	子どもの感覚統合を触ることによって促す玩具の提案	基盤研究 (C)	1,430,000

※課題番号順

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
伊藤 健世	円山動物園モンキーハウス・オランウータンとボルネオの森の室内気候と室内展示空間デザイン研究	札幌市（環境局）	1,496,000
卯野木 健	重症患者における効果的な口腔ケア解明	アルケア株	880,000
椎野 亜紀夫	都市公園の利用実態に関する調査研究	恵庭市	220,000
大島 卓 矢部 和夫	平岡公園木道及び散策路改修検討業務（その2）	札幌市（建設局）	1,100,000
西川 忠	市販構造計算ソフトによるRCHB造の荷重・応力計算方法の開発	(一社)北海道建築技術協会	400,100
片山 めぐみ	第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 「ソーシャルアクティビティ」スペースのデザイン	(一社)日本プライマリ・ケア連合学会	550,000
矢部 和夫	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	200,000

共同研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
柿山 浩一郎	情報価値の高い動画コンテンツの研究・映像サンプルの実験計画策定と感性評価	三菱電機株統合デザイン研究所	2,500,000
柿山 浩一郎	設備装置のユーザビリティ向上の研究	東京エレクトロン株	11,000
齊藤 雅也 大島 卓	雪氷の特性を活かした屋外空間デザインの研究	(一社)北海道開発技術センター	550,000
齊藤 雅也 大島 卓	魅力的な街区公園整備を目的とした「融雪空間」の検討	国立研究開発法人防災科学技術研究所	0
西川 忠	歴史的建築物を活かした中心市街地活性化に関する研究	浦臼町	117,860
細谷 多聞 小宮 加容子	小慢児童等の就職準備に資する（仮称）じぶん観察日記の作成	札幌市（保健所）	30,000
小林 重人	原子力施設の廃止措置におけるジェネラティビティに関する測定及び評価における基礎研究	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	0



森 朋子	防災まちづくりにおける防災・減災対策評価ツールの開発	(地独)北海道立総合研究機構	500,000
桝田 聰志	自転車タクシーのデザイン	トヨタ自動車北海道(株)	880,000
高橋 尚人	救急需要予測に基づく救急搬送体制整備に関する研究	札幌市(消防局)	5,500,000
高橋 尚人	テキストマイニングを用いた空き家対応記録の分析	札幌市(都市局)	770,000
高橋 尚人	深層学習を用いた交通量調査に関する研究	(株)マイセイ・エンジニアリング	1,000,000
高橋 尚人	ビッグデータを活用した凍結路対策の評価に関する研究	山田技研(株)	1,980,000

4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額(円)
片山 めぐみ	研究活動全般に	(株)キャリア・ナビゲーション	300,000

5 その他研究助成

教員名	研究課題	助成元	金額(円)
石井 雅博	「こことカラダのライフデザイン共創拠点」に関する公立大学法人札幌市立大学の研究開発	国立研究開発法人 科学技術振興機構	2,600,000
小林 重人	木質バイオマス熱エネルギーと地域通貨の活用による環境循環と社会共生に向けた政策提案	国立研究開発法人 科学技術振興機構	520,000
古俣 寛隆	農林水産業の生産管理とエネルギー需給が連携するL-EMS開発	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	1,645,000
御手洗 洋藏	薬用植物国産化・利活用の実装化に向けた産地形成に資する研究	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	650,000
市戸 優人	特別支援教育で活用可能な性教育教材の開発と有用性の評価 —アクティブラーニングを取り入れた新しい性教育の提案—	(公財)博報堂教育財団	2,200,000
矢久保 空遥	「柔らかさ」をもたらす嗅覚刺激に関する網羅的調査	(公財)トランスクスコスマス財団	1,000,000



6 海外出張記録

期間	教員名	国名	目的
2024年5月19日～25日	高橋 尚人	スウェーデン	Stockholm Smart City Conference & Expo参加、現地調査
2024年5月23日～26日	須之内 元洋	オーストラリア	シドニービエンナーレ視察、百年後芸術祭視察
2024年6月29日 ～7月5日	丸山 洋平	イギリス	The 12th International Conference on Population Geographiesへの参加と学会発表
2024年7月1日～6日	森 朋子	中華人民共和国	国際都市計画史学会への参加と研究発表
2024年7月8日～14日	中島 秀之	アメリカ合衆国	Google社、Singularity University、パロアルトインサイト訪問
2024年8月19日～24日	近藤 圭子	インドネシア	第8回国際看護科学学会(8Th WANS)
2024年8月31日 ～9月8日	金 秀敬	イギリス	国際学会E&PDE2024参加
2024年9月9日～15日	檜山 明子	台湾	データ収集
2024年9月14日～22日	高橋 尚人	ドバイ首長国	第30回ITS世界会議参加
2024年10月2日～11日	並木 翔太郎	インドネシア	①Free Linguistics Conferenceにおける口頭発表、②バンドン工科大学での嗅覚表現に関するデータ収集と国際交流事業業務
2024年10月2日～6日	矢久保 空遙	インドネシア	Free Linguistic Conferenceへの参加およびバンドン工科大学での国際交流事業
2024年10月4日～7日	須之内 元洋	大韓民国	メディアアーツ都市拠点視察、光州ビエンナーレ視察
2024年10月9日～18日	山田 良	ロンドン	パビリオンデザイン調査
2024年11月4日～11日	小林 重人	イタリア	7th Biennial RAMICS International Congress in Italyの参加と発表
2024年11月17日～23日	高橋 尚人	スペイン	Global Mobility Call参加
2025年2月6日～12日	松井 美穂	アメリカ合衆国	Carson McCullers の資料調査
2025年2月11日～16日	須之内 元洋	アメリカ合衆国	PNCA-SCU 国際交流学生ワークショップ事業
2025年2月12日～15日	吉田 実和	大韓民国	第28回EAFONS (East Asian Forum of Nursing Scholars) への参加
2025年2月12日～15日	市戸 優人	大韓民国	第28回EAFONS (East Asian Forum of Nursing Scholars) への参加
2025年2月12日～16日	檜山 明子	大韓民国	第28回EAFONS (East Asian Forum of Nursing Scholars) への参加
2025年2月21日～27日	高橋 尚人	ポルトガル	ICAART 2025参加
2025年2月25日 ～3月17日	山田 良	フィンランド	アルト設計はじめ北欧の建築作品・ランドスケープ作品 などの調査
2025年3月10日～17日	檜山 明子	台湾	フィールドワーク（インタビュー、観察）のため
2025年3月11日～15日	松浦 和代	モンゴル	研究成果総括会議
2025年3月11日～15日	牧田 靖子	モンゴル	研究成果総括会議
2025年3月22日～28日	森 朋子	ネパール連邦民主共和国	広域計画立案に向けた現地調査



IV 社会活動

1 地域貢献諸活動

1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
重症患者における効果的な口腔ケア解明	2022年11月7日～ 2024年12月30日	日本の集中治療室（ICU）における口腔ケアの実態と、各種口腔ケア方法の有効性に関する科学的根拠を明らかにすることを目的として、日本全国のICUを対象にした調査と、人工呼吸器関連肺炎（VAP）予防における口腔ケア方法の効果を比較するためのネットワークメタアナリシスを実施した。	アルケア株
キウシト湿原保全基礎研究	2024年4月24日～ 2025年3月4日	2022年以降は今後のミズゴケ属再生の事業化の際の、除草作業を機械除草によって簡便化できるかどうかを検証するために、機械刈と手刈の違いによるミズゴケ属成長促進（面積増加）効果を検証している。2024年はすべて手刈りを行い、1年間の成長を記録した。	登別市
都市公園の利用実態に関する調査研究	2024年5月10日～ 2025年3月31日	恵庭市内の保育所、認定こども園、ならびに地域型保育事業所（以下、「保育施設」と称する）が、園外活動の場としてどのように都市公園を利用しているのかを明らかにすることを目的に調査・研究を行った。特に保育施設の園外活動の場としての公園利用において、引率する保育士を対象とした調査を通じ、利用者である幼児の年齢と必要とされる公園施設等との対応関係について解明を試みた。	恵庭市
平岡公園木道及び散策路改修検討業務（その2）	2024年8月23日～ 2025年3月14日	平岡公園の湿地木道と林内散策路の改修検討のために木道の湿地植物調査と散策路の利用調査を行った。 現地調査での知見および文献（設計資料）調査の結果から散策路動線見直し（存廃）に係る方向性を提示した。加えて今後の散策路整備に際して考慮すべき項目を整理した。	札幌市 (建設局)
市販構造計算ソフトによるRCHB造の荷重・応力計算方法の開発	2023年7月11日～ 2024年1月17日	米国製汎用構造計算プログラム「ETABS」を用いて、受託先である（社）北海道建築技術協会が行っているフィリピン向けの補強コンクリートブロック造の構造解析に適する解析モデルの作成方法、設定条件についてとりまとめた。	（社）北海道建築技術協会
第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 「ソーシャルアクティビティ」スペースのデザイン	2025年1月16日～ 6月30日	継続中	（社）日本プライマリ ・ケア連合学会
円山動物園モンキーハウス・オランウータンとボルネオの森の室内気候と室内展示空間デザイン研究	2025年2月12日～ 3月31日	円山動物園の「モンキーハウス」を訪れる来場者の顧客体験を最大化するための工夫や、リピーター率向上に向けた施策として、来場者満足度の向上を目指した室内展示空間デザインに関する具体的な実装方法の例を具体的に示した。また、「モンキーハウス」の猿の行動観察による調査と「オランウータンとボルネオの森」を加えた室内気候の調査を行ない、猿の屋外への移動と外気温の関係、二施設の冬季の湿潤な室内気候の実態を明らかにした。	札幌市 (環境局)



2) 共同研究（学外との連携）一覧

研究課題	期間	概要	委託者
情報価値の高い動画コンテンツの研究・映像サンプルの実験計画策定と感性評価	2024年4月1日～ 2025年3月31日	技能伝承動画作成を目的としたガイドライン（サンプル動画含む）を作成した。また、閲覧者の熟練度の観点から、技能伝承動画を作成するまでの工夫（手間をかける）の効果に関して、【観察を提供する動画は、閲覧者が一定の経験値を持っている場合には動画で説明している内容以外への思考の誘導が可能である。】等の知見を得た。	三菱電機株 統合デザイン研究所
救急需要予測に基づく救急搬送体制整備に関する研究	2024年4月25日～ 2025年3月31日	救急医療の需要は年々増加傾向にあるが、救急隊の運用効率を高めることにより、市民がより速やかに適切な救急医療を受けられる仕組みを整備していくことが必要である。本研究では、短期及び長期の救急需要予測に基づく救急隊の配置等の検討を行った。	札幌市 (消防局)
深層学習を用いた交通量調査に関する研究	2024年4月18日～ 2025年3月31日	交通状況を撮影した画像を、深層学習を用いて分析し、方向別および車種分類別の交通量集計を行う方法を開発する。具体的には、自動車画像の追加により車種判別性能の向上を図るとともに、交差点部交通量調査への適用を目指したプログラム改良に取り組んだ。	株メイセイ・エンジニアリング
歴史的建築物を活かした中心市街地活性化に関する研究	2024年5月14日～ 2025年3月31日	2024年度は、2022年度からの共同研究の最終年のまとめとして、次の活動を行った。 ①町民を対象としたワークショップ ②新企画の試行 ③町議会への研究活動の報告 以上を報告書にまとめ、納品した。	浦臼町
自転車タクシーのデザイン	2024年5月28日～ 2025年3月31日	水素アシスト型モビリティの外観デザインを実現可能な寸法値データを持った3DCAD設計まで達成した。挑戦的観点としてはファブリック生地を筐体外観に用いた視覚的軽量感の醸成、および実益としての軽量化・空力特性・広告面としての可変・交換価値の提案となる。	トヨタ自動車北海道株
防災まちづくりにおける防災・減災対策評価ツールの開発	2024年6月20日～ 2027年3月31日	継続中	(地) 北海道立総合研究機構
原子力施設の廃止措置におけるジェネラティビティに関する測定及び評価における基礎研究	2024年6月28日～ 2025年3月21日	廃止措置中である「ふげん」においてジェネラティビティの高い若手技術者を対象としたフォーカスグループを通じて、廃止措置業務におけるプラント運転経験の必要性の有無、及び知識継承の状況について明らかにした。	(国研) 日本原子力研究開発機構
小慢児童等の就職準備に資する（仮称）マイトリセツシートの作成	2024年7月5日～ 2025年3月31日	公表不可	札幌市 (保健福祉局)
テキストマイニングを用いた空き家対応記録の分析	2024年8月21日～ 2025年3月31日	安全性等に問題のある空き家の増加を抑制していくためには、所有者による空き家の適切な管理や早期処分を促していくことが必要である。本研究は、空き家所有者への効果的な普及啓発や支援策を検討するため、札幌市が行った各空き家への対応に関する記録（所有者や通報者とのやりとり）の分析を通じ、空き家所有者等が持つニーズ等を把握した。	札幌市 (都市局)



設備装置のユーザビリティ向上の研究	2024年10月16日～ 2025年3月31日	本研究で創造されたログの可視化ツール（によるUI改善）では、「ユーザーの行為やシステムの状況を把握し、ユーザーの認知の観点から機能性や利便性を十分に把握することができる。」「ユーザーの行為の意味合いの把握や習熟度や操作の効率に関する課題の概要を把握することができる。」との知見を得るに至った。	東京エレクトロン㈱
ビッグデータを活用した凍結路対策の評価に関する研究	2024年10月1日～ 2026年3月31日	継続中	山田技研㈱
雪氷の特性を活かした屋外空間デザインの研究	2024年11月14日～ 2025年3月31日	雪氷の特性を活かした屋外空間デザインに関する基礎的な知見を得ることを目的として、低温環境下における地面素材による融雪速度の比較実験を行なうとともに、融雪を活かした景観デザインの事例調査を行なった。実験室実験ではレンガ、屋外空間での実験（屋上）では熱伝導率が小さい断熱材の融雪量が最大であることがわかった。また、融雪を活かした景観デザインに関する視察では富山県における公園利用について調査し、植栽および舗装材のレイアウトによって雪景創出の可能性があることが確認できた。	(社) 北海道開発技術センター
魅力的な街区公園整備を目的とした「融雪空間」の検討	2024年11月15日～ 2025年3月31日	魅力的な街区公園整備を目的とした「融雪空間」のデザイン手法の解明を目的として、低温環境下（実験室・屋外空間）における地面素材による融雪速度の比較実験を行なうとともに、融雪を活かした景観デザインの事例調査を行なった。実験室での実験ではレンガ、屋外空間での実験（屋上）では熱伝導率が小さい断熱材の融雪量が最大であった。また、融雪を活かした景観デザインに関する視察では富山県における公園利用について調査し、植栽および舗装材のレイアウトによって雪景創出の可能性があることが確認できた。	(国研) 防災科学技術研究所

3) 研究支援地域連携センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
第28回 全国建築塗装技能競技大会（北海道大会）	(社) 日本塗装工業会	大島 卓
利用者に安心感を与える園名板等デザイン調査協力	恵庭市	椎野亜紀夫
令和6年度「若い世代の食育事業」（副題～本気めしプロジェクト）「ランチョンセミナー～しっかり朝食、毎日元気！～」事業	札幌市（南区）	細谷 多聞 小宮加容子 藤沢 礼央 吉田 彩乃
冬みち便りデザインの制作事業	札幌市（南区）	大島 卓
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市（総務局）	大渕 一博
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大渕 一博
幌加内町認知症ケアパス作成事業	幌加内町	大渕 一博
駒岡清掃工場ロゴマーク制作事業	株タクマ	細谷 多聞 小宮加容子



事業名	依頼元	担当教員
第7回いきいき健康塾	幌加内町	原井 美佳 近藤 圭子 大渕 一博
ショップパックデザインコンペ	株土屋ホームトピア	矢久保空遙
さっぽろオータムフェスト2024大通4丁目会場噴水ライトアップデザイン制作	株電通北海道	横溝 賢
NTT東日本札幌病院 健康セミナーポスター募集	NTT東日本札幌病院	大渕 一博
外部講師による特別体験イベント	(公社)札幌市子ども会育成連合会 子どもの体験活動の場 Coミドリ	細谷 多聞 小宮加容子
第30回 芸術の森地区文化祭（展示協力）	芸術の森地区連合会	大島 卓
第30回 芸術の森地区文化祭（ポスター制作協力）	芸術の森地区連合会	大島 卓
農産加工品のプランディングとパッケージデザインプロジェクト	(福)旭川旭親会	片山めぐみ
機関誌Tjena!（シェーナ）発行	北海道スウェーデン協会	樹田 聰志
常盤中学校2学年 総合的な学習の時間『私達の郷土～常盤、石山東～を見直し、街の活性化プランを考えよう』への参加協力依頼	札幌市立常盤中学校	椎野亜紀夫
樽前アートスクール2024 タルマエ探検隊（冬）樽前をえがこう！	苫小牧市教育委員会	藤沢 礼央
はちとまネットワーク企画 アートワークショップの企画と実施	八戸市	藤沢 礼央
市立大学の学生との意見交換会	札幌市（まちづくり政策局）	細谷 多聞 小宮加容子
総合的な探求の時間における学生へのインタビュー	北海道札幌北陵高等学校	須之内元洋
冬の「雪あかり」イベントPRチラシの制作事業	札幌市（南区）	大渕 一博
第5次さっぽろ子ども未来プランの表紙デザイン制作	札幌市（子ども未来局）	矢久保空遙
ホスピタルアート展示への作品展示協力	市立札幌病院	細谷 多聞 小宮加容子
すすきの地区ポイ捨て防止新規啓発広告デザインの制作	札幌市（環境局）	大島 卓
アレルギー原因食品（アレルゲン）ピクトグラムの追加制作	札幌市（保健福祉局）	矢久保空遙
NTT東日本札幌病院 病院広報誌作成	NTT東日本札幌病院	大渕 一博
「みなみさわ体操」の動画提供、Tシャツのデザインの提供及びTシャツの制作	南沢地区町内会連合会	金子 晋也 鬼塚 美玲
南区の魅力をPRする啓発品制作事業	札幌市（南区）	大渕 一博
南区の魅力をPRする啓発品制作事業	札幌市（南区）	大渕 一博
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大渕 一博
企業が抱える課題の見える化のワークショップ	(社)さっぽろ産業振興財団	福田 大年



4) 高大連携

① デザイン学部 高大連携公開講座

開催日	高校名	参加生徒数	タイトル	担当教員
2024年9月21日	市立札幌開成中等教育学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌大通高等学校	45名	ヒットを生むデザインの導き方 ～ユーザーが気づいていない 本質を見つけてみよう～	伊藤 健世

② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2024年4月8日～ 12月5日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌大通高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌啓北商業高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	28名	看護学原論 (講義・15時間)	◎檜山 明子 松野千代美
			人間発達援助論 (演習・30時間)	◎貝谷 敏子 荒木 奈緒 卯野木 健 奈良間美保 守村 洋
			チーム医療論 (講義・15時間)	◎矢野祐美子 松野千代美
			地域保健学概論 (講義・15時間)	◎上田 泉

③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2024年9月23日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	65名	こどもと家族が主体であるた めに	奈良間美保
			「自分らしく生きる」を支える 在宅看護	菊地ひろみ

5) 高校出前講義

① デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2024年6月7日	市立札幌藻岩高等学校	地域資源を活用した商品開発事例	矢久保空遙
2024年7月19日	旭川西高等学校	妖怪にまなぶメディアデザイン	須之内元洋
2024年8月27日	旭川北高等学校	経験を語らうことから現れる＜共創する時 空＞～ランブリングデザイン運動が喚び起 すトボフィリア（場所愛）～	横溝 賢
2024年9月17日	小樽潮陵高等学校	プロダクトデザインの魅力	舛田 聰志
2024年10月7日	北海道千歳高等学校	あそびのデザイン～ワクワクを生み出すデ ザイン～	小宮加容子



開催日	高校名	テーマ	担当教員
2024年11月5日	市立札幌旭丘高等学校	より良い景観をデザインしよう	御手洗洋蔵
2024年11月6日	市立札幌新川高等学校	AIとの付き合い方を考える	吉田 彩乃

② 看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2024年7月16日	室蘭清水丘高等学校	看護における安全	檜山 明子
2024年8月23日	北海道旭川西高等学校	看護学の魅力とは～精神看護学の視点から～	伊東健太郎
2024年8月28日	市立札幌清田高等学校	SDGs ×探究人インタビュー	鬼塚 美玲
2024年9月13日	北海道滝川西高等学校	基礎看護学領域	三戸部純子
2024年11月8日	北海道苫小牧東高等学校	第2学年ジョイントセミナー	高橋 奈美

6) マスメディアへの掲載

① デザイン学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
齊藤 雅也	北方型住宅の快適性を考える	北海道住宅新聞	2024年5月15日
	夏のベスト室温&湿度は? イヤ～な“湿度”のお悩み&最強対策法	anan、マガジンハウス	2024年6月11日
	積雪寒冷地の防災・減災の研究報告 防災科研と札幌市、市立大	NHK札幌放送局、北海道新聞ほか	2024年6月13日
	冬の暮らしに欠かせない暖房・加湿の方法、窓で結露が起こるメカニズム	Amebaチョイス、サイバーエージェント	2024年10月19日
	空気調和・衛生工学会北海道支部 活動を次世代へ 設立60年記念式典で決意	北海道建設新聞	2024年10月21日
	札幌市立大研究グループ AI技術用いた実証研究 高齢者の移動・訪問サービスでPH（ポジティブヘルス）増進	北海道医療新聞	2024年12月9日
	人間の住まい、緩やかな変化を 円山動物園オランウータン観察で快適な居住空間模索	北海道建設新聞	2024年11月12日
	市立動物園 私たち動物園アドバイザーです!	KOFU広報こうふ (甲府市広報紙)	2025年3月1日
西川 忠	浦臼町との共同研究成果物「歴史的建築マップ」	北海道新聞	2024年4月19日
藤木 淳	フジ森《みんなのコード[雪・木・星]》制作過程紹介映像 放映	映像展示：札幌市図書・情報館1Fサロン	2024年1月27日 ～4月30日
	令和6年度第1回「教育喫茶」のレポートのWEB掲載	札幌国際芸術祭WEBサイト	2024年6月20日
	SIAF参加者アート出前授業	北海道新聞	2024年9月15日
	デザイナーズFILE 2025	カラーズ編集ボーンデジタル出版	2025年3月1日
細谷 多聞	読売新聞タウンニュース「ゆくとしくるとしのどうぶつツリーを」	読売新聞	2024年12月15日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
片山 めぐみ	札幌市内の公園におけるPARK-PFI事業	STV札幌テレビ放送	2024年6月3日
小林 重人	乗り合いタクシー実証実験の結果は？	テレビ北海道「5時ナビ」	2024年5月7日
	フレイル予防協働ゲーム	介護新聞	2024年10月11日
	高齢者の虚弱 すぐろくで防げ マスに「クイズ」「運動」…楽しみながら 札幌市立大生ら考案 厚労省の優良賞に	北海道新聞	2025年1月15日
古俣 寛隆	木造畜舎、安価で脱炭素効果 釧路振興局がガイドブック、酪農家に配布 26日シンポ開催	北海道新聞朝刊	2024年11月19日
	木造畜舎で資源循環を	北海道新聞朝刊	2024年11月27日
小宮 加容子	読売新聞タウンニュース「ゆくとしくるとしのどうぶつツリーを」	読売新聞	2024年12月15日
	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当、12回/年	ラジオ放送	毎月第一火曜日
丸山 洋平	<フォーカス>一極集中の札幌 人口減鮮明＊日本人4800人減 道内最多＊弱まるダム機能	北海道新聞	2024年7月25日
	札幌市3年連続で人口減 自然減と若者の道外転出が影響 一方で外国人の人口は増加	HTB	2024年7月25日
	2050年の驚きの未来予測 高齢世帯の約半数は1人暮らしに 心配される孤立、犯罪、そして冬の除雪も…「家族のカタチ」どうなる？	UHB	2024年11月13日
	<検証 函館市合併20年>上＊旧4町村の記憶＊減る人口 繼承難しく	北海道新聞	2024年12月3日
	道内日本人500万人割れ＊迫る人口急減時代	北海道新聞	2024年12月30日
	25年後は推計382万人に 長期的スパンでの対策を	月刊クオリティ	2025年3月
山田 信博	8/2掲載「クリーニングシェルター道内381カ所 熱中症リスク低減 見送る自治体も」	北海道新聞	2024年8月2日
大渕 一博	広報さっぽろ南区版ヘッダーデザイン	広報さっぽろ（2024年4月号～2025年3月号）	各月1日（全12回）
藤沢 礼央	時代を生きて アーティスト活動の半生を紹介	苦小牧民報	2024年5月4日
	苦小牧市美術博物館での展覧会の紹介	読売新聞	2024年5月25日
	ここが聞きたい NPO法人樽前arty+20周年の軌跡の紹介	北海道新聞	2024年6月3日
	平和の鐘建立プロジェクトの紹介	苦小牧民報	2024年12月11日
	苦小牧市美術博物館子ども広報部びとこま通算100回実施の活動紹介	苦小牧民報	2025年1月15日
	樽前アートスクール実施の様子を紹介	北海道新聞	2025年1月26日
榎田 聰志	【ご報告】BICYCLE-E MOBILITY CITY EXPO2024に「水素で走るポロクル（試作品）」を出展しました https://porocle.jp/npo_porocle/info_item/2024/06/	特定非営利活動法人 ポロクル	2024年6月27日
	札幌市中心部どう変わる？新たな交通システム検討 https://www.youtube.com/watch?v=wi9NVRbuqQ0	HBCニュース 北海道放送	2024年11月19日
	6年後の本格運行を目指して 水素で走る次世代型車両 https://news.ntv.co.jp/n/stv/category/society/st77328bb975c248cb8cef747627859d53	STV	2024年11月19日



② 看護学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
樋之津 淳子	特集：OSCEに備える！アップデートする！ 【対談】OSCEから考える臨床への橋渡しと看護教育のこれから	看護教育65巻5号	2024年10月25日
	OSCEと模擬患者参加型演習による看護学教育へのチャレンジ	Nursing Business 2024 vol.18 no.12	2024年12月1日
川村 三希子	第39回日本がん看護学会学術集会 患者も学ぶ	北海道新聞	2025年3月2日
松野 千代美	日総研グループ情報誌「主任看護師STYLE」への執筆「日常の実践が創造するひとりひとりの看護管理観」	隔月刊誌	2024年9月30日
村松 真澄	口腔の健康状態AIが判定	北海道建設新聞	2024年4月9日
	米国流口腔ケア日本で普及	十勝毎日新聞	2024年5月9日
	研究者プレス スマホアプリを開発中、口腔の健康はAIでチェックする	チャレンジフィールド北海道	2025年2月
鬼塚 美玲	厳冬期の災害に対して一般家庭でもできる備蓄のポイント	北海道新聞朝刊 14面	2024年9月6日
	看護 厳冬期災害の非常食調査	北海道医療新聞 3面	2024年10月21日
	看護 けあぶろふいーる	北海道医療新聞 3面	2025年1月27日
	女性プラザ祭り2024 女も男もワイワイセッション レポート	北海道立女性プラザだより「えるのす」No.66 p2-3	2025年1月28日
	準備できてる？冬の災害への備え	J:COM地域取材ノート（インターネット）	2025年3月16日
市戸 優人	北海道内の産業保健看護職を対象とした産業保健活動に関する実態調査結果について	北海道医療新聞	2025年3月10日



③ AITセンター

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
高橋 尚人	口の健康状態AIが判定	北海道建設新聞	2024年4月9日
	AIで道路交通調査	北海道建設新聞	2024年4月11日
	夜のススキノ 今は昔？	北海道新聞	2024年5月18日
	すすきの、昼も眠らぬ人流	日本経済新聞	2024年5月31日
	すすきのの人流分析結果について解説	STVどさんこワイド	2024年6月10日
	「ここはススキノ？」シニア多く昼にぎわうデータで探る人の流れ	北海道新聞（デジタル）	2024年6月11日
	今日ドキッ！ すすきのの人流について提供データが紹介された	HBCテレビ	2024年9月12日
	ローカルビジネスサテライト 昼も眠らない街へ！再開発で可能性広がるススキノ（同内容が11月12日の日経新聞に掲載）	TVH	2024年11月13日
	みんテレ 札幌の繁華街の“新しい顔”複合商業施設「ココノススキノ」が開業から1年 お得な期間限定メニューも…人の流れが変化 高校生も集まる場所に“夜の街”から“昼も眠らない街”へ	UHB	2024年11月21日
	札幌・ススキノの人の流れ、昼間を中心に異変アリ あの施設が貢献？ さっぽろ駅周辺と対照的	北海道新聞	2024年11月30日
	昼のススキノ 人通り一変	朝日新聞	2024年12月24日



2 公開講座開催実績

1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2024年4月27日	札幌芸術の森 自然観察会	椎野亜紀夫 (デザイン学部 教授)	20
2024年6月22日	メカトロ教室「走れ！ロボットカー！」	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	18
2024年7月6日	子ども向けワークショップ「アートにであう」	細谷 多聞 (デザイン学部 教授) 小宮加容子 (デザイン学部 准教授) 藤沢 札央 (デザイン学部 講師) 吉田 彩乃 (デザイン学部 助教)	92
2024年7月28日	あそびイベントMoNaKa 「さわってあそぼう！」	細谷 多聞 (デザイン学部 教授) 小宮加容子 (デザイン学部 准教授)	26
2024年8月26日	まちの健康応援室ミニ出張講座 第1回 「子どもにおこりやすい事故とその予防・心肺蘇生法について」	牧田 靖子 (看護学部 講師)	3
2024年9月1日	札幌市立大学小児看護学領域 「アナフィラキシーショック時の対応～エピペン注射の手技をまなぼう」	牧田 靖子 (看護学部 講師)	26
2024年9月11日	しつくい壁ワークショップ	金子 晋也 (デザイン学部 准教授)	6
2024年9月12日	となりのユニバーサルデザインシリーズ第1話 「日本語のユニバーサルデザイン」	酒井 正幸 (札幌市立大学 名誉教授)	16
2024年9月13日	まちの健康応援室ミニ出張講座 第2回 「子どものケガ（切り傷・打撲・鼻血など）と応急手当について」	牧田 靖子 (看護学部 講師)	4
2024年9月14日	笑顔でつながる！認知症と向き合うコミュニケーションとオーラルケア 2回シリーズ 「心をつなぐ話し方！認知症と向き合うコミュニケーション」	貝谷 敏子 (看護学部 教授)	35
2024年9月26日	ICTを活用した高齢者向けレクリエーションコンテンツについて	三谷 篤史 (デザイン学部 教授) 村松 真澄 (看護学部 准教授) 田頭 正一 (西健康づくりセンター 館長)	5
2024年10月3日	となりのユニバーサルデザインシリーズ第2話 「人に伝えるためのユニバーサルデザイン」	柿山浩一郎 (デザイン学部 教授)	14
2024年10月6日	ChatGPTを活かそう～生成AIの基本と活用～	大渕 一博 (デザイン学部 講師) 吉田 彩乃 (デザイン学部 助教)	47
2024年10月12日	積雪寒冷期の地震災害への備えはできていますか？ ～避難生活で起こり得るリスクと必要な備え～	鬼塚 美玲 (看護学部 講師)	40
2024年10月12日	SCU AW Fashion Show @SOZO～想像・創造～	並木翔太郎 (デザイン学部 准教授)	40
2024年10月14日	札幌芸術の森 秋の観察会	椎野 亜紀夫 (デザイン学部 教授)	16
2024年10月19日	環境デザインシリーズ第1話 「生態系のデザイン」	椎野 亜紀夫 (デザイン学部 教授)	23
2024年10月19日	笑顔でつながる！認知症と向き合うコミュニケーションとオーラルケア 2回シリーズ 「元気の秘訣！認知症を防ぎ健康を守る口腔ケア」	貝谷 敏子 (看護学部 教授) 奥村由美恵 (看護学研究科看護学専攻 博士後期課程)	24



開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2024年10月26日	環境デザインシリーズ第2話 「植物のデザイン」	御手洗洋蔵 (デザイン学部 准教授)	22
2024年10月27日	マイコンレーサー初級講習会	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	10
2024年11月1日	なるほど！デザインの導き方 ～ユーザーが気づいていない本質を見つけてみよう～	伊藤 健世 (デザイン学部 教授)	9
2024年11月2日	環境デザインシリーズ第3話 「昆虫のデザイン」	酒井 正幸 (札幌市立大学 名誉教授)	26
2024年11月7日	となりのユニバーサルデザインシリーズ第3話 「遊びのユニバーサルデザイン」	小宮加容子 (デザイン学部 准教授)	11
2024年11月10日	マイコンレーサーテクニカル講習会	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	9
2024年11月12日	札幌軟石で建てられた建物つくりと魅力、次世代へ	西川 忠 (デザイン学部 教授) 三角 颯音 (デザイン研究科博士前期課程2年) 金子明日香 (デザイン学部4年)	18
2024年11月16日	心と脳と人工知能 (AI) 一複雑系の視点から 第1回 「壊れた脳は何ができる何ができないか：前頭葉と海馬破壊」	津田 一郎 (AITセンター 特任教授)	70
2024年11月17日	マイコンレーサー北海道大会	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	11
2024年11月30日	心と脳と人工知能 (AI) 一複雑系の視点から 第2回 「壊れた脳は何ができる何ができないか：幻覚と人工知能 (AI) 発展史から新しいAIへ」	津田 一郎 (AITセンター 特任教授)	61
2024年11月30日・ 2024年12月1日	Huddling Fashion Show 2024 ～防寒×ファッションを楽しむ～ (2日間開催)	並木翔太郎 (デザイン学部 准教授) 矢久保空遙 (デザイン学部 助教)	196
2024年12月7日	心と脳と人工知能 (AI) 一複雑系の視点から 第3回 「コンピューター将棋、人間×AI技術と漫画『ぱいどん』プロジェクト、Chat GPT」	松原 仁 (京都橘大学 教授) 中島 秀之 (札幌市立大学 学長) 津田 一郎 (AITセンター 特任教授)	47
2024年12月7日	厳冬期の地震災害への備えはできていますか？ 「寒冷環境・雪環境下の災害看護活動で知っておくべきリスクと備え」	尾立 篤子 (東邦大学健康科学部看護学科 教授、学部長) 鬼塚 美玲 (看護学部 講師)	36
2024年12月14日	心と脳と人工知能 (AI) 一複雑系の視点から 第4回 「複雑系、AI×アンドロイド「オルタ」、言語と身体」	池上 高志 (東京大学 教授) 中島 秀之 (札幌市立大学 学長) 津田 一郎 (AITセンター 特任教授)	44
2024年12月21日	心と脳と人工知能 (AI) 一複雑系の視点から 第5回 「共生ロボティクス、痛みセンシング、構成論的手法」	浅田 稔 (大阪国際工科専門職大学 副学長) 中島 秀之 (札幌市立大学 学長) 津田 一郎 (AITセンター 特任教授)	41
2024年12月21日	積雪寒冷期の地震災害への備えはできていますか？ ～避難生活で起こり得るリスクと必要な備え～	鬼塚 美玲 (看護学部 講師)	29
2024年12月23日	スコットランドの大学での空間デザイン教育に触れて	山田 良 (デザイン学部 教授)	11
2025年1月11日	心と脳と人工知能 (AI) 一複雑系の視点から 第6回 「深層学習、人とAIの共生社会」	麻生 英樹 (産業技術総合研究所 招聘研究員) 中島 秀之 (札幌市立大学 学長) 津田 一郎 (AITセンター 特任教授)	41
2025年2月1日	やさしく学ぶメンタルヘルス：こころの健康を守るために	渋谷 友紀 (看護学部 助教)	47



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2025年2月1日	生活に役立つ看護師のライフハック ～看護の知恵を生活に生かそう～<全4回> <第1回>「学習理論を生活に役立てよう！」	中平紗貴子（看護学部 特任講師） 檜山 明子（看護学部 准教授）	24
2025年2月5日	生活に役立つ看護師のライフハック ～看護の知恵を生活に生かそう～<全4回> <第2回>「いきいきマイライフー来る老年期への心得ー」	原井 美佳（看護学部 准教授） 佐々木聖子（株式会社メディカルシステムネットワーク開発事業本部 担当部長）	25
2025年2月8日	ビジネスにおけるアイデア創造～最適解を導き出す～	柿山浩一郎（デザイン学部 教授）	6
2025年2月27日	生活に役立つ看護師のライフハック ～看護の知恵を生活に生かそう～<全4回> <第3回>「体温・血圧を正しく測って健康管理」	三戸部純子（看護学部 講師） 吉田 実和（看護学部 助教）	25
2025年3月1日	こころの健康講座「3月は自殺対策強化月間です」～自殺について正しい知識の修得とその予防～	守村 洋（看護学部 准教授）	48
2025年3月8日	生活に役立つ看護師のライフハック ～看護の知恵を生活に生かそう～<全4回> <第4回>「更年期を幸年期に！」	荒木 奈緒（看護学部 教授） 岡谷内美乃里（札幌円山整形外科病院リハビリテーション科 理学療法士）	11
2025年3月9日	ChatGPTを活かそう～生成AIの基本と活用～【再開催】	大渕 一博（デザイン学部 講師） 吉田 彩乃（デザイン学部 助教）	22
2025年3月22日	自分の性を大切にし、自分らしく生きる方法～ライフプランをデザインしながら考えよう～	市戸 優人（看護学部 助教） 細川奈々花（札幌市立大学看護学部3年） 野中 妃夏（札幌市立大学看護学部3年）	4

2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2024年6月17日、24日	さっぽろ市民カレッジ講座2024春・夏期 「小樽の歴史的建造物をたどる」	羽深 久夫（札幌市立大学 名誉教授）	38

3) 共催講座：「知活（ちいき）ゼミナール」

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2024年12月2日～2025年2月28日	知活（ちいき）ゼミナール2024 「冬の災害から命を守る」 ①札幌市立大学「厳冬期の地震災害から命を守る！私たちの避難生活で想定されるリスクと必要な備え」 ②道総研「巨大地震から命を守る地震・津波の防災対策」 (YouTube 配信)	①鬼塚 美玲（看護学部 講師） ②今井 崇嗣（北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所地域研究部防災システムG 研究職員）	570



3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
中島 秀之	天城学長会議／世話人	日本アイ・ビー・エム(株)
	「Sapporo AI Lab」／エグゼクティブ・アドバイザー	Sapporo AI Lab
	(大) 宮城大学評価委員会／委員	宮城県 (私学・公益法人課)
	芸術の森地区バス路線廃止対策検討協議会／委員	芸術の森地区バス路線廃止対策検討協議会事務局
	NEDO／技術委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	未踏事業審査委員会／委員	(独) 情報処理推進機構
	札幌国際芸術祭実行委員会／委員・副会長	札幌国際芸術祭実行委員会
	「NoMaps 実行委員会」／顧問	NoMaps 実行委員会
	(大) 会津大学／参与	(大) 会津大学
	一般社団法人社会システムデザインセンター／社員・副理事長	(社) システムデザインセンター
	株未来シェア／取締役会長	株未来シェア
	「Innovators Under 35 Japan」2024年／審査員	株角川アスキー総合研究所
	戦略的創造研究推進事業における分野別研究領域／評価委員	国立研究開発法人科学技術振興機構
	一般社団法人日本ディープラーニング協会／有識者会員	(社) 日本ディープラーニング協会
椎野 亜紀夫	一般社団法人新雪／理事	(社) 新雪
	公益財団法人本田財団／理事・本田賞選考委員会委員	(公財) 本田財団
	札幌市新たな公共交通システム研究会／委員	札幌市 (まちづくり政策局)
	岩見沢市都市計画審議会／会長	岩見沢市 (建設部)
	(一財) さっぽろ産業振興財団／評議員	(一財) さっぽろ産業振興財団
	公園のあり方等検討委員会／委員	恵庭市 (建設部)
	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道 (総合政策部計画局)
齊藤 雅也	(公財) 日本ユニセフ協会 CFCI 委員会第3者評価特別委員会／委員	(公財) 日本ユニセフ協会 CFCI 委員会
	札幌市水素利活用方針改定検討委員会／委員	札幌市 (まちづくり政策局)
	大通公園・中島公園あり方検討委員会／委員	札幌市 (建設局)
	登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関／評価員・評定員	(一財) 北海道建築指導センター
	大通東5丁目・6丁目の土地利用に係る公募プロポーザル選定委員会／委員	札幌市 (まちづくり政策局)
	BIS試験講習委員会／委員	(社) 北海道建築技術協会
	遊亀公園附属動物園整備工事／アドバイザー	甲府市 (まちづくり部)



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
伊藤 健世	札幌市水素利活用方針改定検討委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
柿山 浩一郎	低床車両デザイン選考委員会／委員	(一財) 札幌市交通事業振興公社
西川 忠	西松建設㈱／技術指導	西松建設㈱
	札幌地方裁判所／民事調停委員	札幌地方裁判所
	赤平市炭鉱遺産文化財化検討委員会／委員	赤平市教育委員会
	丸彦渡辺建設㈱／技術アドバイザー	丸彦渡辺建設㈱
藤木 淳	札幌国際芸術祭における子ども向け事業／プロジェクトリーダー	札幌国際芸術祭実行委員会
細谷 多聞	学位論文審査／審査員	(大) 名古屋工業大学
	令和6年度北海道新技術・新製品開発賞／評価員	北海道（経済部）
	令和6年度デザイン活用促進補助金審査委員会／審査委員	(一財) さっぽろ産業振興財団
	(一財) さっぽろ水道サービス協会／評議員	(一財) さっぽろ水道サービス協会
大島 卓	芸術の森地区文化祭実行委員会／委員	芸術の森地区連合会
	芸術の森地区バス路線廃止対策検討協議会／委員	芸術の森地区バス路線廃止対策検討協議会事務局
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
片山 めぐみ	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道（総合政策部）
	札幌市環境影響評価審議会／委員	札幌市（環境局）
	北海道住宅対策審議会／委員	北海道（建設部）
	第19回公共建築賞北海道地区審査委員会／委員	(一社) 公共建築協会
	第5次市民自治推進会議／委員	札幌市（市民文化局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
	安平町未来創生委員会／外部有識者	安平町（政策推進課）
	国有財産北海道地方審議会／委員	財務省（北海道財務局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
金子 晋也	厚真町地域脱炭素推進委員会／委員	厚真町（まちづくり推進課）
小林 重人	令和6年度東区冬季体験型防災訓練／指導	札幌市（東区市民部）
小宮 加容子	札幌市福祉のまちづくり推進会議／委員	札幌市（保健福祉局）
古俣 寛隆	NEDO早生樹等による燃料用国産木質バイオマス生産・供給の普及へ向けた委員会／委員	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱
	鉄建建設㈱／事業推進委員	鉄建建設㈱
	インベントリデータベースIDEA／専門委員	(一社) 産業環境管理協会
	森林産業コミュニティ・ネットワーク (FICoN) ／監事会員	森林産業コミュニティ・ネットワーク
	木材の良さを見るかするWG／委員	(公財) 日本住宅・木材技術センター
福田 大年	北海学園大学開発研究所／客員研究員	北海学園大学



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
丸山 洋平	新宿自治創造研究所／客員アドバイザー	新宿区新宿自治創造研究所
	GISセンター／研究参与	新潟市（都市政策部）
	さっぽろ未来創生プラン推進有識者会議／委員	札幌市（まちづくり政策局）
森 朋子	札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員	札幌市（都市局）
	北海道土地利用審査会／委員	北海道（総合政策部計画局）
	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	日本イコモス国内委員会／理事	（一社）日本イコモス国内委員会理事候補者選考委員会
	三内丸山遺跡史跡整備検討委員会／委員	三内丸山遺跡センター
	札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員	札幌市（都市局）
	北広島市史跡旧島松駅通所保存活用計画に関する懇話会／構成員	北広島市（教育委員会）
	南砺市五箇山世界遺産マスターープラン改訂委員会／委員	南砺市（南砺市役所）
	阿寒摩周国立公園弟子屈町川湯温泉街まちづくりマスターープランオープンデザイン会議／委員	阿寒摩周国立公園弟子屈町 川湯温泉街まちづくりマスターープラン推進協議会
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	縄文遺跡群世界遺産専門委員会／委員	縄文遺跡群世界遺産本部（北海道、青森県、秋田県、岩手県）
	札幌市旧永山武四郎邸・札幌市旧三菱鉱業寮運営協議会／委員	NC・MMS永山邸等運営共管理同事業体代表団体（株）ノーザンクロス
	大通公園・中島公園あり方検討委員会／委員	札幌市（建設局）
	第23次札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
山田 信博	北海道景観審議会／委員	北海道（建設部）
	赤井川村景観計画策定委員会／委員長	赤井川村（赤井川村役場）
須之内 元洋	北海道景観審議会／委員	北海道（建設部）
	北海道河川審議会／委員	北海道（建設部）
藤沢 礼央	札幌市／広告アドバイザー	札幌市（建設局）
榎田 智志	須之内元洋 ミナミナク・アートプロジェクト／委員	札幌市（南区市民部）
	苦小牧アートフェスティバル2024／委員	苦小牧市（教育委員会）
	樽前山アートフォトコンテスト／委員	樽前山アートフォトコンテスト実行委員会
	樽前振興計画懇談会／委員	苦小牧市（総合政策部）
榎田 智志	樽前アートスクール／委員	苦小牧市（教育委員会）
	特定非営利活動法人トップクラブ／理事	特定非営利活動法人トップクラブ
	札幌市新たな公共交通システムトータルデザイン検討会議／委員	札幌市（まちづくり政策局）



看護学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
樋之津 淳子	2024年度大学機関別認証評価／専門委員	(一社) 大学教育質保証・評価センター
	市立札幌病院／レジデント教育委員会委員	市立札幌病院
菊地 ひろみ	2024年度北海道専任教員養成講習会／講師	北海道(保健福祉部)
奈良間 美保	ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業(看護師養成)／推進委員会委員	文部科学省高等教育局医学教育課看護教育係
	京都橘大学／客員研究員	京都橘大学
松野 千代美	北海道大学大学院保健科学院／審査委員	北海道大学大学院保健科学院
菅原 美樹	臨床指導者研修会／講師	砂川市立病院
檜山 明子	2024年度北海道専任教員養成講習会／講師	北海道(保健福祉部)
村松 真澄	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
守村 洋	2024年度札幌市自殺総合対策連絡会議／出席者	札幌市(保健福祉局)
	自殺予防研修会2024／講師	市立函館病院
石引 かずみ	北海道看護協会札幌第1支部役員(助産師職能)／委員	(公社)北海道看護協会
鬼塚 美玲	令和6年度札幌市自主防災講演会／講師	札幌市(危機管理局)
武富 貴久子	砂川市立病院看護研究指導・看護研究発表会／講師	砂川市立病院
	北海道大学大学院医学研究院／客員研究員	北海道大学大学院医学研究院
牧田 靖子	令和6年度医療的ケア児保育フォローアップ研修／講師	札幌市(子ども未来局)
近藤 圭子	2024年度北海道看護協会札幌第1支部／保健師職能委員	(公社)北海道看護協会 札幌第1支部
西川 めぐみ	日本移植コーディネーター協議会(JATCO)／委員	日本移植コーディネーター協議会(JATCO)
	日本移植コーディネーター協議会(JATCO)／ファシリテーター	日本移植コーディネーター協議会(JATCO)

AITセンター

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
高橋 尚人	道央都市圏交通体系調査検討会／委員	北海道(建設部)
	札幌市ICT活用戦略検討有識者会議／委員	札幌市(デジタル戦略推進局)
	高齢者向け健康ポイントアプリ等の設計・開発の落札者決定基準等／意見聴取	札幌市(保健福祉局)
	産学融合拠点創出事業／上級エリアコーディネーター	(公財)北海道科学技術総合振興センター
	道央都市圏交通調査協議会・幹事会／委員	道央都市圏都市交通調査協議会
	道央都市圏交通体系調査検討会／委員	北海道(建設部)
	札幌旭丘高等学校数理データサイエンス科SDS研究発表会／審査員	市立札幌旭丘高等学校
津田 一郎	北海道大学電子科学研究所／外部評価委員	北海道大学電子科学研究所
	明治大学共同利用・共同研究拠点「現象数理学研究拠点」運営委員会／委員	明治大学先端数理科学インスティテュート
	NEDO／技術委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	ISIS co-mission／アドバイザリー・ボードメンバー	株編集工学研究所イシス編集学校
	Hyper-Editing Platform [AIDA]／ボードメンバー	株編集工学研究所



4 専門職支援・セミナー講師等

1) 専門職支援

① 認定看護管理者教育課程サードレベル

2024年度受講者14名（修了者14名）

開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習・実習(時間数)	講師		
第Ⅰ期（14日間） 2024年8月19日 ～9月8日	ヘルスケア システム論III/ 30時間	社会保障制度・政策の動向	講義（6）	★大久保一郎		
		看護制度・政策の動向	講義（9）	★齋藤 訓子		
		ヘルスケアサービスの創造	講義（6）	★小木 紀親		
			講義（3）	★島井健一郎		
			講義（3）	★土井 正子		
			講義（1.5）	★村本 好孝		
			講義（1.5）	★笹田 友恵		
	組織管理論III/ 30時間	組織デザインと組織運営	講義（3）	★大林由美子		
			講義（3）	★小藤 幹恵		
			講義（3）	★牧野 憲一		
			講義（3）	★深澤 優子		
			講義（6）	★千葉美恵子		
第Ⅱ期（13日間） 2024年11月6日 ～22日			演習（3）	松野千代美 矢野祐美子		
			演習（3）	松野千代美 矢野祐美子		
組織における倫理		講義（3）	★前田 朝子			
		講義（3）	★葛西 陽子			
第Ⅲ期（8日間） 2025年1月14日 ～29日	人材管理III/ 15時間	社会システムと労務管理	講義（3）	★和田 昌代		
			講義（3）	★櫛引 久丸		
			講義（3）	★田中いづみ		
		看護管理者の育成	講義（3）	松野千代美		
		特別講義（公開講座）	講義（3）	★竹中 君夫		
	資源管理III/ 30時間	経営戦略	講義（6）	★高橋 泰		
			講義（6）	★工藤 高		
			演習（3）	松野千代美 矢野祐美子		
		財務管理	講義（6）	★渡邊 寧子		
			講義（3）	★富樫 正浩		
		組織的情報管理	講義（6）	★宇都由美子		



第Ⅰ期 (14日間) 2024年8月19日 ~9月8日	質管理III/ 30時間	経営と質管理	講義 (6)	★須田 倫子
			講義 (6)	★坂上 真弓
			講義 (3)	松野千代美
			演習 (6)	松野千代美 矢野祐美子
		組織の安全管理	講義 (3)	★平岡 康子
			講義 (6)	★岡林 靖子
	統合演習III/ 45時間	第Ⅰ期演習	演習 (9)	★伊藤 リカ ★齊藤ひとみ ★中川千江子 ★宮崎 淳子 松野千代美 矢野祐美子
		第Ⅱ期演習	演習 (12)	★飯野智恵子 ★萩原 直美 ★樋渡ひとみ ★工藤 美幸 松野千代美 矢野祐美子
		統合演習	演習 (15)	★千葉美恵子 ★坂上 真弓 ★須田 倫子 ★田中いづみ 松野千代美 矢野祐美子
		実習	実習 (9)	松野千代美 矢野祐美子
		その他/9時間	ヒューマンネットワーキング	その他 (3)
			正しい統計データの探し方、使い方	講義 (3)
			効果的な表現方法、レイアウトの基礎	講義 (3)

★印：非常勤講師等



2) セミナー講師等

① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	2024年4月16日	2024年成果報告会・贈呈式／講師	(公財) 東電記念財団
	2024年6月27日	ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会「AIとSEの基本構造の違いを将来的にどのように融合すべきかの「展望」につき、AIの専門家として意見を伺う」／講師	(社) 電子情報技術産業協会
	2024年7月31日	トヨタ技術会 技術者の一日／講師	トヨタ自動車(株)
	2024年9月6日	北海道FDSDフォーラム2024「ナインチングールとAI:これからはリベラルアーツの時代」／講師	(大) 北海道大学
	2024年10月13日	NoMapsはこだて2024「デジタルと共に創する函館の未来:観光、ビジネス、そしてDX」／講師	NoMaps はこだて実行委員会
	2024年11月10日	北海道医師会創立77周年記念行事／講師	北海道医師会
	2024年12月11日	2024年度研修マレーシア「ICT推進によるDX実践」「日本のAI研究最前線」／講師	株北海道アルバイト情報社
	2025年1月17日	令和6年度三鷹市民大学総合コース「構造的問題を抱える日本経済と不確実性を増す世界経済～日本の羅針盤はいかに！～」「AI的知能論－行動経済学的には不合理だけどAI的には正しい人間の知能の姿」／講師	(公財) 三鷹市スポーツと文化財団
	2025年3月18日	日経リスキリングアワード受賞事例研究会／講師	日本経済新聞社
椎野 亜紀夫	2024年5月29日、6月14日、6月26日	「常盤の自然を生かした公園デザインをしよう」／講師	札幌市立芸術の森小学校
齊藤 雅也	2025年2月6日	令和6年度(2024年度)北海道旭川西高等学校スーパーイエンスハイスクール(SSH)事業／講師	北海道旭川西高等学校
柿山 浩一郎	2024年5月28日	第72期同友会大学「ビジネスとデザイン戦略」／講師	(社) 北海道中小企業家同友会
	2024年6月27日	成果発表イベント／講師	(公財) 中国地域創造研究センター
	2024年9月11日	札幌市中央図書館職員研修「多様な利用者に配慮したデザインとは～効果的な図書館の表現・伝達の方法」／講師	札幌市中央図書館
西川 忠	2024年6月26日	札幌建築クラブ令和6年度定期総会「臨床建築学入門～建物の病気と診断～」／講師	札幌建築クラブ
	2025年2月7日	令和6年度建築・住宅セミナー「建物の病気と診断～臨床建築学入門～」／講師	(財) 北海道建築指導センター
	2025年3月14日	令和6年度第3回住宅相談員意見交換会「臨床建築学入門～たてものの病気と診断～」／講師	(財) 北海道建築指導センター
三谷 篤史	2024年7月13日	第65回日本歯科医療管理学会総会・学術大会「口腔の健康とウェルビーイングを促進する教育と実践」／講師	第65回日本歯科医療管理学会総会・学術大会
	2024年11月30日	おもしろ実験室「1DAYサイエンス5」「ロボットプログラミング体験！～動かそうロボットカー！～」／講師	北海道電力(株)



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
片山 めぐみ	2024年4月25日	講演会「地域における多世代の居場所づくり構想」／講師	生活クラブ生活協同組合
	2024年5月14日、5月30日、8月22日、10月23日、2025年1月24日	北海道における地域コミュニティに関する研究会「北海道における地域コミュニティについて」／講師	(一財) 北海道開発協会
	2025年2月14日	持続可能な町内会に向けたシンポジウム「どうする?町内会」「これから町内会の進むべき道」／講師	旭川市
古俣 寛隆	2024年5月16日	令和6年北海道森づくり研究成果発表会「当別町への木質チップボイラー導入による経済性と経済波及効果に関する検証」／講師	(地団) 北海道立総合研究機構
	2024年7月26日	木質バイオマス利用に関する環境基準等の検討「ガス化CHPおよびバイオマスボイラー評価ツール」の概念と展開可能性／講師	(地団) 北海道立総合研究機構
	2024年9月13日	新たな道産木材利用に向けた木造畜舎シンポジウム「(仮)木造・鉄骨造畜舎のLCC・LCA・経済波及効果について」／講師	北海道釧路総合振興局
	2025年3月4日	木の建築物の効果検証・発信セミナー「木材の良さを見える化する事業研究事例の紹介」／講師	(公財) 日本住宅・木材技術センター
丸山 洋平	2024年9月2日	令和6年度(2024年度) 渡島総合振興局新規採用職員研修(中期)／講師	北海道渡島総合振興局
	2024年9月3日	北海道議会議員研修会／講師	北海道議会
森 朋子	2024年9月29日	第2回小樽地域遺産「忍路・蘭島」大会／講師	小樽地域遺産連合会
藤沢 札央	2025年2月1日、2月2日	おびひろ氷まつり協賛事業ワークショップ「今年もやります!☆鉄たたけます。」／講師	北海道立帯広美術館・帯広美術館振興会

② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
樋之津 淳子	2022年6月4日～2024年6月3日	日本看護研究学会／評議員	(一社) 日本看護研究学会
	2022年8月15日～2024年北海道地方会総会前日まで	日本看護研究学会北海道地方会／役員	(一社) 日本看護研究学会北海道地方会
	2022年8月16日～2024年社員総会終了時まで	日本看護技術学会／評議員	(一社) 日本看護技術学会
	2022年8月16日～2024年社員総会終了時まで	日本看護技術学会／編集委員会委員	(一社) 日本看護技術学会
	2023年4月1日～2025年3月31日	看護人間工学会／監事	看護人間工学会
	2024年5月22日～2024年度の評価結果公表時まで	2024年度大学機関別認証評価／専門委員	(一社) 大学教育質保証・評価センター
	2024年6月18日～記事修正まで	医学書院「看護教育」／対談収録・記事	医学書院
	2024年6月9日～2026年5月定時社員総会前日まで	日本看護学教育学会／評議員	(一社) 日本看護学教育学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
樋之津 淳子	2024年6月8日～2026年社員総会終了時まで	日本看護技術学会／理事	(一社)日本看護技術学会
	2024年6月8日～2026年社員総会終了時まで	日本看護技術学会／評議員	(一社)日本看護技術学会
	2024年8月5日～2026年社員総会終了時まで	日本看護技術学会／編集委員会委員長	(一社)日本看護技術学会
	2024年8月5日～2026年社員総会終了時まで	日本看護技術学会／倫理委員会委員	(一社)日本看護技術学会
	2024年9月1日～2026年3月31日	札幌医科大学附属病院／看護部長選考会議委員	(大)札幌医科大学附属病院
	承認日～2026年北海道地方会総会前日まで	日本看護研究学会北海道地方会／役員	(一社)日本看護研究学会北海道地方会
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
貝谷 敏子	2023年11月2日～2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／企画委員	第39回日本がん看護学会学術集会
	2024年4月1日～2026年3月31日	札幌医科大学倫理委員会／委員	札幌医科大学
	2024年6月24日～2025年6月21日	第34回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会／組織委員	第34回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会
	2025年2月22日～2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
川村 三希子	2022年8月1日～2024年7月31日	日本ホスピス緩和ケア協会／監事	特定非営利活動法人日本ホスピス緩和ケア協会
	2025年2月22日～2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
荒木 奈緒	2022年3月18日～2024年定時社員総会終結まで(年1回程度)	日本助産学会／代議員	(一社)日本助産学会
	2023年4月1日～2025年3月31日	「日本助産学会誌」の査読／専任査読委員	(一社)日本助産学会
	2024年2月1日～2026年1月31日	日本看護学会学術集会／一般演題の査読	日本看護学会学術集会
	2024年4月1日～2025年3月31日	日本遺伝看護学会／学会誌編集委員会委員	日本遺伝看護学会
	2024年4月1日～2025年3月31日	日本遺伝看護学会／査読委員	日本遺伝看護学会
	2024年5月28日～2025年3月31日	NTT東日本札幌病院／臨床看護研究の指導講師	NTT東日本札幌病院
	2024年6月3日～8月10日	日本助産学会／代議員	(一社)日本助産学会
	2024年11月15日	2024年度看護管理研修事業（北海道委託）企画検討会Ⅱ／会議への参加	(公社)北海道看護協会
卯野木 健	2024年8月30日	福島県立医科大学／特別講義講師	福島県立医科大学



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
菊地 ひろみ	2023年6月6日～2025年3月31日	北海道看護協会訪問看護推進検討会／委員	(公社) 北海道看護協会
	2023年6月10日～2024年度に関する定時社員総会の終結まで	日本難病看護学会難病看護師認定委員会／実行委員	(社) 日本難病看護学会
	2024年11月2日	2024年度北海道看護研究会／座長	(公社) 北海道看護協会
	2024年8月25日	第29回日本難病看護学会学術集会／座長	アレクシオンファーマ合同会社メディカルフェアーズ
	2024年7月27日～2026年総会まで	日本在宅ケア学会／理事	(社) 日本在宅ケア学会
奈良間 美保	2024年7月27日～2026年総会まで	日本在宅ケア学会／論文賞選考委員会委員長	(社) 日本在宅ケア学会
	2024年4月1日～2025年3月31日	日本看護学教育評価機構／機構担当者	(財) 日本看護学教育評価機構
	2024年7月11～2年間	日本看護学教育評価機構／評価委員	(財) 日本看護学教育評価機構
	2024年10月7日～8日	日本看護学教育評価機構／評価担当者	(財) 日本看護学教育評価機構
松野 千代美	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2024年4月26日～7月16日原稿締切	月間ナースマネジャー／執筆	日総研グループ(株)日総研出版
	2024年11月25日、12月5日、6日	「看護管理者に求められる課題解決能力とは？」研修会／講師	(公財) 北海道医療団帯広第一病院
	2025年2月5日	組織的役割遂行するための研修／講師	(公財) 北海道医療団帯広第一病院
加藤 依子	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
菅原 美樹	2022年12月1日～2024年6月24日	第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会／企画委員	第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会
	2022年社員総会締結後～2024年社員総会終結時	日本循環器看護学会誌／専任査読委員	日本循環器看護学会
	2023年9月1日～2025年度定時代議員会終了時	日本災害看護学会 災害看護学術用語委員会／委員	(社) 日本災害看護学会
	2023年9月1日～2025年度定時代議員会	日本災害看護学会／査読委員	(社) 日本災害看護学会
	2023年10月31日～2025年9月	センター調査<C0206>個別調査部会／部会員	(社) 日本医療安全調査機構医療事故調査・支援センター
	2023年11月2日～2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／企画委員	第39回日本がん看護学会学術集会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
菅原 美樹	2023年12月21日～2025年11月	日本救急看護学会／専任査読委員	(社)日本救急看護学会
	2024年4月1日～2027年3月31日	第28日本救急看護学会学術集会／企画実行委員	第28日本救急看護学会学術集会
	2024年6月9日～2026年5月定時社員総会前日まで	日本看護研究学会／評議員	(社)日本看護研究学会
	2024年9月19日	2024年度認定看護師教育課程／講師	(公社)日本看護協会看護研修学校
	承認日～2026年北海道地方会総会前日まで	日本看護研究学会北海道地方会／理事	(社)日本看護研究学会
	2024年12月21日	高知看護教育研究会令和6年度第2回学習会／講師	高知看護教育研究会
	2024年12月26日～2025年7月19日まで	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会／企画実行委員長	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会
	2025年2月22日、23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2025年2月22日～2027年2月21日まで	日本災害看護学会／代議員	(社)日本災害看護学会
高橋 奈美	2022年7月9日～2024年7月8日	日本在宅ケア学会／代議員	(社)日本在宅ケア学会
	2023年6月10日～2024年度に関する定時社員総会の終結まで	日本難病看護学会 総務委員会／委員	(社)日本難病看護学会
	2024年4月1日～2026年3月31日	日本慢性看護学会／評議員	日本慢性看護学会
	2024年4月1日～2026年社員総会	日本在宅ケア学会／代議委員	(社)日本在宅ケア学会
	2024年4月1日～2025年3月31日	日本慢性看護学会／編集委員会 専任査読委員	日本慢性看護学会
	2024年8月25日	第29回日本在宅ケア学会学術集会／一般演題座長	第29回日本在宅ケア学会学術集会
	2024年10月1日～2025年12月20日(3回程度)	渓仁会定山渓病院共同研究／研究支援者	(医)渓仁会定山渓病院
	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
原井 美佳	2024年4月1日～2026年3月31日	桑園認知症ケア研究会／世話人	桑園認知症ケア研究会
	2024年12月1日	NPO法人和・ハーモニー音楽療法研究会「第27回音楽療法研修会」／講師	NPO法人和・ハーモニー音楽療法研究会
	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
檜山 明子	2024年10月27日	日本看護技術学会第22回学術集会「示説⑤動く・体位を整えるケア」／座長	日本看護技術学会第22回学術集会
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
本田 光	2022年6月12日 ～2024年6月	日本公衆衛生看護学会の学術実践開発委員会／委員	(社)日本公衆衛生看護学会
牧野 夏子	2023年4月1日～ 2024年6月23、24日	第20回 日本クリティカルケア看護学会学術集会／運営委員	第20回 日本クリティカルケア看護学会学術集会
	2023年11月2日 ～2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／企画委員	第39回日本がん看護学会学術集会
	2023年12月21日 ～2025年11月まで	日本救急看護学会／専任査読委員	(社)日本救急看護学会
	2024年6月6日 ～11月2日	2024年度北海道看護研究学会／交流集会の企画・運営	札幌医科大学クリティカルケア看護研究会
	2024年6月12日	第33回日本熱傷学会学術講習会／講師	(社)日本熱傷学会
	2024年6月23日	第20回日本クリティカルケア看護学会／座長	第20回日本クリティカルケア看護学科学術集会
	2024年6月26日～ 2026年5月頃調査が終了するまで	センター調査< C0236 >個別調査部会／部会員	(社)日本医療安全調査機構
	2024年7月1日 ～査読終了まで	第26回日本救急看護学会学術集会／査読委員	第26回日本救急看護学会学術集会
	2024年11月17日	日本救急看護学会 2025年度社員総会／評議員	(社)日本救急看護学会
	2024年11月19日	第26回日本救急看護学会学術集会／演者	第26回日本救急看護学会学術集会
村松 真澄	2025年2月22日 2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2025年3月13日	世界腎臓デー市民啓発活動／運営スタッフ	北海道透析看護認定看護師会
	2022年8月1日～ 2024年度社員総会	日本老年看護学会編集委員会／査読委員	(社)日本老年看護学会
	2022年8月1日 ～2025年7月31日	日本摂食嚥下リハビリテーション学会／評議員	(社)日本摂食嚥下リハビリテーション学会
	2024年6月29日～ 2026年度社員総会	日本老年看護学会／代議員	(社)日本老年看護学会
	2024年7月20日	在宅医療カレッジ札幌 2024／現地実行委員	(医)悠翔会
	2024年7月20日～ 2026年度社員総会	日本老年看護学会／委員	(社)日本老年看護学会
	2024年8月1日～ 2026年度社員総会	日本老年看護学会／査読委員	(社)日本老年看護学会
	2024年8月26日	大悲会特別養護老人ホームあそか苑／講師	(福)大悲会特別養護老人ホームあそか苑
	2024年9月28日	第1回北海道口腔ケアフォーラム／座長	第1回北海道口腔ケアフォーラム
	2024年10月5日	第3回ホームホスピス北海道市民フォーラム／実行委員・座長	ホームホスピス北海道
	2024年10月13日	第47回日本死の臨床研究会年次大会／座長	(社)日本死の臨床研究会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
守村 洋	2022年10月19日～2024年9月30日	日本看護シミュレーションラーニング学会誌／査読委員	(一社)日本看護シミュレーションラーニング学会
	2023年10月21日～2025年4月2日	日本精神保健看護学会／第36回学術集会会長	(一社)日本精神保健看護学会
	2023年12月1日～2025年12月1日	札幌市社会福祉総合センター 管理運営委員会／委員	(福)札幌市社会福祉協議会
	2024年4月1日～2026年3月31日	札幌市社会福祉協議会 権利擁護審査会／委員	(福)札幌市社会福祉協議会
	2024年6月下旬～2025年3月末	札幌市社会福祉協議会／講師	(福)札幌市社会福祉協議会
	2024年6月16日～2026年定時社員総会終結まで	日本看護シミュレーションラーニング学会／理事	日本看護シミュレーションラーニング学会
	2024年7月1日～2026年6月30日	特定非営利活動法人クリオネ／第三者委員	特定非営利活動法人クリオネ
	2024年7月19日～配信（撮影日：3時間程度）	2024年度札幌市教育センター／専門研修講師	札幌市（教育委員会）
	2024年8月～2025年7月毎月第4金曜日	社団五稜会病院／研究指導講師	(医)五稜会病院
	2024年8月17日	第494回精神療養講座／講師	特定非営利活動法人札幌市精神障害者家族連合会
	2024年9月3日	令和6年度専門研修課程専攻科看護師等技術向上研修／講師	矯正研修所札幌支所
	2024年9月27日	天使大学／特別講師	天使大学
	2024年10月17日	禎心会令和6年度訪問看護合同研修会／講師	(医)禎心会道央在宅事業部
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
石引 かずみ	2023年6月17日～2年以内に実施する最終の代議員選挙終了の時まで	日本フォレンジック学会／代議員	(一社)日本フォレンジック学会
	2025年2月15日	2024年春札幌第1支部 支部大会・後援会／出席	北海道看護協会札幌第1支部
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
岡 園代	2024年7月16日	新生児・乳幼児ケア論／講師	大手前大学大学院
	2025年3月10日締切	ペリネイタルケア誌／執筆	(株)メディカ出版
鬼塚 美玲	2024年9月11日～2025年2月26日	北海道札幌月寒高等学校探求学習／講師	北海道札幌月寒高等学校
	2024年11月1日～2025年3月31日	もしも北海道が開催する防災イベント／企画・運営・防災啓発・啓蒙活動における助言・支援	もしも北海道グループ
	2024年11月7日	令和6年度女も男もワイワイセッション／出演	(公社)北海道女性協会
	2024年11月16日	北海道救急医学会看護部会／研修会講師	北海道救急医学会看護部会
	2025年2月4日	札幌市白石区防火委員会防火・防災研修会／講師	札幌市白石区防火委員会
	2025年2月15日	北海道看護協会札幌第2支部災害研修会／講師	北海道看護協会札幌第2支部
	2025年2月21日～22日	令和6年度東区冬季体験型防災訓練に係る研究調査／講師、調査分析	札幌市東区



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
工藤 京子	2025年2月22日、 23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
武富 貴久子	2024年4月1日 ～2025年3月31日	看護の質向上や看護実践能力開発を目指すための指導／特別講師	(医) 北楓会 札幌北楓病院
	2024年6月 ～2026年5月	日本プライマリ・ケア連合会看護師部会／委員	(社) 日本プライマリ・ケア連合会
	2024年6月7日～9日	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会／座長	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
	2024年6月9日	日本プライマリ・ケア連合学会日野原賞／審査員	(社) 日本プライマリ・ケア連合会
	2024年9月14日 ～15日	標準模擬患者に対する演技および評価の助言／ 模擬患者指導教員	北海道大学大学院医学研究院
	2024年10月26日 ～27日	標準模擬患者に対する演技および評価の助言／ 模擬患者指導教員	北海道大学大学院医学研究院
	2024年12月26日～ 2025年7月19日まで	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会／企画実行委員	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会
	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2025年3月12日	産学官連携研究会 HoPE3月例会／講師	(社) 北海道中小企業家同友会
牧田 靖子	2023年9月7日 ～2025年8月	センター調査< C0205 >個別調査部会／部会員	(社) 日本医療安全調査機構
	2024年4月9日、5月 14日、6月11日、7月9 日、8月13日、9月10 日、10月8日、11月12 日、12月24日 2025年1月14日、2月 4日、3月11日	2024年度南区保育・子育て支援センター「保健 相談」／小児看護専門看護師	南区保険・子育て支援センター
	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2025年3月10日締切	小児看護 2025年6月号／執筆	株へるす出版
三戸部 純子	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
矢野 祐美子	2024年4月1日 ～2026年3月31日	日本伝統医療看護連携学会／査読委員	日本伝統医療看護連携学会
中平 紗貴子	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
市戸 優人	2024年7月12日	性教育講話／講師	伊達開来高等学校
	2024年7月16日	性の健康講話／講師	北海道室蘭栄高等学校
	2024年9月11日 ～2025年2月26日	探求学習／講師	北海道月寒高等学校
	2024年11月1日 ～2025年3月31日	もしも北海道が開催する防災イベント／企画・運 営・防災啓発・啓蒙活動における助言・支援	もしも北海道グループ
	2024年11月29日	2024年度北海道産業保健看護部会第2回実務 研修会／講師	日本産業衛生学会北海道地方 会産業保健看護部会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
市戸 優人	2025年3月13日	授業「男性の心と体」／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校
	2025年2月21日～22日	令和7年度東区冬季体験型防災訓練に係る研究調査／調査分析	札幌市東区
	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
栗原 知己	2024年4月1日～2025年3月31日	日本版敗血症診療ガイドライン2024特別委員会(AdHoc)／ワーキンググループメンバー	(社)日本集中医療学会
	2024年4月1日～2025年3月31日	日本集中治療医学会／看護教育委員会委員	(社)日本集中医療学会
	2024年5月25日、26日	日本救急看護学会 JNTEC プロバイダーコース／インストラクター	日本救急看護学会
	2024年6月29日	日本救急看護学会主催 WEB版外傷看護VRアドバンスコース／インストラクター	日本救急看護学会
	2024年7月13日、14日	日本救急看護学会主催 第259回JNTECプロバイダーコース／インストラクター	日本救急看護学会
	2024年7月1日～査読終了まで	第26回日本救急看護学会学術集会／査読委員	第26回日本救急看護学会学術集会
	2024年8月8日～2025年3月31日	ARDS診療ガイドライン作成統括委員会(AdHoc)／ワーキンググループメンバー	(社)日本集中医療学会
	2024年9月28日～29日	日本救急看護学会主催第263回JNTECプロバイダーコース／インストラクター	(社)日本救急看護学会
	2024年12月26日～2025年7月19日	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会／企画実行委員	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会
	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
近藤 圭子	2024年3月6日～31日	重症患者リハビリテーション診療ガイドライン委員会(AdHoc)／ワーキンググループメンバー	(社)日本集中医療学会
	2025年3月9日	WEB版外傷看護VRアドバンスコース／インストラクター	(社)日本救急看護学会
	2024年8月6日	「私たちが考えるACP～多職種連携だからできること～」／講師	北海道檜山多職種連携協議会
渋谷 友紀	2025年2月15日	2024年度札幌第1支部 支部大会・後援会／出席	北海道看護協会札幌第1支部
	2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2024年9月3日	令和6年度専門研修課程専攻科看護師等技術向上研修／講師	矯正研修所札幌支所
田仲 里江	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2025年3月31日～2026年8月31日	日本精神保健看護学会第36回学術集会・総会／運営事務局	日本精神保健看護学会第36回学術集会・総会
田仲 里江	2025年2月2日、2月7日、2月8日	まちの保健室×おでかけぷらす地域包括ケア実証プロジェクト／看護師・保健師	(株)かんごぷらす



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
西川 めぐみ	2023年12月1日～2025年8月31日	日本腎不全看護学会／専任査読者	(社)日本腎不全看護学会
	2024年5月1日～2025年3月31日	北海道腎移植談話会／監事・会計監事	北海道腎移植談話会
	2024年12月7日	日本移植コーディネーター協議会／ファシリテーター	日本移植コーディネーター協議会 (JATCO)
	2025年3月13日	世界腎臓デー市民啓発活動／運営スタッフ	北海道透析看護認定看護師会
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
平山 憲吾	2024年4月1日～2025年3月31日	看護総合科学研究会／評議員および総務	看護総合科学研究会
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
	2025年2月21日～2年後に実施する代議員選挙終了の時まで	日本がん看護学会／代議員	(社)日本がん看護学会
吉田 実和	2024年11月1日～2025年3月31日	もしも北海道が開催する防災イベント／企画・運営・防災啓発・啓蒙活動における助言・支援	もしも北海道グループ
	2024年12月26日～2025年7月19日	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会／企画実行委員	日本看護研究学会第33回北海道地方学術集会
	2025年2月21日	令和8年度東区冬季体験型防災訓練に係る研究調査／調査分析	札幌市東区
	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会
澤口 宙人	2025年2月22日	第39回日本がん看護学会学術集会／運営ボランティア	第39回日本がん看護学会学術集会

③ AITセンター

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
高橋 尚人	2024年4月26日	プロピオン酸ナトリウムを活用した凍結防止剤に関する技術指導／講師	中日本高速道路(株)
	2024年6月26日	DX研究会 基調講演「救急需要の将来予測や救急隊の稼働状況の可視化の取り組み」／講師	(大)富山県立大学
	2024年7月24日	第105回北海道市議会議長会職員研修会「AIの基礎と実用」／講師	北海道市議会議長会
	2024年10月3日	札幌旭丘高等学校数理データサイエンス科 SDS基礎「さっぽろ探究」中間発表／講師	市立札幌旭丘高等学校
	2024年11月30日	公益社団法人日本都市計画学会北海道支部令和6年度支部研究発表会「デジタル技術を活用した北の街づくり」／講師	(公社)日本都市計画学会北海道支部



5 國際交流実績

期間	種別	内容
2024年4月1日～ 2025年3月31日	受入	台中科技大学から特別聴講生1名を受入
2024年4月24日	オンライン 交流	台中科技大学（学生22名、教員11名）と、オンライン国際交流プログラムを実施し、看護学部学生8名ならびに教員8名が参加
2024年5月10日	その他	新入生対象国際交流・留学フェアを対面及びオンライン開催し、学生10名、教職員4名が参加
2024年8月1日	その他	渡航前危機管理オリエンテーションをオンライン開催し、延べ学生28名、教職員27名が参加
2024年8月14日～ 2025年5月31日	派遣	ラップランド大学へ交換留学生1名を派遣
2024年8月19日～ 23日	受入	日台デザインワークショップ（大谷大学主催、華梵大学、台中科技大学、雲林科技大学、本学共催）に学生4名ならびに教員2名が参加、華梵大学から学生4名ならびに教員1名、台中科技大学から学生4名ならびに教員1名、雲林科技大学から学生4名ならびに教員2名が参加
2024年10月6日～ 10日	派遣	バンズ工科大学と共同で「SCU×ITB国際交流デザインワークショップ」を実施し、デザイン学部学生8名、教員2名を派遣
2024年10月16日～ 18日	その他	国際交流・留学フェアを対面及びオンライン開催し、延べ学生38名、教職員24名が参加
2024年11月12日～ 16日	受入	承德医学院から学部生2名、大学院生3名、教員1名を受入
2025年2月11日～ 16日	派遣	Pacific Northwest College of Art (PNCA)、ウィラメット大学とのワークショップに、デザイン学部学生6名ならびに教員1名を派遣
2025年3月18日	オンライン 交流	オーストラリアのクイーンズランド大学のオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生2名が参加

6 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	利用件数
講演会・セミナー	57
会議	41 ※内訳 会議（学内者のみ）13 産学連携・会議（学外者を含む）28
研究会・学会	203
その他	1
合計	302

V キャリア支援活動

1 デザイン学部

1) 概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で2008年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の支援方法及び企業へのPR・求人開拓活動などを協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

また、同時に開設されたキャリア支援室では、教職員による就職相談体制を整えるとともに、専門の就職相談員1名を配置し、きめ細かな個別指導を行っている。2020年度以降は、対面だけではなくオンラインによる相談体制も整備し、後援会からの支援をうけた就職活動支援の取組も行っている。活動実績の詳細については以下のとおりである。

学部4年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（2024年4月～） ・学内企業説明会の開催（随時） ・求人情報の提供（随時）
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・OB・OGイベントを含むキャリアガイダンス（2024年4月～2025年1月） ・デザイン学部専門教育科目「キャリアデザイン」（2024年10月～2025年1月） ・進路希望調査（2024年9月） ・学内業界セミナーの開催（随時） ・求人情報の提供（随時） ・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）
学部2・3年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチ講習会の開催（2024年10月） ・ワークショップ型インターンシップ体験の開催（2024年11月） ・ポートフォリオ作成支援（随時）
後援会からの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシート個別相談会の開催（2024年10月） ・履歴書用証明写真撮影補助（2024年6月） ・模擬面接（2024年11月）

2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、キャリア支援委員会の委員、2コースのゼミ担当教員及び事務局（学生課学生支援係キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち就職活動に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。



3) 就職・進学結果

(16期生) 2025年3月卒業生

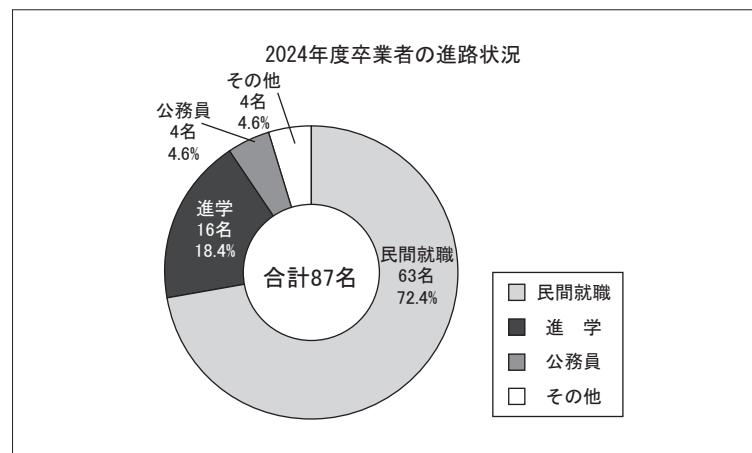
就職先	■建設業 (株)SHUKEN Re／(株)淺沼組／(株)エル技術コンサルタント／三建設設備工業(株)／(株)スウェーデンハウス／(株)スタイルックス・アーキテクト／豊栄建設(株)／同事建設(株)／(株)バウハウス丸栄／丸彦渡辺建設(株)
	■製造業 (株)いすゞ北海道試験場／(株)カンディハウス／クリナップ(株)／(株)ティーピーパック／(株)須田製版／(株)セルタン／総合商研(株)／(株)プリプレス・センター／(株)牧家／(株)六花亭
	■情報通信業（放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等） JIG·SAW(株)／(株)Olivier／TIS北海道(株)／(株)WinGrow／クリナップソリューション(株)／(株)札幌映像プロダクション／(株)ジャパンテクニカルソフトウェア／ダイアモンドヘッド(株)／ハコレコドットコム(株)／(株)フォレステック
	■卸売業・小売業 アイア(株)／(株)オルゴール堂／大丸(株)／(株)ドン・キホーテ／永浜クロス(株)／(株)ファーストリテイリング
	■不動産業 有恒志堂／北海道土地開発公社
	■専門・技術サービス業（デザイン業・広告業等） (株)ambient／(株)京屋／クオン(株)／国農積算(株)／(株)コンステック／(株)商藝舎／(株)スコープ／スタークリエイツ(株)／(株)日本アド／フェンリル(株)／フリーランス／(株)プロコム北海道／(株)モスキート／(株)ロースター
	■宿泊業・飲食業 (株)吉野家
	■生活・娯楽業 (株)村上音楽事務所
	■教育・学習支援業 (大)筑波大学／(株)東急キッズベースキャンプ／(大)東京大学／(大)北海道大学
	■サービス業 (株)アルトナー／真宗大谷派東本願寺／(株)ダイブ
	■公務 今金町／神戸市／札幌市／ニセコ
進学先	札幌市立大学大学院／北海道大学大学院



(16期生) 札幌市立大学デザイン学部 2024年度卒業者 就職状況 (2025年7月1日現在)

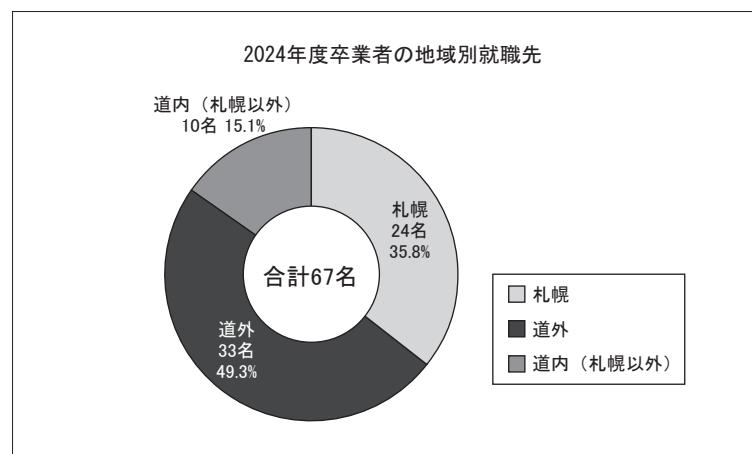
進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	63名	72.4%
進学	16名	18.4%
公務員	4名	4.6%
その他	4名	4.6%
合計	87名	—



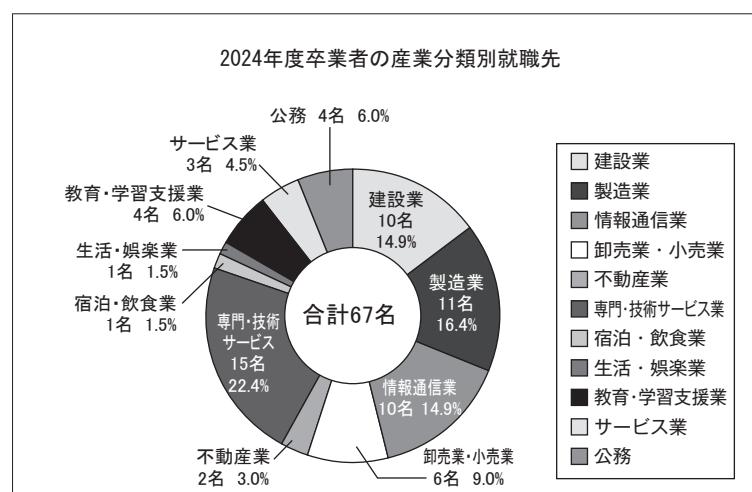
地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	24名	35.8%
道外	33名	49.3%
道内（札幌以外）	10名	15.1%
合計	67名	—



産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
建設業	10名	14.9%
製造業	11名	16.4%
情報通信業	10名	14.9%
卸売業・小売業	6名	9.0%
不動産業	2名	3.0%
専門・技術サービス業	15名	22.4%
宿泊・飲食業	1名	1.5%
生活・娯楽業	1名	1.5%
教育・学習支援業	4名	6.0%
サービス業	3名	4.5%
公務	4名	6.0%
合計	67名	—





4) コース別概要

(16期生) 札幌市立大学デザイン学部 2024年度卒業者 (2025年7月1日現在)

1. コース別進路状況

コース	卒業生数①	1. 就職希望		就職者 (起業含)		2. 進学希望		3. その他 ⑥※ 2
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑥	
人間空間	46	33	4	32	4	12	12	1
人間情報	41	35	0	35	0	4	4	2
合 計	87	68	4	67	4	16	16	3
割 合		78.2%	5.9%	98.5%	6.0%	18.4%	100.0%	3.4%

②÷①

③÷② ※ 1

④÷①

⑤÷④ ※ 3

⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者 (アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

2. 内定先の内訳 (市内23社24名、道内10社10名、道外33社33名)

コース	道内企業 (札幌市内含む)	道外企業
人間空間	豊栄建設(㈱) [建設: 設計職] 大丸(㈱) [卸・小売: 総合職] 丸彦渡辺建設(㈱) [建設: 建築施工管理職] 永浜クロス(㈱) [卸・小売: 内勤職] ㈱札幌映像プロダクション [情報通信] (大) 北海道大学 [教育・学習支援: 技術職員] 札幌市 [公務: 造園職] ㈱須田製版 [製造: 営業職] ㈱ WinGrow [情報通信: 営業職] 北海道土地開発公社 [不動産業: 事務職] ㈱ ambient [専門・技術: デザイナー]	三建設機械工業(㈱) [建設: 設計] ㈱スタイルックス・アーキテクト [建設: 意匠設計職] ㈱スウェーデンハウス [建設: 設計職] ㈱浅沼組 [建設: 設計職] ㈱モスキート [専門・技術: 総合職] ㈱コンステック [専門・技術: 技術系総合職] 国豊積算(㈱) [専門・技術: 積算職] クリナップソリューション(㈱) [情報通信: SE職] 神戸市 [公務: 建築職] ㈱スコーピ [専門・技術: 企画職] 同事建設(㈱) [建設: 施工管理職] ㈱ダイブ [サービス業: 運営責任者] ㈱京屋 [専門・技術: デザイナー] ㈱東急キッズベースキャンプ [教育・学習支援: キッズコーチ職] ㈱ SHUKEN Re [建設: 設計職] ㈱バウハウス丸栄 [建設: 営業設計職] クオン(㈱) [専門・技術] ㈱ドン・キホーテ [卸・小売: POP ライター]
	㈱商藝舎 [専門・技術: デザイナー] 二セコ町 [公務: 事務職] 今金町 [公務: 事務職]	



コース	道内企業（札幌市内含む）	道外企業
人間情報	株ジャパンテクニカルソフトウェア〔情報通信:プログラマー〕 TIS 北海道㈱〔情報通信: プログラマー〕 株プリプレス・センター〔製造:デザイナー〕 株 Olivier 〔情報通信: SE 職〕 総合商研㈱〔製造:制作職〕 ㈲恒志堂〔不動産業:総合職〕 株フォレステック 〔情報通信: ソフトウェア開発職〕 フリーランス〔専門・技術〕 株ティーピーパック 〔製造: 企画営業職〕 スタークリエイツ㈱〔専門・技術: 制作職〕 株 ambient 〔専門・技術: デザイナー職〕 株エル技術コンサルタント 〔建設: 設計職〕	株アルトナー 〔サービス業: エンジニア職〕 フェンリル㈱〔専門・技術: UIUX デザイナー〕 株吉野家〔宿泊、飲食: 総合職〕 JIG-SAW ㈱〔情報通信: エンジニア職〕 真宗大谷派東本願寺 〔サービス業: 宗務役員〕 株セルタン 〔製造: デザイナー〕 ダイアモンドヘッド㈱ 〔情報通信: Web デザイナー〕 (大)東京大学 〔教育・学習支援: 事務職〕 (大)筑波大学 〔教育・学習支援: 事務職〕 株ロースター 〔専門・技術: デザイナー〕 アイア㈱ 〔卸・小売: 総合職〕 株ファーストリテイリング 〔卸・小売: 販売職〕 クリナップ㈱ 〔製造: 企画職〕 株日本アド 〔専門・技術: コピーライター〕 株村上音楽事務所 〔生活・娯楽: 音響・照明職〕
市内		
道内	株牧家 〔製造: 総合職〕 株カンディハウス 〔製造: 営業職〕 株六花亭 〔製造: 総合職〕 ハコレコドットコム㈱ 〔情報通信: フロントエンジニア〕 株オルゴール堂 〔卸・小売: 販売職〕 株プロコム北海道 〔専門・技術: クリエイティブ職〕 ㈱いすゞ北海道試験場 〔製造: 事務職〕	
小計	33社 34名	33社 33名
合計		66社 67名

3. 進学状況（大学院15名、その他1名）

コース	進学先	
人間空間	大学院	札幌市立大学 10名、北海道大学 1名
	研究生	札幌市立大学 1名
	その他	
人間情報	大学院	札幌市立大学 4名
	研究生	
	その他	
合計		大学院 15 研究生 1 その他 0



2 看護学部（助産学専攻科含む）

1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイドンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイドンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに適う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員10名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	進路希望調査 模擬面接	
5月	模擬面接	
6月	国家試験ガイダンス 看護師模試①	進路活動ガイダンス（第1回） 特別講義（就職活動への心構え）
7月		
8月	再学修セミナー	進路活動ガイダンス（第2回）
9月	後期ガイダンス	
	再学修セミナー 保健師模試①	進路活動ガイダンス（第3回）
10月	看護師模試② 国家試験受験願書説明会	進路希望調査 国家試験対策自主ゼミ結成
11月	保健師模試② 助産師模試① 国家試験直前対策講座	
12月	助産師模試②	特別講義（就活マナー講座）
1月	看護師模試③ 保健師模試③	
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング 卒業・修了前ガイダンス 特別講義（就労支援）	低学年用国家試験模試 特別講義（履歴書対策講座） 特別講義（小論文対策講座）
3月		特別講義（面接対策講座） 学内キャリア説明会 就活座談会



3) 就職・進学結果

① 進路状況

(単位：名)

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数 (b)	内定率 (%) (b/a)
看護学部	81	77	4	77	100.0
助産学専攻科	9	9	0	9	100.0

② 就職者の職種

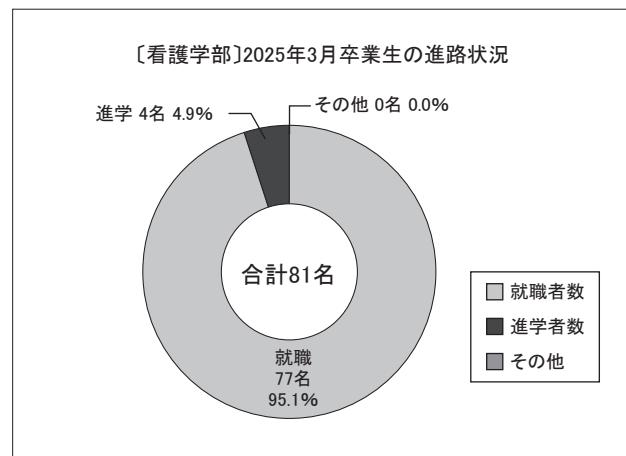
(単位：名)

看護師	71
保健師	7
助産師	8
その他	0
合計	86

2025年3月卒業生・修了生

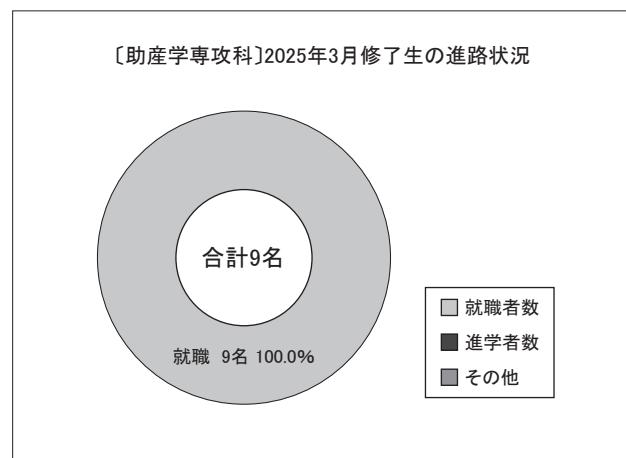
看護学部

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	77	95.1
進学	4	4.9
その他	0	0.0
合計	81	—



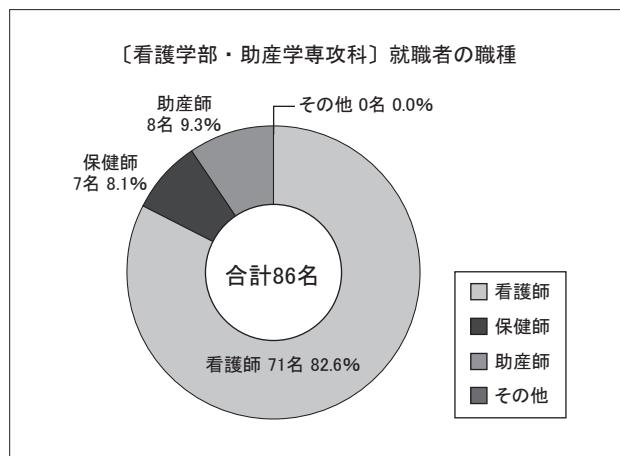
助産学専攻科

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	9	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	9	—



看護学部・助産学専攻科

産業分類	人数(名)	割合(%)
看護師	71	82.6
保健師	7	8.1
助産師	8	9.3
その他	0	0
合計	86	—



4) 国家試験の結果

(単位：名)

	出願者数（名）	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）
看護師	81	81	81	100.0
保健師	29	29	29	100.0
助産師	9	9	9	100.0



3 デザイン研究科

1) 就職・進学結果

(14期生) 札幌市立大学 (デザイン研究科博士前期課程) 2024年度修了生

就職先	■建設業 株竹中工務店／大和ハウス工業株／株長谷工コーポレーション
	■情報通信業 NTTデータグローバルソリューションズ／株アートフル
	■卸売業・小売業 小さな幸せを創る(有)／株手紙社／株ポケモンセンター
	■専門・技術サービス業 (デザイン業・広告業等) 株クリーチャーズ
	■サービス業 エン・ジャパン株／株サイバーエージェント
	■公務 北海道

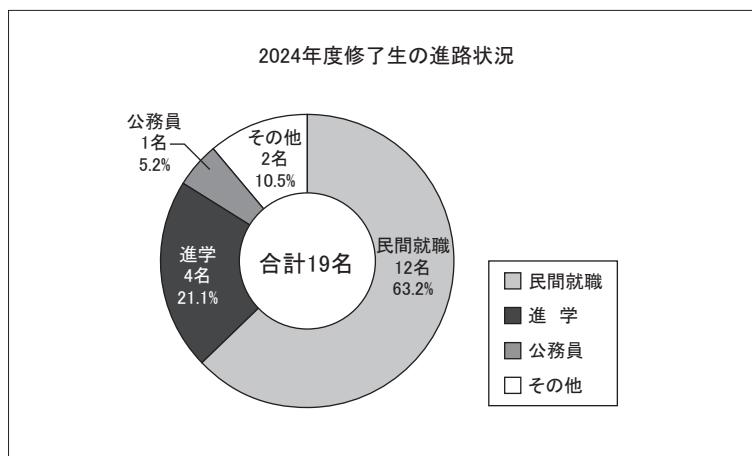
(11期生) 札幌市立大学 (デザイン研究科博士後期課程) 2024年度修了生

就職先	■建設業 株アトリエモノゴト一級建築士事務所
	■教育・学習支援業 (大)常葉大学

(14期生) デザイン研究科博士前期課程 2024年度修了者 就職状況

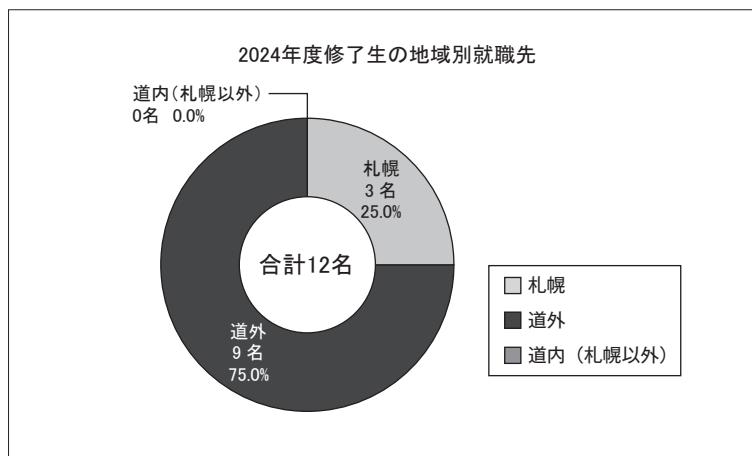
進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	12名	63.2%
進学	4名	21.1%
公務員	1名	5.2%
その他	2名	10.5%
合計	19名	—



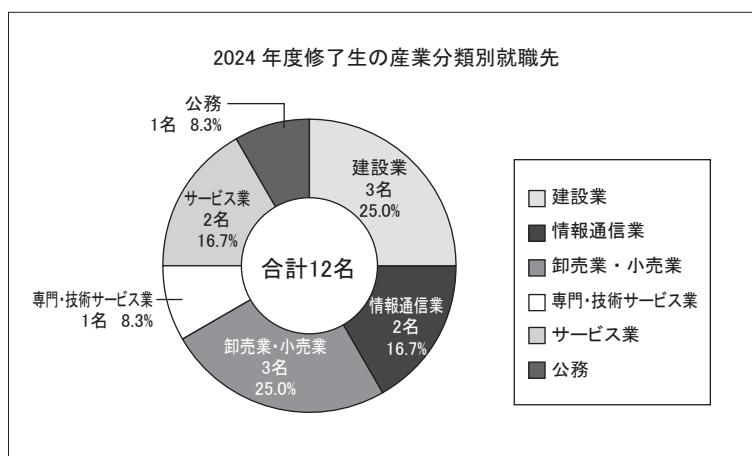
地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	3名	25.0%
道外	9名	75.0%
道内（札幌以外）	0名	0.0%
合計	12名	—



産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
建設業	3名	47.2%
情報通信業	2名	16.7%
卸売業・小売業	3名	25.0%
専門・技術サービス業	1名	8.3%
サービス業	2名	16.7%
公務	1名	8.3%
合計	12名	—





2) 進路決定状況概要

1. 進路状況

(14期生) 札幌市立大学デザイン研究科博士前期課程 2024年度修了者

(単位:名)

修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他	
	②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑥※3	⑥※2	
人 数	19	13	1	12	1	4	4	2
割 合	100.0%	68.4%	7.7%	92.3%	8.3%	21.1%	0.0%	10.5%

①÷①

②÷①

③÷②

④÷①

⑤÷④

⑥÷①

(11期生) デザイン研究科博士後期課程 2024年度修了者

(単位:名)

修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他	
	②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑥※3	⑥※2	
人 数	2	2	0	2	0	0	0	0
割 合	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

①÷①

②÷①

③÷②

④÷①

⑤÷④

⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者(社会人学生、アルバイト・公務員浪人、将来的な就職に関する進路選択をしたもの等)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

2. 内定先の内訳 (市内4社4名、道内0社0名、道外10社10名)

コース	道内企業(札幌市内含む)			道外企業		
デザイン 専攻	市内	北海道〔公務:教育行政〕 小さな幸せを創る㈲〔卸・小売:事務職〕 株式会社アートフル〔情報通信:〕 ㈱アトリエモノゴト一級建築士事務所〔建設:代表〕	㈱長谷工コーポレーション〔建設:設計職〕 ㈱竹中工務店〔建設:建築技術職〕 ㈱NTTデータグローバルソリューションズ〔情報通信:デジタルテクノロジエンジニア〕 ㈱サイバーエージェント〔サービス業:クリエイター〕 ㈱ポケモンセンター〔卸・小売:総合職〕 エン・ジャパン㈱〔サービス業:総合コース〕 ㈱手紙社〔卸・小売:運営職〕 ㈱クリーチャーズ〔情報通信:カードゲーム開発職〕 大和ハウス工業㈱〔建設:営業職〕 (大)常葉大学〔教育・学習支援:准教授〕	0	0	0
	道内					
小計	4社 4名			10社 10名		
合計	14社 14名					

3. 進学状況 (大学院3名、その他1名)

課程	進学先			小計(名)
デザイン 研究科博士 前期課程	大学院	札幌市立大学(博士課程) 2名、英國大学院(博士課程) 1名		0
	研究生			0
	その他	日本写真芸術専門学校 1名		0
合計	大学院博士後期課程 3名 研究生 0名 その他 1名			0



VI 令和7年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部

1) 入学者選抜要項

① アドミッション・ポリシー

【全学部共通アドミッション・ポリシー】

本学は、教育研究上の理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、以下の方針を定め、入学者を受け入れます。

＜求める学生像＞

- 1 人間重視を理解し、自身の専門性を生かして未来を創造しようとする姿勢をもつ人
- 2 人々の幸福や地域社会の持続的な発展に貢献しようとする意志をもつ人

そのため、本学は、高等学校等における基礎学力、課外活動等によって培われた協調性及び責任感のある人を求めていきます。入学者には、日ごろから、生命、人間及びその生活に興味・関心をもち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学修の中で幅広い知識・思考力・判断力・表現力を身につけるとともに、多様な人々と協同するためのコミュニケーション能力を備え、学ぶ意欲があることが求められます。

＜入学者選抜の在り方＞

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、複数の選抜区分により行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入学共通テストの成績、調査書等で測る。
- 3 各学部が求める能力等は、個別試験で測る。

【デザイン学部アドミッション・ポリシー】

＜求める学生像＞

- 1 人間重視の姿勢をもち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と見識をもって、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志をもつ人

これらの学生像は、高等学校等における次のような学習により導かれるものです。

- ・「国語」及び「英語」において、基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。
- ・「数学」及び「理科」において、論理的思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。
- ・「社会」において、人間と社会の諸問題に関心をもつこと。
- ・「情報」において、情報や情報技術を適切に活用する力を身につけること。
- ・「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等において、美や文化を理解する感性を育むこと。

＜入学者選抜の在り方＞

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・私費外国人留学生）及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、選抜区分ごとに、大学入学共通テスト、英語の資格・検定試験、個別試験の成績及び調査書等を組み合わせて測る。
- 3 観察力、想像力、思考力、判断力、表現力、自分の考えを他者へ伝える力は、個別試験のデザイン総合問題やグループワーク・個別発表で測る。
- 4 専門分野への関心、主体性（学習意欲、目的意識等）、社会性（コミュニケーション能力等）は、個別試験の面接やグループワークで測る。
- 5 3年次編入学では、面接に加え、学修・研究成果、適性等を口頭試問で測る。



<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語、情報）と個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。配点は、大学入学共通テストを900点、個別試験を340点とする。
- 2 学校推薦型選抜は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 3 総合型選抜は、個別試験（グループワーク・個別発表）により行う。グループワークと個別発表の配点は、それぞれ200点とする。
- 4 特別選抜（社会人・私費外国人留学生）は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 5 3年次編入学は、面接・口頭試問、英語の資格・検定試験により行う。配点は、面接・口頭試問を300点、英語の資格・検定試験を100点とする。
- 6 調査書等の提出書類は、面接やグループワークの際の参考資料とするとともに選抜の総合的な判定資料とする。

【看護学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人々の健康・心・暮らしに关心をもち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と探究心をもって、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
- 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志をもつ人

このため看護学部では、高等学校等における「国語」「英語」「数学」「理科」などの基礎的な学力及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めていきます。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（社会人）で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力、読解力、論理的思考力、判断力、表現力、専門分野への関心、主体性、社会性等は、大学入学共通テストの成績及び個別試験で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト及び面接の合計得点を算出する。
- 2 学校推薦型選抜は、小論文及び面接の合計得点を算出する。
- 3 特別選抜（社会人）は、総合問題及び面接の合計得点を算出する。
- 4 調査書等の提出書類は、面接の際の参考資料とするとともに、選抜の総合的な判定資料とする。

② 令和7年度入学者選抜概要

入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜 前期日程	学校推薦型 選抜	総合型選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン学部 デザイン学科	90	57	25	8	若干名	若干名
看護学部 看護学科	85	48	37	—	若干名	—



選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
一般選抜 前期日程	2025年1月27日 ～2月5日	2025年2月25日	2025年3月7日 【入学手続期間】 2025年3月7日～15日
学校推薦型選抜	2024年11月1日～6日	2024年11月23日	2024年12月9日 【入学手続期間】 2024年12月9日～16日
総合型選抜 (※)	2024年9月2日～6日	2024年10月12日	2024年11月1日 【入学手続期間】 2024年11月1日～8日
特別選抜 (社会人)	デザイン学部 2024年11月1日～6日	デザイン学部 2024年11月23日	デザイン学部 2024年12月9日 【入学手続期間】 2024年12月9日～16日
	看護学部 2024年8月2日～8日	看護学部 2024年9月7日	看護学部 2024年9月24日 【入学手続期間】 2024年9月24日～10月1日
特別選抜 (私費外国人留学生) (※)	2025年1月27日 ～2月5日	2025年2月25日	2025年3月7日 【入学手続期間】 2025年3月7日～14日

(※) は、デザイン学部のみ実施

試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス

選抜方法

選抜区分	学部・学科名	選抜方法
一般選抜 前期日程	デザイン学部 デザイン学科	大学入学共通テスト及び本学が実施する個別試験の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。ただし、看護学部においては、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがある。
	看護学部 看護学科	
学校推薦型選抜	デザイン学部 デザイン学科	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	小論文及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、小論文か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合は、不合格とすることがある。
総合型選抜	デザイン学部 デザイン学科	講義1・講義2に基づいた2回のグループワーク、個別発表（レポート作成、口頭試問含む）、提出書類を総合的に判定して行う。
特別選抜 (社会人)	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	総合問題及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、総合問題か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合は、不合格とすることがある。
特別選抜 (私費外国人留学生)	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。



一般選抜試験の大学入学共通テスト及び個別試験の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テスト		個別試験
		教科	科目名等(略称)	
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国語	「国語」	デザイン総合問題(論述及び描画の問題)、面接
		地歴 公民 ※1、2	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」から1科目	
		数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2科目	
		理科 ※3、5	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	
		外国語 ※6	「英語」(リーディング及びリスニング)	
		情報	「情報I」	
看護学部 看護学科	前期日程	国語	「国語」	面接
		数学	「数I、数A」	
		理科 ※4、5	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」の1科目、もしくは「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目	
		外国語 ※6	「英語」(リーディング及びリスニング)	

【デザイン学部】

- ※1 地歴公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目の得点を利用します。
 ※2 地歴公民について、「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答してください。
 ※3 理科について、2科目選択した場合は、第1解答科目の得点を利用します。

【看護学部】

- ※4 理科について、「基礎を付した科目」(「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」)と「基礎を付していない科目」(「物理」「化学」「生物」「地学」)の両方を選択した場合は、「基礎を付した科目」の得点を利用します。この場合、「基礎を付した科目」は、第1解答科目で受験してください。「基礎を付した科目」を第2解答科目で受験した場合は、その得点を0点として取り扱います。

【デザイン学部・看護学部共通】

- ※5 理科について「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答してください。
 ※6 外国語について、「英語」のリーディング及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合、出願資格はありません。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

③ 令和7年度3年次編入学者選抜概要

募集人員

(単位:名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	若干名



選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	2024年6月21日 ～28日	2024年7月20日	芸術の森キャンパス	2024年8月1日

選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	本学が実施する面接・口頭試問、TOEICのスコア、提出書類を総合的に判定して行う。

2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン学部

(単位:名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	57	108	107	57	56
学校推薦型選抜	25	72	72	26	26
総合型選抜	8	58	30	10	10
特別選抜 (社会人)	若干名	1	1	0	0
特別選抜 (私費外国人留学生)	若干名	0	0	0	0

看護学部

(単位:名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	48	97	95	50	49
学校推薦型選抜	37	111	111	38	38
特別選抜 (社会人)	若干名	0	0	0	0

b. 入学者の内訳

(単位:名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	92	45	38	9	19	73
看護学部	87	36	47	4	2	85
合計	179	81	85	13	21	158



② 編入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

(単位:名)

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
デザイン学部	人間空間デザイン	若干名	2	2	1
	人間情報デザイン		2	2	0
	計	若干名	4	4	0

b. 入学者の内訳

(単位:名)

学部	入学者数	道内外の内訳		男女の内訳	
		道内		道外	男
		札幌市内	札幌市外		
デザイン学部	0	0	0	0	0

2 デザイン研究科・看護学研究科

1) 博士前期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッション・ポリシー

【デザイン研究科】

<教育・研究の目的>

博士前期課程の教育・研究の目的は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った人材の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことです。

<求める学生像>

博士前期課程の教育・研究の目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

- 1 デザインに関する基礎的知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

<入学者選抜の基本方針>

博士前期課程では、国籍を問わず、デザイン学、工学・情報学系などの専門分野の学士を取得または取得見込み、もしくは学士取得後に地域社会で活躍しながらデザイン分野の修士（デザイン学）の学位を取得しようとする者を入学試験で選抜します。その際に、以下の能力を有していることを重視します。

- 1 人間空間デザイン分野（建築デザイン、環境デザイン、地域コミュニケーションデザイン（まちづくり）等）、人間情報デザイン分野（情報デザイン、プロダクトデザイン、インターラクションデザイン等）のいずれかの専門知識を有していること。
- 2 博士前期課程の修士論文、修了制作報告書または特定課題研究報告書を執筆できる論述能力に加えて、修了制作を選択する場合は志望する専門分野における作品の制作ができるデザイン能力を有していること。
- 3 高度な専門知識及び技法の修得のための情報収集の能力及び英語によるコミュニケーションを可能とする語学力を有していること。



＜入学者選抜方法＞

博士前期課程の入学者の選抜は、「推薦選抜」「一般選抜」「社会人・私費外国人留学生特別選抜」の別により、以下の方法にて行います。

- 1 「推薦選抜」では、出願資格を有する者で所属する大学の学部長・高等専門学校の校長が推薦した者を対象として、面接・試問によって研究計画の妥当性、専門知識・能力、進学意欲・社会性を総合的に評価し、その結果及び出願時の提出書類の内容を総合的に判定して入学者を選抜する。
- 2 「一般選抜」では、専門科目の筆記試験によって論述能力・専門能力を総合的に評価し、英語（TOEIC又はTOEFLのスコア）によって本課程で学ぶ上で必要な英語力を評価し、面接・試問によって研究計画の妥当性、専門知識・能力、進学意欲・社会性を総合的に評価し、これらの結果及び出願時の提出書類の内容を総合的に判定して入学者を選抜する。
- 3 「社会人・私費外国人留学生特別選抜」では、専門科目の筆記試験によって論述能力・専門能力を総合的に評価し、面接・試問によって研究計画の妥当性、専門知識・能力、進学意欲・社会性を総合的に評価し、これらの結果及び出願時の提出書類の内容を総合的に判定して入学者を選抜する。

【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。

＜求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

＜入学者選抜の在り方＞

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜で行う。
- 2 筆記試験（専門科目）により専門知識・論述能力、面接（口頭試問を含む）により学修意欲・目的意識・社会性等、英語の資格・検定試験により英語力を測る。

＜入学者選抜方法＞

- 1 入学者の選抜では、筆記試験、面接、英語資格・検定試験の合計得点を算出する。
- 2 志望理由書、研究計画書等の提出書類は、面接の際の参考資料とともに、選抜の総合的な判定資料とする。

② 令和7年度入学者選抜概要

募集人員

（単位：名）

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻	18（一般選抜、特別選抜を含む）			

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は、入学定員18名に含む。



選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	2024年6月21日 ～28日	2024年7月20日	2024年8月1日 【入学手続期間】 2024年8月1日～8月7日
	一般選抜	2024年8月30日 ～9月6日	2024年9月28日	2024年10月15日 【入学手続期間】 2024年10月15日～22日
	特別選抜（社会人・ 私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2025年1月22日 ～1月29日	2025年2月15日	2025年2月28日 【入学手続期間】 2025年2月28日～3月6日
看護学研究科 看護学専攻	特別選抜（社会人・ 私費外国人留学生） 【第2次募集】			
	一般選抜	2024年8月9日 ～15日	2024年9月28日	2024年10月15日 【入学手続期間】 2024年10月15日～22日
	特別選抜（社会人・ 私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2025年1月8日 ～14日	2025年2月8日	2025年2月26日 【入学手続期間】 2025年2月26日～3月5日
	特別選抜（社会人・ 私費外国人留学生） 【第2次募集】			

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	筆記試験（専門科目）、英語（TOEIC又はTOEFLのスコア）、面接・試問及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	筆記試験（専門科目）、面接・試問及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	筆記試験（専門科目）、面接（口頭試問含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	



ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科 【第1次・第2次募集中合計】

(単位:名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜	9	10	10	10	10
一般選抜	9	9	8	5	5
特別選抜	社会人	若干名	1	1	1
	私費外国人留学生	若干名	12	12	3

看護学研究科 【第1次・第2次募集中合計】

(単位:名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜		6	6	6	5
特別選抜	社会人	4	3	2	2
	私費外国人留学生	0	0	0	0

b. 入学者の内訳

(単位:名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	19	19	0	0	8	11
看護学研究科	7	4	1	2	4	3
合計	26	23	1	2	12	14

2) 博士後期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科】

<教育・研究の理念>

博士後期課程の教育・研究の理念は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与することです。さらに、高度で先進的な教育・研究の中枢機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ります。

<教育・研究の目的>

博士後期課程の教育・研究の目的は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、一層高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見い出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することです。

<求める学生像>

博士後期課程の教育・研究の理念及び目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。



- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行し、指導的立場で成果を地域社会に広く発信できる専門家を目指す人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする高い意識を有する人
- 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

＜入学者選抜の基本方針＞

博士後期課程では、国籍を問わず、修士の学位又は専門職学位などを有するまたは取得見込みの者でデザイン分野の博士（デザイン学）の学位を取得しようとする者を以下の入学試験で選抜します。

- 1 人間空間デザイン分野（建築デザイン、環境デザイン、地域コミュニケーションデザイン（まちづくり）等）、人間情報デザイン分野（情報デザイン、プロダクトデザイン、インタラクションデザイン等）のいずれかの分野における修士と同等の専門知識及び研究能力を評価する。
- 2 専門分野に関連する学術論文や博士後期課程の博士論文等を執筆できる論理構成能力を評価する。
- 3 研究推進に必要な専門知識及び技術の修得のための情報収集及びコミュニケーションを可能とする語学力（英語）を評価する。

＜入学者選抜方法＞

博士後期課程の選抜試験では、面接（修士論文等の入学前の研究成果・研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）によって研究計画の妥当性及び水準、出願時までの研究業績、専門知識・能力、研究意欲・社会性等を総合的に評価し、その結果及び提出書類の内容を総合的に判定して入学者を選抜します。

【看護学研究科】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。

＜求める学生像＞

本課程が求める学生像は次のとおりです。

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

＜入学者選抜の在り方＞

- 1 入学者の選抜は、一般選抜で行う。
- 2 面接における研究計画書に基づくプレゼンテーション・口頭試問により、専門知識・プレゼンテーション力・研究計画の妥当性・学修意欲・目的意識及び社会性等、英語の資格・検定試験により英語力を測る。

＜入学者選抜方法＞

- 1 入学者の選抜では、面接及び英語の資格・検定試験の合計得点を算出する。
- 2 志望理由書、研究計画書、研究業績調書、修士論文等の提出書類は、面接の際の参考資料とともに、選抜の総合的な判定資料とする。



② 令和7年度入学者選抜概要

募集人員 (単位:名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	2025年1月22日 ～29日	2025年2月15日	2025年2月28日 【入学手続期間】 2025年2月28日～3月6日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2025年1月8日 ～14日	2025年2月8日	2025年2月26日 【入学手続期間】 2025年2月26日～3月5日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	面接（入学前の研究成果・研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科

(単位:名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	2	2	2	2

看護学研究科

(単位:名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	0	0	0	0



b. 入学者の内訳

(単位:名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	2	1	0	1	1	1
看護学研究科	0	0	0	0	0	0
合計	2	1	0	1	1	1

3 助産学専攻科

1) 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

<助産学専攻科が求める学生像>

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人

② 令和7年度入学者選抜概要

募集人員

(単位:名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
2024年8月2日～8日	2024年9月7日	2024年9月24日 【入学手続期間】 2024年9月24日～10月1日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。



2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

(単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	47	46	16	10

b. 入学者の内訳

(単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外		—	10
10	4	3	3	—	10



VII 附属図書館

1 概要

1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館 延べ床面積／1,480m²
桑園キャンパス図書館 延べ床面積／519m²

2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル・電子書籍所蔵数

(2025年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				電子書籍の タイトル数	雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計		電子書籍	和雑誌	洋雑誌
芸術の森 キャンパス図書館	75,511	9,877	2,327	87,715	—	338	17	0
桑園 キャンパス図書館	43,255	2,011	750	46,016	—	365	9	4
合計	118,766	11,888	3,077	133,731	687	703	26	4

3) 2024年度年間受入状況

区分		和	洋	計
芸術の森 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,174	17
		寄贈	170	61
		計	1,344	78
	雑誌 (種)	購入	54	2
		寄贈	34	1
		計	88	3
桑園 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	989	6
		寄贈	114	22
		計	1,103	28
	雑誌 (種)	購入	47	1
		寄贈	39	1
		計	86	2



2 利用状況

1) 開館時間・休館日

開館時間	平 日：芸術の森キャンパス図書館 午前9時～午後7時 桑園キャンパス図書館 午前9時～午後10時 大学の長期休業期間中：午前9時～午後5時
休館日	土曜・日曜・祝日・年末年始

2) 利用資格

18歳以上の方

3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生・大学院生・ 専攻科生 (科目等履修生、研究生 を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間 ※登校禁止の期間については、返却期限を延長した。
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	3冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可）

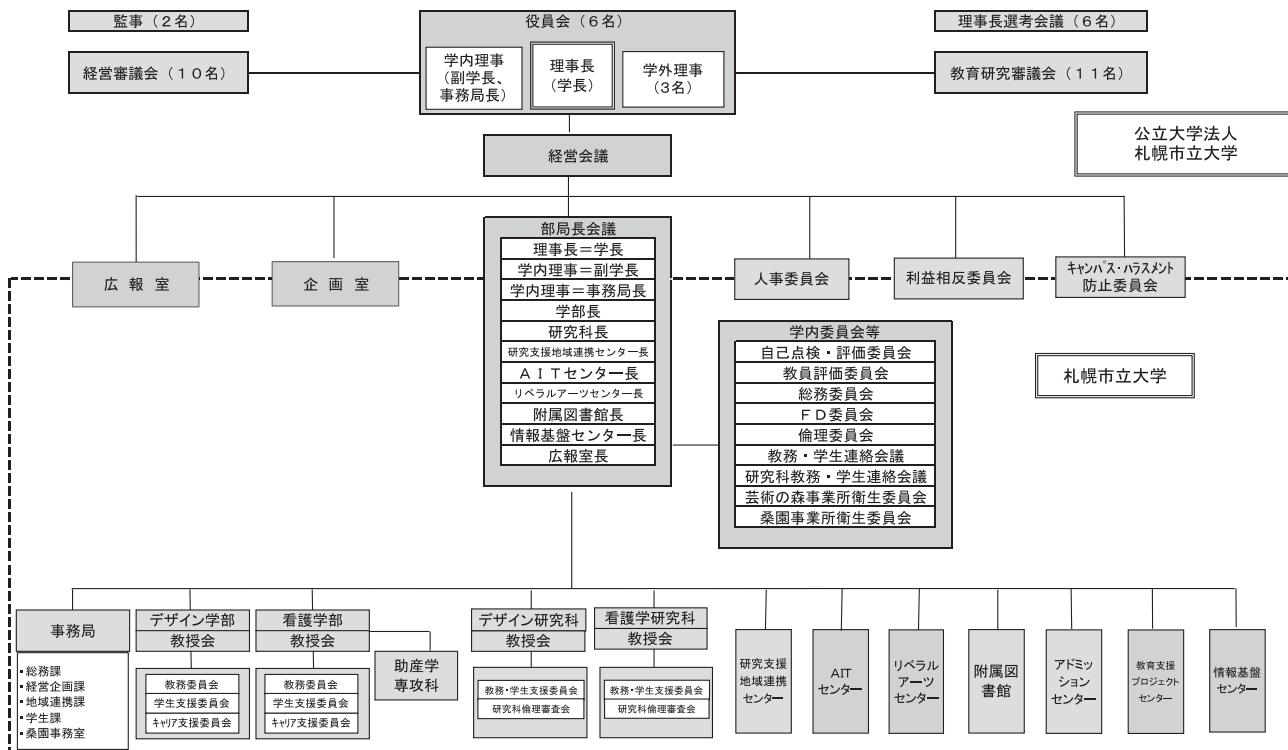
4) 年間利用者数・貸出冊数等

図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	234	5,610	1,965	4,642	33	59
	市民等 学外者	234	540	270	584	—	—
桑園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	236	9,961	2,569	5,427	147	364
	市民等 学外者	236	612	165	365	—	—
合計		—	16,723	4,969	11,018	180	423

ILL : Inter-Library Loan (相互貸借)

VIII 法人・学内運営の概要

1 2024年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 2023年度決算及び事業報告書について (2) 2023年度計画及び第三期中期計画（期末評価）に関する自己点検・評価結果について (3) 第四期中期計画アクションプラン2024について	(1) 名誉教授の称号授与について (2) 2023年度計画及び第三期中期計画（期末評価）に関する自己点検・評価結果について (3) 第四期中期計画アクションプラン2024について (4) 看護学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー及び令和8年度以降入学者に係る入学者選抜試験の変更について	(1) 2023年度決算及び事業報告書について
第2回	(1) 夏季一斉休業休暇の導入について	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果（案）に対する意見について	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果（案）に対する意見について
第3回	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果（案）に対する意見について	(1) 大学発ベンチャー規程について (2) 教員の再任 (3) リベラルアーツセンター設置及び関係規則等の改正・新設及びリベラルアーツセンター長の人事案について (4) 看護学部特別選抜（社会人）及び看護学部アドミッション・ポリシーの変更について (5) 助産学専攻科入学者選抜試験の変更について (6) 看護学専攻科公衆衛生看護学専攻の設置について	(1) 2025年度予算編成方針 (2) リベラルアーツセンター設置及び関係規則等の改正・新設について (3) 看護学専攻科公衆衛生看護学専攻の設置について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	(1) 2025年度予算編成方針 (2) 契約に関する規程の改正について	(1) 教員人事について (2) 札幌市立大学自己点検及び評価に係る実施要項(案)について (3) 公的研究費不正防止計画に基づく実施状況報告及び次年度計画の改正について (4) 公立大学法人札幌市立大学利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正について (5) 札幌市立大学大学院学則及び札幌市立大学大学院デザイン研究科履修等に関する規則の改正について (6) 札幌市立大学学則の改正について (7) 札幌市立大学履修等に関する規則の改正について (8) 札幌市立大学教授会規則及び札幌市立大学大学院研究科教授会規則の改正について (9) 看護学専攻科の設置について (10) 看護コンソーシアムに係る部門設置要項等の制定及び履修証明プログラムの開設について	(1) 2025年度(令和7年度)予算について (2) 役員賠償責任保険の保険料の法人負担について
第5回	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程等の改正案について	—	—
第6回	(1) 2025年度(令和7年度)予算について (2) 教職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の改正について (3) 札幌市立大学自己点検及び評価に係る実施要項(案)について (4) 公立大学法人札幌市立大学利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正について	—	—

3 役員会及び審議会委員名簿 (2024年4月1日現在)

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事(常勤)	樋之津 淳子	副学長
理事(常勤)	小野 聰	事務局長
理事(非常勤)	水落 隆志	札幌商工会議所 常務理事
理事(非常勤)	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事(非常勤)	渡邊 多加志	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事(非常勤)	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所(札幌市任命)
監事(非常勤)	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所(札幌市任命)



2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事	水落 隆志	札幌商工会議所 常務理事
理事	渡邊 多加志	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
理事・事務局長	小野 聰	
学外委員	一橋 基	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	中上 雅之	一般社団法人 北海道中小企業家同友会 専務理事
学外委員	町野 和夫	北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学 学長
学外委員	高橋 久美子	公益財団法人北海道看護協会 会長

3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事・事務局長	小野 聰	
理事	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
デザイン学部長	椎野 亜紀夫	
看護学研究科長	貝谷 敏子	
デザイン研究科長	齊藤 雅也	
附属研究所長	石井 雅博	
附属図書館長	川村 三希子	
学外委員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学外委員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学外委員	矢田 春義	札幌市立高等学校・特別支援学校長会 会長

4 経営会議

2024年度は11回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。



5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月3日	なし
第2回	5月9日	(1) 危機管理基本マニュアル及び風水害・台風・土砂災害対応マニュアルの改訂について
第3回	6月5日	(1) 2023年度計画及び第三期中期計画（期末評価）に関する自己点検・評価結果について (2) 第四期中期計画アクションプラン2024について (3) 看護学研究科博士前期課程のアドミッション・ポリシー及び入学者選抜試験の変更について (4) 札幌市立大学発ベンチャーの認定について (5) 2023年度決算について
第4回	7月3日	(1) 大学による公益的事業の推進事業補助金公募要領（案）について (2) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）の正式名称・定員等について (3) 情報セキュリティインシデント対応手順について
第5回	7月24日	(1) 第三期中期目標期間の業務実績報告に関するヒアリング回答（案）について
第6回	8月21日	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果（案）に対する意見の有無について
第7回	9月9日	(1) 助産学専攻科入学者選抜試験の変更について (2) 看護学部特別選抜（社会人）及びアドミッション・ポリシーの変更について (3) 大学発ベンチャー規程について
第8回	9月20日	(1) 第三期中期目標期間の業務実績に関する評価結果について
第9回	10月2日	なし
第10回	11月6日	なし
第11回	12月4日	(1) 教授会規則及び研究科教授会規則の改正について
第12回	1月9日	(1) 履修等に関する規則の改正
第13回	2月5日	(1) 20周年記念事業方針(案) (2) 自己点検・評価実施要項及び記載要領について【認証評価関係】 (3) 中期計画自己点検・評価シート2024記載要領について【法人評価関係】 (4) 札幌市東区との地域防災力向上を目指した地域住民協働研究・還元事業に関する協定 (5) 利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正
第14回	3月3日	(1) 公立大学法人札幌市立大学利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正について
第15回	3月14日	(1) 2023年度計画及び第三期中期計画（期末評価）に関する自己点検・評価結果について (2) 第四期中期計画アクションプラン2024について (3) 看護学研究科博士前期課程のアドミッション・ポリシー及び入学者選抜試験の変更について (4) 札幌市立大学発ベンチャーの認定について

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関すること等について企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2024年度の会議の開催数は11回であった。

主な活動として、将来構想策定に向けた検討、開学20周年記念事業に係る検討、リベラルアーツセンター設置に向けた検討を行った。



7 広報室

広報室は、第四期中期計画始動に伴い、「第四期中期計画・広報戦略」を策定し、これに基づく広報活動を推進した。2024年度は12回の会議を開催した。

定期的な活動として、2024年度版大学案内パンフレットの発行及び2025年度版大学案内パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイト及びSNSの管理・更新を行った。また、地下鉄さっぽろ駅コンコース電飾サインボードや地下鉄車内広告（まど上MINI）への広告掲出、WEB広告、学生広報委員会による広報誌SCUZINEの発行などを行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2024年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2024年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2024年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2024年度に臨時教授会3回を含む17回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 研究支援地域連携センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・产学連携部門、国際交流部門の2セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、产学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

＜公開講座＞

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした29コース46コマの講座を、延べ1,341名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として延べ38名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活（ちいき）ゼミナール」を開催。YouTubeで配信し、述べ570名が視聴した。



＜地域・产学連携＞

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し产学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりサステナフェア」「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会を開催するなど、更なるネットワークづくりを図った。

＜国際交流＞

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記のとおり推進した。

「学生の国際化」

台湾の台中科技大学とのオンライン交流会を実施した。看護学部学生8名、教員8名が参加し、各国の医療について発表を行うなど有益な交流が図られた。

日台デザイン合同ワークショップが、札幌大谷大学で開催され、本学デザイン学部学生4名ならびに教員2名が参加した。台湾の雲林科技大学、華梵大学及び台中科技大学が参加し、有益な交流が図られた。

デザイン学部8名と教員2名でインドネシアのバンドン工科大学を訪問し、「SCU×ITB国際交流デザインワークショップ」を実施した。

中国の承德医学院との短期プログラム受入事業を実施し、承德医学院から学部生2名、大学院生3名、教員1名を受け入れた。

デザイン学部学生6名と教員1名が、アメリカ・ポートランド市にあるPacific Northwest College of Art (PNCA)、ウィラメット大学を訪問し、事前に用意したテーマに基づいてプレゼンテーションとディスカッションを行った。PNCAの学生と交流を深め、ポートランド市内でフィールドワークを実施した。

提携校ではないが、オーストラリアのクイーンズランド大学等の学生とオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生2名との交流を行った。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

「提携校との交流の活性化」

台中科技大学との学生交流協定に基づき、特別聴講生1名を受け入れた。

フィンランドのラップランド大学との学生交流協定に基づき、交換留学生1名を派遣した。

「海外とのネットワーク化」

デザイン学部が、インドネシアのバンドン工科大学芸術デザイン学部と部局間学術交流協定（覚書）を締結した。

＜知的財産＞

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」（1回）に参加し、知的財産戦略に関する情報交換等を行った。

＜研究推進＞

地域や産業界等から依頼された受託研究7件、共同研究13件の受入れを行ったほか、学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 AITセンター

AITセンターでは、AIやIT（情報技術）を活用し、地域の課題解決や行政の効率化を目指している。

2024年度の主な活動として、共同研究4件を受け入れ研究に取り組んだ他、市立高校への出張講義や学外講演の実施、公式ウェブサイトにおいて札幌市中心部の人流データの定期配信等を行った。

11 附属図書館

2024年度は全9回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第18巻」を2024年9月に発行した。また、第19巻発行に向けて、投稿論文の募集を受け付けた。

12 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2024年度に9回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会及び高校訪問等を企画・実施した。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

14 情報基盤センター

2024年度、情報基盤センターでは10回の会議を行った。情報セキュリティポリシーの啓発活動として、情報セキュリティに関するFD研修会の実施及び情報セキュリティに関する自己点検を行った。

その他の活動としては、学内のDX推進に向けて他大学から講師を招聘し、Microsoft365を用いた内製開発ハンズオンを実施した。また、大学ICT推進協議会への参加、基幹ネットワークシステムの更新を行った。基幹ネットワークシステムの更新においては、多要素認証機能を備えた新認証システムを導入した。



15 リベラルアーツセンター

リベラルアーツセンターは、本学におけるリベラルアーツ教育を体系的に調査・研究し、より効果的な教育の実践に繋げることを目的に、2024年11月に設置された。2024年度の会議の開催回数は5回であり、主な活動は以下のとおり。

- ・リベラルアーツ教育を考えるための新しい視座を得ることを目的として、文化人類学の分析視覚を学ぶFD研修会を実施した。
- ・本学におけるリベラルアーツ教育をイメージすることを目的としたSCUリベラルアーツ茶話会を2回実施し、学内教員の意見交換を行った。
- ・リベラルアーツ教育に資する内容とするため、連携科目や学際教育科目の内容検討・提案を行った。

16 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や中期計画及び年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2024年度は9回開催した。

2024年度の主な活動として、2023年度計画及び第三期中期計画の実績報告書（案）の作成や第四期中期計画アクションプラン2024について半期の取組状況の進捗管理を行ったほか、学校教育法第109条第1項に基づく自己点検・評価の在り方を検討した。

2) 教員評価委員会

2024年度は委員会を8回開催した。各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行ったほか、教員評価の勤勉手当への反映手法について検討を行った。評価結果については、2024年度末に任期満了を迎える教員の再任審査の資料として活用した。

3) 総務委員会

2024年度は委員会を11回（メール会議5回を含む）開催した。昨年に引き続き、学内の防災訓練関係、学生を対象とした安否確認訓練、夏季及び冬季の節電対策等について審議した。

4) FD委員会

FD委員会は、2024年度に6回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。

5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2024年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計13回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は60件あり、1回当たり平均4.61件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。



2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2024年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

2件の利益相反自己申告書に基づき審議し、いずれも「問題なし」と判定した。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2024年度に10回開催し、学際教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2024年度に4回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項、院生研究支援費に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



17 構成員名簿（2024年4月1日時点）

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 石井 雅博 川村 三希子 大渕 一博 高橋 尚人 卯野木 健 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 研究支援地域連携センター長 附属図書館長 情報基盤センター長 AITセンター長 広報室長 事務局長
	企画室	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 丸山 洋平 貝谷 敏子 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部准教授 看護学研究科長 事務局長
	広報室	◎卯野木 健 伊藤 健世 小林 重人 金子 晋也 藤沢 礼央 樹田 聰志 鬼塚 美鈴 工藤 京子 小野 聰	広報室長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 高橋 尚人 小野 聰	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 小野 聰	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	利益相反委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	研究支援地域連携センター	◎石井 雅博 山田 良 並木 翔太郎 福田 大年 古俣 寛隆 松永 康佑 坪内 健 奈良間 美保 檜山 明子 本田 光 岡 園代 武富 貴久子 近藤 圭子 高橋 嗣仁	研究支援地域連携センター長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長補佐
	図書館	◎川村 三希子 松井 美穂 片山 めぐみ 金 秀敬 小宮 加容子 牧野 夏子 中平 紗貴子 渋谷 友紀 高橋 嗣仁	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部特任講師 看護学部助教 事務局地域連携課長補佐
	教育支援プロジェクトセンター	◎樋之津 淳子 松野 千代美 須藤 陽子	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	樋之津 淳子 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史 横溝 賢 御手洗 洋藏 金子 晋也 丸山 洋平 貝谷 敏子 荒木 奈緒 工藤 京子 鬼塚 美鈴 本庄 猛 福原 啓祐	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学研究科長 助産学専攻科長 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	情報基盤センター	高橋 奈美 矢野 祐美子 ◎大渕 一博 吉田 彩乃 北館 倫之	看護学部准教授 看護学部講師 情報基盤センター長 デザイン学部助教 総務課長
	AITセンター	◎高橋 尚人 山田 信博 村松 真澄	AITセンター長 デザイン学部准教授 看護学部准教授
学内委員会 常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 柿山 浩一郎 ◎石井 雅博 貝谷 敏子 川村 三希子 小野 聰	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 研究支援地域連携センター長 看護学研究科長 附属図書館長 事務局長
	教員評価委員会	樋之津 淳子 ◎椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 菊地 ひろみ 高橋 尚人 小野 聰	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 看護学部教授 AITセンター長 事務局長
	総務委員会	松井 美穂 片山 めぐみ 大渕 一博 菅原 美樹 石引 かずみ 西川 めぐみ ◎小野 聰	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局長
	FD委員会	◎細谷 多聞 小宮 加容子 金 秀敬 高橋 奈美 牧田 靖子 田仲 里江 本庄 猛 福原 啓祐	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
学内委員会	常置委員会	◎石井 雅博 川村 三希子 細谷 多聞 森 朋子 矢久保 空遙 牧野 夏子 三戸部 純子 栗原 知己 高橋 嗣仁	研究支援地域連携センター長 附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長補佐	
		檜山 明子 加藤 依子 伊東 健太郎 武富 貴久子	看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師	
連絡調整会議	学部間	樋之津 淳子 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史 丸山 洋平 卯野木 健 荒木 奈緒 本庄 猛 福原 啓祐	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 広報室長 助産学専攻科長 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長	
		◎齊藤 雅也 藤木 淳 貝谷 敏子 川村 三希子 本庄 猛 福原 啓祐	デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学研究科長 附属図書館長 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長	
衛生委員会	研究科間	吉田 彩乃 ◎須藤 陽子 山田 しおり 若林 さゆり	デザイン学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 事務局総務課庶務係員	
		市戸 優人 吉田 実和 ◎須藤 陽子 松本 佳代	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員	
芸術の森事業所衛生委員会				
桑園事業所衛生委員会				



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	教務委員会	◎三 谷 篤 史	デザイン学部教授
		古 俣 寛 隆	デザイン学部准教授
		金 秀 敬	デザイン学部准教授
		御 手 洗 洋 藏	デザイン学部准教授
		大 渕 一 博	情報基盤センター長
		須 之 内 元 洋	デザイン学部講師
		松 永 康 佑	デザイン学部講師
	学生支援委員会	◎柿 山 浩 一 郎	デザイン学部教授
		福 田 大 年	デザイン学部准教授
		大 島 卓	デザイン学部准教授
		石 田 勝 也	デザイン学部講師
		坪 内 健	デザイン学部助教
		矢 久 保 空 遥	デザイン学部助教
		吉 田 彩 乃	デザイン学部助教
学部委員会	キャリア支援委員会	◎西 川 忠	デザイン学部教授
		伊 藤 健 世	デザイン学部教授
		森 朋 子	デザイン学部准教授
		山 田 信 博	デザイン学部准教授
		横 溝 賢	デザイン学部准教授
		藤 沢 礼 央	デザイン学部講師
		◎卯 野 木 健	看護学部教授
		奈 良 間 美 穂	看護学部教授
		高 橋 奈 美	看護学部准教授
看護学部	教務委員会	原 井 美 佳	看護学部准教授
		本 田 光	看護学部准教授
		中 平 紗 貴 子	看護学部特任講師
		岡 園 代	看護学部講師
		三 戸 部 純 子	看護学部講師
		矢 野 祐 美 子	看護学部講師
		田 仲 里 江	看護学部助教
		吉 田 実 和	看護学部助教
		澤 口 宙 人	看護学部特任助教
		平 山 憲 吾	看護学部助教
看護学部	学生支援委員会	高 橋 葉 子	看護学部助手
		◎荒 木 奈 緒	助産学専攻科長
		檜 山 明 子	看護学部准教授
		村 松 真 澄	看護学部准教授
		加 藤 依 子	看護学部准教授
		武 富 貴 久 子	看護学部講師
		渋 谷 友 紀	看護学部助教
		西 川 め ぐ み	看護学部助教
		尾 立 斗 志 世	看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	◎松野 千代美 菊地 ひろみ 菅原 美樹 守村 洋 石引 かずみ 牧田 靖子 伊東 健太郎 近藤 圭子 栗原 知己 久保田 祥子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
研究科委員会	デザイン研究科	◎藤木 淳 松井 美穂 大島 卓 山田 信博 小林 重人	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授
		◎小宮 加容子 並木 翔太郎 須藤 陽子	デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
研究科委員会	看護学研究科	◎川村 三希子 原井 美佳 守村 洋 市戸 優人	附属図書館長 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部助教
		◎菊地 ひろみ 松野 千代美 村松 真澄 牧野 夏子 須藤 陽子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等



18 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

(単位：名)

全学FD	研修会名	参加者数
7月17日	より良い論文を育むための査読の心得	33
7月17日	本学の情報セキュリティポリシーについて	129
7月31日	SCUのリベラルアーツ教育とリベラルアーツセンター設置に向けた方針	48
8月1日	2024年度渡航前危機管理オリエンテーション	42
8月7日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～デザイン分野～	43
8月7日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～看護分野～	43
8月20日	2024年度札幌市立大学研究交流会	53
9月18日	報道につながるプレスリリースの書き方	57
11月21日	全学ミニFD「授業における著作物利用について」	31
2月14日	ハラスメント防止研修	116
2月19日	ポジティブメンタルヘルス	75
2月21日	SCUが目指す正解のない未来を生き抜くための智慧とは、学習とは	33
3月13日	Microsoft Copilotを使ってみよう	34

(単位：名)

デザイン学部・研究科FD	研修会名	参加者数
1月15日	シラバス作成の基本	36
3月21日	デザイン学部での合理的配慮に関する情報公開と対応方針	34

(単位：名)

看護学部・研究科FD	研修会名	参加者数
3月6日	コミュニケーション教員における模擬患者の役割	55



SD活動 年間活動概要

(単位:名)

日付	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修	札幌市立大学	34
2024年4月1日	新採用向けシステム説明会	札幌市立大学	2
4月11日	採用者レク（総務、経営企画、地域連携、学生）	札幌市立大学	2
4月15日	採用者レク（桑園、AITセンター）	札幌市立大学	2
4月15日	公立大学に関する基礎研修	学外	5
6月7日	公立大学協会担当者研修会	学外	1
6月7日	フォーマットを活用した英語メールライティング（基礎）	学外	1
7月1日～8月14日	URA研修（JST）	学外	1
7月10日	地域で選ばれる大学になるための広報活動	学外	1
8月8日	香川大学ハンズオンセミナー	学外	20
9月10日	アサーティブコミュニケーション研修	学外	1
9月27日	初歩から学べるIRのためのデータ分析入門	学外	1
10月7日	大学職員のための教育法令入門 一大学設置基準を中心に一	学外	3
10月9日	部下・後輩育成のための基礎セミナー	学外	2
10月11日	ロジカルシンキング研修	学外	1
10月18日	大学職員のための学生支援力強化講座	学外	2
10月22日	50代活動（いそかつ）研修～これからのワークスタイルを考える	学外	1
10月28日	図解による業務手順の見える化セミナー～わかりやすい業務手順を作成するために	学外	2
11月12日	障害のある学生への合理的配慮と修学支援	学外	1
11月18日	高等教育政策の動向を大学業務へ活かす一機会を的確に捉えるために一	学外	1
11月25日	30代向けキャリアデザイン研修～主体的かつ戦略的にキャリアを考える	学外	1
11月29日	これで安心！基礎からわかる年末調整事務～定額減税制度への対応済～	学外	1
11月15日	改正障害者差別解消法に係る説明会	学外	1
12月3日	大学運営の改善点を自分で見つける！課題設定の基礎～IRにおけるリサーチクエスチョンの立て方～	学外	1
12月6日	ポジティブなこころの特性を理解するセミナー～自分・他者・社会への理解を深める～	学外	1
12月6日	講演「2050年の仕事と大学」（北海道FD・SD協議会）	学外	1
2025年2月14日 ～3月21日	ハラスメント防止研修	札幌市立大学	116



IX 資料

1 2024年度 決算報告書

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額(決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,686	1,686	—	
施設整備費補助金	186	184	△ 2	
授業料等収入	427	438	12	(注1)
受託研究等収入及び寄附金収入	22	21	△ 1	
補助金収入	—	—	—	
その他収入	16	16	0	
目的積立金取崩	87	—	△ 87	
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	87	87	(注2)
計	2,423	2,432	9	
支出				
教育研究経費	438	410	△ 28	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	20	19	△ 1	
人件費	1,412	1,309	△ 103	(注3)
一般管理費	367	375	8	
施設整備費	186	184	△ 2	
補助金事業費	—	—	—	
計	2,423	2,296	△ 127	
収入-支出	—	135	135	

(注) 単位未満を四捨五入しているため、金額の合計が一致しない場合がある。

○ 予算と決算の差異について

(注1) 授業料減額免除対象者が少なかったこと、在学者数が多かったことから増加しました。

(注2) 第四期中期目標期間の初年度であったことから、前中期目標期間繰越積立金より取り崩しました。

(注3) 教員の欠員等により、減少しました。



2 教職員数 (2025年3月31日現在)

1) 所属別教員数

(単位:名)

学	長	1					
副	学	長					
デ	ザ	イ	ン	学	部	34	
看	護	学	部	37			
A	I	T	セ	ン	タ	ー	2
合計		75					

2) 職位別教員数

(単位:名)

		教授 (特任教授を含む)	准教授	講師 (特任講師を含む)	助教 (特任助教を含む)	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	10	10	5	3	0	28	18
	女	1	4	0	1	0	6	12
看護学部	男	1	2	0	4	0	7	57
	女	7	7	9	8	0	31	32
AITセンター	男	2	0	0	0	0	2	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		21	23	14	16	0	74	119

3) 職員数

(単位:名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	26	0	0	0	0	26
女	46	3	0	0	0	49
合計	72	3	0	0	0	75

3 管理職一覧表 (2025年3月31日現在)

役職名	教職員名
学長	中島 秀之
副学長 兼 看護学部長	樋之津 淳子
デザイン学部長	椎野 亜紀夫
看護学研究科長	貝谷 敏子
デザイン研究科長	齊藤 雅也
研究支援地域連携センター長	石井 雅博
附属図書館長	川村 三希子
AITセンター長	高橋 尚人
情報基盤センター長	大渕 一博
リベラルアーツセンター長	丸山 洋平
事務局長	小野 聰
事務局次長 兼 桑園事務室長	須藤 陽子
事務局総務課長	北館 倫之
事務局経営企画課長	事務局次長事務取扱
事務局地域連携課長	事務局次長事務取扱
事務局学生課長	事務局次長事務取扱
事務局桑園担当課長	福原 啓祐



4 学生定員及び学生数 (2024年5月1日現在)

1) 学生定員 (単位:名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	90	若干名	360
看護学部	85	—	340
合計	175	—	700

2) 学生数 (単位:名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	29	70	99
	2学年	21	75	96
	3学年	28	67	95
	4学年	32	69	101
看護学部	1学年	6	80	86
	2学年	9	82	91
	3学年	4	80	84
	4学年	5	80	85
助産学専攻科		0	9	9
合計		134	612	746

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	5	15	20
	2学年	12	13	25
看護学研究科 博士前期課程	1学年	3	7	10
	2学年	5	13	18
合計		25	48	73

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	0	0	0
	2学年	0	1	1
	3学年	6	1	7
看護学研究科 博士後期課程	1学年	0	2	2
	2学年	0	2	2
	3学年	2	12	14
合計		8	18	26



3) 科目等履修生・聴講生・研究生

(単位:名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	1	0	1
看護学部	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	1	0	6	7
看護学研究科	2	0	0	2
合計	3	0	6	9

5 授業料等

(単位:円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

6 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (2025年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位:名)

学年	日本学生支援機構			計
	給付型	第1種	第2種	
学部1年生	32	46	41	119
学部2年生	32	41	31	104
学部3年生	39	46	36	121
学部4年生	28	40	36	104
助産学専攻科	—	1	0	1
研究科(博士前期)	—	16	1	17
研究科(博士後期)	—	0	1	1
合計	131	190	146	467



授業料減免実施状況

(単位:名)

学年	学期	全額減免者	2/3減免者	半額減免者	1/3免除者	1/4免除者	計
学部1年生	前期	13	7	0	11	1	32
	後期	14	9	0	13	2	38
学部2年生	前期	17	5	1	12	0	35
	後期	17	3	1	13	2	36
学部3年生	前期	10	4	0	11	0	25
	後期	8	5	1	12	1	27
学部4年生	前期	8	8	1	10	0	27
	後期	9	5	0	12	0	26
助産学専攻科	前期	0	0	1	1	0	2
	後期	0	0	2	0	0	2
研究科 (博士前期) 1年生	前期	0	0	2	4	0	6
	後期	0	0	1	5	0	6
研究科 (博士前期) 2年生	前期	0	0	2	3	0	5
	後期	0	0	2	3	0	5
合計	前期	48	24	7	52	1	132
	後期	48	22	7	58	5	140



7 学生の入選・受賞（デザイン学部）

受賞年月	氏名・団体	内容	主催者
2024年4月	高橋 こはく（学部4年生）	「2024年度苫小牧市限定赤い羽根共同募金ピンバッジデザイン」の公募において、採用作品として決定	苫小牧市共同募金委員会
2024年4月	三角 鳩音（研究科博士前期課程2年生）	浦臼町から同町の魅力発信に寄与し、地域の活性化に多大な貢献をしたことに対する感謝状を授与	浦臼町
2024年5月	近藤 花（2023年度学部卒業生）	「人間・環境学会第31回大会」にて『発表賞』を受賞	人間・環境学会（MERA）
2024年6月	青木 遊、小林 雅果、佐藤 寧珠、松田 彩（学部4年生）	「2024年度日本造園学会全国大会」におけるU30デザインコンペにて『佳作』を受賞	日本造園学会
2024年6月	①拝野 加奈、田川 善、渡邊 紗弓、二本柳 彩季（学部4年生） ②長岡 南風、伊藤 悠貴（研究科博士前期課程2年）	「第71回日本デザイン学会春季研究発表大会」における下記部門にて、それぞれ『グッドプレゼンテーション賞』を受賞 ①ポスター発表（拝野、田川、渡邊、二本柳） ②口頭発表（長岡、伊藤）	日本デザイン学会
2024年6月	関 信之介（研究科博士前期課程2年）	「第97回日本建築学会北海道支部研究発表会」にて『優秀講演奨励賞』を受賞	日本建築学会北海道支部
2024年8月	今多 思温（学部1年生）	「ジョブキタ写真大賞2024」にて『ジョブキタ写真大賞（グランプリ）Instagram部門』を受賞	株式会社北海道アルバイト情報社 ジョブキタ ガクチカプロジェクト
2024年9月	堀田 ゆりあ（学部4年生）	「地域活性学会第16回研究大会」にて『奨励賞』を受賞	地域活性学会
2024年10月	倉見 京佳（学部2年生）	「UniLife学生下宿年鑑2025年度版表紙デザインコンテスト」にて『グランプリ』を受賞し、表紙として採用	株式会社ジェイ・エス・ピー
2024年11月	長坂 莉里（学部2年生）	札幌市で行うレジ袋の削減を図る実証実験に用いる、専用の指定ごみ袋のデザイン公募において『優秀賞』を受賞	札幌市
2024年11月	朝比奈 鳩天（学部2年生）	「そらちしんきんU-29パッケージデザインコンテスト2024」にて『最優秀賞』を受賞し、パッケージとして採用	空知信用金庫
2024年12月	俵 実羽那（学部3年生）	「北海道組新人戦2024」にて『五十嵐淳賞』を受賞	建築学生同盟北海道組



8 学生の課外活動 (2025年3月31日現在)

公認団体	
1	バスケットボール部
2	軽音楽部「halo」
3	美術部「noumenon」
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」
5	服飾制作部「Alice」
6	写真映像部「SEED」
7	ものがたり部「デンコラ」
8	茶道部「Cha部」
9	バレー部
10	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」
11	ダンスサークル「VOLUME」
12	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」
13	アウトドアサークル「PEAK」
14	バドミントンサークル
15	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」
16	陶芸サークル「ころんと」
17	八百カフェ学生実行委員会
18	アルティメットサークル「Fly☆Fly」
19	日本語デザイン研究会「しろ」
20	テニスサークル「SCUテニス倶楽部」
21	学生コミュニティサークル「Crepe」
22	地域交流ボランティア同好会「act」
23	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」
24	手芸同好会「もふもふ」
25	団地同好会「団地さーくる」
26	当事者研究同好会「H&C : Humor and Chillax」
27	ボードゲーム同好会「H.O.M.E」
28	映画同好会「土曜の夜倶楽部」
29	D×N同好会「Co·Large」
30	ヨガ同好会「癒しの会」
31	作画研究会
32	フィットネス同好会「Rep」
33	B B Q同好会「灯火」
34	弓道同好会「蒼穹（そうきゅう）」
35	スポーツ研究同好会「うえるねす」



9 後援会

後援会（2007年2月発足）は、学生の福利厚生の推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

2024年度

役員	(会長) 高橋 万里香 (副会長) (理事) 嶋田 直美、三原 輝幸、 遠藤 肇、前川めぐみ、松永眞由美、佐藤 麦穂 竹中なな子、朝倉 良、田上 真美 (監事) 平井 賢二、行天二季子
主な事業	・課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・就職対策（就職試験対策、写真撮影補助、資格取得支援、国家試験対策等） ・後援会報「SSA News」発行、後援会WEBページ情報発信 ・卒業記念事業
後援会費	40,000円（ただし、編入学者は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

10 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
2024年4月	2024年度学生生活ハンドブック
2024年4月	2024年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
2024年5月	2025大学案内
2024年5月	令和7年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
2024年5月	令和7年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
2024年5月	令和7年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
2024年5月	令和7年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
2024年5月	令和7年度学生募集要項（助産学専攻科）
2024年6月	令和7年度入学者選抜要項（デザイン学部・看護学部）
2024年6月	令和7年度学生募集要項（デザイン学部 総合型選抜）
2024年6月	令和7年度学生募集要項（看護学部 社会人特別選抜）
2024年6月	令和7年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
2024年7月	札幌市立大学 研究・活動事例集2024
2024年7月	札幌市立大学 教員研究紹介2024
2024年9月	令和7年度学生募集要項（デザイン学部 特別選抜）
2024年9月	令和7年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 学校推薦型選抜）
2024年9月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2024 札幌市立大学研究論文集第18巻第1号
2024年11月	令和7年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
2024年11月	令和7年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
2024年11月	令和7年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
2024年12月	札幌市立大学後援会 会報2023 (SSA NEWS)
2025年1月	令和8年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
2025年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第18号
2025年1月	SCUZINE vol.8
2025年2月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2024 図録）



11 施設

1) 校地・校舎、講義室・演習室等

(2024年4月1日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室・実験室・実習室	
	校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	室数	面積 (m ²)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	51	5,689
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	81	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
AITセンター	106	106	0	0

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・AITセンター

(施設配置図・校舎配置図)

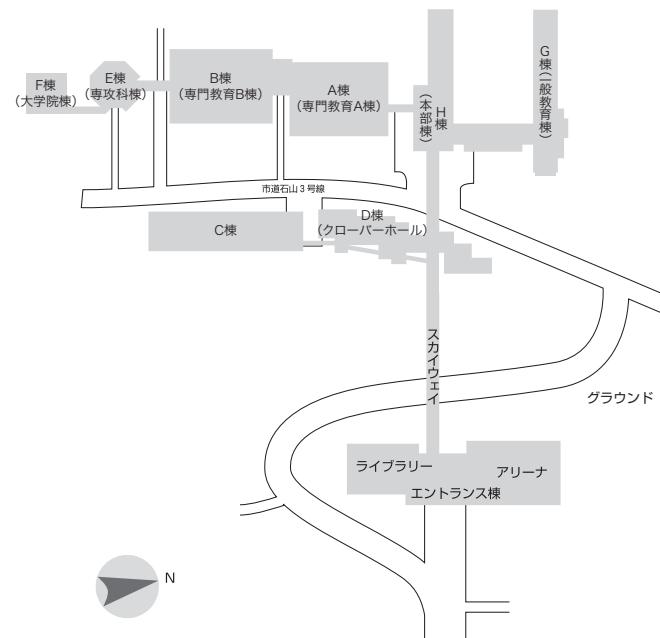
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



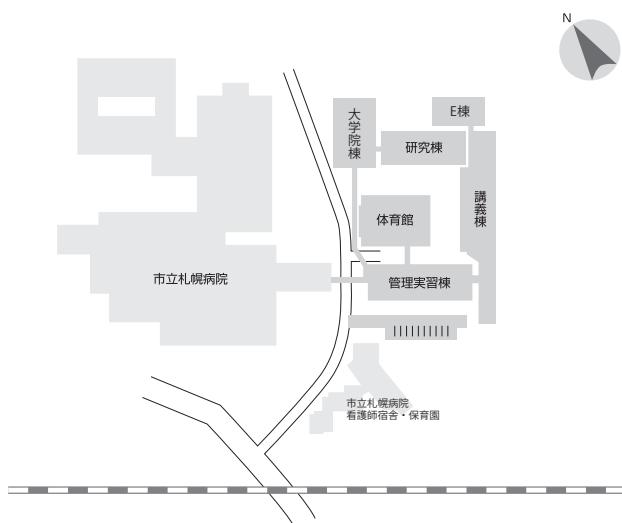
桑園キャンパス

〒060-0011

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

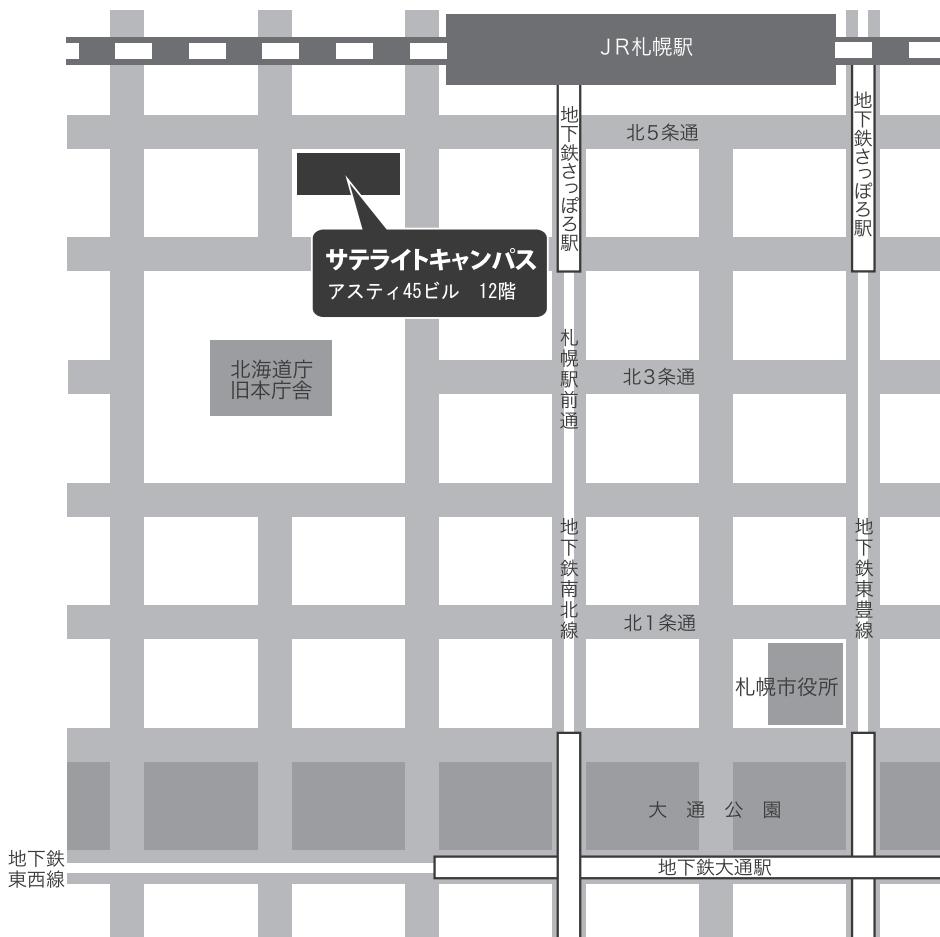
TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506

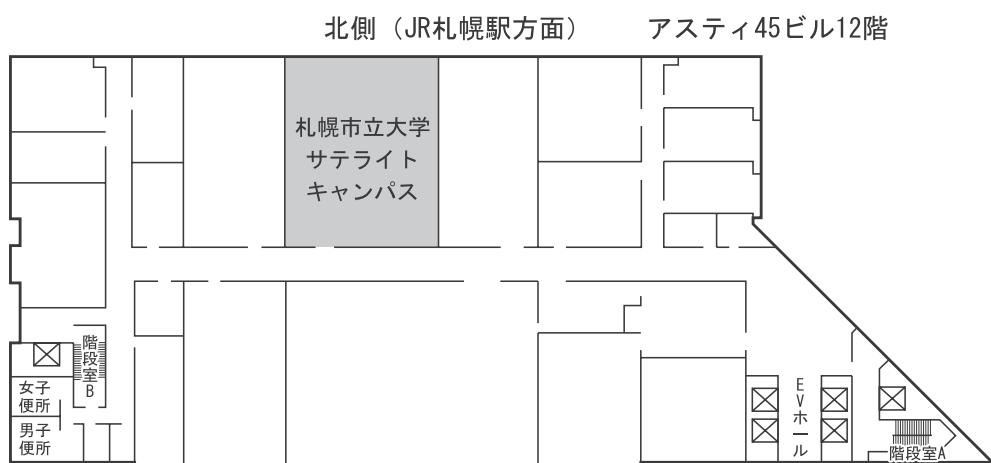




サテライトキャンパス
〒060-0004
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階
TEL : 011-218-7500 (代)
FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





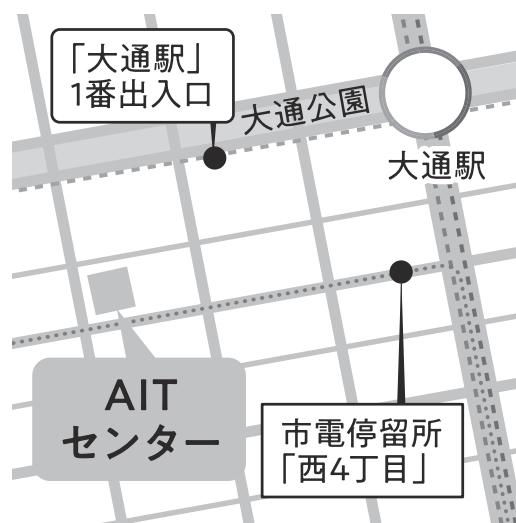
AITセンター

〒060-0061

北海道札幌市中央区南1条西6丁目20番1 ジョブキタビル9階

TEL : 011-522-6186

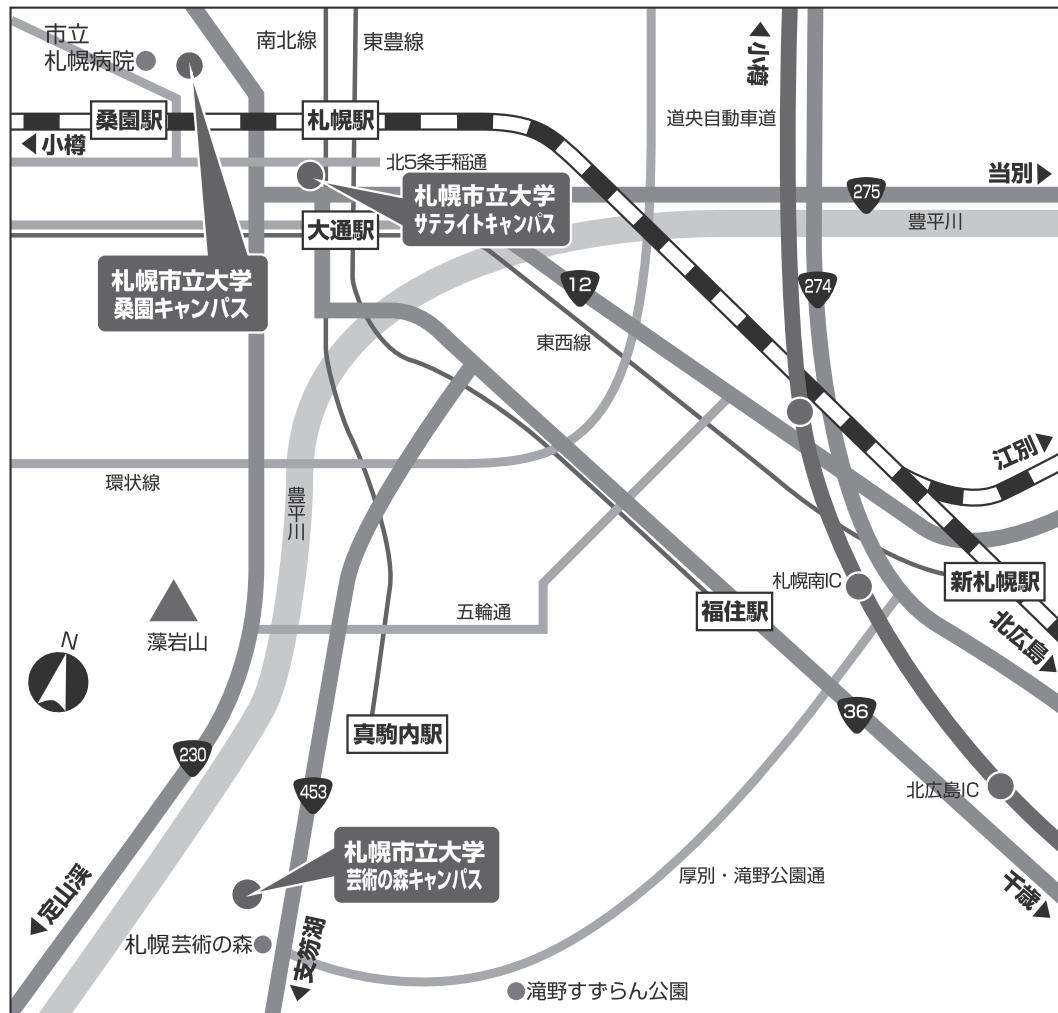
FAX : 011-522-6187



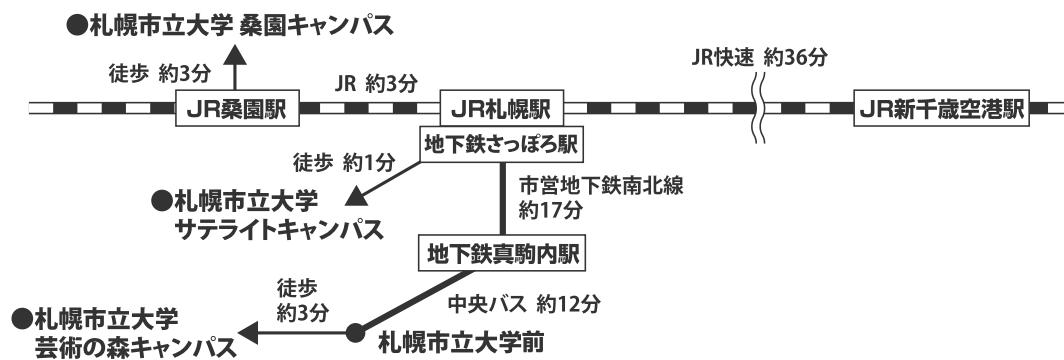


12 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内





13 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞:後藤優太・首藤翠(デザイン学部 第4期生)
作曲:堀 彩菜(デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたずさえて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

ともに笑いともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには導く能力(ちから)がある
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞:首藤翠・後藤優太
作曲:堀彩菜



X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
学長	中島 秀之	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間空間	椎野 亜紀夫	教授・老年	貝谷 敏子
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・母性	荒木 奈緒
教授・人間情報	石井 雅博	教授・成人	川村 三希子
教授・人間情報	伊藤 健世	教授・成人	卯野木 健
教授・人間情報	柿山 浩一郎	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・人間空間	西川 忠	教授・小児	奈良間 美保
教授・人間情報	藤木 淳	教授・管理	松野 千代美
教授・人間情報	細谷 多聞	准教授・小児	加藤 依子
教授・共通教育	松井 美穂	准教授・成人	菅原 美樹
教授・人間情報	三谷 篤史	准教授・在宅	高橋 奈美
教授・人間空間	山田 良	准教授・老年	原井 美佳
准教授・人間空間	大島 韶	准教授・基礎	檜山 明子
准教授・人間空間	片山 めぐみ	准教授・地域	本田 光
准教授・人間空間	金子 晋也	准教授・成人	牧野 夏子
准教授・人間情報	金 秀敬	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間空間	小林 重人	准教授・精神	守村 洋
准教授・人間空間	古俣 寛隆	講師・母性	石引 かずみ
准教授・人間空間	小宮 加容子	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・共通教育	並木 翔太郎	講師・母性	岡 園代
准教授・人間情報	福田 大年	講師・管理	鬼塚 美玲
准教授・共通教育	丸山 洋平	講師・成人	工藤 京子
准教授・人間空間	御手洗 洋蔵	講師・基礎	武富 貴久子
准教授・人間空間	森 朋子	講師・小児	牧田 靖子
准教授・人間空間	山田 信博	講師・基礎	三戸部 純子
准教授・人間情報	横溝 賢	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間空間	石田 勝也	特任講師・基礎	中平 紗貴子
講師・人間空間	須之内 元洋	助教・地域	市戸 優人
講師・人間情報	大渕 一博	助教・在宅	尾立 斗志世
講師・人間空間	藤沢 礼央	助教・母性	久保田 祥子
講師・人間情報	松永 康佑	助教・成人	栗原 知己
助教・人間空間	坪内 健	助教・地域	近藤 圭子
助教・人間情報	舛田 聰志	助教・精神	渋谷 友紀
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・地域	田仲 里江
助教・人間情報	吉田 彩乃	助教・老年	西川 めぐみ
		助教・成人	平山 憲吾
AIT センター		助教・基礎	吉田 実和
職位	教員名	助教・基礎	本多 いづみ
教授	高橋 尚人	特任助教・成人	澤口 宙人
特任教授	津田 一郎	助手・基礎	高橋 葉子

2 教員業績一覧

デザイン学部

中島 秀之

＜学会発表＞1.「特集論文 中島秀之 AI 研究の半世紀 一記号処理から深層学習そして予期知能へ— 特集：エージェント技術の過去・現在・未来」（単独、『人工知能学会誌2024年5月号』、pp.278-282、2024年）／2.「AI便乗運行サービスSAVSによる新しいモビリティプラットフォームの価値共有」（共同、サービス学会第13回国内大会）／3.中島秀之、津田一郎 AIシステムの進化速度は指数関数を超えている（共同、「人工知能学会論文誌Vol.40, No.3」）／4.中島秀之 構成的行為としての環世界のデザイン（単独、デザイン学研究特集号「環世界のまんなかでデザインする」2025年、32巻、1号、pp.100-107、2025年）

＜学会役員就任状況＞PRICAI (Chair of the Steering Committee)

＜所属学会・研究会＞日本認知科学会／日本ソフトウェア科学会／人工知能学会／サービス学会／観光情報学会／公益財団法人 日本工学アカデミー／NPO産学連携推進機構／情報処理学会

＜講演会・講習会活動＞「三鷹市民大学総合コース」講師「AI的知的脳論-行動経済学的には不合理だけどAI的には正しい人間の知能の姿」（2025年1月17日、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞社会システムデザインセンター社員及び副理事長（一般社団法人システムデザインセンター）／取締役会長（株式会社未来シェア）／委員及び理事（公益財団法人本田財団）／一般社団法人新雪理事（一般社団法人新雪）／一般社団法人日本ディープラーニング協会有識者会員（一般社団法人日本ディープラーニング協会）／公立大学法人会津大学参与会参与（公立大学法人会津大学）／未踏事業審査委員会委員（独立行政法人情報処理推進機構）／「Sapporo AI Lab」エグゼクティブ・アドバイザー（Sapporo AI Lab）／NoMaps実行委員会顧問（NoMaps実行委員会）／

「Innovators Under 35 Japan」審査員（株式会社角川アスキー総合研究所）／NEDO技術委員（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）／一般社団法人社会システムデザインセンター社員及び副理事長（一般社団法人社会システムデザインセンター）／東電記念財団基調講演「人は生成AIとどう向き合えばよいのか？」（2024年4月16日、東電記念財団）／ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会「AIとSEの基本構造の違いを将来的にどのように融合すべきかの展望につき、AIの専門家として意見を伺う」（2024年6月27日、ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会）／トヨタ技術会 技術者の一日「トヨタ技術会 技術者の一日」（2024年7月31日、トヨタ自動車株式会社トヨタ技術会）／北海道FDSDフォーラム2024「ナイチンゲールとAI：これからはリベラルアーツの時代」（2024年9月6日、国立大学法人北海道大学）／No Maps はこだて2024「デジタルと共に創する函館の未来：観光、ビジネス、そしてDX」（2024年10月13日、NoMapsはこだて実行委員会）／北海道医師会創立77周年記念講演 講師「AI関係」（2024年11月10日、北海道医師会）／2024年度青年研修マレーシア「ICT推進によるDX実践」「日本のAI研究最前線」（2024年12月11日、株式会社北海道アルバイト情報社）／日経リスクリングアワード受賞事例研究会「日経リスクリングアワード 受賞事例研究会」（2025年3月18日、日本経済新聞社）

椎野 亜紀夫

＜調査研究報告書＞1.恵庭市都市公園の利用実態に関する調査研究（2025年2月）

＜学会発表＞1.学生と地域住民が公的枠組みを超えた関係に相互変容する社会実践の試み（共同、日本デザイン学会、2024年9月）／2.中心市街地における空間構成のデザイン手法の検討（共同、日本造園学会北海道支部、2024年10月）／3.自立的な営みが継起する社会的なデザイン実践（共同、共創学会、2024年11月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ランドスケープ研究（6件、日本造園学会）／2.日本都市計画学会論文集（2件、日本都市計画学会）

＜学会役員就任状況＞日本造園学会北海道支部長（日本造園学会）

＜所属学会＞日本造園学会／日本建築学会／日本都市計画学会／こども環境学会／環境情報科学センター

＜学術委員会＞日本造園学会論文集委員会幹事（日本造園学会）



＜委員会等＞

CFCI (子どもにやさしいまちづくり事業) 委員会第三者評価特別委員会委員 (日本ユニセフ協会) / 札幌市大通公園・中島公園あり方検討会委員 (札幌市) / 札幌市水素利活用方針改定検討委員会 (札幌市) / 恵庭市公園のあり方等検討委員会委員長 (恵庭市)

齊藤 雅也

＜学術論文＞1. 寒冷地の高断熱住宅における「外層空間の内包化」による夏季の熱環境と利用のされ方 (吉田修・齊藤雅也、2024年7月、日本建築学会計画系論文集、第89巻、第821号、pp.1258-1266)

＜実務関係書＞1. ブラックアウト・COVID-19を経た今、ウェルビーイングを問う (単著、2024年10月、空気調和・衛生工学、98巻、10号、p.1)

＜学会発表＞1. 北海道における2重積みコンクリートブロック造住宅の冬期温熱環境調査 (共同、第97回日本建築学会北海道支部研究発表会、2024年6月) / 2. 「心地よさ」をもたらす歩行空間の環境要素に関する研究 -札幌での秋季の被験者実験- (共同、第97回日本建築学会北海道支部研究発表会、2024年6月) / 3. 北方型住宅オープンクーリング特別研究委員会 報告 (共同、第97回日本建築学会北海道支部研究発表会、2024年6月) / 4. 夏期の北海道における熱中症対策のための住みこなしに関する研究 (共同、2024日本建築学会大会学術講演会、2024年8月) / 5. 天候情報と暑熱不快履歴による想像温度の形成プロセス (共同、2024日本建築学会大会学術講演会、2024年8月) / 6. 小学校におけるCOVID-19等感染症に対応する空間利用に関する研究 授業運営・児童行動とCO2濃度との関係に着目して (共同、2024日本建築学会大会学術講演会、2024年8月) / 7. 小・中学校におけるCOVID-19への対応に関する調査研究 その4: 石川県の中学校の対応行動と課題 (共同、2024日本建築学会大会学術講演会、2024年8月) / 8. 積雪寒冷地の高性能住宅における「住みこなし」をひきだす半屋内外空間とその熱環境—札幌近郊の住宅を事例として— (共同、日本太陽エネルギー学会2024年度研究発表会、2024年11月) / 9. 札幌市円山動物園「オランウータンとボルネオの森」の室内気候デザイン (共同、日本太陽エネルギー学会2024年度研究発表会、2024年11月)

＜学会シンポジウム＞1. 寒冷地域の半屋内外空間を考える (単独、2024年4月、日本建築学会環境工学委員会バイオクライマティックデザイン小委員会ミニシンポジウム) / 2. 寒冷地の高断熱・高気密住宅における「外層空間」の夏季の熱環境とその利用—北海道（道央圏）にある住宅を事例として— (吉田修・齊藤雅也、2024年8月、日本建築学会環境工学部門パネルディカッション) / 3. 積雪寒冷地の高性能住宅における「住みこなし」をひきだす半屋内外空間とその熱環境—札幌近郊の住宅を事例として— (大坂美保子・齊藤雅也、2024年8月、日本建築学会環境工学部門パネルディカッション)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本建築学会環境系論文集 (1件、日本建築学会) / 2. Building and Environment (1件、Elsevier) / 3. 日本太陽エネルギー学会 (1件、日本太陽エネルギー学会)

＜学会役員就任状況＞空気調和・衛生工学会 (北海道担当理事 (北海道支部長)) / 日本太陽エネルギー学会 (理事) / 日本建築学会 (地球環境委員会・幹事、土木×建築TF 脱炭素WG・幹事)

＜学術集会運営＞第97回日本建築学会北海道支部研究発表会 / 日本太陽エネルギー学会2024年度研究発表会

＜講演会・講習会活動＞SSH特別講義「ペットボトルハウスで温房・涼房を考える」 (2025年2月6日、北海道旭川西高等学校)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞環境工学専門委員会・委員 (2023~24年度、日本建築学会北海道支部) / バイオクライマティックデザイン小委員会・委員 (~2024年度、日本建築学会) / パッシブ換気システムを備える住宅の専門家・顧問 (セミナー運営) (~2024年度、パッシブシステム研究会) / BIS認定事業に係る試験講習委員会・委員 (講習会・講師) 「開口部の計画、涼房・防暑の計画」 (~2024年度、(社)北海道建築技術協会) / 登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関/評価員・評定員 (~2024年度、(財)北海道建築指導センター) / 学会賞 (作品部門) 審査委員会・委員 (2024年度、日本建築学会) / 北方型住宅の快適性を考える (2024年4月25日、住宅5団体セミナー) / 誰のためのデザインか? (2024年6月7日、ピーエス) / NoMapsカンファレンス&連携イベント (2024年9月13日、一般社団法人新雪)

石井 雅博

＜学術論文＞1. VR教材を活用した体験学習型環境教育の学習者評価の分析 (共著、2024年5月、日本



環境教育学会

＜学会発表＞1.他者注視点の提示による共同注視実現法（共同、エンタテインメントコンピューティング、2024年8）／2.観察学習において力のかけ方を伝える示範映像の提案（共同、電子情報通信学会北海道支部インターネットシンポジウム、2025年2）／3.画像内で力の向き・大きさを示す三次元的矢印の認知（共同、電子情報通信学会北海道支部インターネットシンポジウム、2025年2）

＜学会役員就任状況＞日本視覚学会（世話人）／電子情報通信学会（ヒューマンコミュニケーショングループ副委員長）／電子情報通信学会（ヒューマン情報処理研究会顧問）／日本バーチャルリアリティ学会（VR心理学研究委員会委員）／日本バーチャルリアリティ学会（ハプティクス研究委員会委員）

＜学術集会運営＞電子情報通信学会HCGシンポジウム2025

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞委員（視覚科学技術コンソーシアム）

伊藤 健世

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事役員）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会2025（企業展示委員長として2024年度より活動）／日本感性工学会北海道支部2025（幹事役員として2024年度より活動）

柿山 浩一郎

＜学術論文＞1.札幌市路面電車におけるラッピング広告商品開発（共著、2025年3月、デザイン学研究作品集、30巻、1号、pp.20-25）

＜著書＞1.デザインの創発（共著、2024年9月、原田昭+叙勲記念編集出版委員会、978-4-9909689-6-0）

＜調査研究報告書＞1.BtoB企業のユーザビリティ評価の研究(2024) 報告書（共著、2025年3月、札幌市立大学）／2.情報価値の高い動画コンテンツの研究（単著、2025年3月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.BtoB企業製品のユーザビリティ評価の特徴 -その3-（共同、日本デザイン学会 第71回 春季研究発表大会）／2.ファッショントレンドの表紙に対する作り手の創造思考（共同、日本デザイン学会 第71回 春季研究発表大会）／3.旅行土産のパッケージデザインから考える商品開発の背景についての調査（共同、日本デザイン学会 第71回 春季研究発表大会）／4.キャラクターぬいぐるみの愛着要素に関する研究（共同、日本デザイン学会 第71回 春季研究発表大会）／5.天板形状に着目したグループワークを促す学校机の提案 一くっつける行為を誘発する要素の検討を通して一（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2025）／6.ファッショントレンドの表紙に込められる社会的メッセージに関する研究（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2025）／7.ファッショントレンドにおける性格表現 -MBTIと襟ディテール要素の関連性-（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2025）／8.AIによる料理予測画像を活用した操作体験に関するユーザー評価調査（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2025）

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会 第71回 春季研究発表大会 口頭発表 9B 景観デザイン、ポスターセッションPA+PB（2024年6月、日本デザイン学会）／第26回日本感性工学会大会 感性インタラクション（2024年9月、日本感性工学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第20回日本感性工学会春季大会優秀発表賞（事前審査）予稿原稿（5件、日本感性工学会）／2.日本感性工学会論文誌（2件、日本感性工学会）／3.デザイン学研究（1件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（理事、研究推進委員会 委員長）／日本感性工学会（編集委員会 委員、理事）／日本感性工学会（北海道支部 支部長、感性インタラクション研究部会 部会長）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会 秋季企画大会／日本デザイン学会 第72回 春季研究発表大会（2024年11月より準備開始）／日本感性工学会 感性フォーラム札幌2025

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会

＜講演会・講習会活動＞第72期同友会大学「ビジネスとデザイン戦略」（2024年5月8日、一般社団法人北海道中小企業家同友会）／感性実装カフェ'24「「感性の時代」顧客ニーズのつかみ方 無限の選択肢から最適解を導き出す」（2024年6月27日、ひろしま感性イノベーション推進協議会）／札幌市中央図書館 職員研修 スキルアップ研修2「多様な利用者に配慮したデザインとは 効果的な図書館の表現・伝達の方法」（2024年9月11日、札幌市中央図書館）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞低床車両デザイン選考委員（低床車両のラッピング広告事業の広報を目的としたコンテスト企画運営）（(一財)札幌市交通事業振興公社）／総務部サポーター（町内配布チラシ等の作成）（札幌市 南区 北の沢第三町内会）

西川 忠

＜研究会発表等＞1.耐震化途上国におけるストリートビューを用いた耐震性調査の研究（SCU産学官金研究交流会、2024年11月）

＜学会発表＞1.建築物のセルフケアシステムづくりに関する研究 建物所有者の保全意識向上のしくみづくりとリモート診断の予備実験（共同、2024年第97回日本建築学会北海道支部研究報告会、2024年6月）／2.地震被害要因調査におけるSV（ストリートビュー）活用の可能性に関する研究 2023年トルコ・シリア地震を例として（共同、2024年第97回日本建築学会北海道支部研究報告会、2024年6月）／3.新木骨石造の開発に関する研究（共同、2024年第97回日本建築学会北海道支部研究報告会、2024年6月）／4.寒冷地の公営住宅における夏季の熱中症危険度に関する調査研究 札幌市もみじ台団地を対象にして（共同、2024年第97回日本建築学会北海道支部研究報告会、2024年6月）／5.屋外曝露実験による木質外装材の色変化に関する研究 保護塗料・メンテナンスの効果を考慮して（共同、2024年第97回日本建築学会北海道支部研究報告会、2024年6月）／6.焼成した札幌軟石の外装材への適用に関する予備実験（単独、2024年日本建築学会大会（関東）、2024年7月）／7.小樽市歴史的木骨石造建造物の耐震調査（その4）店舗型木骨石造建造物の歴史・構造調査（共同、2024年日本建築学会大会（関東）、2024年7月）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本コンクリート工学会

＜講演会・講習会活動＞札幌建築クラブ講演会「臨床建築学入門 ー建物のけがと病気ー」（2024年6月26日、札幌建築クラブ）／建築指導センター会員向け講演会「臨床建築学入門 ー建物のけがと病気ー」（2025年2月7日、北海道建築指導センター）／北海道住宅相談員講習会「臨床建築学入門 ー建物のけがと病気ー」（2025年3月14日、北海道建築指導センター）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞コンクリート診断士試験委員（2006年6月～、日本コンクリート工学会）／常任理事 建築診断研究会主査（2018年4月～、北海道建築技術協会）

藤木 淳

＜学術論文＞1.「MOjiULE」「G-FITs」「ひらがな～る」-文字形状に着目した日本語作品の報告-（共著、2024年9月、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2024 札幌市立大学論文集、18巻、1号、pp.15-22）／2.点群の自律移動による図形形成アルゴリズム（共著、2024年12月、情報処理学会、65巻、12号、pp.1766-1774）

＜その他の論文＞1.移動可能な拡大鏡を用いたゲームを通した体験者の気付きに関する考察（共著、2024年12月、情報処理学会、65巻、12号、pp.1865-1869）／2.アート実践と連動した初等プログラミング教育教材の開発（共著、2025年3月、デザイン学研究作品集、30巻、1号、pp.96-101）

＜作品発表＞1.かけであそぼう（共同、2024年7月、札幌市青少年科学館）／2.みんなのコード[雪・木・星]（共同、2025年2月、札幌国際芸術祭 in さっぽろ雪まつり大通6丁目会場）

＜受賞等＞1.プログラミングで自分だけの雪の結晶をつくろう（2024年8月、第18回キッズデザイン賞受賞）／2.ゆきフレーム（2024年10月、デジタルえほんアワード2024 審査員特別賞受賞）

＜学会シンポジウム＞1.テキスト型言語を使ったプログラミング教育の授業における 小学生が感じた楽しさと難しさの分析（共同、2024年8月、情報処理学会 情報教育シンポジウム論文集 2024）／2.ecnatsid：閲覧距離に応じて模様の周期が変化する立体作品（共同、2024年9月、情報処理学会エンタテインメントコンピューティングシンポジウム2024）

＜学会発表＞1.Relationship Between Faculty Evaluation of Nursing Students Blood Pressure Measurement Skills and Variability in Deflation Speed（共同、2025年2月、5th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars）／2.Rhodopsins2：カラーフィルタを用いた単一動画像からの複数情報提示手法を応用したコンテンツの制作（共同、2025年3月、情報処理学会インタラクション2025）／3.顔表情の自動認識と振動フィードバックを用いた看護学生のための笑顔トレーニングシステムの提案（共同、2025年3月、情報処理学会インタラクション2025）

＜学会座長就任状況＞「一般口頭発表 1-A」セッション（単独、情報処理学会エンターテンメントコン



ピューティング2024)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ACML Siggraph Asia 2024 Art Paper (10件、ACML Siggraph Asia) / 2.情報処理学会ジャーナル (1件、情報処理学会) / 3.情報処理学会エンターテンメントコンピューティング学会2024 (16件、情報処理学会エンターテンメントコンピューティング学会2024)

＜学会役員就任状況＞ACML Siggraph Asia 2024 (ACML Siggraph Asia 2024 Art Paper Committee) / 情報処理学会エンターテンメントコンピューティング2024 (情報処理学会エンターテンメントコンピューティング2024PG委員)

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会 / 日本バーチャルリアリティ学会 / 芸術科学会 / 共創学会 / 日本看護科学学会 / 情報処理学会

＜講演会・講習会活動＞キンミライガッキ現代支部、「自律生命的なガッキを考えるワークショップ」, 赤羽異地番街2024FUTUREs backbone#2 (2024年7月27日、キンミライガッキ現代支部) / キンミライガッキ現代支部, TALK EVENT, 赤羽異地番街2024FUTUREs backbone #3 (2024年8月17日、キンミライガッキ現代支部) / 学校DEカルチャー出前授業 (2024年9月10日8:45~11:30 (札幌市立厚別北小学校)、2024年9月17日8:40~15:00 (札幌市立みどり小学校)、2024年10月4日10:40~12:15 (札幌市立藻岩南小学校)、2024年9月6日8:40~12:15 (札幌市立八軒北小学校)、札幌国際芸術祭実行委員会事務局) / 札幌国際芸術祭SIAFスクール出前授業 (2024年9月27日9:45~11:30 (発寒東小学校)、2024年9月24日8:45~12:20 (東川下小学校)、2024年9月13日10:45~12:20 (新陵東小学校)、2024年11月22日8:45~10:20 (厚別西小学校)、2024年10月25日8:50~12:25 (百合が原小学校)、札幌国際芸術祭実行委員会事務局)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌国際芸術祭SIAFスクールの運営についての助言 (2024年4月18日10時30分~11時30分、2024年6月25日13時~15時、2024年8月8日14時30分~16時、2024年10月6日13時~15時、2024年12月6日11時~13時、2024年12月17日9時~11時、2024年12月24日9時~11時、2025年1月7日15時~17時、2025年1月13日10時~12時、2025年1月27日9時~11時、札幌国際芸術祭実行委員会事務局)

細谷 多聞

＜学術論文＞1.自然環境の変化を利用したアート作品が鑑賞者の意識に及ぼす効果 (共著、2024年8月、環境芸術、32号、pp.72-77)

＜作品発表＞1.Expressive Computers (2点) (単独、2024年6月、「なして?のデザイン」 ウィークエンドイベント) / 2.Sound Furniture (2点) (単独、2024年6月、「なして?のデザイン」 ウィークエンドイベント) / 3.101色クジラ (共同、2025年2月、ホスピタルアート展示への作品展示協力) / 4.アマビエ像、幸せ来やっと (共同、2025年2月、ホスピタルアート展示への作品展示協力)

＜受賞等＞1.2024 汗かくメディア賞 (2024年10月、愛知児童総合センター)

＜学会座長就任状況＞[C2] ユニバーサルデザイン、デザイン史 (単独、2024年6月、日本デザイン学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究作品集 (2件、日本デザイン学会)

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会 / 環境芸術学会

＜講演会・講習会活動＞夕張市市民講座「クリスマスツリーづくり」 (2024年12月14日、夕張市教育委員会)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞学位論文 (博士) 外部審査委員「書道における運筆曲線と感情の具現化との関係」 (2024年6月~8月、名古屋工業大学) / 「若い世代の食事事業」ランチョンセミナー「ランチョンセミナー～しっかり朝食、毎日元気！～」 (2024年6月14日、南区保健福祉部) / 駒岡清掃工場ロゴマーク制作「駒岡清掃工場ロゴマーク制作」 (2024年7月5日~9月30日、株式会社タクマ) / Coミドリ 子ども向けワークショップ「くるくるまつり」 (2024年11月9日、札幌市子ども会育成連合会) / 市立大学の学生との意見交換会 (札幌市) 「(仮称) 札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」についての意見交換」 (2024年11月29日、札幌市)

松井 美穂

＜書評＞1.梅垣 昌子著『フォークナー 語りの力—その創造性の起源へ』名古屋外国語大学出版会 (単著、2025年3月、日本アメリカ文学会、61号、pp.52-58) / 2.中央大学人文科学研究所編『ローカリ



ティのダイナミズム 連動するアメリカ作家・表現者たち』（中央大学出版部）、本村浩二著「ケージとサークル・ショパン、ウェルティ、そしてリージョナル文学」（単著、2025年3月、日本アメリカ文学会北海道支部、41号、pp.64-71）

＜学会シンポジウム＞1.コズミック・ゾラーゾラ・ニール・ハーストンと変容する語る主体ー（単独、2024年11月、日本英文学会第69回北海道支部大会）

＜学会座長就任状況＞呼応する、女性のモダニズム-左川ちか、ヴァージニア・ウルフ、ゾラ・ニール・ハーストンー（2024年11月、日本英文学会第69回北海道支部大会）

＜学会役員就任状況＞日本英文学会（評議員）／日本英文学会北海道支部（副支部長）／日本アメリカ文学会北海道支部（支部長）／日本アメリカ文学会（代議員）

＜学術集会運営＞日本英文学会北海道支部大会

＜所属学会・研究会＞日本アメリカ文学会／日本アメリカ文学会北海道支部／日本英文学会／日本英文学会北海道支部／アメリカ学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／文学と評論／日本カナダ文学会／Faulkner Society／Carson McCullers Society

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会 評議員（一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会）

三谷 篤史

＜学術論文＞1.Posture Retention Devices for Older Adults Undergoing Horseback Riding Therapy（共著、2024年9月、COJ Nurse Healthcare、9巻、1号、pp.939-946）

＜特許・意匠登録＞食事介護又は介助用のトレーニング装置（2024年4月）

＜受賞等＞1.ウッドデザイン賞（2024年11月、一般社団法人日本ウッドデザイン協会）／2.Outstanding Poster Paper Award（2024年11月、The 31st International Display Workshops）

＜学会発表＞1.Development of a prototype simulation model for mealtime assistance and a spoon navigation application（共同、ICRA 2024 Workshop on Nursing Robotics、2024年5月）／2.Probing Simulator that can Measure Probing Force and Resting Force Independently（共同、ICRA 2024 Workshop on Nursing Robotics、2024年5月）／3.半座りパーソナルモビリティの開発と検証 一屋内における使用を想定したデザイン提案（共同、ROBOMECH2024、2024年6月）／4.プロービング力とレスト力を独立して計測可能なプロービングシミュレータ（共同、ROBOMECH2024、2024年6月）／5.機械音声を用いた歌唱補助システムの考案-使用者の声質に合わせたガイドボーカルの作成-（共同、Human Interface 2024、2024年9月）／6.舌清掃介助口腔シミュレータ開発に関するアンケート調査（共同、令和6年度公益社団法人日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術講演会、2024年10月）／7.Tongue-Cleaning Simulator for Oral Care Assistance（共同、The 31st International Display Workshop、2024年12月）／8.ギリシャ発祥の手遊び文化『ペグレリ』の高齢者向け展開の試み（共同、2024年度 道具学研究発表フォーラム、2025年1月）／9.ファブラボの現状と課題（共同、感性フォーラム札幌2025、2025年2月）／10.音声編集を用いた歌唱補助システムの考案-自己調整によるガイドボーカルの最適化に関する検討（共同、情報処理学会第87回全国大会、2025年3月）

＜学会招聘講演＞1.口腔介護の基礎技術習得のためのシミュレータ開発とその展望（単独、2024年7月、日本歯科医療管理学会第65回総会・学術大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.CAD'24（1件、CAD'24）／2.International Journal of Automation Technology（1件、International Journal of Automation Technology）

＜学会役員就任状況＞日本機械学会（ロボティクス・メカトロニクス部門102期技術委員会第2地区委員長）／精密工学会（北海道支部 副支部長）／日本トライボロジー学会（北海道トライボロジー研究会 主査）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会第72回春季大会／日本機械学会2025年度年次大会／第13回看護理工学会学術集会／2024年度精密工学会北海道支部学術講演会

＜所属学会・研究会＞日本機械学会／日本ロボット学会／計測自動制御学会／看護理工学会／道具学会／日本感性工学会／日本デザイン学会／日本口腔ケア学会／IEEE/RAS／北海道トライボロジー研究会／日本トライボロジー学会

＜講演会・講習会活動＞「ロボットカーを走らせよう」「科学であそぼ「おもしろ実験室」1Dayサイエンス」（2024年11月30日、ほくでん）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞大学見本市 イノベーション・ジャパン2024において食事介護シミュレータに関する展示・実演を実施（2024年8月22日、23日、JST）／研究成果や地域貢献活動に関する展示（2024年11月6日、7日、ビジネスEXPO）／令和6年度第1回研究会の企画運営（2025年1月30日～31日、北海道トライボロジー研究会）

大島 順

＜学術論文＞1.学校規模適正化が行われた小学校区における児童の屋外行動変化とその要因に関する研究（共著、2025年3月、日本造園学会誌『ランドスケープ研究』Vol.88 No.5、88巻、5号、pp.415-420）

＜受賞等＞1.記憶の杜～託された憶いを次へと紡ぐ～（2024年6月、日本造園学会）

＜学会発表＞1.事業拠点間交通路及び施設配置の変容過程に着目した岩手県小岩井農場の空間特性（単独、日本造園学会全国大会、2024年6月）／2.学校敷地内における教職員のワークプレイス改善に関する研究-執務空間での居心地に係るアンケート調査の解析から考察-（共同、日本造園学会北海道支部大会、2024年10月）／3.死考による弔いを醸成する空間-都市と共に存する現代社会に適応したモニュメント墓所-（共同、日本造園学会北海道支部大会、2024年10月）

＜学会役員就任状況＞日本造園学会（ランドスケープ遺産インベントリー委員会）／日本造園学会（日本造園学会北海道支部運営委員）

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会／日本建築学会北海道支部 第97回研究発表会

＜所属学会・研究会＞日本造園学会／日本建築学会／デザイン学会／北の造園遺産研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞デザインワークショップの開催・運営「冬みち便り製作事業」（2024年7月～11月、札幌市南区土木部維持管理課）

片山 めぐみ

＜学術論文＞1.コミュニティマルシェを活用したケアコミュニティ・デザイン・札幌市立大学 学生サークル「八百カフェ実行委員会」のまちづくり（共著、2024年9月、SCUジャーナル、18巻、1号、pp.31-38）

＜受賞等＞1.第7回北海道地域福祉学会優秀実践賞（2025年3月、北海道地域福祉学会）

＜学会発表＞1.学生サークル活動によるケアコミュニティ・デザイン～札幌市立大学 コミュニティマルシェ「八百カフェ」（単独、2024年度建築学会北海道支部研究発表会、2024年6月）／2.着ぐるみを用いた他者との複層的な交流創出の実践～「コミュニティマルシェ八百カフェにおける実験（共同、日本デザイン学会第1支部大会、2024年9月）／3.マルシェでの出店体験によるフリースクールの児童の発達支援～商いを通した支援プログラム「こども八百カフェ」のアクションリサーチ（共同、日本デザイン学会第1支部大会、2024年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／2.デザイン学研究（2件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会主査）

＜学術集会運営＞第97回日本建築学会北海道支部研究発表会

＜講演会・講習会活動＞生活クラブ連合会（生活クラブ生協）が主催する講演会における講師「“多世代の居場所づくり”から“たすけあいの地域づくり”へ」（2024年4月25日、生活クラブ連合会（生活クラブ生協））／真駒内地区のまちづくりに関わる講義（2024年5月22日、市立札幌みなみの杜高等支援学校）／れきしに学ぶ・まこまない勉強会（2024年12月1日、日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会）／札幌市南区複合庁舎整備に係るワークショップ（2025年2月4日、札幌市市民文化局地域振興部）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道における地域コミュニティに関する研究会における講義「北海道における地域コミュニティについて」（2024年5月30日、一般財団法人 北海道開発協会）／2024ものづくりサステナフェアの出展（本学地域連携課より依頼）「コミュニティマルシェ八百カフェの取り組み」（2024年7月24日、札幌市立大学）／旭川市の町内会活動に携わる専門職を対象とするシンポジウムのシンポジスト「持続可能な町内会に向けたシンポジウム「どうする？！町内会」」（2025年2月14日、旭川市市民生活部）／農福連携による農産加工品のブランディングとパッケージデザインプロジェクト「農福連携による農産加工品のブランディングとパッケージデザインプロジェクト



ト」（通年、社会福祉法人旭川旭親会）

金子 晋也

＜学術論文＞1.厚真町吉野地区の土地利用と建物の変遷に関する研究ノート（共著、2024年12月、札幌市立大学、18巻、1号、pp.23-29）

＜その他の論文＞1.北海道厚真町におけるハスカップ農園の景観形成（単著、2024年8月、日本建築学会、pp.4-7）／2.建築と研究について（単著、2024年10月、大東書道、656号、pp.1-1）

＜学会発表＞1.よいち水産博物館の建築的特徴に関する報告（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、2024年6月）／2.札幌市における交通建築の建築的特徴 札幌オリンピックに伴う公共交通の整備に着目した事例の検証（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、2024年6月）／3.三笠市炭鉱遺構群の調査研究（3） 旧北炭幌内炭鉱の選炭機の現況と復原的考察（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、2024年6月）／4.地形的要因と交通計画からみた札幌市営地下鉄白石駅バスターミナルの建築的特徴（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、2024年6月）／5.北海道小樽市における戦後建築に関する調査研究 2023年度調査報告：特に小樽中央卸市場について（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、2024年6月）／6.北方型住宅オープントーリング特別研究委員会 報告（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、2024年6月）／7.The Puddles 「学校的」な空間に対する提案（共同、日本建築学会学術講演梗概集、2024年8月）／8.芸術の森キャンパスにおける危険木の利活用に関する報告（単独、芸術工学会秋季大会、2024年10月）／9.層を想うとき 芸術の森キャンパスの伐木地点の場所性から着想した実験的建築（共同、芸術工学会秋季大会、2024年10月）

＜学会シンポジウム＞1.特產品を／が生み出す地域景観（共同、2024年8月、日本建築学会研究懇談会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.芸術工学会誌（1件、芸術工学会）

＜学会役員就任状況＞芸術工学会（芸術工学会理事）／日本建築学会（近代建築史小委員会委員、建築構法小委員会委員、文化的生態的景観小委員会委員）／日本建築学会北海道支部（歴史意匠専門委員会委員）

＜学術集会運営＞第97回日本建築学会北海道支部研究発表会開催概要／日本太陽エネルギー学会2024年研究発表会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞男爵記念館（北斗市）実測調査（2024年6月25日～26日、北海道博物館）／大通公園プレイスメイキング実証実験におけるベニアキューブの設営（2024年9月14日～15日、竹中工務店）／「みなみさわ体操」の動画の提供、Tシャツのデザインの提供及びTシャツ製作「地域産学連携協力依頼」（2025年1月～3月、南沢連合町内会）／民家再生に関する研究に対する知見の提供（2025年2月21日、北海道建築デザイン研究室）／ふるさとミライカレッジ応募の協力（2025年3月、厚真町）

金 秀敬

＜学術論文＞1.Towards an Education System aimed at Enhancing the Embodied, Enactive and Interactive Experience through New Relations（単著、2024年9月、Proceedings of the International Conference on Engineering and Product Design Education (E&PDE 2024)、pp.342-347）

＜学会発表＞1.Towards an Education System Aimed at Enhancing Embodied, Enactive, and Interactive Experiences through New Realities（単独、The International Conference on Engineering and Product Design Education、2024年9月）／2.ひらがなとカタカナを用いた文字形態の組み合わせの効果に関する研究に向けて - 食感覚の擬態語・擬音語における印象評価を中心に -（共同、第26回日本感性工学会大会、2024年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会）／2.Proceedings of the Design Society, Volume 5: ICED25（4件、International Conference on Engineering Design）

＜学会役員就任状況＞ICED(The Design Society)（審査委員）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／The Design Society

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞デジタルグラフィックス分野の大学教員・学生対象 特別講義企画「A New Paradigm of Affective Design」（2025年2月26日、1日、Prince of Songkla University）



小林 重人

＜学術論文＞1.廃止措置における原子力発電所職員のジェネラティビティと知識マネジメント（共著、2024年4月、横幹、18巻、1号、pp.26-36）／2.LETS Passbook Communities: An investigation of an Adaptation of the LETS Community Currency Mechanism（共著、2024年5月、International Journal of Community Currency Research、27巻、pp.1-20）／3.ミクロ・メゾ・マクロ・ループの枠組みに基づく創発的ソーシャルシステムデザイン（単著、2024年7月、FOST設立30周年記念論文集、pp.44-47）／4.コミュニティマルシェを活用したケアコミュニティ・デザイナー札幌市立大学 学生サークル「八百カフェ実行委員会」のまちづくり（共著、2024年9月、札幌市立大学研究論文集、18巻、1号、pp.31-38）

＜調査研究報告書＞1.厳冬期災害における避難支援および避難所環境に関する研究報告書（共著、2024年6月、札幌市立大学、pp.5-15）

＜実践報告書＞1.ISAGAから学んだ国際会議運営のヒント（単著、2024年7月、シミュレーション&ゲーミング、34巻、1号、pp.61-62）

＜学会発表＞1.石狩市厚田支所を活用した子ども向け創作活動拠点「あつたアトリエ」の設置計画（共同、日本建築学会北海道支部研究会、2024年6月）／2.学生サークル活動によるケアコミュニティ・デザイナー札幌市立大学 コミュニティマルシェ「八百カフェ」－（共同、日本建築学会北海道支部研究会、2024年6月）／3.乗合タクシーにおける乗合時の気まずさ低減のためのモニター活用（共同、第23回情報科学技術フォーラム、2024年9月）／4.第三者視点による大学事務のデジタルツール導入と主体性涵養の試み（共同、北海道FDSDフォーラム2024、2024年9月）／5.過疎地域における子どもの創造力と行動力を育む居場所づくり（共同、地域活性学会 第16回研究大会、2024年9月）／6.廃止措置知識マネジメントにおけるジェネラティビティの重要性－その2 プラント運転知識に関するフォーカスグループ追加調査－（共同、日本原子力学会 2024年秋の大会、2024年9月）／7.健康と移動に関するソーシャルシステムデザイン（単独、2024年度 進化経済学会 北海道・東北部会、2024年9月）／8.Development of a Digital Community Currency to Promote the Use of Wood Biomass Thermal Energy: A Case Study in Mogami, Japan（共同、7th Biennial RAMICS International Congress in Italy、2024年11月）／9.災害時の連携を目的とした北海道の「道の駅」の周辺施設と人口の調査（共同、日本災害情報学会第29回学会大会、2024年11月）／10.デジタル地域通貨Geneの取引結果（単独、第29回 進化経済学会、2025年3月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.知識共創（1件、知識共創フォーラム）／2.地域活性（1件、地域活性学会）

＜学会役員就任状況＞日本シミュレーション&ゲーミング学会（学術委員）／進化経済学会（学会賞選考委員）／進化経済学会北海道・東北部会（部会長）

＜学術集会運営＞日本シミュレーション&ゲーミング学会秋期全国大会／日本建築学会北海道支部研究大会／進化経済学会北海道・東北部会研究会

＜講演会・講習会活動＞東区冬季体験型防災訓練に向けた事前学習会「GISデータから考える元町地区の避難行動」（2025年2月10日、札幌市東区）／避難行動要支援者の居住実態に関するGISデータの提供及び指導「GISデータから考える元町地区の避難行動」（2025年2月21日、札幌市東区）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞デジタル地域通貨の実証実験の結果に関する講義「取引データから見たGENEの実験結果」（2025年3月10日、山形県最上町）

古俣 寛隆

＜学術論文＞1.乾燥チップ生産・供給拠点の機能を担う木質ガス化CHP事業の検討（共著、2024年5月、日本エネルギー学会誌、103巻、5号、pp.34-43）／2.木質製品、木質エネルギーのコストと採算性（単著、2025年1月、木材工業、80巻、1号、pp.2-7）

＜著書＞1.地球環境シリーズ バイオマスのガス化技術動向（共著、2025年3月、株式会社シーエムシー出版、978-4-7813-1862-2、pp.160-167）／2.木材科学講座10 バイオマス（共著、2025年3月、海青社、978-4860990701、pp.34-38）

＜その他の論文＞1.木材の屋外利用について考える（共著、2025年1月、北海道造園懇話会、64巻、pp.1-2）

＜研究会発表等＞1.当別町への木質チップボイラ導入による経済性と経済波及効果に関する検証（共



同、北海道森づくり研究成果発表会)／2.森町産人工林材を活用した張弦梁の性能評価と地域材活用による経済波及効果の検証(共同、北海道森づくり研究成果発表会)／3.30 私、森林・木材のよい利用方法について考えています(単独、3QUESTIONS北海道地区編)／4.北海道における集成材工場の建設・稼働による経済波及効果(単独、2024年度SCU産学官金研究交流会)

＜学会発表＞1.スギ燃料ガス化炉内のクリンカ生成抑制のためのマツ混合効果(共同、第33回日本エネルギー学会大会、2024年8月)／2.Ash fusibility analysis of blended woody biomass fuels for Suppressing Clinker formation in gasifiers(共同、The 29th International Conference on the Impact of Fuel Quality on Power Production and the Environment、2024年9月)／3.小規模店舗・事業所における木質バイオマスボイラーの経済性(共同、2024年度日本太陽エネルギー学会研究発表会、2024年11月)／4.地域の森林バイオマス収穫可能量に関する一考察(共同、林業経済学会2024年秋季大会、2024年11月)

＜学会座長就任状況＞1.【セッション：E2 バイオマス発電Ⅱ】11月2日【11:00～12:20】(2024年11月、日本太陽エネルギー学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本森林学会誌(1件、日本森林学会)／2.日本建築学会論文集 構造系(1件、日本建築学会)／3.材料(1件、日本材料学会)

＜学会役員就任状況＞日本木材学会(環境委員会委員)／日本建築学会(中規模木造建築促進のための木材使用量とその環境負荷の検討小委員会委員)／FICoN(森林産業コミュニティ・ネットワーク(FICoN)幹事)

＜学術集会運営＞日本エネルギー学会 バイオマス部会主催 令和6年度「バイオマス夏の学校」

＜所属学会・研究会＞日本木材学会／日本LCA学会／林業経済学会／日本木材加工技術協会／日本エネルギー学会／日本建築学会／日本太陽エネルギー学会

＜講演会・講習会活動＞林業・木材産業・酪農業・建設業を繋ぐ！木造畜舎シンポジウム「木造畜舎のLCA、LCC、経済波及効果」(2024年11月26日、北海道釧路総合振興局産業振興部林務課)／令和6年度林野庁補助事業 木の建築物の効果検証・発信セミナー「第1部木材の良さを見える化する事業 研究事例の紹介」(2025年3月4日、日本住宅・木材技術センター)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞インベントリデータベースIDEA専門委員(一般社団法人産業環境管理協会)／「早生樹等による燃料用国産木質バイオマス生産・供給の普及へ向けた委員会」委員(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)／令和6年度木材の良さを見える化するWG委員(公益財団法人日本住宅・木材技術センター)／北海道釧路総合振興局：木造畜舎と鉄骨造畜舎のLCA、LCC、経済波及効果の算定協力／森町：町内に建築される町産木材を用いた木造施設建設のLCA

小宮 加容子

＜作品発表＞1.アマビエ、あしたの羊、福がこささる しあわせ来やつ！？と、101色クジラ(共同、2025年2月、市立札幌病院ホスピタルアート展示への作品展示)／2.アマビエ像、幸せ来やつと、明日のひつじ(共同、2025年2月、ホスピタルアート展示への作品展示)

＜受賞等＞1.2024 汗かくメディア賞(2024年10月、愛知児童総合センター)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究作品集(1件、日本デザイン学会)

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインターフェース学会／日本福祉のまちづくり学会／環境芸術学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞夕張市市民講座「ゆくとしくるとし どうぶつツリーをつくろう」(2024年12月14日、夕張市教育委員会)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞理事、セミナー企画・実施(不定期、北のユニバーサルデザイン協議会(NUDA))／「若い世代の食育事業」ランチョンセミナー「ランチョンセミナー～しっかり朝食、毎日元気！～」(2024年6月14日、南区保健福祉部)／駒岡清掃工場ロゴマーク制作(2024年7月5日～9月30日、株式会社タクマ)／Coミドリ 子ども向けワークショップ「くるくるまつり」(2024年11月9日、札幌市子ども会育成連合会)／市立大学の学生との意見交換会「「(仮称)札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」についての意見交換」(2024年11月29日、札幌市)

並木 翔太郎



＜学会発表＞1.デザイン思考に基づいたライフデザインワークショップの実践（共同、日本デザイン学会第71回研究発表大会、2024年6月）／2.The Productivity and Acceptability of Synaesthetic Metaphors in Japanese and English（共同、15th Free Linguistics Conference、2024年10月）

＜所属学会・研究会＞日本言語学会／日本英語学会／英語語法文法学会／日本語文法学会／筑波英語学会

＜講演会・講習会活動＞1.ライフデザインワーク2024（2024年5月30日、北海道大学COI-NEXT「こことカラダのライフデザイン共創拠点」）

福田 大年

＜学会発表＞1.ハイフレックス型授業の環世界（単独、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／2.写真の段階的な協同鑑賞から得られた鑑賞方法についての研究（共同、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／3.Are electronic devices replacing craftsmanship? : An analysis of the process by which coffee roasters in Japan integrate electronic devices into their work（共同、The 2024 Standing Conference of Organizational Symbolism、2024年7月）／4.見立て観察と仕立て作業を組み合わせたアイデア生成学習の開発（単独、日本認知科学会第41回大会、2024年10月）／5.Transforming Winery Resource Acquisition Through Electric Communication（共同、The Asia Pacific Conference on Information Management 2024、2024年11月）／6.輻輳的学習意識が創発されるハイフレックス型授業（単独、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／7.Reconsidering the Concept of User Community as a Competitive Resource for User Entrepreneurs: A Case Study of a New Boutique Winery in Japan（共同、37TH ANZAM CONFERENCE、2024年12月）

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会第71回春季研究発表大会テーマセッション（2024年6月、日本デザイン学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究作品集（1件、日本デザイン学会）／2.共創学（1件、共創学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（日本デザイン学会 第一部会 支部長）

＜学術集会運営＞第15回日本デザイン学会第一部会大会

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインターフェース学会／共創学会／日本認知科学会

＜講演会・講習会活動＞アートとビジネスの関係性を考えて新たな可能性を探る講演会のパネリスト「SMF TALK【アート思考って結局なんなの?】」（2025年3月30日、札幌メディア・アート・フォーラム）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞家庭学習教材「進研ゼミ・プログラミング講座」作成の監修（2024年8月～2025年3月、株式会社ベネッセコーポレーション）／共創的ビジネスマッチングワークショップでのビジュアルドキュメンテーションの支援「札幌ビジネスミーティング&マッチング<共創>」（2024年11月27日、28日、さっぽろ産業振興財団）／企業が抱える課題の見える化ワークショップの企画・実施（2025年3月26日、さっぽろ産業振興財団）

丸山 洋平

＜学術論文＞1.地域人口の将来見通し－日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）より－（共著、2024年6月、厚生の指標、71巻、6号、pp.34-41）／2.人口移動を軸に考える我が国の年と農村のネクサス（単著、2024年6月、都市問題、115巻、pp.44-54）／3.札幌市をめぐる人口移動と地域変容（単著、2024年8月、地域経済学研究、47巻、pp.49-62）／4.総合討論（共著、2024年8月、地域経済学研究、47巻、pp.82-90）／5.自治体職員発のアイデアによる将来人口推計ツールの作成事例からみる地方創生に向けたEBPM推進の可能性－北海道内市町村の第8期介護保険事業計画策定支援を契機として－（共著、2025年3月、人口問題研究、81巻、1号、pp.62-80）

＜その他の論文＞1.東京圏部の人口流入とシングル化が投げかけるもの（単著、2024年10月、三田評論、1292巻、pp.60-63）

＜学会発表＞1.移動経験と家族形成規範意識との関係（単独、日本人口学会第76回大会、2024年6月）／2.Why does Migration Decrease Fertility? -The relationship between migration experiences and attitudes toward family formation norms-（単独、International Conference on Population Geographies 2024、2024年7月）



＜学会シンポジウム＞1.移動経験は結婚に対する考え方を変えるのか？（単独、2025年3月、日本人口学会関西地域部会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.人文地理（1件、人文地理学会）／2.現代社会学研究（1件、北海道社会学会）／3.人口学研究（1件、日本人口学会）

＜学会役員就任状況＞日本人口学会（監事）

＜学術集会運営＞日本人口学会東日本地域部会

＜所属学会・研究会＞日本人口学会／日本地理学会／人文地理学会／家族社会学会／経済統計学会／都市計画学会／北海道社会学会／人口学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道新聞より、住民基本台帳に基づく人口動態調査について、①2023年に北海道で外国人住民が増加した要因、②道内の日本人住民について、全体的な減少と札幌市の減少数が全道一になったこと、についてのヒアリング（金子文太郎記者）（2024年7月24日、北海道新聞）／渡島管内市町新規採用職員と渡島総合振興局新規採用職員との合同研修での講演「人口減少のメカニズムと地方創生への視座」（2024年9月2日、渡島振興局）／令和6年研修会での講演「人口移動と家族から社会の変化を読み解く」（2024年11月21日、自由民主党札幌・石狩地方議員連絡協議会）／札幌市・北海学園大学・北海商科大学の連携企画である第1回政策研究会での講演「札幌市をめぐる人口移動とミドル期人口のゆくえ」（2024年12月23日、札幌市、北海学園大学、北海商科大学）／産学官金連携セミナー「どうする？北海道 どうする？中小企業」での講演「人口移動と現代社会の問題～新しい北海道をどうデザインするか」（2025年2月13日、産学官連携支援協議会）／研究参与として、当該センターの活動への助言（2024年度、新潟市都市政策部GISセンター）

御手洗 洋蔵

＜学術論文＞1.サツマイモ栽培における未利用資源「ホヤ殻」施用の影響：SDGsを意識した学習教材の検討（共著、2024年10月、食農と環境、37巻、pp.10-15）／2.都市部の園芸愛好家を対象とした家庭園芸における農薬使用意識の分析（共著、2025年3月、ランドスケープ研究、88巻、5号、pp.443-448）／3.学校規模適正化が行われた小学校区における児童の屋外行動変化とその要因に関する研究（共著、2025年3月、ランドスケープ研究、88巻、5号、pp.415-420）

＜学会発表＞1.地域活性化を目指した北海道名寄市における「薬草栽培」の実態（共同、日本造園学会他移動支部大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本農業教育学会誌（1件、日本農業教育学会）／2.人間・植物関係学会雑誌（1件、人間・植物関係学会）／3.ランドスケープ研究（1件、日本造園学会）

＜学会役員就任状況＞人間・植物関係学会（会計担当）／実践総合農学会（一般理事）／日本造園学会北海道支部（会計担当）

＜所属学会・研究会＞日本造園学会／人間・植物関係学会／デザイン学会／環境情報科学／日本農業教育学会／実践総合農学会／園芸学会

森 朋子

＜学術論文＞1.1972年冬季オリンピック札幌大会による都市整備の考察（単著、2024年9月、札幌市立大学研究論文集、18巻、1号、pp.3-14）

＜著書＞1.造景2024 特集景観法20年の到達点（共著、2024年9月、建築資料研究社、978-4-866358-949-0、pp.18-20）／2.AMPS PROCEEDINGS SERIES 37.2（共著、2024年9月、AMPS、2398-9467、pp.323-332）／3.グローカル時代の景観デザイン（共著、2025年1月、鹿島出版会、978-4-306-07371-5、pp.128-135、pp.140-141）

＜調査研究報告書＞1.地域性を踏まえた個別の景観コントロールを考える（単著、2025年3月、土地総合研究、33巻、1号、pp.26-38）

＜受賞等＞1.特別賞（2024年11月、日本都市計画学会北海道支部）／2.奨励賞（2024年11月、日本都市計画学会北海道支部）

＜学会発表＞1.景観施策における都道府県の役割に関する研究、「市町村支援型」に着目して（単独、2024年度日本建築学会北海道支部研究発表会、2024年6月）／2.A study on the transition of the public parks - Nakajima Park and Maruyama Park - in the city of Sapporo（単独、The 20th Biennial Conference International Planning History Society (IPHS)、2024年7月）／3.地域生活支援



拠点等（面的支援型）における精神障害者を支える地域づくり事例の分析（共同、日本都市計画学会北海道支部2024年度研究発表会、2024年11月）／4.清田区の街区公園における雪置き場としての現状と課題,札幌市「公園の雪置き場としての利用制度」に着目して（共同、日本都市計画学会北海道支部2024年度研究発表会、2024年11月）

＜学会座長就任状況＞Session 7.2_Open Space in East-Asian Cities (2) (2024年7月、The International Planning History Society (IPHS))

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会論文集（英語論文）（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本イコモス国内委員会（理事）／日本建築学会都市計画本委員会（委員）／日本建築学会グローカル景観小委員会（委員）／日本建築学会北海道支部都市計画委員会（委員）

＜学術集会運営＞日本都市計画学会北海道支部2024年度研究発表会／第97回日本建築学会北海道支部研究発表会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2024年度日本建築学会大会プログラム編成委員会委員（2024年4月、日本建築学会都市計画本委員会）／日本イコモス国内委員会理事として理事会参加（2024年6月、9月、12月、2025年3月、日本イコモス国内委員会）／札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市三菱鉛業寮運営協議会委員「札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉛業寮運営協議会」（2024年6月、12月、2025年3月、NC・MMS永山邸等運営共管理同事業体）／景観ルックイン鎌倉ミニシンポジウムコメントテーター「鎌倉地域のまち並み形成と歴史的建造物の保存・活用について」（2024年8月26日、日本建築学会グローカル景観小委員会）／第2回住ノ江・入船大会のコメントテーター（2024年9月29日、小樽地域遺産連合会）／「まこまない勉強会」講師「まこまないの都市計画史」（2024年12月1日、日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会）／インフォメーション誌春号の企画・編集「特集にあたって：世界遺産の保全状況、第46回世界遺産委員会における危機遺産登録の議論：ストーンヘンジ、ルンビニ」（2025年3月、日本イコモス国内委員会広報委員会）／ネパール・世界遺産ルンビニ遺跡保全強化第4期事業「国際科学委員会」（2025年3月、ユネスコ・カトマンズ事務所）／地下空間活用の先端事例と活用技術研究ワーキンググループ委員「第3回WG」（2025年3月11日、土木学会地下空間研究委員会計画小委員会）

山田 信博

＜学術論文＞1.積雪寒冷地における無落雪屋根の普及状況に関する研究（単著、2024年7月、日本建築学会地域施設計画研究、42号、pp.441-446）／2.寒冷地の中間領域としてのサンルームの利用実態と居住特性に関する研究（共著、2024年11月、日本建築学会計画系論文集、825巻、pp.2035-2042）

＜学会発表＞1.寒冷地住宅の窓面積と居住者意識に関する研究（共同、日本建築学会北海道支部発表、2024年6月）／2.「心地よさ」をもたらす歩行空間の環境要素に関する研究（共同、日本建築学会北海道支部発表、2024年6月）／3.高経年団地のコミュニティ形成に向けた実証実験「あけテラ芸術祭2023」公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究（共同、日本建築学会全国大会、2024年7月）／4.高経年団地のコミュニティ形成に向けた実証実験「あけテラ芸術祭2023」の評価と考察 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究（共同、日本建築学会全国大会、2024年7月）／5.積雪寒冷地における無落雪屋根の普及状況に関する研究（単独、日本建築学会 第42回地域施設計画研究、2024年7月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／2.第42回地域施設計画研究（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞北海道都市地域学会（理事）／日本建築学会（北方系住宅専門委員会）

横溝 賢

＜学術論文＞1.私は何者か。を問い合わせるWEBサイトのデザイン（共著、2024年7月、デザイン学研究 作品集、29号、pp.46-51）／2.土地の記憶を描き、眺め、環流する社会的デザイン実践：回る往復書簡・ラウンドアバウトレターズを用いて（共著、2024年8月、認知科学会、31巻、2号、pp.289-306）／3.共創をうみだすことを学ぶデザイン教育（共著、2025年3月、美術教育学研究、57巻、1号、pp.305-311）

＜作品発表＞1.原初展vol.05「ばったり、やったり、あれやっぱり」（2025年3月）

＜受賞等＞1.学生と地域住民が公的枠組みを超えた関係に相互変容する社会実践の試み（共同、日本デ



ザイン学会第71回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞、2024年6月、日本デザイン学会)

＜研究会発表等＞1.共赴性とはなにかオートポイエーシス的な共存の可能性（第22回共創学研究会、2025年3月）

＜学会発表＞1.未知なる関係から短期間で共創マインドが形成されるデザインの可能性（共同、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／2.社会規範やしがらみを超えてその土地に関わる人びとを縁りあわせる活動のデザイン（共同、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／3.学生と地域住民が公的枠組みを超えた関係に相互変容する社会実践の試み（共同、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／4.私と社会の間柄を取り持つキャラづくりの実践（共同、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／5.場所に紐づいた経験を旅の中で綴じるリトルプレス「まちまち」の実践（共同、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／6.The Learning Effects of On-demand Radio-based Graphic Representation Exercises（共同、The 22nd International Conference for Media in Education, Conference、2024年8月）／7.創造交換からうまれる中動態社会の可能性（共同、日本認知科学会第41回大会、2024年10月）／8.模様を介した人と土地のつながりを描き出す社会的なデザイン実践 - ゼンタイポを用いた表現活動を通して（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／9.他者の生活世界を覗き二人称的アプローチによって内省的行為を促す言葉づくりとデザイン（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／10.人びとの自然な語りをひき出す記録技法キャラティプの実践（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／11.反芻を促すグラフィック記録の実践（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／12.人と個物との結びつきから生まれる「間」の成り立ち（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／13.手書き文字を用いた表現ワークショップにみる相互理解と受容生成過程の考察（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／14.自立的な営みが継起する社会的なデザイン実践（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）／15.場所に紐付く実感と人に紐づく実感を生む記録活動（共同、共創学会第8回年次大会、2024年12月）

＜学会シンポジウム＞1.WHY 人間「性」中心デザイン？：私たちは人間中心デザインの道を抜け、人間「性」中心デザインの原野に立てるのか（共同、2024年6月、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会）

＜学会招聘講演＞1.つかう意味づくりの効率化はつくる意味の空洞化を招いたのか、オーガナイズドセッション「人間中心から人間「性」中心デザインへ：Donald A. Normanと戸田正直の足跡を辿る」（単独、2024年10月、日本認知科学会第41回大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本デザイン学会デザイン学研究作品集第30号（1件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（日本デザイン学会 理事）／日本デザイン学会（日本デザイン学会 作品審査委員会委員長）／日本デザイン学会（日本デザイン学会 情報デザイン研究部会 幹事）／日本デザイン学会（日本デザイン学会 第一部会 幹事）／共創学会（共創学会 理事）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会情報デザイン研究部会総会／INS（岩手ネットワークシステム）SDGs研究会／共創学会理事として第8回共創学会年次大会運営

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本デザイン学会SIG情報デザイン研究部会／共創学会／認知科学会／文化人類学会／教育メディア学会／大学美術教育学会

＜講演会・講習会活動＞生涯学習センターちえりあ：「共創をまなぶ」市民講座「～みんなちがって、もっといい。～「共創」から学ぶチームづくりのヒント」（2025年2月10日～3月6日、札幌市障害学習センター）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞アクアリウム関連プロダクトデザインの審査「第8回グッドアクアリウムデザイン賞2024」（2024年10月20日、グッドアクアリウムデザイン実行委員会<https://www.goodaquarium.jp/2025judpro/>）

石田 勝也

＜学術論文＞1.自然環境の変化を利用したアート作品が鑑賞者の意識に及ぼす効果（共著、2024年8月、環境芸術、32号、pp.72-77）

＜作品発表＞1.Island Eye Island Ear（共同、2024年9月、ノルウェー ロフォーテン国際芸術祭（LIAF2024））



＜研究会発表等＞1.環境情報を直感的感覚につなげるデザイン方策の研究へのアプローチ（札幌市立大学研究交流会、2024年8月）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞創造都市メディアアーツ研修第1回（2024年8月27日、札幌市札幌国際芸術祭担当課）／創造都市メディアアーツ研修第2回（2024年9月12日、札幌市札幌国際芸術祭担当課）／SIAFスクール 教育喫茶「TEAM STUDY DAY in SCARTS 2025」（2025年2月9日、札幌市札幌国際芸術祭担当課）／番組審議委員会（毎月第4木曜、北海道FM）

須之内 元洋

＜その他の論文＞1.Constructing an Online Information Hub for Citizen Science Through Aggregation of Orchid Species Knowledge（単著、2024年6月、Proceedings of the 23rd World Orchid Conference、23巻）

＜作品発表＞1.光の道(Way of Light)（共同、2024年12月、「原生林のエントランス」）／2.北海道芸術文化アーカイヴ（共同、2025年3月、北海道芸術文化アーカイヴセンター）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究 作品集（2件、一般社団法人日本デザイン学会）

＜所属学会・研究会＞デジタルアーカイブ学会／電子情報通信学会／情報処理学会／芸術科学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞アーティストインレジデンス事業にかかるメディア構築支援（さっぽろ天神山アートスタジオ）／文化庁事業デジタルアーカイブ構築支援（一般社団法人HAPS）／崇仁地区文化活動デジタルアーカイブ企画・沓掛キャンパスデジタルアーカイブ構築支援（京都市立芸術大学芸術資源研究センター）／現代美術キュレーションのデジタルアーカイブ構築支援（エヌ・アンド・エー株式会社）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイブ運用支援（みずのき美術館）／アートプロジェクト運用メディア構築支援（NPOアートフル・アクション）／障害者アート普及活動にかかるメディア構築支援（きょうと障害者文化芸術推進機構）

大渕 一博

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事（庶務・会計担当））

＜学術集会運営＞第72回デザイン学会春季学術大会（情報担当）／感性フォーラム札幌2025（運営）

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市長グリーティングカード デザイン審査会（2024年10月9日、札幌市国際部）／実行委員会委員長（統括・経理・イベント企画・運営・デザイン制作協力等）（通年、北海道グレートサンタラン実行委員会）／ソフトウェア利用に関する講習会・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）

藤沢 礼央

＜作品発表＞1.柱の研究（単独、2024年4月、ポン・ヴォヤージュ！ アートの森へ旅にでよう）／2.静かな日、不在の存在、黄昏・曙・青い島（単独、2024年4月、ポン・ヴォヤージュ！ アートの森へ旅にでよう）／3.模刻のモニュメント（単独、2024年6月、TAG展）／4.静かな日（単独、2024年6月、TAG展）／5.模刻のモニュメント（単独、2024年9月、極小展 彫刻）／6.静かな日（単独、2024年10月、美智子おばさんのひとりごと）／7.鉄のスツール「en」（単独、2025年3月、木の椅子 鉄の椅子展 Vol.1）

＜学会発表＞1.生きる知恵 アートの作用（単独、北海道芸術学会、2024年12月）

＜所属学会・研究会＞環境芸術学会／日本文化人類学会／日本生活学会／北海道芸術学会

＜講演会・講習会活動＞苫小牧市美術博物館「鉄たたけます。」（2024年4月29日、苫小牧市美術博物館）／苫小牧市美術博物館「子ども広報部びとこま」（2024年5月11日～2025年2月15日、苫小牧市美術博物館）／苫小牧アートフェスティバル「鉄たたけます。」（2024年7月27日、28日、苫小牧市教育委員会）／洞爺湖芸術館「一瞬をとらえる 洞爺湖スケッチ」（2024年8月2日、3日、洞爺湖芸術館）／樽前arty2025「おわかれ校舎をのこしとく！」（2024年8月11日、NPO法人樽前arty+）／樽前放課後子ども教室「影をつかまえて！はじまりの絵」（2024年9月11日～10月23日、苫小牧市教育委員会）／たるまる学校「エゾシカは森がレストラン」（2024年9月24日～10月18日、苫小牧市教育委員会）／日本製紙株式会社「森と紙のなかよし学校」（2024年10月19日、日本製紙株式会社）／樽前放課後子ども教室「大地の子！たるまえ土偶を作ろう」（2024年11月13日～12月11日、苫小牧市教育委員会）



員会)／北海道立帯広美術館 氷まつり「鉄たたけます。」(2025年2月1日、2日、北海道立帯広美術館)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞苫小牧市立樽前小学校改築工事に伴う施工チームへの支援(2024年4月1日～6月28日、苫小牧市建設部、苫小牧市教育委員会施設課)／展覧会の企画・制作・運営「Sapporo Craft TAG 華麗なる散開」(2024年6月22日～30日、Sapporo Craft TAG)／鴻池朋子個展における制作支援「メディシン・インフラ 鴻池朋子展」(2024年7月13日～9月29日、青森県立美術館)／はちとまネットワーク 高齢者向け・子ども向けワークショップの実施「「みんなの一筆」「鉄たたけます。」」(2024年11月8日、9日、はちとまネットワーク、八戸市美術館)／樽前アートスクール2024「樽前アートスクール2025 樽前探検隊」(2025年1月25日、26日、苫小牧市教育委員会)

松永 康佑

＜特許・意匠登録＞1.パズル遊戯具(2025年3月)

＜学会発表＞1.円弧を用いた平面充填図形に関する研究(単独、EC2024、2024年9月)／2.Relationship Between Faculty Evaluation of Nursing Students' Blood Pressure Measurement Skills and Variability in Deflation Speed(共同、inc2025eafons、2025年2月)／3.Rhodopsins2：カラーフィルタを用いた単一動画像からの複数情報提示手法を応用したコンテンツの制作(共同、Interaction2025、2025年3月)／4.顔表情の自動認識と振動フィードバックを用いた看護学生のための笑顔トレーニングシステムの提案(共同、Interaction2025、2025年3月)／5.看護教育のためのVR口腔ケアシステムの提案(共同、Interaction2025、2025年3月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.The Journal of the Society for Art and Science(2件、芸術科学会)／2.The Journal of the Society for Art and Science(1件、芸術科学会)／3.SIGGRAPH ASIA 2024 Art Paper(10件、SIGGRAPH ASIA 2024)

坪内 健

＜学術論文＞1.移設型仮設住宅を用いた被災者の私有地における生活再建の特徴－平成30年北海道胆振東部地震による導入事例を対象として－(共著、2024年10月、日本建築学会計画系論文集、89巻、824号、pp.1800-1810)／2.コミュニティマルシェを活用したケアコミュニティ・デザイン：札幌市立大学学生サークル「八百カフェ実行委員会」のまちづくり(共著、2024年12月、札幌市立大学研究論文集、18巻、1号、pp.31-38)／3.集団移転に伴う連鎖的変容からみる住民の生活・社会活動の継続性に関する実態－気仙沼市小泉町地区の住民による語りに注目して－(共著、2025年2月、日本建築学会計画系論文集、90巻、828号、pp.220-230)／4.ニセコ地域でのエリアマネジメントとしての景観・環境づくり－景観レビュー型ワークショップの実践を通して－(共著、2025年3月、住総研研究論文集・実践研究報告集、51巻、pp.333-342)

＜その他の論文＞1.当事者の腑に落ちる理解を可能とする環境移行とは？－東日本大震災におけるコミュニティ移転に関する住民インタビューの経験を通して－(単著、2024年7月、都市計画、73巻、369号、pp.122-123)／2.安心して絶望できる場所：べてるの家とカフェぶらぶら(単著、2024年12月、建築ジャーナル、1361巻、pp.34-39)

＜受賞等＞1.日本建築学会奨励賞(2024年4月、日本建築学会)

＜学会発表＞1.事業所と家族による支援の実態からみる発達障害当事者の地域定着の特徴：札幌市東区にある「社会福祉法人麦の子会」に注目して(共同、人間環境学会 第31回大会)／2.コミュニティカフェへのアクションリサーチを通じた第4の場所の計画提案：京都府木津川市梅谷地区の「うめだにカフェ」を事例として(共同、人間環境学会 第31回大会)／3.札幌市における公園改修前後にみる空間計画の変化とその特徴(共同、日本建築学会北海道支部 研究発表会)／4.義務教育学校における学年区分と教室配置との関係からみた建築計画の特徴：北海道内の義務教育学校17事例に注目して(共同、日本建築学会北海道支部 研究発表会)／5.仮想空間として体験する美術館の空間認知に関する基礎的研究(共同、日本建築学会北海道支部 研究発表会)／6.学生サークル活動によるケアコミュニティ・デザイン：札幌市立大学 コミュニティマルシェ「八百カフェ」(共同、日本建築学会北海道支部 研究発表会)／7.日常生活における公共施設利用の選択とルーティンの分析：上士幌町市街地に集約された公共施設群に着目して(共同、日本建築学会北海道支部 研究発表会)／8.事業所と家族によ

る支援の実態からみる発達障害当事者の地域定着の特徴：札幌市東区にある「社会福祉法人麦の子会」に注目して（共同、日本建築学会大会 学術講演会）／9.日常生活における公共施設利用の選択とルーティンの分析：上士幌町市街地に集約された公共施設群に着目して（共同、日本建築学会大会 学術講演会）／10.仮想空間として体験する美術館の空間認知に関する基礎的研究（共同、日本建築学会大会 学術講演会）／11.札幌市における公園改修前後にみる空間計画の変化とその特徴（共同、日本建築学会大会 学術講演会）／12.義務教育学校における学年区分と教室配置との関係からみた建築計画の特徴：北海道内の義務教育学校17事例に注目して（共同、日本建築学会大会 学術講演会）

＜学会シンポジウム＞1.まこまない勉強会（共著、2024年12月、日本建築学会北海道支部 都市計画専門委員会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）／3.地域施設計画研究シンポジウム発表論文集（1件、日本建築学会）

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部 研究発表会

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／都市住宅学会／北海道都市地域学会／日本都市学会／人間環境学会

＜講演会・講習会活動＞第17回苫小牧都市再生講演会「第5回パブリックミーティング」（2024年10月31日、苫小牧市）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞副センター長（2024年10月31日～、UDC苫小牧）

樹田 聰志

＜作品発表＞1.水素ベロタクシー「PIONIE」デザイン（共同、2024年6月、BICYCLE-E MOBILITY CITY EXPO2024（新宿））／2.水素ベロタクシー「PIONIE」デザイン（共同、2024年6月、北海道スポーツサイクルフェスティバル）／3.水素ベロタクシー「PIONIE」デザイン（共同、2024年8月、環境広場さっぽろ2024）／4.水素ベロタクシー「PIONIE」デザイン（共同、2024年11月、青少年科学館「秋のスペシャルウイークス エネルギーの未来を考えよう！」）／5.水素ベロタクシー「PIONIE」デザイン（共同、2025年2月、第75回さっぽろ雪まつり（2024））

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞依頼を受け共同学童保育所の理事として日々の保育活動の運営管理・支援（2024年度、特定非営利活動法人トッポクラブ）／依頼を受け、デザイン協議会正会員に入会、イベント等のサポート（2024年度、北海道デザイン協議会）／雪かきボランティア活動に参加・南区の除雪困難者支援活動（2025年1月～2月、東海大学 札幌キャンパス）／コーチ担当（各チームが発案したビジネスアイデアに対するメンタリング）「Startup Weekend Sapporo Vol.10」（2025年1月31日～2月2日、Startup Weekend）

矢久保 空遙

＜学会発表＞1.デザイン思考に基づいたライフデザインワークショップの実践（共同、日本デザイン学会第71回春季研究発表大会、2024年6月）／2.The Productivity and Acceptability of Synaesthetic Metaphors in Japanese and English（共同、Free Linguistics Conference、2024年10月）

＜学会座長就任状況＞[D1]インタフェース、デザイン教育（2024年6月、日本デザイン学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞バンドン工科大学における招待公演「Japanese wooden furnitures: Its history and locality」（2024年10月7日、Institute Teknologi Bandung）／芸術工学会における奨励賞の授与対象者を選定する委員会における委員（芸術工学会奨励賞選考委員）

吉田 彩乃

＜受賞等＞1.FIT奨励賞（2024年9月、情報処理学会）

＜学会発表＞1.乗合タクシーにおける乗合時の気まずさ低減のためのモニター活用（共同、FIT2024、2024年9月）



看護学部

樋之津 淳子

＜学術論文＞1.A Self-Administered Eating Behavior Scale for Patients With Heart Failure Living at Home: Protocol for a Mixed Methods Scale Development Study (共著、2024年10月、JMIR Res Protoc.、13巻)

＜学会発表＞1.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育への取り組み－看護コンソーシアムにおける副師長を対象としたリフレクション研修－（共同、第28回日本看護管理学会学術集会、2024年8月）／2.中堅看護師への臨床倫理研修の効果と課題－研修終了6ヶ月後に研修者が捉えるインタビューから－（共同、第44回日本看護科学学会学術集会、2024年12月）／3.台湾北部地方における地域在住高齢者の睡眠と身体活動量との関係（共同、第44回日本看護科学学会学術集会、2024年12月）

＜研究会発表等＞1.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育の取り組み 一副師長を対象としたリフレクション研修－（共同、2024年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜学会座長就任状況＞口演5 継続教育（単独、日本看護学教育学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護研究学会誌（6件、日本看護研究学会）／2.看護人間工学会誌（1件、看護人間工学会）／3.日本看護科学学会誌（2件、日本看護科学学会）／4.日本看護学教育学会誌（2件、日本看護学教育学会誌）／5.日本看護技術学会誌（7件、日本看護技術学会）／6.日本看護科学学会誌（9件、日本看護科学学会）／7.Japan Journal of Nursing Science（1件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞看護理工学会（評議員・監事）／看護人間工学会（理事・監事）／日本看護科学学会（代議員）／日本看護学教育学会（評議員）／日本看護研究学会（評議員）／日本看護研究学会北海道地方会（役員）／日本看護技術学会（理事・編集委員長）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／看護人間工学会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2024年度大学機関別認証評価 専門委員（一般財団法人大学教育質保証・評価センター）／研究会の運営委員、全国実態調査、意見交換（北のケア環境研究会）

貝谷 敏子

＜学術論文＞1.【OSCEに備える!アップデートする!】看護教育におけるOSCE導入・実践事例 札幌市立大学 育てるOSCE（共著、看護教育、65巻、5号、pp.512-520）

＜学会発表＞1.化学放射線療法を受けた頭頸部癌患者の亜急性期における栄養関連症状に関する文献研究（共同、日本がん看護学会学術集会、2025年2月）

＜学会シンポジウム＞1.褥瘡のタスクシフト・シェア デブリードマンを安全にタスクシフト・シェアする方法を教えます！（共同、2024年9月、第26回日本褥瘡学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞フレイルと褥瘡～看護、リハビリテーション、栄養など多方面からの介入～（共同、2024年9月、日本褥瘡学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護理工学会誌（1件、看護理工学学会）／2.日本褥瘡学会誌（1件、日本褥瘡学会）／3.日本創傷・オストミー・失禁管理学会雑誌（1件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）

＜学会役員就任状況＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会（庶務担当理事）／日本褥瘡学会（車椅子アスリート委員長、チーム医療推進委員会委員長）／創傷治癒学会（ガイドライン委員）／日本看護科学学会（査読委員）／日本看護系学会協議会（選挙管理委員）

＜学術集会運営＞第34回日本看護科学学会学術集会／第39回日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本褥瘡学会／日本創傷・オストミー・失禁管理学会／創傷治癒学会／医療経済学会／日本褥瘡学会北海道地方会／看護理工学学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞NO EXCUSE（車いすバスケット）のジュニア世代（Next）選手7名と保護者7家族への講習「スキンケア方法の講義と演習、座圧測定、個別相談」（2024年10月27日、日本褥瘡学会車いすアスリート支援委員会）／オレンジランプ上映会（2024年11月2日、老年看護学 貝谷）

荒木 奈緒

＜受賞等＞1.ベストプレゼンテーション賞（2024年10月、北海道母性衛生学会）
 ＜学会発表＞1.母子分離状態における母親の経済的負担－公費負担となる費用以外の自己負担について－（共同、2024年10月、北海道母性衛生学会）
 ＜研究会発表等＞1.論文投稿のポイント（共同、2024年9月、日本遺伝看護学会）
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学会抄録集（3件、日本看護協会）／2.日本助産学会誌（1件、日本助産学会）
 ＜学会役員就任状況＞日本助産学会（代議員）／日本遺伝看護学会（遺伝看護学会誌編集委員）／北海道母性衛生学会（理事）／日本看護学会（学術集会抄録選考委員）
 ＜所属学会・研究会＞母性衛生学会／日本助産学会／日本遺伝看護学会／日本遺伝カウンセリング学会／日本看護科学会／日本生命倫理学会／日本看護技術学会／日本超音波医学会／日本小児看護学会／日本小児保健協会／北海道母性衛生学会
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞臨床看護研究指導（2024年4月1日～2025年3月31日、NTT東日本札幌病院）

川村 三希子

＜学術論文＞1.若年がんサバイバーが求める脱毛に関する情報ニーズ（共著、2024年9月、SCU Journal of Design & Nursing、18巻、1号、pp.57-64）
 ＜著書＞1.緩和ケア（共著、2025年1月、南江堂、9.78452E+12、pp.142-156）
 ＜学会発表＞1.がん薬物療法を受ける患者のヘルスリテラシーに関する看護師の実践（共同、第39回日本がん看護学会学術集会、2025年2月）／2.頭頸部がん治療における日常的な患者報告型アウトカムの評価による効果 スコーピングレビュー（共同、第40回日本がん看護学会学術集会、2025年2月）／3.化学放射線療法を受けた頭頸部癌患者の亜急性期における栄養関連症状に関する文献研究（共同、第41回日本がん看護学会学術集会、2025年2月）
 ＜学会座長就任状況＞patientからPersonへ（2025年2月、第39回日本がん看護学会学術集会）
 ＜論文査読・学会抄録査読＞対人援助額研究（1件）／日本看護科学学会（7件、第43回日本看護科学学会）／日本緩和医療学会（9件、第29回日本緩和医療学会）
 ＜学会役員就任状況＞日本がん看護学会（会則広報委員長）／日本緩和医療学会（監事）／日本ホスピス緩和ケア協会（監事）／北海道がん心療心身ネットワーク研究会（世話人）
 ＜学術集会運営＞第39回日本がん看護学会学術集会
 ＜講演会・講習会活動＞リンパ浮腫の予防とセルフケア（2024年8月3日、MPO法人市民と共に創るホスピスケアの会）
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専門的緩和ケアに従事する看護師の能力を可視化しケアに活かす～SPACE-N 3ステップラダーの活用例を通して～（2024年8月25日、日本ホスピス緩和ケア協会）

卯野木 健

＜学術論文＞1.Nurses' Attitudes, Practices, and Barriers to Assessing Symptoms of Discomfort in Mechanically Ventilated Patients: A Cross-Sectional Study（共著、2024年4月、SAGE Open Nursing、7巻、10号、pp.23779608241245200）／2.Association of social support before ICU admission with postdischarge mental health symptoms in ICU patients: a single-centre prospective cohort study in Japan（共著、2024年6月、BMJ Open、14巻、6号、pp.e082810）／3.Author's response to the letter "Japanese clinical practice guidelines for rehabilitation in critically ill patients 2023 (J-ReCIP 2023)"（共著、2024年9月、Journal of Intensive Care、12巻、pp.36）／4.The association between early postoperative food intake and postoperative hospital length of stay in patients undergoing cardiac surgery: A retrospective observational single-center study（共著、2024年10月、Clinical Nutrition Open Science、58巻、pp.146-154）／5.Investigating Inappropriate Discontinuations of Enteral Nutrition Related to Gastric Residual Volume in Critically Ill Patients: A Retrospective Observational Descriptive Study（共著、2024年11月、International Journal of Critical Care、18巻、3号、pp.22-33）／6.Comparative efficacy of various oral hygiene care methods in preventing ventilator-associated pneumonia in critically ill patients: A systematic



review and network meta-analysis (共著、2024年12月、PLoS One、19巻、12号、pp.e0313057) / 7.Factors associated with ABCDEF bundle implementation for critically ill patients: An international cross-sectional survey in 54 countries. (共著、2025年1月、SAGE Open Med.、9巻、13号、pp.20503121241312900) / 8.Prevalence of Fatigue, Risk Factors, and Relationship With Self-Rated Health Six Months After ICU Discharge in Japan: An Ambidirectional Cohort Study. (共著、2025年1月、Cureus、17巻、1号、pp.e76879)

＜受賞等＞1.最優秀演題、2024年10月、日本集中治療医学会北海道支部会)

＜学会シンポジウム＞1.今もとめられているエビデンス 日本版PICS対策診療ガイドライン作成のために (2025年3月、日本集中治療医学会)

＜学会座長就任状況＞今もとめられているエビデンス 日本版PICS対策診療ガイドライン作成のために (2025年3月、日本集中治療医学会) / 新しい集中治療看護のリーダーズ (2025年3月、日本集中治療医学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Clinical Nutrition ESPEN (1件、欧州経静脈経腸栄養学会) / 2.JINR Journal of International Nursing Research (1件、日本看護研究学会) / 3.Annals of rehabilitation medicine (1件、韓国リハビリテーション医学会) / 4.BMC nursing (1件) / 5.Asian Nursing Research (1件、韓国看護科学学会) / 6.PLoS One (1件) / 7.Japanese Journal of Nursing Science (1件、日本看護科学学会)

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会 (理事) / 看護理工学会 (評議員) / 日本クリティカルケア看護学会 (国際交流委員会委員長)

＜所属学会・研究会＞日本集中治療医学会/日本クリティカルケア看護学会/American Association for Critical Care Nurses/看護理工学会

奈良間 美保

＜学術論文＞1.小児がんを発症した子どもの親がとらえる家族の体験 サブシステムを中心とした分析から家族の全体性に注目して (共著、2024年12月、日本小児看護学会誌、33巻、pp.239-247) / 2.【こどもの対話 小児看護におけるコミュニケーションの重要性】知っておきたい知識 親子の相互作用・相互主体性と看護 (单著、2024年12月、小児看護、47巻、12号、pp.1450-1454)

＜著書＞1.②系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 (共著、2025年1月、医学書院、978-4-260-05685-4、pp.500-511) / 2.①系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 (共著、2025年3月、医学書院、978-4-260-05686-1、pp.4-19、pp.38-56、pp.104-120、pp.246-246)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護科学学会 (4件、第44回日本看護科学学会学術集会) / 2.日本小児看護学会誌 (1件、一般社団法人日本小児看護学会)

＜学会役員就任状況＞公益財団法人日本看護科学学会 (社員 (評議員)) / 一般社団法人日本小児看護学会 (社員 (評議員)) / 一般社団法人日本家族看護学会 (社員 (評議員))

＜所属学会・研究会＞公益財団法人日本看護科学学会/一般社団法人日本小児看護学会/一般社団法人日本家族看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護系大学の教育評価にあたる評価委員会委員、評価チームにおける機関担当「他大学の実地調査等を含む」 (2024年4月1日～2025年3月31日、一般財団法人日本看護学教育評価機構) / 会長、運営委員、小児在宅ケア研究会主催の小児在宅ケアコーディネーター研修会での講師「講義「小児在宅ケアの現状と看護」」 (2024年5月18日、小児在宅ケア研究会)

松野 千代美

＜学会発表＞1.心筋梗塞発症後患者のセルフケア行動評価表案の作成-文献レビューおよびインタビュー データの統合より一 (単独、第9回 日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会年次学術集会、2024年12月)

＜学術集会運営＞第29回日本看護管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会/日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会/日本循環器病予防学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞大学院生の博士論文審査 副査「博士論文審査会」 (2024年



7月16日（火）、北海道大学大学院）／看護職・看護管理者への講義「リーダーシップⅠ、Ⅱ・管理者研修（主任・看護師長）」（2024年11月25日・12月5日・6日・2025年2月5日、帯広第一病院）

加藤 依子

＜資料＞1. Mobile Health applicationを活用したアレルギーのあるこどもと保護者への教育的支援に関する国内外の文献検討（共著、2025年3月、北海道医療大学看護福祉学部学会誌、21巻、1号、pp.81-91）

＜学会発表＞1. 小児アレルギーのmHealthAppを活用した支援に関する国内外の文献検討（共同、2024年7月、日本小児看護学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児保健協会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本コクランジャパン

菅原 美樹

＜学術論文＞1. 特定行為研修を修了した看護師の就労に関する実態調査（共著、2024年6月、日本クリティカルケア看護学会誌、20巻、pp.63-69）／2. 重症外傷患者の看護に関する救急・集中治療領域の中堅看護師および熟練看護師の学習ニーズ（共著、2024年10月、日本臨床救急医学会雑誌、27巻、5号、pp.613-624）

＜著書＞1. 救急看護スタンダード（共著、2024年11月、照林社、pp.5-12）

＜学会シンポジウム＞1. 救急外来における救急看護師の役割と効果-医療ニーズ・診療報酬含む政策方針-（単独、2024年11月、第26回日本救急看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞パネルディスカッション11 救急現場における新人看護師育成の取り組み（共同、2024年11月、第26回日本救急看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本救急看護学会雑誌（1件、日本救急看護学会）／2. 日本災害看護学会第26回年次大会抄録集（3件、日本災害看護学会）／3. 日本循環器看護学会誌（1件、日本循環器看護学会）／4. 日本看護学会誌（2件、日本看護学会）／5. 第21回日本循環器看護学会学術集会（3件、日本循環器看護学会）／6. 日本クリティカルケア看護学会誌（1件、日本クリティカルケア看護学会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人日本クリティカルケア看護学会（将来構想委員会担当理事 兼 委員長）／一般社団法人日本救急看護学会（医療政策担当理事 庶務担当理事）／一般社団法人日本災害看護学会（災害看護学術用語検討委員会委員）／一般社団法人日本看護研究学会（評議員）／一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会（副会長）

＜学術集会運営＞第39回日本がん看護学会学術集会／第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会／日本看護研究学会第33回北海道地方会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本災害看護学会／日本看護研究学会／日本看護研究学会北海道地方会／日本循環器看護学会／日本看護管理学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞医療事故調査の報告書を専門的知識・識見から審議（一般社団法人日本医療安全調査機構）／救急看護に関わる診療報酬・介護報酬体系に関する審議・提案（一般社団法人看護系学会等社会保険連合）／臨床指導者研修会 講師「ゴードンのアセスメント枠組みを用いた看護過程と臨床実習指導」（2024年10月22日・1日間、砂川市立病院）／第2回学習会講師「育てるためのOSCE」（2024年12月21日・1日間、高知看護教育研究会）

高橋 奈美

＜学会シンポジウム＞1. 臨床データから患者の生活を推論する高度看護実践技術とは（単独、2024年8月、慢性看護学会）

＜学会座長就任状況＞B-6群テレナーシング/遠隔医療（2024年8月、日本在宅ケア学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本慢性看護学会誌（1件、日本慢性看護学会）／2. 日本慢性看護学会学術集会（4件、日本慢性看護学会）／3. 日本在宅ケア学会学術集会（5件、日本在宅ケア学会）／4. 日本難病看護学会誌（2件、日本難病看護学会）／5. 日本プライマリ・ケア連合学会誌（1件、日本プライマリ・ケア連合学会）

＜学会役員就任状況＞日本慢性看護学会（評議員/利益相反委員会委員）／日本在宅ケア学会（代議



員)／日本難病看護学会(総務委員)

＜学術集会運営＞日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本難病看護学会／日本在宅看護学会／日本在宅ケア学会／日本慢性看護学会／日本専門看護師協議会／北海道医療大学看護福祉学部学会／日本プライマリ・ケア連合学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究支援(2024年10月～12月、定山渓病院訪問看護ステーションエール)

原井 美佳

＜学術論文＞1.看護教育におけるOSCE導入・実践事例① 札幌市立大学育てるOSCE(共著、2024年10月、看護教育、65巻、5号、pp.512-518)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本プライマリ・ケア連合学会誌(1件、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会(評議員(機関指定評議員))／桑園認知症ケア研究会(オレンジ桑園世話人)

＜学術集会運営＞第39回日本がん看護学会学術集会(2025年2月23日)

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本農村医学会／日本認知症ケア学会／日本スピリチュアルケア学会／日本プライマリ・ケア連合学会

＜講演会・講習会活動＞幌加内町いきいき健康塾の企画・運営・実施に協力(2024/9/8)「第7回いきいき健康塾」(2024年9月8日、幌加内町)／NPO法人 和・ハーモニー音楽療法研究会 第27回 音楽療法研修会の講師「生老病死を支える老年看護学-音楽との繋がり-」(2024年12月1日、NPO法人 和・ハーモニー音楽療法研究会)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞桑園地区における認知症に対する啓発活動を実施した「DCM桑園店 認知症ケア相談会担当」(2024年4月14日、6月9日、8月11日、2025年2月9日、桑園認知症ケア研究会(オレンジ桑園))／「イオン桑園店 認知症ケア相談会担当」(2024年5月25日、11月10日、12月28日、2025年3月22日)／「RUN伴北海道 札幌中央「オレンジ桑園」(認知症啓発イベント)」(2024年9月29日)／「認知症サポーター養成講座(対象者:桑園地区のマンション住民)」(2025年1月26日)／「認知症サポーター養成講座(対象者:桑園小学校の親子)」(2025年3月9日)

檜山 明子

＜学術論文＞1.病棟看護師の転倒予防に関する情報共有についての横断的調査(単著、2024年9月、SCU Journal of Design & Nursing 18巻、1号、pp.49-55)／2.Relationship between accidents in nursing homes and staff movement records using a tag monitoring system and the call-bell records.

(単著、2024年11月、Journal of Medical Safety、2024巻、pp.21-29)

＜資料＞1.マルチメディア学習理論に基づく基礎看護技術動画教材の映像提示手法分析 血圧測定動画を題材に(共著、2024年8月、日本看護技術学会誌、23巻、pp.123-132)

＜学会発表＞1.大学の連携教育から生まれたコミュニティマルシェでみんなが主役、そして子供健康教育から地域健康づくりへ発展(共同、2024年7月、日本国際保健医療学会第38回東日本地方会)／2.熟練看護師が実施する口腔・鼻腔吸引時の患者の苦痛を軽減する方法-参加観察に基づくインタビュー調査- (共同、2024年10月、日本看護技術学会第22回学術集会)／3.マルチメディア学習理論に基づく基礎看護技術動画の映像提示手法分析-音声・字幕の言語情報に着目して(共同、2024年11月、第11回看護理工学会学術集会)／4.台湾北部地方における地域在住高齢者の睡眠と身体活動量との関係(共同、2024年12月、日本看護科学学会学術集会)／5.Relationship Between Faculty Evaluation of Nursing Students' Blood Pressure Measurement Skills and Variability in Deflation Speed(共同、2025年2月、EAFONS2025)／6.顔表情の自動認識と振動フィードバックを用いた看護学生のための笑顔トレーニングシステムの提案(共同、2025年3月、INTERACTION2025)

＜研究会発表等＞1.デザイン学と看護学の連携によるコミュニティヘルス活動-「楽しい」を通じた心身の健康づくり- (共同、2024年12月、日本看護科学学会学術集会)



＜学会座長就任状況＞「動く・体位を整えるケア」（単独、2024年10月、日本看護技術学会第22回学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会（日本看護科学学会和文誌編集委員、JANS若手の会エリア・コーディネーター）／日本医療安全推進学会（代議員）／日本看護学教育学会（看護学教育制度委員）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会／日本転倒予防学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌ノーリフトケア推進セミナー講義、パネルディスカッション「札幌ノーリフトケア推進セミナー」（2024年4月13日、サラヤ株式会社）／北海道専任教員養成講習会講師「令和6年度北海道専任教員養成講習会」（2024年6月21日～7月11日、北海道保健福祉部地域医療推進局）

本田 光

＜学術論文＞1.コミュニティマルシェを活用したケアコミュニティ・デザイン—札幌市立大学 学生サークル「八百カフェ実行委員会」のまちづくり—（共著、2024年10月、札幌市立大学研究論文集、18巻、1号、pp.31-38）／2.Collaboration in occupational health nursing: A concept analysis review（共著、2024年11月、Workplace Health & Safety、73巻、4号、pp.164-178）／3.「子どもの居場所」とそこに通う我が子の様子を捉えた保護者の認識（共著、2025年3月、北海道公衆衛生学雑誌、38巻、2号、pp.67-72）

＜学会発表＞1.学生サークル活動によるケアコミュニティ・デザイン—札幌市立大学 コミュニティマルシェ「八百カフェ」—（共同、2024年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）／2.Determination of cutoffs for a scale measuring mothers' ability to build social connections（共同、2024年10月、24th International Conference of Public Health Sciences）／3.看護職による家庭訪問が妊産婦の養育行動に与える効果に関する系統的レビュー（共同、2025年1月、第13回日本公衆衛生看護学会学術集会）／4.特別支援教育で活用可能なアクティブラーニングを取り入れた性教育教材の社会実装に向けて—教材を活用した教育実践を行った教諭へのインタビュー—（共同、2025年1月、第13回日本公衆衛生看護学会学術集会）／5.The development of interprofessional collaboration in OHN practice: From formation to maturity（共同、2025年2月、28th East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本公衆衛生雑誌（5件、日本公衆衛生学会）／2.日本公衆衛生看護学会誌（1件、日本公衆衛生看護学会）／3.日本地域看護学会誌（2件、日本地域看護学会）／4.北海道公衆衛生学雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本産業衛生学会／日本公衆衛生看護学会／北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本地域看護学会／日本学校保健学会

牧野 夏子

＜学術論文＞1.熱傷を受傷した患者の体験に関する記述的研究—受傷から退院後適応期までの段階的体験—（共著、2024年9月、熱傷、50巻、3号、pp.134-144）／2.重症外傷患者の看護に関する救急・集中治療領域の中堅看護師および熟練看護師の学習ニーズ（共著、2024年11月、日本臨床救急医学会雑誌、27巻、5号、pp.613-624）／3.クリティカルケア領域における看護師の調整に関する認識と実態に関する実態調査（共著、2025年3月、日本CNS看護学会誌、11巻、pp.19-30）

＜著書＞1.救急看護スタンダード（共著、2024年11月、照林社、978-4-7965-2634-0、pp.148-153）

＜資料＞1.特定行為研修を修了した看護師の就労のに関する実態調査（共著、2025年1月、日本クリティカルケア看護学会誌、20巻、pp.63-69）

＜学会発表＞1.救急・集中領域での熱傷患者に関する連携についての文献検討（共同、2024年6月、第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.国内外における手術室看護師の脳死下臓器移植への認識と実践に関する文献検討（共同、2024年8月、第50回日本看護研究学会学術集会）／3.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育の取り組み（共同、2024年8月、第28回日本看護管理学会学術集会）／4.熱傷急性期において看護師が実施する熱傷創処置前後の看護に関する実態調査（共同、2024年10月、第48回北海道救急医学会学術集会）／5.衝撃的な体験をした救急看護師の職務継続要因



(共同、2024年10月、第48回北海道救急医学会学術集会)／6.熱傷急性期における熱傷創処置に関する看護の実態 (共同、2024年11月、第26回日本救急看護学会学術集会)／7.熱傷患者の体験に関するスコーピングレビュー (共同、2025年2月、第31回日本熱傷学会東海地方会)

＜学会シンポジウム＞1.LOVE!熱傷チーム医療 重症熱傷患者に対する継続的かつ円滑なケア提供に関する多職種連携とその課題 (共同、2024年5月、第50回日本熱傷学会学術集会)／2.救急現場における新人看護師育成の取り組み (単独、2024年11月、第26回日本救急看護学会学術集会)

＜研究会発表等＞1.2024年度北海道看護研究学会交流集会の企画・運営 (共同、2024年11月、札幌医科大学クリティカルケア看護研究会)／2.看護コンソーシアム (共同、2024年11月、SCU産学官金研究交流会)

＜学会座長就任状況＞クリティカルケア看護における実装研究-これまでとこれから- (共同、2024年6月、第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第26回日本救急看護学会学術集会 (3件、日本救急看護学会)／2.日本救急看護学会誌 (1件、日本救急看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会 (評議員)／日本クリティカルケア看護学会 (将来構想委員)

＜学術集会運営＞第39回日本がん看護学会学術集会企画委員／第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会 企画実行委員

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本救急看護学会／日本集中治療医学会／日本クリティカルケア看護学会／日本臨床救急医学会／日本がん看護学会／日本熱傷学会／日本外傷学会／日本救急医学会北海道地方会／日本看護管理学会／日本専門看護師協議会／札幌医科大学クリティカルケア看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞個別調査委員 (2024年6月～、日本医療安全調査機構)／第33回学術講習会 熱傷看護に関する研究の取り組みと課題「熱傷看護に関する研究の取り組みと課題」

(2024年6月12日、日本熱傷学会)／市立札幌病院 基調講義「質的研究の基礎」 (2024年7月23日、市立札幌病院看護局)／世界腎臓デー市民啓発活動の運営スタッフ (2025年3月13日、北海道透析看護認定看護師会)

村松 真澄

＜学術論文＞1.Implementation of peer - to - peer oral care objective structured clinical examination - based learning for nursing student (共著、2024年7月、Japan journal of nursing science : JJNS, 21(3), e12591. <https://doi.org/10.1111/jjns.12591>、21巻、3号)／2.A Self-Administered Eating Behavior Scale for Patients With Heart Failure Living at Home: Protocol for a Mixed Methods Scale Development Study (共著、2024年10月、JMIR Res Protoc. 2024 Oct 18:13:e60719. doi: 10.2196/60719.)／3.中堅看護師のリカレント研修参加への促進・阻害要因 (共著、2025年3月、札幌保健医療大学紀要、11巻、pp.39-49)／4.サービス付き高齢者向け住宅におけるアドバンス・ケア・プランニングの実施と関連要因 ～看護師配置の有無に焦点を当てて～ (共著、2025年3月、名寄市立大学紀要、19巻、pp.9-16)

＜資料＞1.特集 第2部 口腔ケア Part1 口腔ケアをはじめる前に知っておきたいこと (単著、2024年5月、エキスパートナース、40巻、6号、pp.92-95)／2.COVID-19 予防にも口腔ケアが有効 (単著、2024年5月、エキスパートナース、40巻、6号、pp.96)／3.認知症患者の困った行動の原因はケアの不足かも (単著、2024年5月、エキスパートナース、40巻、6号、pp.119)／4.在宅でもケアを視野に入れた 対応 (単著、2024年5月、エキスパートナース、40巻、6号、pp.131-134)／5.1 口腔アセスメントガイド (Oral Assessment Guide) について (単著、2024年10月、歯界展望、144巻、3号、pp.583-593)

＜受賞等＞1.審査委員特別賞 (2024年8月、日経リスキリングアワード2024)／2.ポスター賞 (2024年12月、国際ディスプレイワークショップ2024)／3.ポスター優秀賞 (2024年12月、第17回日本口腔検査学会)／4.地域福祉優秀実践賞 (2024年12月、北海道社会福祉学会第7回)

＜学会発表＞1.舌背部におけるスポンジブラシ清掃による細菌数変化の検討 (共同、2024年6月、第66回日本歯科医療管理学会)／2.大学の連携教育から生まれたコミュニティマルシェでみんなが主役、そして子供健康教育から地域健康づくりへ発展 (共同、2024年7月、日本国際保健医療学会第38回東日本地方会)／3.北海道の特別養護老人ホーム入居者における歯科インプラント埋入者割合と看護教



育の実際 看護師への調査から（共同、2024年10月、日本看護技術学会学術集会講演抄録集22回）／4.テキストマイニングを用いた自由記載アンケート結果の考察（共同、2024年10月、日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会）／5.舌清掃介助口腔シミュレータ開発に関するアンケート調査（共同、2024年10月、日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会）／6. “Tongue-Cleaning Simulator for Oral Care Assistance”（共同、2024年12月、In Proc. Proceedings of the International Display Workshops (IDW 2024).）／7.台湾北部地方における地域在住高齢者の睡眠と身体活動量との関係（共同、2024年12月、日本看護科学学会学術集会講演集44回）／8.中堅看護師への臨床倫理研修の効果と課題 研修終了6ヵ月後に研修者が捉える視点から（共同、2024年12月、日本看護科学学会学術集会講演集44回）／9.デザイン学と看護学の連携によるコミュニティヘルス活動 -「楽しい」を通じた心身の健康づくり（共同、2024年12月、日本看護科学学会学術集会講演集44回）／10.大学生のオーラルフレイル(OF-5)と有痛顎関節症患者用日常生活障害度(LDF-TMDQ)および食に関する主観的QOL(SDQOL)の関係（共同、2024年12月、日本口腔検査学会総会・学術大会17回）／11.大学生の顎関節の痛みと有痛顎関節症患者用日常生活障害度(LDF-TMDQ)および歯科受診の有無の関係（共同、2024年12月、日本口腔検査学会総会・学術大会17回）

＜学会シンポジウム＞1.口腔の健康とウェルビーイングを促進する教育と実践（単独、2024年7月、第65回日本歯科医療管理学会総会学術大会）

＜学会座長就任状況＞口腔アセスメントの標準化とデジタル化への挑戦（単独、2024年9月、第1回北海道口腔ケアフォーラム日本口腔ケア学会）／終の棲家としてのホームホスピス（共同、2024年10月、第47回日本死の臨床研究会年次大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本老年看護学会学会（3件、日本老年看護学会）／2.日本老年看護学会誌（1件、日本老年看護学会）／3.日本医療大学紀要第11巻（1件、日本医療大学）

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（代議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／北海道公衆衛生学会（評議員）／日本公衆衛生学会（モニタリング委員）

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員・査読委員・政策検討委員／日本口腔ケア学会評議員・学術委員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員・査読委員／日本公衆衛生学会会員モニタリング委員／北海道公衆衛生学会会員評議員／日本看護教育学会会員／日本地域看護学会会員／日本看護研究学会会員／日本老年歯科医学会会員／日本看護科学会会員／看護理工学会会員／日本看護技術学会会員／日本看護管理学会会員／日本がん看護学会会員／日本在宅ケア学会会員／日本歯科医療管理学会会員／日本在宅看護学会会員／北海道歯学会会員／日本口腔看護研究会副代表世話人／北海道口腔ケア研究会会員世話人／旭川口腔ケア普及会会員幹事／日本認知症ケア学会／日本高齢者ケアリング学研究会／日本口腔検査学会／日本がん口腔支持療法学会／死の臨床研究会

＜講演会・講習会活動＞口腔ケア演習（口腔衛生と口腔機能）「口腔機能管理の重要性」（2024年8月26日、特別養護老人ホームあそか苑）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞口腔清掃、口腔機能向上の演習、看護師、介護士、ケアマネジメント対象「高齢者の口腔ケア演習」（2024年8月26日）／歯科衛生士学科1年生「看護・介護概論」（2024年9月）／歯科衛生士学科夜間部3年生「多職種連携医療」（2024年9月）／北大CLAP_R6_医療AI特別セミナー_第30回目「看護におけるAI」（2024年12月）／ホームホスピス北海道の啓発活動講演会「テーマ：人生100年時代を生きる」（2024年10月5日）／暮らしの保健室「口腔機能と口腔清掃特に舌清掃」（2024年12月14日）

守村 洋

＜学会発表＞1.精神科病院における虐待防止の取り組みに関する看護コンソーシアム構想（共同、2024年6月、日本精神保健看護学会第34回大会学術集会）／2.女性ホルモン変動に伴うウェルビーイングの変化（共同、2024年11月、第39回日本女性医学学会学術集会）／3.月経周期内における皮膚状態の変化および月経不順が皮膚状態に与える影響（共同、2024年11月、第39回日本女性医学学会学術集会）／4.大学間ネットワークによる学生メンタルヘルス支援部会の活動と評価（共同、2024年12月、第46回全国大学メンタルヘルス学会総会）／5.大学における学生へのメンタルヘルス支援の現状と課題：大学メンタルヘルス・コンソーシアム構想（共同、2025年3月、第43回日本社会精神医学会）／6.札幌市10区における自殺者の分析～区による自殺死亡率の違いに焦点を当てて～（共同、2025年3



月、第43回日本社会精神医学会)

＜研究会発表等＞1.精神看護学シミュレーション教育における模擬患者養成の取組み-精神患者を演じる模擬患者養成- (2024年8月、日本看護学会第34回学術集会・総会)

＜学会座長就任状況＞一般演題座長 (単独、2025年2月、第6回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本精神保健看護学会学術雑誌 (1件、日本精神保健看護学会) / 2.日本看護シミュレーションラーニング学会誌 (1件、日本看護シミュレーションラーニング学会) / 3.日本精神保健看護学会学術雑誌 (1件、日本精神保健看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本看護シミュレーションラーニング学会 (第4期理事)

＜学術集会運営＞日本精神保健看護学会第36回学術集会 / 日本精神保健看護学会第35回学術集会 / 第39回日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本精神保健看護学会 / 日本救急看護学会 / 日本自殺予防学会 / 日本うつ病学会 / 日本看護学会 / 日本看護教育学会 / 日本看護管理学会 / 日本看護シミュレーションラーニング学会 / 日本シミュレーション医療教育学会 / 日本社会精神医学会 / 日本公衆衛生学会 / 日本精神障害者リハビリテーション学会 / 全国大学メンタルヘルス学会

＜講演会・講習会活動＞精神療養講座「浮き沈みのあるこころの病いとどのように付き合うか 一人のできること・家族のできること」 (2024年8月17日、NPO法人札家連)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞令和6年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」 (2024年6月下旬～翌年3月末、札幌市社会福祉協議会) / 第三者委員 (苦情受付担当者からの苦情内容の報告の聴取など) (2024年7月1日～2026年6月1日、特定非営利活動法人クリオネ) / 札幌市教育センター専門研修 (2024年7月19日～翌年3月末、札幌市教育委員会) / GMC臨床研究講習会「研究指導」

(2024年8月～2025年7月 毎月第4金曜日 17:30～18:30、五稜会病院) / 自殺予防研修会2024

(2024年8月28日、市立函館病院) / 令和6年 専門研修課程専攻科第6回准看護師技術向上研修 (2024年9月23日、札幌矯正管区研修) / 令和6年度 訪問看護合同研修会 (2024年10月17日、社会医療法人禎心会)

石引 かずみ

＜学会発表＞1.周産期におけるWomen-centered care尺度に関する文献検討 (共同、2024年8月、第11回日本フォレンジック看護学会学術集会)

＜学会役員就任状況＞日本フォレンジック看護学会 (代議員)

＜学術集会運営＞第39回 日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 北海道母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本フォレンジック看護学会 / 日本保健医療福祉連携教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道看護協会 札幌第1支部 助産師職能委員 (北海道看護協会)

岡 圓代

＜所属学会・研究会＞日本新生児看護学会 / 新生児集中ケア認定看護師会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「北海道新生児集中ケア認定看護師会の集い」の企画・運営 (2回/年) (新生児集中ケア認定看護師会)

鬼塚 美玲

＜著書＞1.Basic & Practice 災害看護 改訂第2版 (共著、2025年3月、Gakken、405510068X、pp.51-55)

＜調査研究報告書＞1.札幌市まちづくり基礎調査・研究成果報告書「厳冬期災害における避難支援および避難所環境に関する研究」 (共著、2024年8月、札幌市、pp.1-4、pp.30-51)

＜受賞等＞1.日本地域看護学会第27回学術集会 優秀演題賞 (2024年6月、日本地域看護学会)

＜学会発表＞1.厳冬期災害時の避難所を想定した非常食に関する調査研究 (共同、2024年6月、日本地域看護学会第27回学術集会) / 2.夏期の北海道における熱中症対策のための住みこなしに関する研究 (共同、2024年8月、2024年度日本建築学会大会) / 3.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイ



レver.2」の使用感の検証（共同、2024年8月、日本災害看護学会第26回年次大会）／4.北海道における暑熱環境下の避難所を想定した非常食に関する調査研究（共同、2025年1月、日本公衆衛生看護学会）／5.A literature review on occupational heat stress in nurses（共同、2025年2月、EAFONS2025）

＜研究会発表等＞1.厳冬期災害における避難支援および避難所環境に関する研究－寒冷環境下の避難所を想定した非常食のニーズ（共同、2024年11月、2024年度SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本医療大学紀要第11巻（1件、日本医療大学）

＜所属学会・研究会＞防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本医療マネジメント学会／日本職業・災害医学会／日本災害看護学会／日本建築学会／医療の質・安全学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生看護学会

＜講演会・講習会活動＞総合的な探究の時間 BEING ALIVE 2024「災害看護「北海道という地域特性を踏まえた防災・減災」」（2024年9月～2025年2月、北海道札幌月寒高校）／女性プラザ祭り2025女も男もワイワイセッション「防災の冬支度－積雪寒冷期の災害への備えについて－」（2024年11月7日、北海道女性プラザ）／札幌市立大学・道総研 共同セミナー「知活ゼミナール」（動画配信）「厳冬期の地震災害から命を守る！私たちの避難生活で想定されるリスクと必要な備え」（2024年12月2日～2025年2月28日、札幌市立大学・道総研）／令和6年度札幌市自主防災講演会「自分・家族・地域の命を守ろう！ 厳冬期の地震災害で知っておくべきリスクと備え」（2025年1月22日、札幌市）／令和6年度防火・防災研修会「避難所における健康リスクと健康管理」（2025年2月4日、札幌白石区防火委員会）／令和6年度札幌市東区防災訓練 防災講話「厳冬期の災害から命と健康を守る防災対策」（2025年2月21日、札幌市東区）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞災害連携教員（一般社団法人日本看護系大学協議会）／防災イベント「もしも北海道2024」の運営支援（企画への助言、当日の運営支援、LGBTに関するパネリスト、学生ボランティアの調整）（2024年9月23日、9月29日、もしも北海道）／北海道救急医学会看護部会第70回研修会の講師「積雪寒冷期大地震時の災害看護活動におけるリスクと備え」（2024年11月16日、北海道救急医学会看護部部会）／災害研修の講師「今こそ知りたい！厳しい冬の地震対策～災害看護も備えあれば憂いなし～」（2025年2月15日、北海道看護協会札幌第2支部）／厳冬期防災訓練の支援（企画への助言、訓練の運営）（2025年2月21日～2月22日、札幌市東区役所）

工藤 京子

＜実践報告書＞1.OSCEにおける模擬患者（SP）の役割と養成（単著、2024年10月、医学書院、65巻、5号、pp.519-520）

＜学術集会運営＞第39回 日本がん看護学会企画委員

＜所属学会・研究会＞日本災害医学学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本認知症ケア学会／日本看護管理学会

＜講演会・講習会活動＞＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実習指導者1年目への講義「看護基礎教育における実習の意義と指導」「臨床指導者研修Ⅰ」（2024年4月23日、市立札幌病院看護部）

武富 貴久子

＜学術論文＞1.A cross-sectional study examining the relationship between nursing practice environment and nurses' psychological empowerment（共著、2024年11月、Scientific Reports、<https://doi.org/10.1038/s41598-024-77343-4>）／2.中堅看護師のリカレント研修参加への促進・阻害要因（共著、2025年3月、札幌保健医療大学紀要、11巻、pp.39-49）

＜学会発表＞1.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育の取り組み（共同、2024年8月、第28回日本看護管理学会学術集会）／2.看護部長が振り返る看護師長時代の仕事のおもしろさに関する調査（1）（共同、2024年8月、第28回日本看護管理学会学術集会）／3.看護部長が振り返る看護師長時代の仕事のおもしろさに関する調査（2）-おもしろさを感じた場面のKHCoderを用いた分析-（共同、2024年8月、第28回日本看護管理学会学術集会）／4.中堅看護師への臨床倫理研修の効果と課題 研修終了6ヵ月後に研修者が捉える視点から（共同、2024年12月、日本看護科学学会学術集会）／5.Reflection analysis for continuing education of nurses after pandemic of COVID-19（共同、2025年2月、15th INC & 28th EAFONS 2025）／6.大学病院に勤務する看護師における労働環境の12年間の変遷と心身の健康との関係（共同、2025年3月、第95回日本衛生学会学術集会）



＜学会シンポジウム＞1.2024医学教育研究の基本を学ぶワークショップ（共同、2024年8月、第56回日本医学教育学会大会）

＜研究会発表等＞1.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育の取り組みー副師長を対象としたリフレクション研修ー（共同、2024年11月、2024年度SCU産学官金研究交流会）

＜学会座長就任状況＞持続可能な地域社会に向けて：論文にみる現状と課題（共同、2024年7月、第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本プライマリヘルスケア学会（4件、日本プライマリヘルスケア学会）／2.日本プライマリヘルスケア学会（21件、第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）

＜学会役員就任状況＞日本医学教育学会（一般社団法人日本医学教育学会代議員会推薦代議員http://jsme.umin.ac.jp/ann/jmse_an_230605.html、研究推進委員会）／日本プライマリケア・連合学会（和文誌編集委員会）／日本プライマリケア・連合学会（日本プライマリ・ケア連合学会看護師部会（北海道ブロック支部））

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第33回北海道地方会学術集会／第39回日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会／日本公衆衛生学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本プライマリ・ケア連合学会

＜講演会・講習会活動＞産学官金連携研究会HoPE3月例会「看護師の経験を紡ぐリスクリング-学びあう場としての看護コンソーシアム-」（2025年3月12日、一般社団法人北海道中小企業家同友会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究指導（2024年4月～2025年3月、砂川市立病院看護部）／看護研究支援体制の構築に対する指導・助言（2024年4月～2025年3月、社会法人北楡会札幌北楡病院）／第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会日野原賞最終審査員（2024年6月9日、日本プライマリ・ケア連合学会）／医学教育研究支援メンタリングプログラム企画・運営（2024年6月～7月、医学教育研究メンタリングプログラム）／OSCE運営支援（標準模擬患者に対する演技および評価の助言）（2024年9月、10月、北海道大学大学院医学研究院）

牧田 靖子

＜学会発表＞1.膠原病の小児患者に関する教職員の認識と患者家族が教育現場に開示すべき情報（共同、2024年10月、日本小児リウマチ学会第33回学術集会）／2.乳児虐待リスク予測システムの開発と精度検証A病院のデータを使用した機械学習によるハイリスク要因の判別（共同、2024年11月、日本新生児看護学会第33回学術集会）／3.乳児虐待リスク予測システム（仮称）の開発と精度検証—第2報—（共同、2024年12月、日本子ども虐待防止学会第30回かがわ大会）

＜研究会発表等＞1.子どもの予期しない事故がなくなり、健やかな成長を守りたい（単独、2024年10月、全国3QUESTIONS北海道地区編）

＜学術集会運営＞第39回日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会／日本全国病弱教育研究会／日本新生児看護学会／日本セーフティプロモーション学会／認定特定非営利活動法人ファミリーhaus／北海道子どもの虐待防止学会

＜講演会・講習会活動＞シブリングサポーター研修ワークショップ「病気や障害のある子どものきょうだいを支援しよう」（2024年9月29日、北海道小児膠原病の会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞顧問として患者会の運営、支援、（北海道小児膠原病の会）／「教えて！ナース」（毎月1回、南区保育、子育て支援センター）／総会、学習交流会への参加（2024年5月、12月、全国病弱教育研究会）／センター調査〈C0205〉個別調査部会、部会員として医療事故調査の審議、報告書作成、日本医療安全調査機構）／乳幼児、医療的ケア児の健康観察のポイント、急変時の対処方法「令和6年度医療的ケア児保育フォローアップ研修」（2024年10月8日、子ども未来局子育て支援部）

三戸部 純子

＜資料＞1.マルチメディア学習理論に基づく基礎看護技術動画の映像提示手法分析（共著、2024年8月、日本看護技術学会、23巻、pp.123-132）



＜学会発表＞1.薬剤情報のエラー検出に関する実験的検討（単独、2024年9月、日本心理学会第88回大会）／2.マルチメディア学習理論に基づく基礎看護技術動画の映像手法分析—音声と字幕情報に着目して—（共同、2024年11月、第12回看護理工学会）

＜所属学会・研究会＞日本心理学会／看護人間工学会／看護理工学会／日本看護技術学会

市戸 優人

＜学術論文＞1.思春期の子どもをもつ親の家庭内性教育を支援するプログラム開発に関する国内外の文献レビュー（単著、2024年7月、母性衛生、65巻、2号、pp.282-290）／2.北海道内の産業保健看護職を対象とした実態調査—業務への取り組み状況と個人・職場属性との関係—（共著、2025年2月、北方産業衛生、63号、pp.2-10）

＜調査研究報告書＞1.厳冬期災害における避難支援及び避難所の熱環境に関する実証実験と検証（共著、2024年8月、札幌市まちづくり基礎調査・研究費）

＜受賞等＞1.優秀演題賞（2024年6月、日本地域看護学会第27回学術集会）

＜学会発表＞1.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの有用性の評価（単独、2024年6月、日本地域看護学会第27回学術集会）／2.厳冬期災害時の避難所を想定した非常食に関する調査研究（共同、2024年6月、日本地域看護学会第27回学術集会）／3.北海道内の産業保健看護職の実態調査（第一報）—産業保健看護職の属性と雇用状況—（共同、2024年10月、第34回日本産業衛生学会 全国協議会）／4.北海道内の産業保健看護職の実態調査（第二報）—産業保健看護職の勤務・職場形態と各業務への取り組み状況の関連—（共同、2024年10月、第34回日本産業衛生学会 全国協議会）／5.北海道内の産業保健看護職の実態調査（第三報）～産業保健看護職の業務への取り組み状況～（共同、2024年11月、2024年度日本産業衛生学会北海道地方会）／6.特別支援教育で活用可能なアクティブラーニングを取り入れた性教育教材の社会実装に向けて—教材を活用した教育実践を行なった教諭へのインタビュー（共同、2025年1月、第13回日本公衆衛生看護学会学術集会）／7.北海道における暑熱環境下の避難所を想定した非常食に関する調査研究（共同、2025年1月、第13回日本公衆衛生看護学会学術集会）／8.Randomized control trial of sexuality education at home support program for Japanese parents of adolescents（共同、2025年2月、INC&EAFONS2025）

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会北海道地方会（運営委員、産業保健看護部会幹事）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本健康学会／日本看護研究学会／日本思春期学会／日本公衆衛生学会／日本産業衛生学会／日本学校保健学会／職業災害・医学学会／日本災害看護学会

＜講演会・講習会活動＞「自分の性を大切に」のテーマで性教育の講演を行った。（2024年7月12日、北海道伊達開来高等学校）／「自分の性を大切に」のテーマで性教育の講演を行った。（2024年7月16日、北海道室蘭栄高等学校）／総合的な探求の時間（BEING ALIVE 2024）にて「北海道という地域特性を踏まえた防災・減災」をテーマに授業を行った。（2024年9月～2025年2月、北海道札幌月寒高等学校）／「男性の心と体」のテーマで性教育の講演を行った。（2025年3月3日、みなみの杜高等支援学校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞もしも北海道が開催する防災イベントの企画・運営および防災啓発・啓蒙活動における助言・支援を行なった（2024年11月1日～2025年3月31日、もしも北海道グループ）／2024年度北海道産業保健看護部会第2回実務研修会の講師として産業保健看護職向けに講演を行なった（講演タイトル：明日からすぐに使える惹きつけるPPT資料を時短作成するコツ）。

「2024年度北海道産業保健看護部会第2回実務研修会」（2024年11月29日、日本産業衛生学会北海道地方会産業保健看護部会）／札幌市東区の冬季体験型防災訓練の効果検証等に従事した「令和6年度東区冬季体験型防災訓練に係る研究調査への協力依頼について」（2025年2月21日、22日、札幌市東区、札幌市東区役所）

久保田 祥子

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本フォレンジック看護学会／日本母性衛生学会／日本生命倫理学会／日本公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞令和6年度助産師国家試験プール問題作成・登録活動協力員



(全国助産師教育協議会)

栗原 知己

＜学術論文＞1.Status of COVID-19 Patients Treated With Extracorporeal Membrane Oxygenation in Japan: Nationwide Database Analysis (共著、2024年5月、Cureus、16巻、5号) ／2.患者に生じている表面化していない問題を明確にする看護師の実践経験の総体：看護師と患者の相互行為場面に焦点を当てて (共著、2024年10月、日本看護研究学会雑誌、47巻、4号、pp.789-799) ／3.Comparative efficacy of various oral hygiene care methods in preventing ventilator-associated pneumonia in critically ill patients: A systematic review and network meta-analysis (共著、2024年12月、PLOS ONE、19巻、12号) ／4.The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2024 (共著、2025年3月、Journal of Intensive Care、13巻、1号)

＜実践報告書＞1.新人・先輩一緒に学べて根拠がわかる 救急ナースの看護技術 虎の巻 エキスパートが指南！現場でよくあるしくじり99事例 酸素投与、ECMO（介助）（共著、2024年4月、メディカ出版、pp.10_124-15_130）

＜学会発表＞1.中堅看護師への臨床倫理研修の効果と課題 研修終了6ヶ月後に研修者が捉える視点から (共同、2024年12月、第44回日本看護科学学会学術集会) ／2.CQ3.初期蘇生・循環作動薬 (共同、2025年3月、第52回日本集中治療医学会学術集会) ／3.Future Research Questionを中心としたJ-SSCG2024解説；総論編 (共同、2025年3月、第52回日本集中治療医学会学術集会) ／4.J-SSCG2024におけるCQ3初期蘇生・循環作動薬：Future Research Questionに焦点を当てた解説 (共同、2025年3月、第52回日本集中治療医学会学術集会)

＜研究会発表等＞1.看護基礎知識に関する大規模言語モデルの性能比較 (2024年11月) ／2.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育の取り組み一副師長を対象としたリフレクション研修ー (2024年11月)

＜学会座長就任状況＞一般演題 口演 重症患者看護② (2024年11月、26回日本救急看護学会学術集会) ／ポスター50 教育2 (2025年3月、第52回日本集中治療医学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Journal of Educational Evaluation for Health Professions (1件) ／2.日本救急看護学会 (2件、26回日本救急看護学会学術集会) ／3.Plos One (1件) ／4.集中治療医学会 (11件、第52回日本集中治療医学会学術集会) ／5.Respiratory care (1件) ／6.Journal of Intensive Care (1件)

＜学会役員就任状況＞一般社団法人 日本集中治療医学会 (看護教育委員会 委員) ／一般社団法人 日本救急看護学会 (評議員)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本集中治療医学会／日本看護管理学会／日本看護研究学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞JNTECプロバイダーコースのインストラクター「外傷初期看護セミナー(JNTEC)」 (2024年5月25日～26日、日本救急看護学会)

近藤 圭子

＜学術論文＞1.「子どもの居場所」とそこに通う我が子の様子を捉えた保護者の認識 (共著、2025年3月、北海道公衆衛生学雑誌、38巻、1, 2号、pp.67-72)

＜学会発表＞1.高齢者虐待における家族介護者支援に焦点を当てた研究の現状 (共同、2024年8月、第29回日本在宅ケア学会学術集会) ／2.Older People Living in Depopulated Areas Meet Final Moments Through Seamless Support (共同、2024年8月、THE 8TH INTERNATIONAL NURSING RESEARCH CONFERENCE OF THE WORLD ACADEMY OF NURSING SCIENCE (8TH WANS)) ／3.我が国における地域医療に関する文献レビュー (共同、2024年10月、第83回日本公衆衛生学会総会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本プライマリ・ケア連合学会誌 (22件、日本プライマリ・ケア連合学会)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会 (評議員)

＜学術集会運営＞第39回日本がん看護学会学術集会／第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本



地域看護学会／日本公衆衛生看護学会／日本在宅ケア学会／日本看護科学学会／日本衛生学会／日本農村医学会／日本医学教育学会

＜講演会・講習会活動＞令和6年度（2024年度）北渡島檜山多職種連携協議会 在宅療養を支える多職種のつどい「私たちが考えるACP～多職種連携だからできること～」（2024年8月6日、北渡島檜山多職種連携協議会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第1支部委員長 看護職能団体として看護の質向上、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護の提供（2023年3月～、北海道看護協会保健師職能委員会）

渋谷 友紀

＜学会発表＞1.札幌市10区における自殺者の分析：区による自殺死亡率の違いに焦点をあてて（共同、2025年3月、日本社会精神医学会）

＜研究会発表等＞1.精神看護シミュレーション教育における模擬患者養成の取り組み（共同、2024年8月、日本看護学教育学会）

＜学術集会運営＞日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会 運営事務局

＜所属学会・研究会＞日本教育工学会／日本感性工学会／日本デザイン学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護学教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞令和6年度専門研修課程専攻科看護師等技術向上研修「精神疾患患者へのアプローチ」（2024年9月3日、札幌矯正管区）

田仲 里江

＜学会発表＞1.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育の取り組み・看護コンソーシアムにおける副師長を対象としたリフレクション研修（共同、2024年12月、第28回日本看護管理学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.看護師のキャリアアップを地域で支える継続教育の取り組み－副師長を対象としたリフレクション研修－（共同、2024年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本災害看護学会／教育システム情報学会／日本フォレンジック看護学会／日本医療教授システム学会／日本教育工学会／日本看護管理学会

西川 めぐみ

＜学会役員就任状況＞北海道腎移植談話会（幹事・会計監事）

＜学術集会運営＞第43回北海道腎移植談話会／第39回日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本移植学会／日本臨床腎移植学会／日本看護医療学会／日本腎不全看護学会／北海道腎移植談話会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞日本移植コーディネーター協議会教育委員「JATCO総合研修会」（2024年12月6日～7日、日本移植コーディネーター協議会）／世界腎臓デー市民啓発活動の運営スタッフ（北海道透析看護認定看護師会）

平山 憲吾

＜調査研究報告書＞1.「化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検証」令和6年度科研費研究成果報告書（2024年12月）

＜学会発表＞1.妊娠性温存に関するがん患者家族の認識：定性的システムティックレビュー（共同、2024年12月、第44回日本看護科学学会学術集会）／2.がん薬物療法を受ける高齢患者の意思決定における医療者の認識：定性的システムティックレビュー（共同、2025年2月、第39回日本がん看護学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.看護基礎知識に関する大規模言語モデルの性能比較（共同、2024年11月、SCU産学官金研究交流会）



＜論文査読・学会抄録査読＞1.Journal of Advanced Nursing (1件)

＜学会役員就任状況＞看護総合科学研究会（総務）／日本がん看護学会（日本がん看護学会誌 査読委員）

＜学術集会運営＞2024年度看護総合科学研究会セミナー／第39回日本がん看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本がん看護学会／日本専門看護師協議会／日本老年医学会／日本老年看護学会／日本在宅ケア学会／日本健康医学会／看護総合科学研究会

吉田 実和

＜資料＞1.マルチメディア学習理論に基づく看護技術動画教材の映像提示手法分析（共著、2024年8月、日本看護技術学会誌、23巻、pp.123-132）

＜学会発表＞1.マルチメディア学習理論に基づく基礎看護技術動画の映像提示手法分析—音声・字幕の言語情報に着目して—（共同、2024年11月、第12回看護理工学会学術集会）／2.デザイン学と看護学の連携によるコミュニティヘルス活動「楽しい」を通じた心身の健康づくり（共同、2024年12月、第44回日本看護科学学会学術集会）／3.Relationship Between Faculty Evaluation of Nursing Students' Blood Pressure Measurement Skills and Variability in Deflation Speed（共同、2025年2月、15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars）／4.顔表情の自動認識と振動フィードバックを用いた看護学生のための笑顔トレーニングシステムの提案（共同、2025年3月、第29回一般社団法人情報処理学会 INTERACTION2025）

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第33回北海道地方会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護技術学会／日本看護研究学会／日本看護科学学会／看護理工学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞R6東区冬季体験型防災訓練に係る研究調査-冬季における冷温非常食及び避難所就寝に関する調査分析（2025年2月21日、東区役所）

本多 いづみ

＜所属学会・研究会＞日本看護技術学会／日本看護学教育学会／日本災害看護学会

AITセンター

高橋 尚人

＜学術論文＞1.AI技術を活用した交通量自動計測プログラムの開発（共著、2025年2月、令和6年度土木学会北海道支部論文報告集（第81号））

＜受賞等＞特別感謝状 中日本高速道路株式会社（2024年4月）

＜学会発表＞1.機械学習を活用したICU患者の8時間毎のせん妄予測モデルの構築－中間分析－（共著、2024年10月、日本集中治療医学会第8回北海道支部学術集会）／2.機械学習を活用したICU患者の8時間毎のせん妄予測モデルの構築－中間分析－（共著、2025年3月、日本集中治療医学会第52回年次学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本雪氷学会（北海道支部 理事）

＜講演会・講習会活動＞富山県立大学DX教育研究センター 第10回DX研究会「救急需要の将来予測や救急隊の稼働状況の可視化の取り組み」（2024年6月26日、富山県立大学DX教育研究センター）／第105回北海道市議会議長会職員研修会「AIの基礎と実用」（2024年7月24日、北海道市議会議長会）／札幌旭丘高等学校数理データサイエンス科 SDS基礎「さっぽろ探究」「SDS基礎「さっぽろ探究」講師」（2024年10月3日、札幌旭丘高等学校）／日本都市計画学会北海道支部令和6年度支部研究発表会「デジタル技術を活用した北の街づくり」（2024年11月30日、日本都市計画学会北海道支部）／札幌旭丘高等学校数理データサイエンス科 SDS研究発表会「SDS研究発表会アドバイザー」（2025年2月4日、札幌旭丘高等学校）

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 2024年度 第19号

編 集 広報室

担当事務 経営企画課

発 行 日 2025年12月1日

発 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>